

地域共生学科国際コミュニケーションコース

分類	授業科目	方法	必修	選択	年次	期
基礎 教育 科目	大学教育入門	講義	1		1	前
	データサイエンス基礎	講義	1		1	前
	茶道文化Ⅰ	演習	1		1	前
	茶道文化Ⅱ	演習	1		1	後
	茶道文化Ⅲ	演習	1		2	前
	茶道文化Ⅳ	演習	1		2	後
	地域と人々	実習	1		1	通
	地域と職業	講義	1		1	後
	基礎化学	講義		2	1	前
	基礎化学実習	実習		1	1	前
	心理学	講義		2	1	前
	ビジネスマナー	演習		1	1	前
	福祉文化	演習		1	2	後
	コンピュータ演習Ⅰ	演習		1	1	前
	コンピュータ演習Ⅱ	演習		1	1	後
	Office総合演習	演習		1	2	後
	英語コミュニケーションⅠ	演習		1	1	前
	英語コミュニケーションⅡ	演習		1	1	後
	フランス語Ⅰ	演習		1	1	前
	フランス語Ⅱ	演習		1	1	後
	日本語Ⅰ	演習		1	1	前
	日本語Ⅱ	演習		1	1	後
実践文書作成	演習		1	1	前	
スポーツ実習	実習		1	1	後	
スポーツ科学	講義		2	2	後	
専門 教育 科目 (コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン)	英会話Ⅰ	演習		2	1	1・2
	英会話Ⅱ	演習		1	1	4
	英会話Ⅲ	演習		1	2	5
	英会話Ⅳ	演習		1	2	6
	英会話Ⅴ	演習		1	2	7
	英会話Ⅵ	演習		1	2	8
	英語検定Ⅰ	講義		2	1	1
	英語検定Ⅱ	講義		2	1	2
	英語検定Ⅲ	講義		2	2	5
	英語ライティング&グラマーⅠ	講義		2	1	3
	英語ライティング&グラマーⅡ	講義		2	2	7・8
	英語演習Ⅰ	演習		2	2	5・6
	英語演習Ⅱ	演習		2	2	7・8
	英語特別演習Ⅰ	演習		1	—	—
	英語特別演習Ⅱ	演習		1	—	—
	英語基礎Ⅰ	講義		2	1	1・2
	中国語基礎Ⅱ	講義		2	1	1・2
	中国語基礎Ⅲ	演習		2	1	1・2
	中国語会話Ⅰ	演習		1	1	3
	中国語会話Ⅱ	演習		1	2	7・8
	中国語検定Ⅰ	講義		2	2	5・6
	中国語検定Ⅱ	講義		2	2	5・6
	中国語検定Ⅲ	講義		2	2	5・6
	中国語ライティング&グラマーⅠ	講義		2	1	4
	中国語ライティング&グラマーⅡ	講義		2	2	7・8
	中国語特別演習Ⅰ	演習		1	—	—
	中国語特別演習Ⅱ	演習		1	—	—
	韓国語基礎Ⅰ	講義		2	1	1・2
	韓国語基礎Ⅱ	講義		2	1	1・2
	韓国語基礎Ⅲ	演習		2	1	1・2

分類	授業科目	方法	必修	選択	年次	期		
専門 教育 科目 (言 語 ・ 多 文 化)	韓国語会話Ⅰ	演習		1	1	3		
	韓国語会話Ⅱ	演習		1	2	7・8		
	韓国語検定Ⅰ	講義		2	2	5・6		
	韓国語検定Ⅱ	講義		2	2	5・6		
	韓国語検定Ⅲ	講義		2	2	5・6		
	韓国語ライティング&グラマーⅠ	講義		2	1	3		
	韓国語ライティング&グラマーⅡ	講義		2	2	7・8		
	中国語特別演習Ⅰ	演習		1	—	—		
	中国語特別演習Ⅱ	演習		1	—	—		
	基礎日本語Ⅰ	講義		2	1	1・2		
	基礎日本語Ⅱ	講義		2	2	3・4		
	日本語会話Ⅰ	演習		2	1	1		
	日本語会話Ⅱ	演習		2	1	2		
	日本語会話Ⅲ	演習		2	1	3		
	日本語会話Ⅳ	演習		2	1	4		
	日本語会話Ⅴ	演習		2	2	5		
	日本語会話Ⅵ	演習		2	2	6		
	日本語検定Ⅰ	講義		2	1	1		
	日本語検定Ⅱ	講義		2	1	3		
	日本語検定Ⅲ	講義		2	2	5		
	日本語ライティング&グラマーⅠ	講義		2	1	4		
	日本語ライティング&グラマーⅡ	講義		2	2	6		
	日本語演習Ⅰ	演習		2	2	5・6		
	日本語演習Ⅱ	演習		2	2	7		
	総合日本語	講義		2	2	7		
	比較文化研究	講義		2	2	7		
	異文化理解演習	演習		2	1	1・2		
	国際・時事研究	講義		2	2	日6/留5		
	専 門 教 育 科 目	キャリアガイダンス	講義		2	1	日1・2/留5	
		ビジネス文書	講義		2	1	日1・2/留3・4	
		実践ビジネスマナー	演習		1	1	日1・2/留8	
		ホテル業論	講義		2	1	2	
		ホスピタリティビジネス	講義		2	2	7・8	
		実践グローバル・リーダーシップⅠ	実習		2	1	4	
		実践グローバル・リーダーシップⅡ	実習		2	1	4	
		実践グローバル・リーダーシップⅢ	実習		2	1	4	
		児童英語教授法	講義		2	2	5・6	
		日本語教授法	講義		2	2	8	
		課 題 解 決	Awesome Sasebo!Ⅰ	演習		1	2	5
			Awesome Sasebo!Ⅱ	演習		1	2	6
	Awesome Sasebo!Ⅲ		演習		1	2	7	
	Awesome Sasebo!Ⅳ		演習		1	2	8	
ギ ャ ッ プ イ ヤ ー	学外学修事前指導	講義		2	1	日1・3/留1・2		
	海外文化事情(留学)Ⅰ	実習		2	1	3		
	海外文化事情(留学)Ⅱ	実習		2	1	3		
	海外文化事情(留学)Ⅲ	実習		6	1	3		
	インターンシップⅠ	実習		2	1	3		
	インターンシップⅡ	実習		2	1	3		
	インターンシップⅢ	実習		2	1	3		
	インターンシップⅣ	実習		2	1	3		
	実践Awesome Sasebo!(サービスマナー)Ⅰ	実習		2	1	3		
	実践Awesome Sasebo!(サービスマナー)Ⅱ	実習		2	1	3		
	実践Awesome Sasebo!(サービスマナー)Ⅲ	実習		2	1	3		
	実践Awesome Sasebo!(サービスマナー)Ⅳ	実習		2	1	3		
学外学修事後指導	講義		2	1	日5/留4			
卒業研究	講義		2	2	7・8			

講義科目名称：英会話	授業コード：
英文科目名称：English Conversation I	ナンバリング：CC101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1・2	1年	2	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi、近藤 直美、その他				

授業概要	<p>This course aims to build students' confidence and competence in holding conversations in English on everyday, familiar topics. Listening and speaking skills are emphasized through practice and live online interaction with English speaking students in New Zealand. Live communication and group-work are used to develop and assess students' communication skills.</p> <p>英会話Iでは日常的话题を英語で話せるように自信と知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。クラスメート、ネイティブスピーカー教員と共に英会話練習をするの、定期的にニュージーランドの学校とライブオンライン交流授業が行う。本演習では、①英語で練習済みの話題について話せる、②日常的话题で自分の意思が伝達できる、③グループディスカッションで相手の意図を理解できるようになることを目標とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業と授業で行うグループディスカッションへの参加・態度 課題	30% 30%
異文化知識・対応能力	英語で日常的な・基本的な表現を理解、用いることができる。限られた場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	Online Exchange	40%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<p>1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。</p> <p>2) 本授業では、定期試験を実施しません。課題 30%、Online Exchange (LIVE CLASS・Message Board) 40%、授業と授業で行うグループディスカッションへの参加・態度 30%の割合で評価します。</p> <p>3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。</p> <p>4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。</p> <p>5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: 自己紹介、シラバス説明、教科書・ONLINE EXCHANGEを説明する、課題のやり方	対面授業	予習: 特になし 復習: 教科書、課題、クラスルームを確認します (1時間)
2回目	クラス分け(初級・中級・上級) Warm Up 英会話、課題チェック ONLINE EXCHANGE Message board 紹介	対面授業	予習: ラジオ英会話課題(45分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (15分)
3回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話1週間目ディクテーション・リスニング練習	対面授業	予習: ラジオ英会話課題(45分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (15分)
4回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話「今週のReview」の課題 LIVE CLASS 準備: 会話練習	対面授業	予習: ラジオ英会話課題(45分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (15分)
5回目	ONLINE EXCHANGE - LIVE CLASS ニュージーランドとオンライン交流 ※レポート提出	対面授業	予習: ラジオ英会話課題(45分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (15分)
6回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話2週間目ディクテーション・リスニング練習、ラジオ英会話「今週のReview」の課題	対面授業	予習: ラジオ英会話課題(45分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (15分)
7回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話3週間目ディクテーション・リスニング練習 ONLINE EXCHANGE Message board	対面授業	予習: ラジオ英会話課題(45分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (15分)
8回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話「今週のReview」の課題	対面授業	予習: ラジオ英会話課題(45分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (15分)
9回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話4週間目ディクテーション・リスニング練習、LIVE CLASS 準備: 会話練習	対面授業	予習: ラジオ英会話課題(45分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (15分)
10回目	ONLINE EXCHANGE - LIVE CLASS ニュージーランドとオンライン交流 ※レポート提出	対面授業	予習: ラジオ英会話課題(45分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (15分)
11回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話5週間目ディクテーション・リスニング練習、ラジオ英会話「今週のReview」の課題	対面授業	予習: ラジオ英会話課題(45分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (15分)
12回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話6週間目ディクテーション・リスニング練習	対面授業	予習: ラジオ英会話課題(45分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (15分)
13回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話「今週のReview」の課題	対面授業	予習: ラジオ英会話課題(45分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (15分)
14回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話7週間目ディクテーション・リスニング練習	対面授業	予習: ラジオ英会話課題(45分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (15分)
15回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話「今週のReview」の課題 LIVE CLASS 準備: 会話練習	対面授業	予習: ラジオ英会話課題(45分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (15分)

16回目	ONLINE EXCHANGE - LIVE CLASS ニュージーランドとオンライン交流 ※レポート提出	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(15分)
17回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話8週間目ディクテーション・リスニ ング練習 ラジオ英会話「今週のReview」の課題	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(15分)
18回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話9週間目ディクテーション・リスニ ング練習	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(15分)
19回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話「今週のReview」の課題 ONLINE EXCHANGE Message board	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(15分)
20回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話10週間目ディクテーション・リスニ ング練習	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(15分)
21回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話「今週のReview」の課題	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(15分)
22回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話11週間目ディクテーション・リスニ ング練習	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(15分)
23回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話「今週のReview」の課題	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(15分)
24回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話12週間目ディクテーション・リスニ ング練習 ONLINE EXCHANGE Message board	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(15分)
25回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話「今週のReview」の課題	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(15分)
26回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話13週間目ディクテーション・リスニ ング練習 LIVE CLASS 準備:会話練習	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(15分)
27回目	ONLINE EXCHANGE - LIVE CLASS ニュージーランドとオンライン交流 ※レポート提出	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(15分)
28回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話14週間目ディクテーション・リスニ ング練習 ラジオ英会話「今週のReview」の課題	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(15分)
29回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話15週間目ディクテーション・リスニ ング練習	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(15分)
30回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話「今週のReview」の課題	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(15分)

	定期試験なし		授業外学修時間 30時間
--	--------	--	--------------

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	教科書(クラス分け後、担当教員から注文する) 上級クラス:ラジオ英会話(NHKテキスト) 中級クラス:基礎英語レベル2(NHKテキスト) 初級クラス:基礎英語レベル1(NHKテキスト)
履修条件	特になし
履修上の注意	可能ならPCやタブレットを持参してもいいです。 オンライン交流授業の日程は変更になる場合があります。
オフィスアワー	各先生によって異なります。クラスの担当の先生に確認してください。
備考・メッセージ	学生は、毎日15分間以上のリスニング宿題をするべきです。

講義科目名称：英会話II	授業コード：
英文科目名称：English Conversation II	ナンバリング：CC301

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3	1年	1単位	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi、近藤 直美、その他				

授業概要	<p>This course builds on English Conversation I and aims to expand students' ability to hold conversations in English on familiar topics. Listening and speaking skills are emphasized through practice and online projects with English speaking students in New Zealand. Live communication, group-work and oral presentations are used to develop and assess students' communication skills.</p> <p>英会話Iで学んだ内容を基礎として、身近な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。クラスメート、ネイティブスピーカー教員と共に英会話練習をするの上に、定期的にニュージーランドの学校とオンラインプロジェクトが行う。本演習では、①準備した内容を英語で発表できる、②日常の事柄について自分の意思が伝達できる、③ グループディスカッションで相手の話の内容を正確につかみ、コミュニケーションが取れるようになることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業と授業で行うグループディスカッションへの参加・態度	30%
異文化知識・対応能力	英語で日常的な・基本的な表現を理解、用いることができる。限られた場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	課題 Online Exchange	40% 30%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- 1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。
- 2) 本授業では、定期試験を実施しません。課題 40%、Online Exchange (VIDEO DIARY・Message Board) 30%、授業と授業で行うグループディスカッションへの参加・態度 30%の割合で評価します。
- 3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。
- 4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。
- 5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:シラバス説明、教科書・ ONLINE EXCHANGEを説明する、課題のやり方	対面授業	予習:特になし 復習:教科書、課題、クラスルームを確認します(1時間)
2回目	Warm Up 英会話、課題チェック ONLINE EXCHANGE - VIDEO DIARY① NZのビデオを見て勉強する ※レポート提出	対面授業	予習:接客英会話課題(45分) 復習:授業で間違えたところを復習する(15分)
3回目	Warm Up 英会話、課題チェック グループワーク:VIDEO DIARY準備	対面授業	予習:接客英会話課題(45分) 復習:授業で間違えたところを復習する(15分)
4回目	Warm Up 英会話、課題チェック ONLINE EXCHANGE - VIDEO DIARY② グループワーク:※ビデオ提出	対面授業	予習:接客英会話課題(45分) 復習:授業で間違えたところを復習する(15分)
5回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語 ① 基本の応対	対面授業	予習:接客英会話課題(45分) 復習:授業で間違えたところを復習する(15分)
6回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語 ① 基本の応対	対面授業	予習:接客英会話課題(45分) 復習:授業で間違えたところを復習する(15分)
7回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語 ② ホテル・旅館 ONLINE EXCHANGE Message board	対面授業	予習:接客英会話課題(45分) 復習:授業で間違えたところを復習する(15分)
8回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語 ② ホテル・旅館	対面授業	予習:接客英会話課題(45分) 復習:授業で間違えたところを復習する(15分)
9回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語 ② ホテル・旅館	対面授業	予習:接客英会話課題(45分) 復習:授業で間違えたところを復習する(15分)
10回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語 ③ レストラン・カフェ	対面授業	予習:接客英会話課題(45分) 復習:授業で間違えたところを復習する(15分)
11回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語 ③ レストラン・カフェ ONLINE EXCHANGE Message board	対面授業	予習:接客英会話課題(45分) 復習:授業で間違えたところを復習する(15分)
12回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語 ④ 観光地	対面授業	予習:接客英会話課題(45分) 復習:授業で間違えたところを復習する(15分)
13回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語 ⑤ 交通機関	対面授業	予習:接客英会話課題(45分) 復習:授業で間違えたところを復習する(15分)
14回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語①～⑤の復習	対面授業	予習:接客英会話課題(45分) 復習:授業で間違えたところを復習する(15分)
15回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語のまとめ小テスト	対面授業	予習:接客英語を復習する(1時間) 復習:特になし
	定期試験なし		授業外学修時間 15時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規	なし

則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書はなく、英会話のアプリで宿題をします。
履修条件	特になし
履修上の注意	PCやタブレットを持参してもいいです。
オフィスアワー	各先生によって異なります。クラスの担当の先生に確認してください。
備考・メッセージ	学生は、毎日15分間以上のリスニング宿題をするべきです。

講義科目名称:英会話III	授業コード:
英文科目名称:English Conversation III	ナンバリング:CC501

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	1	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi、近藤 直美、その他				

授業概要	<p>This course builds on English Conversation I & II and aims to expand students' ability to hold conversations in English beyond familiar, everyday topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills.</p> <p>1年生の時に学んだ内容を基礎として、様々な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①教員に与えられたトピックを英語で発表できる、②普段触れない話題や事柄について自分の意思が伝達できる、③ グループディスカッションで相手の話の内容に疑問を持ち、主体的に質問しあうコミュニケーションが取れるようになることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業と授業で行うグループワークへの参加・態度	25%
専門的知識や技能	英語で身近な話題について主要な点を理解できる。また仕事、学校、娯楽など大抵な事態に対処することができ、その場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	プロジェクト・発表 課題	50% 25%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- 1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。
- 2) 本授業では、プロジェクト・発表 50%、課題25%、グループディスカッションへの参加・態度 25%の割合で評価します。
- 3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。
- 4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。
- 5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:シラバス説明、課題説明、2年生の英語目標を書く、5Qのプロジェクト(ツアーガイド)を説明する	対面授業	予習:特になし 復習:佐世保の観光情報を調べる(1時間)
2回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分)

	ツアーガイド例①を見て勉強する 留学生にアンケートを出す		復習:課題で間違えたところを 復習する(30分)
3回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ツアーガイド例②を見て勉強する	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(30分)
4回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ツアーガイド例③を見て勉強する	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(30分)
5回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 佐世保の観光スポットを調べる、情報をまとめる	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(30分)
6回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 佐世保の観光スポットを調べる、情報をまとめる	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(30分)
7回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ※ルートを提出する	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(30分)
8回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック SASEBOツアー英語文書を準備する	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(30分)
9回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック SASEBOツアー英語文書を準備する	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(30分)
10回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック SASEBOツアー英語文書を準備する	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(30分)
11回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ※SASEBOツアー英語文書提出	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(30分)
12回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ツアーリハーサル	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(30分)
13回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ツアーリハーサル	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを 復習する(30分)
14回目	SASEBOツアー(グループプロジェクト) 5月27日(土)	対面授業	予習:SASEBOツアーの練習を する(1時間)
15回目	SASEBOツアー(グループプロジェクト) 5月27日(土)	対面授業	予習:SASEBOツアーの練習を する(1時間)
	定期試験なし		授業外学修時間 15時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	特になし(プリント教材は授業中で指定し、ネット上にある教材を使う)
履修条件	特になし
履修上の注意	SASEBOツアーの日程は変更になる場合があります。 PCやタブレットを持参してもいいです。
オフィスアワー	各先生によって異なります。クラスの担当の先生に確認してください。
備考・メッセージ	

講義科目名称:英会話IV	授業コード:
英文科目名称:English Conversation IV	ナンバリング:CC601

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	1単位	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi、近藤 直美、その他				

授業概要	<p>This course builds on English Conversation I & II and aims to expand students' ability to hold conversations in English beyond familiar, everyday topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills.</p> <p>1年生の時に学んだ内容を基礎として、様々な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①教員に与えられたトピックを英語で発表できる、②普段触れない話題や事柄について自分の意思が伝達できる、③ グループディスカッションで相手の話の内容に疑問を持ち、主体的に質問しあうコミュニケーションが取れるようになることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業と授業で行うグループワークへの参加・態度	25%
専門的知識や技能	英語で身近な話題について主要な点を理解できる。また仕事、学校、娯楽など大抵な事態に対処することができ、その場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	プロジェクト・発表 課題	50% 25%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- 1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。
- 2) 本授業では、プロジェクト・発表 50%、課題25%、グループディスカッションへの参加・態度 25%の割合で評価します。
- 3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。
- 4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。
- 5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:シラバス説明、課題説明、6Qのプロジェクト(英語を教える)を説明する	対面授業	予習:特になし 復習:九州文化学園小・中学校の情報を調べる(1時間)
2回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 児童英語教授法の基礎	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復

	授業の例①		習する(30分)
3回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 授業の例②	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
4回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループ分け&ブレインストーミング	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
5回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク:授業計画	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
6回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク:授業計画	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
7回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク:資料の準備	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
8回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク:資料の準備	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
9回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク:English Festival リハーサル	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
10回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク:English Festival リハーサル	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
11回目	English Festival (グループプロジェクト)7月15日(土)	対面授業	予習:資料・学習ノートをまとめる、 練習する(1時間)
12回目	English Festival (グループプロジェクト)7月15日(土)	対面授業	予習:資料・学習ノートをまとめる、 練習する(1時間)
13回目	English Festival (グループプロジェクト)7月15日(土)	対面授業	予習:資料・学習ノートをまとめる、 練習する(1時間)
14回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク:English Festivalの振り返り	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
15回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ※レポート提出:English Festival振り返り	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
16回目	定期試験なし		授業外学修時間 15時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	特になし(プリント教材は授業中で指定し、ネット上にある教材もする)
履修条件	特になし
履修上の注意	English Festivalの日程は変更になる場合があります。 PCやタブレットを持参してもいいです。
オフィスアワー	各先生によって異なります。クラスの担当の先生に確認してください。
備考・メッセージ	

講義科目名称:英会話V	授業コード:
英文科目名称:English Conversation V	ナンバリング:CC701

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	1単位	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi、近藤 直美、その他				

授業概要	<p>This course builds on English Conversation I & II and aims to expand students' ability to hold conversations in English in a wide variety of topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills.</p> <p>1年生の時に学んだ内容を基礎として、様々な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①教員に与えられたトピックについて熟考し起承転結を用いた発表ができる、②抽象的な話題・具体的な話題でも複雑な内容について自分の意思が伝達できる、③ 教員の助けを借りず率先してグループディスカッションを成立させ、幅広いテーマについてコミュニケーションが取れるようになることを目標とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業と授業で行うグループワークへの参加・態度	25%
専門的知識や技能	英語で身近な話題について主要な点を理解できる。また仕事、学校、娯楽など大抵な事態に対処することができ、その場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	プロジェクト・発表課題	50% 25%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<p>1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。</p> <p>2) 本授業では、プロジェクト・発表 50%、課題25%、グループディスカッションへの参加・態度 25%の割合で評価します。</p> <p>3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。</p> <p>4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。</p> <p>5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:シラバス説明、課題説明、	対面授業	予習:特になし

	7Qのプロジェクト(Interview Project)を説明する		復習:英会話アプリ課題(1時間)
2回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループ分け、インタビュー対象者を調べる インタビューの例①	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
3回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビュー対象者を調べる インタビューの例②	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
4回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビュー対象者に連絡する インタビューの例③	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
5回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビュー対象者に連絡する インタビューの例④	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
6回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビューの準備:情報収集、質問の準備、練習 6回目~10回目の間:インタビューを行う	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
7回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビューの準備:情報収集、質問の準備、練習 6回目~10回目の間:インタビューを行う	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
8回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビューの準備:情報収集、質問の準備、練習 6回目~10回目の間:インタビューを行う	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
9回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビューの準備:情報収集、質問の準備、練習 6回目~10回目の間:インタビューを行う	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
10回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビュー後:トランスクリプトと翻訳を作成する 6回目~10回目の間:インタビューを行う	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
11回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビュー記事の例① インタビュー後:トランスクリプトと翻訳を作成する	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
12回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビュー記事の例② インタビュー後:トランスクリプトと翻訳を作成する	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
13回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビューの記事を書く	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
14回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビューの記事を書く	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
15回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク:結果発表 ※提出:インタビュー録音、トランスクリプト、記事	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
	定期試験なし		授業外学修時間 15時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	特になし(プリント教材は授業中で指定し、ネット上にある教材もする)
履修条件	特になし
履修上の注意	PCやタブレットを持参してもいいです。
オフィスアワー	各先生によって異なります。クラスの担当の先生に確認してください。
備考・メッセージ	

講義科目名称:英会話VI	授業コード:
英文科目名称:English Conversation VI	ナンバリング:CC801

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8Q	2年	1単位	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi、近藤 直美、その他				

授業概要	<p>This course builds on English Conversation I & II and aims to expand students' ability to hold conversations in English in a wide variety of topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills.</p> <p>1年生の時に学んだ内容を基礎として、様々な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①教員に与えられたトピックについて熟考し起承転結を用いた発表ができる、②抽象的な話題・具体的な話題でも複雑な内容について自分の意思が伝達できる、③ 教員の助けを借りず率先してグループディスカッションを成立させ、幅広いテーマについてコミュニケーションが取れるようになることを目標とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業と授業で行うグループワークへの参加・態度	25%
専門的知識や技能	英語で身近な話題について主要な点を理解できる。また仕事、学校、娯楽など大抵な事態に対処することができ、その場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	プロジェクト・発表課題	50% 25%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- 1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。
- 2) 本授業では、プロジェクト・発表 50%、課題25%、グループディスカッションへの参加・態度 25%の割合で評価します。
- 3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。
- 4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。
- 5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:シラバス説明、課題説明、	対面授業	予習:特になし

	8Qのプロジェクト(料理教室通訳)を説明する		復習:料理教室の情報を見る (1時間)
2回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の基礎、料理語彙	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
3回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の練習、料理語彙	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
4回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の練習、英語のレシピ	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
5回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の練習、英語のレシピ	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
6回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の練習	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
7回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の練習、資料翻訳	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
8回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の練習、資料翻訳	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
9回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の練習、資料翻訳	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
10回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク:料理教室リハーサル	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
11回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク:料理教室リハーサル	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
12回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク:料理教室リハーサル	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
13回目	料理教室(グループプロジェクト)	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
14回目	料理教室(グループプロジェクト)	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
15回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク:料理教室の振り返り ※レポート提出:料理教室振り返り	対面授業	予習:英会話アプリ課題(30分) 復習:課題で間違えたところを復習する(30分)
	定期試験なし		授業外学修時間 15時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	特になし(プリント教材は授業中で指定し、ネット上にある教材もする)

履修条件	特になし
履修上の注意	料理教室の日程は変更になる場合があります。 PCやタブレットを持参してもいいです。
オフィスアワー	各先生によって異なります。クラスの担当の先生に確認してください。
備考・メッセージ	

講義科目名称:英語検定 I (初級)	授業コード:
英文科目名称:English Proficiency Test I	ナンバリング:CC102

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	目安として(G1)英検 2 級以上(TOEIC 600以上)レベル、(G2)2 級(TOEIC 400-600)レベル、(G3)準 2 級レベル(TOEIC 400以下)に分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員がTOEIC 600以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分な予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度	・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。
- ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。
- ・15分以上の遅刻は欠席とします。
- ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。
- ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。
- ・要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:授業の進め方 導入:品詞の理解、英語の意味順	対面授業	復習:品詞と英語の意味順を再確認する(2時間)

			予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間) p.10を読みPart1出題形式を理解する(1時間)
2回目	銀フレ: 単語テスト601-650 Day1: 人物の動作表現(Part1)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	銀フレ: 単語テスト651-700 Day2: 物に関する描写(Part1)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	銀フレ: Supplement 3 Day3: 疑問詞で始まる疑問文(Part2)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	銀フレ: Supplement 4 Day4: Yes/No疑問文・選択疑問文(Part2)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	銀フレ: 単語テスト701-750 Day5: ステートメント・付加疑問文(Part2)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	銀フレ: 単語テスト751-800 Day6: Day1-5の復習	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	銀フレ: 単語テスト801-850 Day7: 品詞・代名詞(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	銀フレ: 単語テスト851-900 Day8: 態・分詞(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	銀フレ: 単語テスト901-950 Day9: 接続詞・前置詞(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	銀フレ: 単語テスト951-1000 Day10: 語彙問題・その他(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
12回目	銀フレ: Supplement 6 1-50 Day11: Day7-10の復習	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	銀フレ: Supplement 6 51-100 Day12: 店・ホテルでの会話(Part3)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	Day13: 日常生活における会話(対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解い

	Part 3)		て次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
15回目	Day14: オフィスでの会話①	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	TOEIC L&R 書き込みドリル【全パート入門編】 出る単特急銀のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	

講義科目名称:英語検定 I (中級)	授業コード:
英文科目名称:English Proficiency Test I	ナンバリング:CC102

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
ロザリンド 白石				

授業概要	<p>目安として(G1)英検 2 級以上(TOEIC 600以上)レベル、(G2)2 級(TOEIC 400-600)レベル、(G3)準 2 級レベル(TOEIC 400以下)に分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員がTOEIC 600以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分な予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary, Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 ・要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:授業の進め方 導入:品詞の理解、英語の意味順	対面授業	<p>復習:品詞と英語の意味順を再確認する(2時間) 予習:指定した単語を学習し、小テスト</p>

			に備える(1時間) p.10を読みPart1出題形式を理解する(1時間)
2回目	銀フレ:単語テスト601-650 Day1:人物の動作表現(Part1)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	銀フレ:単語テスト651-700 Day2:物に関する描写(Part1)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	銀フレ:Supplement 3 Day3:疑問詞で始まる疑問文(Part2)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	銀フレ:Supplement 4 Day4:Yes/No疑問文・選択疑問文(Part2)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	銀フレ:単語テスト701-750 Day5:ステートメント・付加疑問文(Part2)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	銀フレ:単語テスト751-800 Day6:Day1~5の復習	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	銀フレ:単語テスト801-850 Day7:品詞・代名詞(Part5)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	銀フレ:単語テスト851-900 Day8:態・分詞(Part5)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	銀フレ:単語テスト901-950 Day9:接続詞・前置詞(Part5)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	銀フレ:単語テスト951-1000 Day10:語彙問題・その他(Part5)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
12回目	銀フレ:Supplement 6 1-50 Day11:Day7~10の復習	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	銀フレ:Supplement 6 51-100 Day12:店・ホテルでの会話(Part3)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	Day13:日常生活における会話(Part3)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間)

			予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
15回目	Day14:オフィスでの会話①	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	TOEIC L&R 書き込みドリル【全パート入門編】 出る単特急銀のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	

講義科目名称:英語検定 I (上級)	授業コード:
英文科目名称:English Proficiency Test I	ナンバリング:CC102

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
近藤 直美				

授業概要	<p>目安として(G1)英検 2 級以上(TOEIC 600以上)レベル、(G2)2 級(TOEIC 400-600)レベル、(G3)準 2 級レベル(TOEIC 400以下)に分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員がTOEIC 600以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分な予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う:</p> <p>1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。</p> <p>2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。</p> <p>3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。</p> <p>4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。</p>	<p>・定期試験</p> <p>・小テスト</p> <p>・課題</p> <p>・授業への参加・態度</p>	<p>・50%</p> <p>・20%</p> <p>・20%</p> <p>・10%</p>
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。
- ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。
- ・15分以上の遅刻は欠席とします。
- ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。
- ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。
- ・要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:授業の進め方	対面授業	復習:品詞と英語の意味順を再確認

	導入:品詞の理解、英語の意味順		する(2時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間) p.10を読みPart1出題形式を理解する(1時間)
2回目	銀フレ:単語テスト601-650 人物の動作表現(Part1) 物に関する描写(Part1)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	銀フレ:単語テスト651-700 品詞・代名詞(Part5) 態・分詞(Part5)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	銀フレ:Supplement 3 疑問詞で始まる疑問文(Part2) Yes/No疑問文・選択疑問文(Part2) ステートメント・付加疑問文(Part 2)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	銀フレ:Supplement 4 接続詞・前置詞(Part5) 語彙問題・その他(Part5)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	銀フレ:単語テスト701-750 社内での会話(Part 3)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	銀フレ:単語テスト751-800 説明とお知らせを読む(Part 6)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	銀フレ:単語テスト801-850 スピーチ、電話のメッセージ、お知らせを聞きとる(Part 4)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	銀フレ:単語テスト851-900 広告、伝票を読む(Part 7)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	銀フレ:単語テスト 901-950 記事、E-mailを読む(Part 7)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	銀フレ:単語テスト951-1000 模擬試験 Listening	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テスト

			に備える(1時間)
12回目	銀フレ: Supplement 6 1-50 模擬試験 Reading	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	銀フレ: Supplement 6 51-100 模擬試験解説(リスニングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	銀フレ: 単語テスト501-550 模擬試験解説(リーディングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
15回目	銀フレ: 単語テスト551-600 模擬試験解説(リーディングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	公式TOEIC Listening & Reading 500+ 出る単特急銀のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	

講義科目名称:英語検定Ⅱ(初級)	授業コード:
英文科目名称:English Proficiency Test Ⅱ	ナンバリング:CC201

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>目安として(G1)英検 2 級以上(TOEIC 600以上)レベル、(G2)2 級(TOEIC 400-600)レベル、(G3)準 2 級レベル(TOEIC 400以下)に分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員がTOEIC 600以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分な予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う:</p> <p>1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。</p> <p>2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。</p> <p>3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。</p> <p>4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。</p>	<p>・定期試験</p> <p>・小テスト</p> <p>・課題</p> <p>・授業への参加・態度</p>	<p>・50%</p> <p>・20%</p> <p>・20%</p> <p>・10%</p>
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。
- ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。
- ・15分以上の遅刻は欠席とします。
- ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。
- ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。
- ・要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:授業の進め方 導入:品詞の理解、英語の意味順	対面授業	復習:品詞と英語の意味順を再確認する(2時間)

			予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える (1時間) p.10を読みPart1 出題形式を理解する(1時間)
2回目	金フレ: 単語テスト1-50 人物の動作表現 (Part1) 物に関する描写 (Part1)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	金フレ: 単語テスト51-100 品詞・代名詞 (Part5) 態・分詞 (Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	金フレ: 単語テスト101-150 疑問詞で始まる疑問文 (Part2) Yes/No疑問文・選択疑問文 (Part2) ステートメント・付加疑問文 (Part 2)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	金フレ: 151-200 接続詞・前置詞 (Part5) 語彙問題・その他 (Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	金フレ: 単語テスト201-250 社内での会話 (Part 3)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	金フレ: 単語テスト251-300 説明とお知らせを読む (Part 6)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	金フレ: 単語テスト301-350 スピーチ、電話のメッセージ、お知らせを聞きとる (Part 4)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	金フレ: 単語テスト351-400 広告、伝票を読む (Part 7)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	金フレ: 単語テスト Supplement 1 1-50 記事、E-mailを読む (Part 7)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	金フレ: 単語テスト Supplement 1 51-100 模擬試験 Listening	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)

			トに備える(1時間)
12回目	金フレ: 単語テスト 401-450 模擬試験 Reading	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	金フレ: 単語テスト 451-500 模擬試験解説(リスニングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	金フレ: 単語テスト601-650 模擬試験解説(リーディングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
15回目	金フレ: 単語テスト651-700 模擬試験解説(リーディングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	公式TOEIC Listening & Reading 500+ 出る単特急金のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	

講義科目名称:英語検定Ⅱ(中級)	授業コード:
英文科目名称:English Proficiency Test Ⅱ	ナンバリング:CC201

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
ロザリンド 白石				

授業概要	目安として(G1)英検 2 級以上(TOEIC 600以上)レベル、(G2)2 級(TOEIC 400-600)レベル、(G3)準 2 級レベル(TOEIC 400以下)に分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員がTOEIC 600以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分な予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度	・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。
- ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。
- ・15分以上の遅刻は欠席とします。
- ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。
- ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。
- ・要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:授業の進め方 導入:品詞の理解、英語の意味順	対面授業	復習:品詞と英語の意味順を再確認する(2時間)

			予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間) p.10を読みPart1出題形式を理解する(1時間)
2回目	金フレ: 単語テスト1-50 人物の動作表現 (Part1) 物に関する描写 (Part1)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	金フレ: 単語テスト51-100 品詞・代名詞 (Part5) 態・分詞 (Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	金フレ: 単語テスト101-150 疑問詞で始まる疑問文 (Part2) Yes/No疑問文・選択疑問文 (Part2) ステートメント・付加疑問文 (Part 2)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	金フレ: 151-200 接続詞・前置詞 (Part5) 語彙問題・その他 (Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	金フレ: 単語テスト201-250 社内での会話 (Part 3)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	金フレ: 単語テスト251-300 説明とお知らせを読む (Part 6)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	金フレ: 単語テスト301-350 スピーチ、電話のメッセージ、お知らせを聞きとる (Part 4)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	金フレ: 単語テスト351-400 広告、伝票を読む (Part 7)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	金フレ: 単語テスト Supplement 1 1-50 記事、E-mailを読む (Part 7)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	金フレ: 単語テスト Supplement 1 51-100 模擬試験 Listening	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
12回目	金フレ: 単語テスト 401-450 模擬試験 Reading	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	金フレ: 単語テスト 451-500 模擬試験解説(リスニングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	金フレ: 単語テスト601-650	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを

	模擬試験解説(リーディングパート)		解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
15回目	金フレ: 単語テスト651-700 模擬試験解説(リーディングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 出る単特急金のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	

講義科目名称:英語検定Ⅱ(上級)	授業コード:
英文科目名称:English Proficiency Test Ⅱ	ナンバリング:CC201

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
近藤 直美				

授業概要	目安として(G1)英検 2 級以上(TOEIC 600以上)レベル、(G2)2 級(TOEIC 400-600)レベル、(G3)準 2 級レベル(TOEIC 400以下)に分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員がTOEIC 600以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分な予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度	・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。
- ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。
- ・15分以上の遅刻は欠席とします。
- ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。
- ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。
- ・要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:授業の進め方 導入:品詞の理解、英語の意味順	対面授業	復習:品詞と英語の意味順を再確認する(2時間)

			予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間) p.10を読みPart1出題形式を理解する(1時間)
2回目	金フレ:単語テスト1-50 人物の動作表現(Part1) 物に関する描写(Part1)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	金フレ:単語テスト51-100 品詞・代名詞(Part5) 態・分詞(Part5)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	金フレ:単語テスト101-150 疑問詞で始まる疑問文(Part2) Yes/No疑問文・選択疑問文(Part2) ステートメント・付加疑問文(Part 2)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	金フレ:151-200 接続詞・前置詞(Part5) 語彙問題・その他(Part5)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	金フレ:単語テスト201-250 社内での会話(Part 3)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	金フレ:単語テスト251-300 説明とお知らせを読む(Part 6)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	金フレ:単語テスト301-350 スピーチ、電話のメッセージ、お知らせを聞きとる(Part 4)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	金フレ:単語テスト351-400 広告、伝票を読む(Part 7)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	金フレ:単語テスト Supplement 1 1-50 記事、E-mailを読む(Part 7)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	金フレ:単語テストSupplement 1 51-100 模擬試験 Listening	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
12回目	金フレ:単語テスト401-450 模擬試験 Reading	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	金フレ:単語テスト451-500 模擬試験解説(リスニングパート)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	金フレ:単語テスト601-650	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを

	模擬試験解説(リーディングパート)		解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
15回目	金フレ:単語テスト651-700 模擬試験解説(リーディングパート)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 出る単特急金のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	

講義科目名称:英語検定Ⅲ(初級)	授業コード:
英文科目名称:English Proficiency Test Ⅲ	ナンバリング:CC502

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>目安として(G1)英検 2 級以上(TOEIC 600以上)レベル、(G2)2 級(TOEIC 400-600)レベル、(G3)準 2 級レベル(TOEIC 400以下)に分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員がTOEIC 600以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分な予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う:</p> <p>1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。</p> <p>2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。</p> <p>3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。</p> <p>4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。</p>	<p>・定期試験</p> <p>・小テスト</p> <p>・課題</p> <p>・授業への参加・態度</p>	<p>・50%</p> <p>・20%</p> <p>・20%</p> <p>・10%</p>
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 ・要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:授業の進め方 導入:品詞の理解、英語の意味順	対面授業	復習:品詞と英語の意味順を再確認する(2時間)

			予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間) p.10を読みPart1出題形式を理解する(1時間)
2回目	銀フレ:単語テスト1-50 Day1:人物の動作表現(Part1)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	銀フレ:単語テスト51-100 Day2:物に関する描写(Part1)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	銀フレ:単語テスト101-150 Day3:疑問詞で始まる疑問文(Part2)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	銀フレ:単語テスト151-200 Day4:Yes/No疑問文・選択疑問文(Part2)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	銀フレ:単語テスト201-250 Day5:ステートメント・付加疑問文(Part2)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	銀フレ:単語テスト251-300 Day6:Day1~5の復習	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	銀フレ:単語テスト301-350 Day7:品詞・代名詞(Part5)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	銀フレ:単語テスト351-400 Day8:態・分詞(Part5)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	銀フレ:単語テスト Supplement 1 Day9:接続詞・前置詞(Part5)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	銀フレ:単語テスト Supplement 2 Day10:語彙問題・その他(Part5)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)

12回目	銀フレ:単語テスト401-450 Day11:Day7~10の復習	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	銀フレ:単語テスト451-500 Day12:店・ホテルでの会話(Part3)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	銀フレ:単語テスト501-550 Day13:日常生活における会話(Part3)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
15回目	銀フレ:単語テスト551-600 Day14:オフィスでの会話①	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	TOEIC L&R 書き込みドリル【全パート入門編】 出る単特急銀のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	

講義科目名称:英語検定Ⅲ(上級)	授業コード:
英文科目名称:English Proficiency Test Ⅲ	ナンバリング:CC502

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
ロザリンド 白石				

授業概要	目安として(G1)英検 2 級以上(TOEIC 600以上)レベル、(G2)2 級(TOEIC 400-600)レベル、(G3)準 2 級レベル(TOEIC 400以下)に分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員がTOEIC 600以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分な予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度	・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。
- ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。
- ・15分以上の遅刻は欠席とします。
- ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。
- ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。
- ・要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:授業の進め方 導入:品詞の理解、英語の意味順	対面授業	復習:品詞と英語の意味順を再確認する(2時間)

			予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間) p.10を読みPart1出題形式を理解する(1時間)
2回目	金フレ: 単語テスト1-50 人物の動作表現(Part1) 物に関する描写(Part1)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	金フレ: 単語テスト51-100 品詞・代名詞(Part5) 態・分詞(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	金フレ: 単語テスト101-150 疑問詞で始まる疑問文(Part2) Yes/No疑問文・選択疑問文(Part2) ステートメント・付加疑問文(Part 2)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	金フレ: 151-200 接続詞・前置詞(Part5) 語彙問題・その他(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	金フレ: 単語テスト201-250 社内での会話(Part 3)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	金フレ: 単語テスト251-300 説明とお知らせを読む(Part 6)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	金フレ: 単語テスト301-350 スピーチ、電話のメッセージ、お知らせを聞きとる(Part 4)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	金フレ: 単語テスト351-400 広告、伝票を読む(Part 7)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	金フレ: 単語テスト Supplement 1 1-50 記事、E-mailを読む(Part 7)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	金フレ: 単語テスト Supplement 1 51-100 模擬試験 Listening	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
12回目	金フレ: 単語テスト 401-450 模擬試験 Reading	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	金フレ: 単語テスト 451-500 模擬試験解説(リスニングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	金フレ: 単語テスト601-650	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを

	模擬試験解説(リーディングパート)		解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
15回目	金フレ: 単語テスト651-700 模擬試験解説(リーディングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 出る単特急金のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	

講義科目名称:英語検定Ⅲ(中級)	授業コード:
英文科目名称:English Proficiency Test Ⅲ	ナンバリング:CC502

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
近藤 直美				

授業概要	<p>目安として(G1)英検 2 級以上(TOEIC 600以上)レベル、(G2)2 級(TOEIC 400-600)レベル、(G3)準 2 級レベル(TOEIC 400以下)に分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員がTOEIC 600以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分な予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う:</p> <p>1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。</p> <p>2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。</p> <p>3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。</p> <p>4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。</p>	<p>・定期試験</p> <p>・小テスト</p> <p>・課題</p> <p>・授業への参加・態度</p>	<p>・50%</p> <p>・20%</p> <p>・20%</p> <p>・10%</p>
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。
- ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。
- ・15分以上の遅刻は欠席とします。
- ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。
- ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。
- ・要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:授業の進め方 導入:品詞の理解、英語の意味順	対面授業	復習:品詞と英語の意味順を再確認する(2時間)

			予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間) p.10を読みPart1出題形式を理解する(1時間)
2回目	金フレ:単語テスト1-50 人物の動作表現(Part1) 物に関する描写(Part1)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	金フレ:単語テスト51-100 品詞・代名詞(Part5) 態・分詞(Part5)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	金フレ:単語テスト101-150 疑問詞で始まる疑問文(Part2) Yes/No疑問文・選択疑問文(Part2) ステートメント・付加疑問文(Part 2)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	金フレ:151-200 接続詞・前置詞(Part5) 語彙問題・その他(Part5)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	金フレ:単語テスト201-250 社内での会話(Part 3)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	金フレ:単語テスト251-300 説明とお知らせを読む(Part 6)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	金フレ:単語テスト301-350 スピーチ、電話のメッセージ、お知らせを聞きとる(Part 4)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	金フレ:単語テスト351-400 広告、伝票を読む(Part 7)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	金フレ:単語テスト Supplement 1 1-50 記事、E-mailを読む(Part 7)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	金フレ:単語テスト Supplement 1 51-100 模擬試験 Listening	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
12回目	金フレ:単語テスト 401-450 模擬試験 Reading	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	金フレ:単語テスト 451-500 模擬試験解説(リスニングパート)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	金フレ:単語テスト601-650	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを

	模擬試験解説(リーディングパート)		解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
15回目	金フレ:単語テスト651-700 模擬試験解説(リーディングパート)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 出る単特急金のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	

講義科目名称: 英語ライティング&文法 I (中級)	授業コード:
英文科目名称: English Writing & Grammar I	ナンバリング: CC302

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	本授業では高校まで学んだ基礎英文法を再学習しながら、その知識を実際に話したり、書いたりする場面で「使える」ようにステップアップすることを目標とする。自らが文法のルールに気づき、理解するためにタスク活動も多く取り入れる。かなりのスピードを必要とするので、十分な予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度	・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: 授業の進め方 導入: 品詞の理解	対面授業	復習: 品詞と英語の意味順を再確認する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テス

			トに備える(1時間)
2回目	銀フレ: 単語テスト1-50 英語の語順①	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	銀フレ: 単語テスト51-100 形容詞と副詞	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	銀フレ: 単語テスト101-150 英語の語順②	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	銀フレ: 単語テスト151-200 主語と動詞	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	銀フレ: 単語テスト201-250 名詞と代名詞	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	銀フレ: 単語テスト251-300 否定文と疑問文	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	銀フレ: 単語テスト301-350 過去形	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	銀フレ: 単語テスト351-400 冠詞と名詞	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	銀フレ: 単語テストSupplement1 進行形	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	銀フレ: 単語テストSupplement2 未来の表現	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
12回目	銀フレ: 単語テスト401-450 助動詞	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間)

			間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	銀フレ: 単語テスト451-500 疑問詞を使った疑問文	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	銀フレ: 単語テスト501-550 前置詞と名詞	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
15回目	銀フレ: 単語テスト551-600 復習	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	Mr. Evineの中学英文法を修了するドリル 出る単特急銀のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	

講義科目名称：英語ライティング&文法I	授業コード：
英文科目名称：English Writing & Grammar I（上級）	ナンバリング：CC302

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
ロザリンド 白石				

授業概要	本授業では高校まで学んだ基礎英文法を再学習しながら、その知識を実際に話したり、書いたりする場面で「使える」ようにステップアップすることを目標とする。自らが文法のルールに気づき、理解するためにタスク活動も多く取り入れる。かなりのスピードを必要とするので、十分な予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う： 1.Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar：苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading：英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening：正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度	・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・ 本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・ 15分以上の遅刻は欠席とします。 ・ 授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・ 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 ・ 要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: 授業の進め方 導入: 品詞の理解、英語の意味順	対面授業	復習: 品詞と英語の意味順を再確認する(2時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)、p.10を読みPart1出題形式を理解する(1時間)
2回目	銀フレ: 単語テスト1-50 動詞について学ぶ① be動詞、一般動詞、3人称単数	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	銀フレ: 単語テスト51-100 動詞について学ぶ② 過去形、進行形	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	銀フレ: 単語テスト101-150 現在完了①	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	銀フレ: 単語テスト151-200 現在完了②	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	銀フレ: 単語テスト201-250 助動詞	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	銀フレ: 単語テスト251-300 疑問詞	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	銀フレ: 単語テスト301-350 間接疑問文	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	銀フレ: 単語テスト351-400 感嘆文、付加疑問文	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	銀フレ: 単語テストSupplement1 文の構造	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	銀フレ: 単語テストSupplement2 不定詞	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
12回目	銀フレ: 単語テスト401-450 不定詞、動名詞	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	銀フレ: 単語テスト451-500 分詞	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに

			備える(1時間)
14回目	銀フレ: 単語テスト501-550 比較①	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
15回目	銀フレ: 単語テスト551-600 比較②	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	高校基礎英文法パターンドリル 出る単特急銀のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	

講義科目名称:英語ライティング&文法 I (初級)	授業コード:
英文科目名称:English Writing & Grammar I	ナンバリング:CC302

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
近藤 直美				

授業概要	本授業では高校まで学んだ基礎英文法を再学習しながら、その知識を実際に話したり、書いたりする場で「使える」ようにステップアップすることを目標とする。自らが文法のルールに気づき、理解するためにタスク活動も多く取り入れる。かなりのスピードを必要とするので、十分な予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度	・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:授業の進め方 導入:品詞の理解	対面授業	復習:品詞と英語の意味順を再確認する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テスト

			に備える(1時間)
2回目	銀フレ:単語テスト1-50 be動詞①	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	銀フレ:単語テスト51-100 一般動詞①	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	銀フレ:単語テスト101-150 一般動詞②	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	銀フレ:単語テスト151-200 be動詞②	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	銀フレ:単語テスト201-250 一般動詞③	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	銀フレ:単語テスト251-300 現在進行形	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	銀フレ:単語テスト301-350 過去進行形	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	銀フレ:単語テスト351-400 未来の表現	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	銀フレ:単語テストSupplement1 助動詞①	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	銀フレ:単語テストSupplement2 助動詞②	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
12回目	銀フレ:単語テスト401-450 助動詞③	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時

			間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	銀フレ:単語テスト451-500 疑問詞を使った疑問文①	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	銀フレ:単語テスト501-550 疑問詞を使った疑問文②	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
15回目	銀フレ:単語テスト551-600 復習	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	英文法パターンドリル 中学全範囲 出る単特急銀のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	

講義科目名称:英語ライティング&グラマーⅡ(初級)	授業コード:
英文科目名称:English Writing & Grammar Ⅱ	ナンバリング:CC702

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7・8Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	本授業では高校まで学んだ基礎英文法を再学習しながら、その知識を実際に話したり、書いたりする場面で「使える」ようにステップアップすることを目標とする。自らが文法のルールに気づき、理解するためにタスク活動も多く取り入れる。かなりのスピードを必要とするので、十分な予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度	・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:授業の進め方 不定詞① 名詞的用法、副詞的用法	対面授業	復習:品詞と英語の意味順を再確認する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テスト

			に備える(1時間)
2回目	不定詞② 形容詞的用法	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	動名詞	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	接続詞① 等位接続詞	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	接続詞② if, because	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	接続詞③ when, before, after	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	接続詞 that	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	前置詞①	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	前置詞②	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	形容詞	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	副詞	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
12回目	比較① 原級	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	比較② 比較級	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	比較③ 最上級	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)

15回目	比較級・最上級の慣用表現	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	英文法パターンドリル 中学全範囲
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	

講義科目名称:英語ライティング&グラマーⅡ(初級)	授業コード:
英文科目名称:English Writing & Grammar Ⅱ	ナンバリング:CC702

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7・8Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
近藤 直美				

授業概要	本授業では高校まで学んだ基礎英文法を再学習しながら、その知識を実際に話したり、書いたりする場面で「使える」ようにステップアップすることを目標とする。自らが文法のルールに気づき、理解するためにタスク活動も多く取り入れる。かなりのスピードを必要とするので、十分な予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に 行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度	・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:授業の進め方 比較① 原級、比較級	対面授業	復習:品詞と英語の意味順を再確認する(3時間) 予習指定した単語を学習し、小テストに

			備える(1時間)
2回目	比較② 最上級	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テスト に備える(1時間)
3回目	関係代名詞①	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テスト に備える(1時間)
4回目	関係代名詞②	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テスト に備える(1時間)
5回目	関係代名詞③	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テスト に備える(1時間)
6回目	関係副詞	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テスト に備える(1時間)
7回目	受動態	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テスト に備える(1時間)
8回目	接続詞①	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テスト に備える(1時間)
9回目	接続詞②	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テスト に備える(1時間)
10回目	so~that S+V と too~to 不定詞	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テスト に備える(1時間)
11回目	so~that S+V と enough to 不定詞	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テスト に備える(1時間)
12回目	仮定法過去	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テスト に備える(1時間)
13回目	仮定法過去完了	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テスト に備える(1時間)
14回目	I wish (仮定法過去・仮定法過去完了)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テスト に備える(1時間)

15回目	確認テストを使用した復習	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	高校基礎英文法パターンドリル
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	

講義科目名称:英語ライティング&グラマーⅡ(中級)	授業コード:
英文科目名称:English Writing & Grammar Ⅱ	ナンバリング:CC702

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7・8Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
ロザリンド 白石				

授業概要	本授業では高校まで学んだ基礎英文法を再学習しながら、その知識を実際に話したり、書いたりする場面で「使える」ようにステップアップすることを目標とする。自らが文法のルールに気づき、理解するためにタスク活動も多く取り入れる。かなりのスピードを必要とするので、十分な予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度	・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:授業の進め方 不定詞① 名詞的用法、副詞的用法	対面授業	復習:品詞と英語の意味順を再確認する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テスト

			に備える(1時間)
2回目	不定詞② 形容詞的用法	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	動名詞	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	接続詞① 等位接続詞	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	接続詞② if, because	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	接続詞③ when, before, after	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	接続詞 that	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	前置詞①	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	前置詞②	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	形容詞	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	副詞	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
12回目	比較① 原級	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	比較② 比較級	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	比較③ 最上級	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)

15回目	比較級・最上級の慣用表現	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	英文法パターンドリル 中学全範囲
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	

講義科目名称:英語演習 I	授業コード:
英文科目名称:General English I	ナンバリング:CC602

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5・6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>卒業後、仕事又は個人で海外に渡航する場合、自ら英語のサイトを調べ、観光地の情報やホテル、レストランの情報を得る必要があります。</p> <p>この授業では、英語をリアルに使う実践的な授業として、観光情報検索サイトトリップアドバイザー(https://www.tripadvisor.ca)を検索し、必要とする情報を得る力をつけます。英語の専門用語を理解し、又、口コミ等も英語で読むことで、生の英語の表現等も学びます。</p> <p>この作業を通して、総合的に英語力を高めます。音読等も多く取り入れ、正しく英語を発音する基礎もつくります。</p> <p>授業のお知らせ、課題の配信・提出、フィードバック等は、Google Classroomを使用します。事情によっては、遠隔授業となる可能性もあります。その際は、Googlemeetを使用し、ライブ授業を実施します。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>英語学習への動機付け:英語を学ぶことのメリットをイメージでき、継続して自ら学びたいと思う気持ちを持つようにする。</p> <p>読解:単語・フレーズを覚え、正しく英文を読解できるようにする。</p> <p>音読:正確に英語を読めるようにする。</p> <p>専門用語、日常の英語表現を理解できる。</p>	<p>・毎回の課題</p> <p>・最終課題</p> <p>・授業への参加・態度</p>	<p>30%</p> <p>50%</p> <p>10%</p>
異文化知識・対応能力	英語で書かれた口コミ情報などを理解し、文化背景の異なる人たちの考え方、表現の仕方を理解できる。	・毎回の課題	10%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、毎回の課題40%、最終課題50%、授業への参加・態度10%の割合で総合評価する。
- ・毎回の課題においては、発音チェックのための音読練習・スマホ録音等も含む。
- ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

(授業の進め方)

1. <https://www.tripadvisor.ca> にアクセスする。

2. 次の①～④までのリンクを自分のドキュメントに貼る。
 - a. ①旅行してみたい場所(国など): Location
 - b. ②泊まりたい宿泊場所: Hotels or Vacation Rentals
* 適当に日付、滞在期間1週間程度と人数を選択してください。
 - c. ③行きたいレストラン: Restaurants
 - d. ④現地でやりたいこと: Things to do or Tours and Tickets
3. ①のLocationの説明をコピーして、自分のドキュメントに貼り、日本語に訳してください。又は、知らない単語の意味を書き出してください。
4. ①ができれば、②、③、④の説明ができるように、知らない単語を調べてください。
5. 時間になったら、他のクラスのメンバーに紹介してもらいます。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<p>イントロダクション: 授業の進め方 ・授業の内容と進め方の説明</p> <p>①トリップアドバイザーのサイトから自分の旅行したい場所(国や地域)、ホテル、レストラン、口コミを選択する。</p> <p>②指定したgoogledocumentを教員と共有し、コメント等をおこないながら、個人のペースで授業をすすめる。</p> <p>③他のクラスメンバーに対して、自分の選び調べたものについてプレゼンを行う。</p> <p>1) 単語・フレーズ、文法の理解 2) 英文読解 & 内容理解 3) 発音練習</p>	対面授業	<p>予習: シラバスを確認し、トリップアドバイザーがどのようなサイトであるか確認しておく。(2時間)</p> <p>復習: 自分が選択した項目を読み、内容を理解する。知らない単語やフレーズは、辞書を調べ、指定するgoogle documentに記入する。(2時間)</p>
2回目 ～ 11回目	<p>①トリップアドバイザーのサイトから自分の旅行したい場所(国や地域)、ホテル、レストラン、口コミを選択する。</p> <p>②指定したgoogledocumentを教員と共有し、コメント等をおこないながら、個人のペースで授業をすすめる。</p> <p>③他のクラスメンバーに対して、自分の選び調べたものについてプレゼンを行う。</p> <p>1) 単語・フレーズ、文法の理解 2) 英文読解 & 内容理解 3) 発音練習</p>	対面授業	<p>予習: プレゼンできる状態まで、各自のgoogle documentに情報を記入する。プレゼンの練習を行う。(毎回2時間)</p> <p>復習: 自分が選択した項目を読み、内容を理解する。知らない単語やフレーズは、辞書を調べ、指定するgoogle documentに記入する。(毎回2時間)</p>
12回目	<p>Lesson 12 Needed vs Not Needed: Affirmative action (アファーマティブアクション: 差別と是正)</p> <p>1) リスニング 2) 英文読解 & 内容理解 3) ディクテーション 4) 単語 & 文法</p>		<p>予習: プレゼンできる状態まで、各自のgoogle documentに情報を記入する。プレゼンの練習を行う。(2時間)</p> <p>復習: 自分が選択した項目を読み、内容を理解する。知らない単語やフレーズは、辞書を調べ、指定するgoogle documentに記入する。(2時間)</p>
13回目 ～ 15回目	<p>①トリップアドバイザーのサイトから自分の旅行したい場所(国や地域)、ホテル、レストラン、口コミを選択する。</p> <p>②指定したgoogledocumentを教員と共有し、コメント等をおこないながら、個人のペースで授業をすすめる。</p>	対面授業	<p>予習: プレゼンできる状態まで、各自のgoogle documentに情報を記入する。プレゼンの練習を行う。(毎回2時間)</p> <p>復習: 自分が選択した項目を読み、内容を理解する。知らない単語</p>

	③他のクラスメンバーに対して、自分の選び調べたものについてプレゼンを行う。 1) 単語・フレーズ、文法の理解 2) 英文読解 & 内容理解 3) 発音練習		語やフレーズは、辞書を調べ、指定するgoogle documentに記入する。(毎回2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特に教科書はなし。 * オンラインサイトのトリップアドバイザー(https://www.tripadvisor.ca)を使用する。 * アルクオンライン辞書「英辞郎」も使用する。
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	授業前に、知らない単語やフレーズを調べる予習を必ず行うこと。また、授業後は、学んだ内容の復習をすること。

講義科目名称:英語演習 I	授業コード:
英文科目名称:General English I	ナンバリング:CC602

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5・6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
近藤 直美				

授業概要	TOEICの受験に必要な英語力を身につけ、TOEICの試験形式や問題解決技術を理解していく。また、ビジネスシーンに必要な英語表現やコミュニケーション能力を向上させることを目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度	・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。
- ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。
- ・15分以上の遅刻は欠席とします。
- ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。
- ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。
- ・要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:授業の進め方 導入:品詞の理解、英語の意味順	対面授業	復習:品詞と英語の意味順を再確認する(2時間) 予習指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)、p.10を読みPart1出

			題形式を理解する(1時間)
2回目	金フレ: 単語テスト1-50 人物の動作表現(Part1) 物に関する描写(Part1)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	金フレ: 単語テスト51-100 品詞・代名詞(Part5) 態・分詞(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	金フレ: 単語テスト101-150 疑問詞で始まる疑問文(Part2) Yes/No疑問文・選択疑問文(Part2) ステートメント・付加疑問文(Part 2)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	金フレ: 151-200 接続詞・前置詞(Part5) 語彙問題・その他(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	金フレ: 単語テスト201-250 社内での会話 (Part 3)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	金フレ: 単語テスト251-300 説明とお知らせを読む (Part 6)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	金フレ: 単語テスト301-350 スピーチ、電話のメッセージ、お知らせを聞きとる(Part 4)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	金フレ: 単語テスト351-400 広告、伝票を読む (Part 7)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	金フレ: 単語テスト Supplement 1 1-50 記事、E-mailを読む (Part 7)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	金フレ: 単語テストSupplement 1 51-100 模擬試験 Listening	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
12回目	金フレ: 単語テスト 401-450 模擬試験 Reading	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	金フレ: 単語テスト 451-500 模擬試験解説(リスニングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	金フレ: 単語テスト601-650 模擬試験解説(リーディングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)

15回目	金フレ: 単語テスト651-700 模擬試験解説(リーディングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テスト に備える(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 出る単特急金のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	

講義科目名称:英語演習Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:General EnglishⅡ	ナンバリング:CC802

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7・8Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>日本や日本特有の文化に関する興味深いテーマを扱ったNHKのOn Demand映像 <u>Magical Japanese</u>を英語で視聴し、サブタイトルで英語の意味を確認しながら、内容を理解し、総合的な英語力を高めます。</p> <p>身近な話題を英語で理解することで、リスニング力を高め、英語検定試験やTOEICのリスニングや読解対策にもなります。</p> <p>よりリアルな英語に触れることにより、英語圏の人たちと会話をする場合の話題ともなり、コミュニケーション力を高めることができます。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	1) 英語学習への動機付け: 英語を学ぶことのメリットをイメージでき、継続して自ら学びたいと思う気持ちを持てるようにする。 2) 読解: 単語・フレーズを覚え、正しく英文を読解できるようにする。 3) 音読: 正確に英語を読めるようにする。 4) 専門用語、日常の英語表現を理解できる。	・毎回の課題 ・最終課題 ・授業への参加・態度	30% 50% 10%
異文化知識・対応能力	英語で解説した映像を通して、英語で日本文化を深く理解できる。	・毎回の課題	10%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、毎回の課題40%、最終課題50%、授業への参加・態度10%の割合で総合評価する。 ・毎回の課題においては、発音チェックのための音読練習・スマホ録音等も含む。 ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 <p>(授業の方法)</p> <p>Magical Japanese https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/ondemand/program/video/magicaljapanese/?type=tvEpisode& を字幕付きで視聴する。</p> <p>① 毎回選んだタイトルを音声と同時に英語字幕を確認しながら、知らない単語やフレーズを辞書で調べ、指定したgoogledocumentに記入する。</p>	

- ②教員もgoogldocumentをシェアしながら、解説の必要となる文法項目などについてコメントを加える。
- ③ビデオの一通りのサブタイトルの確認が終了後、字幕に合わせて、サイトトランスレーションを行い、全員で内容の確認をおこなう。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<p>イントロダクション: 授業の進め方 ・授業の内容と進め方の説明</p> <p>①Magical Japaneseの映像を視聴する。</p> <p>②指定したgoogledocumentを教員と共有し、コメント等をおこないながら、個人のペースで授業をすすめる。</p> <p>③②の作業が終わったら、全員で分担し、映像とサブタイトルを視聴しながら、サイトトランスレーションを行う。</p> <p>1) 単語・フレーズ、文法の理解 2) 英文読解 & 内容理解 3) 発音練習</p>	対面授業	<p>予習: シラバスを確認し、Magical Japaneseがどのようなサイトであるか確認しておく。(2時間)</p> <p>復習: 自分が選択した項目を読み、内容を理解する。知らない単語やフレーズは、辞書を調べ、指定するgoogle documentに記入する。(2時間)</p>
2回目 ～ 15回目	<p>①Magical Japaneseの映像を視聴する。</p> <p>②指定したgoogledocumentを教員と共有し、コメント等をおこないながら、個人のペースで授業をすすめる。</p> <p>③②の作業が終わったら、全員で分担し、映像とサブタイトルを視聴しながら、サイトトランスレーションを行う。</p> <p>1) 単語・フレーズ、文法の理解 2) 英文読解 & 内容理解 3) 発音練習</p>	対面授業	<p>予習: サイトトランスレーションができる状態まで、各自のgoogle documentに情報を記入する。サイトトランスレーションの練習を行う。(毎回2時間)</p> <p>復習: 次に選択したタイトルを視聴し、内容を理解する。知らない単語やフレーズは、辞書を調べ、指定するgoogle documentに記入する。(毎回2時間)</p>
16回目	定期試験		最終課題は、授業中に指示 授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	<p>特に教科書はなし。</p> <p>* オンラインサイトのMagical Japanese https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/ondemand/program/video/magicaljapanese/?type=tvEpisode&を使用する。</p> <p>* アルクオンライン辞書「英辞郎」</p>
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	授業前に、知らない単語やフレーズを調べる予習を必ず行うこと。また、授業後は、学んだレッスンの復習をすること。

講義科目名称:英語演習Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:General EnglishⅡ	ナンバリング:CC802

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7・8Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
近藤 直美				

授業概要	TOEICの受験に必要な英語力を身につけ、TOEICの試験形式や問題解決技術を理解していく。また、ビジネスシーンに必要な英語表現やコミュニケーション能力を向上させることを目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度	・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 ・要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:授業の進め方 導入:品詞の理解、英語の意味順	対面授業	復習:品詞と英語の意味順を再確認する(2時間) 予習指定した単語を学習し、小テストに

			備える(1時間)、p.10を読みPart1出題形式を理解する(1時間)
2回目	金フレ:単語テスト1-50 人物の動作表現(Part1) 物に関する描写(Part1)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	金フレ:単語テスト51-100 品詞・代名詞(Part5) 態・分詞(Part5)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	金フレ:単語テスト101-150 疑問詞で始まる疑問文(Part2) Yes/No疑問文・選択疑問文(Part2) ステートメント・付加疑問文(Part 2)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	金フレ:151-200 接続詞・前置詞(Part5) 語彙問題・その他(Part5)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	金フレ:単語テスト201-250 社内での会話(Part 3)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	金フレ:単語テスト251-300 説明とお知らせを読む(Part 6)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	金フレ:単語テスト301-350 スピーチ、電話のメッセージ、お知らせを聞きとる(Part 4)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	金フレ:単語テスト351-400 広告、伝票を読む(Part 7)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	金フレ:単語テスト Supplement 1 1-50 記事、E-mailを読む(Part 7)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	金フレ:単語テスト Supplement 1 51-100 模擬試験 Listening	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
12回目	金フレ:単語テスト 401-450 模擬試験 Reading	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	金フレ:単語テスト 451-500 模擬試験解説(リスニングパート)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	金フレ:単語テスト601-650 模擬試験解説(リーディングパート)	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テスト

			に備える(1時間)
15回目	金フレ: 単語テスト651-700 模擬試験解説(リーディングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 出る単特急金のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	

講義科目名称: 中国語基礎 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC104

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(1stQ&2stQ)	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
松浦百恵				

授業概要	<p>本授業では、中国語を初めて学習する学生が、中国語の発音と基礎的文法事項を学ぶ。発音については、母音と子音の音の出し方や声調(四声)を繰り返し練習し、同時に中国語の発音表記法の「ピンイン」を学習する。ピンインは、学習者が中国語を音読する上で必要なものなので初級の段階でしっかり覚えてほしい。また、正確に発音できるよう反復練習を行う。さらに、中国語の漢字表記法である「簡体字」も学習する。毎回小テストを行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	1.中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSK1級の読解問題に合格(正答率6割)できる。	・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験	・10% ・20% ・10% ・60%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
1.課題提出を必ず行ってください。 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業内容について説明 導入:これから学ぶ中国語について	面接授業	予習:単母音・子音。(1時間)
2回目	発音(1) 単母音、声調、ピンイン 発音(2) 子音	面接授業	予習:複母音・鼻母音。(1.5時間) 復習:単母音・子音声調聞き取りと配布した読解問題。(2.5時間)
3回目	発音(3) 複母音 発音(4) 鼻母音	面接授業	予習:軽声、声調変化(1.5時間) 復習:複母音・鼻母音の聞き取りと配布

			した読解問題。(2.5時間)
4回目	発音(5) 軽声、声調変化 発音(6) 発音のまとめ	面接授業	予習:第1課の単語・文法(1.5時間) 復習:ピンイン・声調と練習問題。(2.5時間)
5回目	(第1課) どうぞよろしく 1.第1課の単語を学ぶ 2.第1課の文法を学ぶ 3.発音練習&日本語訳 4.練習問題	面接授業	予習:第2課の単語・文法(1.5時間) 復習:人称代名詞、動詞“是”、否定詞“不”、疑問詞“吗”と練習問題。(2.5時間)
6回目	(第2課) 到着ロビーで 1.第2課の単語を学ぶ 2.第2課の文法を学ぶ 3.発音練習&日本語訳 4.練習問題	面接授業	予習:第3課の単語・文法(1.5時間) 復習:指示代名詞、形容詞述語文、“的”、主述述語文と練習問題。(2.5時間)
7回目	(第3課) 明日のスケジュール 1.第3課の単語を学ぶ 2.第3課の文法を学ぶ 3.発音練習&日本語訳 4.練習問題	面接授業	予習:第4課の単語・文法(1.5時間) 復習:場所代名詞、動詞述語文、副詞“都”“也”、疑問詞疑問文と練習問題。(2.5時間)
8回目	復習と応用問題(1)	面接授業	復習:第1課～第3課(4時間) ・会話の復習と応用練習 ・文法ポイントの復習と 日中作文の小テスト
9回目	(第4課) 喫茶店で 1.第4課の単語を学ぶ 2.第4課の文法を学ぶ 3.発音練習&日本語訳 4.練習問題	面接授業	予習:第5課の単語・文法(1.5時間) 復習:助動詞“想”、動詞“喜欢”、動詞の重ね型、選択疑問文と練習問題。(2.5時間)
10回目	(第5課) コンビニで買い物 1.第5課の単語を学ぶ 2.第5課の文法を学ぶ 3.発音練習&日本語訳 4.練習問題	面接授業	予習:第6課の単語・文法(1.5時間) 復習:数詞、量詞の使い方、“是”の省略、人民元の教え方と練習問題。(2.5時間)
11回目	(第6課) 電子辞書がほしい 1.第6課の単語を学ぶ 2.第6課の文法を学ぶ 3.発音練習&日本語訳 4.練習問題	面接授業	予習:第7課の単語・文法(1.5時間) 復習:動詞“有”、反復疑問文、動詞“在”、方位詞と練習問題。(2.5時間)
12回目	(第7課) 京劇を見る 1.第7課の単語を学ぶ 2.第7課の文法を学ぶ 3.発音練習&日本語訳 4.練習問題	面接授業	予習:第8課の単語・文法(1.5時間) 復習:完了の“了”、連動文、前置詞“离”と練習問題。(2.5時間)
13回目	(第8課) ファーストフード店で昼食 1.第8課の単語を学ぶ 2.第8課の文法を学ぶ 3.発音練習&日本語訳 4.練習問題	面接授業	予習:第9課の単語・文法(1.5時間) 復習:変化の“了”、動詞“有”(存在)、前置詞“在”と練習問題。(2.5時間)
14回目	(第9課) カラオケ店で 1.第9課の単語を学ぶ 2.第9課の文法を学ぶ 3.発音練習&日本語訳 4.練習問題	面接授業	予習:第10課の単語・文法(1.5時間) 復習:助動詞“可以”・“会”・“能”、直接話法と間接話法、前置詞“给”と練習問題。(2.5時間)

15回目	(第10課) 万里の長城に登る 1.第10課の単語を学ぶ 2.第10課の文法を学ぶ 3.発音練習 & 日本語訳 4.練習問題 復習と応用問題(2)	面接授業	復習:第1課～第10課 時間の言い方、経験を表す“过”、動作の回数、方向補語)の単語・文法と練習問題。(7時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	《1冊目の中国語会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子 白水社
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	1年間で最低 HSK3 級、できれば HSK4 級の合格を目指して頑張りましょう！ また、HSKKの初級、中級にも挑戦しましょう！

講義科目名称: 中国語基礎Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC105

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期 (1stQ&2stQ)	1	2	選択	講義
担当教員				
松浦百恵				

授業概要	本授業では、中国語の基礎的な聞き取る力を身に付け、非常に簡単な単語とフレーズを理解および使用し、具体的なコミュニケーションが行えるようにする。HSK1級における文や単語を正確に聞き取り、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	1.中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。3.HSK1級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。	・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験	・10% ・20% ・10% ・60%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<p>1.課題提出を必ず行ってください。</p> <p>2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。</p> <p>3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。</p> <p>4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	1.HSK1級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
2回目	1.HSK1級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
3回目	1.HSK1級の単語を学ぶ	面接授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。

	2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト		(1.5 時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
4回目	1.HSK1 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
5回目	1.HSK1 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
6回目	1.HSK1 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
7回目	1.HSK1 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
8回目	1.HSK1 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
9回目	1.HSK1 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
10回目	1.HSK1 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
11回目	1.HSK1 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
12回目	1.HSK1 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
13回目	1.HSK1 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
14回目	1.HSK1 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
15回目	1.HSK1 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。(4 時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	1年間で最低HSK3級、できればHSK4級の合格を目指して頑張りましょう！また、HSKKの初級、中級にも挑戦しましょう！

講義科目名称: 中国語基礎Ⅲ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC106

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1	2	選択	講義
担当教員				
松浦百恵				

授業概要	<p>本授業では、中国語検定 I の学習を踏まえ、更に中国語の基礎的な聞き取る力と読解力を身に付け、身近な日常生活の話題について簡単で直接的な交流ができるようにする。授業では、第1回から第 6 回までは HSK2級の聞き取りを中心に行い、第7回から第 15回からは読解を中心に行う。そして、HSK2級における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。さらに、中国の地理、歴史、文化・芸術・風俗習慣などを学んでいく、「中国通」になることを到達目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	1.中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSK1・2級の聞き取り問題に合格 (正答率 6割)できる。 4.HSK1・2級の読解問題に合格 (正答率 6割)できる。 5.中国百科検定の問題に合格できる。	・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 ・百科問題理解度	・10% ・20% ・10% ・50% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- 1.課題提出を必ず行ってください。
- 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。
- 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。遅刻3回を欠席1回でカウントします。早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。
- 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	1.HSK2 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)

2回目	1.HSK2 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
3回目	1.HSK2 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
4回目	1.HSK2 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
5回目	1.HSK2 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
6回目	1.HSK2 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課～第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
7回目	1.読解の問題を解く 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題を解く	面接授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
8回目	1.HSK2 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
9回目	1.HSK2 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
10回目	1.HSK2 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
11回目	1.HSK2 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
12回目	1.HSK2 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
13回目	1.HSK2 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
14回目	1.HSK2 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)

15回目	1.HSK2 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。(4 時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	1年間で最低HSK3級、できればHSK4級の合格を目指して頑張りましょう！また、HSKKの初級、中級にも挑戦しましょう！

講義科目名称: 中国語会話 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC303

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	1単位	選択	演習
担当教員				
松浦 百恵				

授業概要	<p>本授業では、中国語の初級程度の聞き取る力を身に付け、中国語を用いて、生活、学習、仕事等で基本的なコミュニケーションができ、中国で旅行をする時にも大多数の場合において対応できるようにする。授業では、主にHSK3級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。</p> <p>また、日常的话题について流暢にコミュニケーションが行なえるようになるため、HSKK「汉语水平口语考试 Hànyǔ shuǐpíng kǒuyǔ kǎoshì」の初級・中級に挑戦する。なお、毎回グループ発表を行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	1.中国語の四声と轻声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSK3級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 4.HSKK初級の問題に対応できる	・発音練習 ・課題提出 ・定期試験 ・グループ発表	・10% ・10% ・60% ・20%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
1.課題提出を必ず行ってください。 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)

2回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
3回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
4回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
5回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
6回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
7回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
8回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
9回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
10回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
11回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
12回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
13回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
14回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
15回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ	面接授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。これま

	2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表		での授業の復習。(4時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	1年間で最低HSK3級、できればHSK4 級の合格を目指して頑張りましょう!また、HSKKの初級、中級にも挑戦しましょう!

講義科目名称: 中国語会話Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC704

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
松浦 百恵				

授業概要	<p>本授業では、中国語の中級程度の聞き取る力を身に付け、中国のテレビや映画を観賞し、大体的な内容が理解できるようにする。授業では、主にHSK5級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。</p> <p>また、自分の考えを中国語で表現できるようになり、中国語で中国語を母国語とする者と流暢にコミュニケーションがとれるようになるため、HSKK「汉语水平口语考试 Hànyǔ shuǐpíng kǒuyǔ kǎoshì」の中級・高級に挑戦する。なお、グループ発表等も行なう。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	1.中国語の四声と轻声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSK4・5級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 4.HSKK中級・高級の問題をリスニングし・正確に復唱や回答ができるようになる。	・発音練習 ・課題提出 ・定期試験 ・グループ発表	・10% ・10% ・50% ・30%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
1.課題提出を必ず行ってください。 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	面接授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)

2回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	面接授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
3回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	面接授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
4回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
5回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	面接授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
6回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	面接授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
7回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
8回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	面接授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
9回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	面接授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
10回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
11回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	面接授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
12回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	面接授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
13回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
14回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	面接授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
15回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ	面接授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。こ

	2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞		れまでの授業の復習。(4時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう！また、HSKKの初級、中級、高級にも挑戦しましょう！

講義科目名称: 中国語検定 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC504

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
松浦 百恵				

授業概要	本授業では、中国語の中級程度の作文力を身に付ける。これにより、幅広い範囲にわたる話題について、中国語の母語話者と比較的スムーズに交流できるようにする。授業では、主にHSK4級の作文問題における問題についての確に解答し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	1.中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSK4級の作文問題に合格(正答率6割)できる。	・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 ・百科問題理解度	・10% ・20% ・10% ・50% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<p>1.課題提出を必ず行ってください。</p> <p>2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。</p> <p>3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。</p> <p>4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
2回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)

3回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
4回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
5回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
6回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
7回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
8回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
9回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
10回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
11回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
12回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
13回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
14回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
15回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。(4時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう！また、HSKKの初級、中級、高級にも挑戦しましょう！

講義科目名称: 中国語検定Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC505

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
松浦 百恵				

授業概要	本授業では、中国語の中級程度の聞き取る力を身に付け、幅広い範囲にわたる話題について、中国語の母語話者と比較的流暢に話せるようにする。授業では、HSK4級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	1.中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSK4・5級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。	・発音練習 ・課題提出 ・定期試験 ・グループ発表	・10% ・10% ・50% ・30%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<p>1.課題提出を必ず行ってください。</p> <p>2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。</p> <p>3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。</p> <p>4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	1.HSK4級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
2回目	1.HSK4級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習	面接授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布

	4.小テスト		した読解問題。(2.5時間)
3回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
4回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
5回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
6回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
7回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
8回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
9回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
10回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
11回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
12回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
13回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
14回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
15回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	面接授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。(4時間)

16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間
------	------	--	--------------

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう！また、HSKKの初級、中級、高級にも挑戦しましょう！

講義科目名称: 中国語検定Ⅲ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC506

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
松浦 百恵				

授業概要	本授業では、中国語の中級程度の読解力を身に付け、中国語の幅広い範囲にわたる話題の文章を理解できるようにする。授業では、主にHSK4級の読解問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。さらに、中国の地理、歴史、文化・芸術・風俗習慣などを学んでいく、「中国通」になることを到達目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	1.中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSK4級の読解問題に合格(正答率6割)できる。 4.中国百科検定の問題に合格できる。	・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 ・百科問題理解度	・10% ・20% ・10% ・50% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
<p>1.課題提出を必ず行ってください。</p> <p>2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。</p> <p>3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。</p> <p>4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
2回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配

	4.中国百科練習問題		布した読解問題。(2.5 時間)
3回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
4回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
5回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
6回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
7回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
8回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
9回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
10回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
11回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
12回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
13回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
14回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
15回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。(4時間)

16回目	定期試験	授業外学修時間 60時間
------	------	--------------

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう！また、HSKKの初級、中級、高級にも挑戦しましょう！

講義科目名称: 中国語ライティング&文法 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC304

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(3Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
松浦 百恵				

授業概要	<p>本授業では、中国語の発音の基礎を固め、同時に、初級程度の読解力を身に付ける。これにより、中国語を用いて、生活、学習、仕事等で基本的なコミュニケーションができ、中国で旅行をする時にも大多数の場合において対応できるようにする。授業では、第1回から第11回まではピンインの復習を行う。第12回からは HSK3 級の読解問題を解き、HSK3級における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回 小テストを行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	1.中国語の四声と軽声の発音方法を 理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSK3級の読解問題に合格(正答率6割)できる。	・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験	・10% ・20% ・10% ・60%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
1.課題提出を必ず行ってください。 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	1.母音と子音の組み合わせについて復習。 2.簡単な日常表現を学ぶ。 3.“有点儿”、“是～的”を学ぶ 4.小テスト	面接授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
2回目	1.母音と子音の組み合わせについて復習。 2.簡単な日常表現を学ぶ。 3.比較の表現を学ぶ	面接授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音

	4.小テスト		読と配布した読解問題。(2.5 時間)
3回目	1.母音と子音の組み合わせについて復習。 2.簡単な日常表現を学ぶ。 3.“把”構文、“从～到...”を学ぶ 4.小テスト	面接授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
4回目	1.母音と子音の組み合わせについて復習。 2.簡単な日常表現を学ぶ。 3.結果補語、二重目的語を学ぶ 4.小テスト	面接授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
5回目	1.母音と子音の組み合わせについて復習。 2.簡単な日常表現を学ぶ。 3.疑問詞“怎么”、番号の言い方を学ぶ 4.小テスト	面接授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
6回目	1.母音と子音の組み合わせについて復習。 2.簡単な日常表現を学ぶ。 3.使役動詞“让”“叫”、名詞の修飾を学ぶ 4.小テスト	面接授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
7回目	1.母音と子音の組み合わせについて復習。 2.簡単な日常表現を学ぶ。 3.状態補語、動作の進行を学ぶ 4.小テスト	面接授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
8回目	1.母音と子音の組み合わせについて復習。 2.簡単な日常表現を学ぶ。 3.可能補語、“就要～了”を学ぶ 4.小テスト	面接授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
9回目	1.母音と子音の組み合わせについて復習。 2.簡単な日常表現を学ぶ。 3.状態補語、主述構造の目的語を学ぶ 4.小テスト	面接授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
10回目	1.母音と子音の組み合わせについて復習。 2.簡単な日常表現を学ぶ。 3.程度補語、前置詞“为”を学ぶ 4.小テスト	面接授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
11回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	面接授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
12回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	面接授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
13回目	1.読解の問題を解く	面接授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読

	2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト		練習。(1.5 時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
14回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	面接授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
15回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	面接授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。(4 時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	1年間で最低 HSK2級、できれば HSK3 級、4 級の合格を目指して頑張りましょう！また、HSKKの初級、中級にも挑戦しましょう！

講義科目名称: 中国語ライティング&グラマーⅡ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC705

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
松浦 百恵				

授業概要	本授業では、中国語の中級程度の読解力を身に付け、中国の新聞や雑誌の内容が大体理解できるようにする。授業では、主にHSK5級の読解問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	1.中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSK5級の読解問題に合格(正答率6割)できる。	・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験	・10% ・20% ・10% ・60%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<p>1.課題提出を必ず行ってください。</p> <p>2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。</p> <p>3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。</p> <p>4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	HSK5級の読解1 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	面接授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読。(2.5時間)
2回目	HSK5級の読解2 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	面接授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読。(2.5時間)
3回目	HSK5級の読解3 (1)読解の問題を解く	面接授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間)

	(2)発音練習 (3)小テスト		復習:第3課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
4回目	HSK5 級の読解 4 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	面接授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
5回目	HSK5 級の読解 5 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	面接授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
6回目	HSK5 級の読解 6 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	面接授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
7回目	HSK5 級の読解 7 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	面接授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
8回目	HSK5 級の読解 8 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	面接授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
9回目	HSK5 級の読解 9 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	面接授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
10回目	HSK5 級の読解 10 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	面接授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
11回目	HSK5 級の読解 11 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	面接授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
12回目	HSK5 級の読解 12 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	面接授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
13回目	HSK5 級の読解 13 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	面接授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
14回目	HSK5 級の読解 14 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	面接授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
15回目	HSK5 級の読解 15 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	面接授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。 (4時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう！また、HSKKの初級、中級、高級にも挑戦しましょう！

講義科目名称:韓国語基礎 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC107

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(1Q-2Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、韓国語の入門段階でハングルの組み合わせと正確な発音を学ぶ。簡単な短文を作成するための基礎文法を学習しながら、実践会話に活用できるように練習する。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、日常的表現と基本的な言い回しを用いることができる。 ・韓国語で、ごく基本的な定型のあいさつや短い文章を書くことができる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を480個以上覚えることができる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 韓国語とは何か、韓国語の特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	韓国語の基本母音字、基本子音字 韓国語の基本母音字、基本子音字について勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し

	きかなら一個ずつ覚える		て、単語テストを準備する(2時間)
3回目	韓国語の複合母音、韓国語のパッチム 韓国語の複合母音、韓国語のパッチム について勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書 きかなら一個ずつ覚える。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに 提示する講座テーマを確認して必要な単 語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
4回目	韓国語の発音の変化 韓国語の発音の変化について勉強す る。 教科書を使って、該当する各例につい て一個ずつ確認する。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに 提示する講座テーマを確認して必要な単 語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
5回目	韓国語まとめ ハングルの組み合わせ(練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに 提示する講座テーマを確認して必要な単 語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
6回目	韓国語基礎文法・実戦会話1 名詞+은/는 名詞+입니다/입니까? 名詞+이에요/예요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに 提示する講座テーマを確認して必要な単 語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
7回目	韓国語基礎文法・実戦会話2 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに 提示する講座テーマを確認して必要な単 語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
8回目	韓国語基礎文法・実戦会話3 名詞+이/가 名詞+이/가 아니다 名詞+도	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに 提示する講座テーマを確認して必要な単 語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
9回目	韓国語基礎文法・実戦会話4 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに 提示する講座テーマを確認して必要な単 語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
10回目	韓国語基礎文法・実戦会話5 用言+습니다/입니다 名詞+에서 名詞+을/를 名詞+에 名詞+으로/로	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに 提示する講座テーマを確認して必要な単 語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
11回目	韓国語基礎文法・実戦会話6 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに 提示する講座テーマを確認して必要な単 語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
12回目	韓国語基礎文法・実戦会話7 이,그,저	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに 提示する講座テーマを確認して必要な単

	일,이,삼 하나,둘,셋 用言+아요/어요		語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	韓国語基礎文法・実戦会話8 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14回目	韓国語基礎文法・実戦会話9 用言+아/어 주세요 名詞+한테 用言+지만	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	韓国語基礎文法・実戦会話10 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「おはよう韓国語1」
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水曜日4コマ目(研究室) *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称: 韓国語基礎 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC107

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(1Q-2Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
パク・キョン				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、韓国語の入門段階でハングルの組み合わせと正確な発音を学ぶ。簡単な短文を作成するための基礎文法を学習しながら、実践会話に活用できるように練習する。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、日常的表現と基本的な言い回しを用いることができる。 ・韓国語で、ごく基本的な定型のあいさつや短い文章を書くことができる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を480個以上覚えることができる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 韓国語とは何か、韓国語の特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	韓国語の基本母音字、基本子音字 韓国語の基本母音字、基本子音字について勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、

	書きかなら一個ずつ覚える		単語テストを準備する(2時間)
3回目	韓国語の複合母音、韓国語のパッチム 韓国語の複合母音、韓国語のパッチムについて勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きながら一個ずつ覚える。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	韓国語の発音の変化 韓国語の発音の変化について勉強する。 教科書を使って、該当する各例について一個ずつ確認する。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	韓国語まとめ ハングルの組み合わせ(練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	韓国語基礎文法・実戦会話1 名詞+은/는 名詞+입니다/입니까? 名詞+이에요/예요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	韓国語基礎文法・実戦会話2 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	韓国語基礎文法・実戦会話3 名詞+이/가 名詞+이/가 아니다 名詞+도	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	韓国語基礎文法・実戦会話4 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	韓国語基礎文法・実戦会話5 用言+습니다/니다 名詞+에서 名詞+을/를 名詞+에 名詞+으로/로	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	韓国語基礎文法・実戦会話6 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12回目	韓国語基礎文法・実戦会話7	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示

	이,그,저 일,이,삼 하나,둘,셋 用言+아요/어요		する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	韓国語基礎文法・実戦会話8 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14回目	韓国語基礎文法・実戦会話9 用言+아/어 주세요 名詞+한테 用言+지만	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	韓国語基礎文法・実戦会話10 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「おはよう韓国語1」
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし・授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称: 韓国語基礎Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC108

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(1Q-2Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIKI」を受験するためにリスニング・リーディングなどを学習した上で模擬試験を行い、約800語程度の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK1級以上合格を目指す。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で書かれた、日常的な話題についての平易な文章を読み、内容を理解することができる。 ・韓国語で、よく使われる日常的表現と基本的な表現が理解できる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を800個以上覚えることができる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し

	TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について		て、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIK1級問題分析1 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK1級問題分析2 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK1級問題分析3 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK1級問題分析4 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIK1級問題分析5 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIK1級問題分析6 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIK1級問題分析7 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIK1級問題分析8 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIK1級問題分析9 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIK1級問題分析10 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIK1級問題分析最後 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIKI模擬テスト(リスニング) TOPIKIの模擬テスト(リスニング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIKI模擬テスト(リーディング) TOPIKIの模擬テスト(リーディング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKI1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水曜日4コマ目(研究室) *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称: 韓国語基礎Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC108

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(1Q-2Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
パク・キヨン				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIKI」を受験するためにリスニング・リーディングなどを学習した上で模擬試験を行い、約800語程度の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK1級以上合格を目指す。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で書かれた、日常的な話題についての平易な文章を読み、内容を理解することができる。 ・韓国語で、よく使われる日常的表現と基本的な表現が理解できる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を800個以上覚えることができる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIK1級問題分析1	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提

	TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う		示す講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK1級問題分析2 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK1級問題分析3 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK1級問題分析4 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIK1級問題分析5 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIK1級問題分析6 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIK1級問題分析7 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIK1級問題分析8 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIK1級問題分析9 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIK1級問題分析10 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIK1級問題分析最後	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提

	TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う		示す講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIKI模擬テスト(リスニング) TOPIKIの模擬テスト(リスニング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIKI模擬テスト(リーディング) TOPIKIの模擬テスト(リーディング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKI1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし・ 授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称: 韓国語基礎Ⅲ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC109

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(1Q-2Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIKI」を受験するためにリスニング・リーディングなどを学習した上で模擬試験を行い、約1500語程度の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK2級以上合格を目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で書かれた、日常的な話題についての平易な文章を読み、内容を理解することができる。 ・韓国語で、よく使われる日常的表現と基本的な表現が理解できる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を1,500個以上覚えることができる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)

	法について		
2回目	TOPIK2級問題分析1 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK2級問題分析2 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK2級問題分析3 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK2級問題分析4 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIK2級問題分析5 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIK2級問題分析6 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIK2級問題分析7 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIK2級問題分析8 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIK2級問題分析9 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIK2級問題分析10 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、

			単語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIK2級問題分析最後 TOPIKIの2級問題の種類を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIKI模擬テスト(リスニング) TOPIKIの模擬テスト(リスニング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIKI模擬テスト(リーディング) TOPIKIの模擬テスト(リーディング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKI1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水曜日4コマ目(研究室) *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称: 韓国語基礎Ⅲ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC109

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(1Q-2Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
パク・キョン				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIKI」を受験するためにリスニング・リーディングなどを学習した上で模擬試験を行い、約1500語程度の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK2級以上合格を目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で書かれた、日常的な話題についての平易な文章を読み、内容を理解することができる。 ・韓国語で、よく使われる日常的表現と基本的な表現が理解できる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を1,500個以上覚えることができる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)

2回目	TOPIK2級問題分析1 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK2級問題分析2 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK2級問題分析3 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK2級問題分析4 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIK2級問題分析5 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIK2級問題分析6 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIK2級問題分析7 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIK2級問題分析8 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIK2級問題分析9 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIK2級問題分析10 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)

12回目	TOPIK2級問題分析最後 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIKI模擬テスト(リスニング) TOPIKIの模擬テスト(リスニング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIKI模擬テスト(リーディング) TOPIKIの模擬テスト(リーディング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKI1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし・授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語会話 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC305

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(3Q)	1年	1単位	選択	演習
担当教員				
李載宇				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、会話を中心としたコミュニケーション能力を身に付けることを目標としている。さまざまな場面で核心フレーズを聴いて、離す練習を通じてネイティブの韓国人学生達と話して会話の「感」を覚える。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・試行錯誤しながら、自ら考え行動する。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。 ・韓国語で、直接的関係がある領域に関してよく使われる表現が理解できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 韓国語会話練習、スピーチコンテストについて	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
2回目	韓国語応用文法・実戦会話1 用言+았/었 하다用言 했 動詞+고 있다 用言+으면/면 動詞・存在詞+고 싶다	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
3回目	韓国語応用文法・実戦会話2	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提

	用言+으시/시 用言+고 用言+네요		示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(1時間)
4回目	韓国語応用文法・実戦会話3 用言+으세요/세요 用言+지요(죠) 用言+는/은/ㄴ데요 ㄹ変則	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(1時間)
5回目	韓国語応用文法・実戦会話4 안+用言 ㄹ変則 用言+아서/어서 動詞+을래요/ㄹ래요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(1時間)
6回目	韓国語応用文法・実戦会話5 用言+을/ㄹ거예요 겠 動詞・存在詞+는+名詞 形容詞+은/ㄴ+名詞 指定詞+인+名詞 動詞+으러/러	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(1時間)
7回目	韓国語応用文法・実戦会話6 用言+으면 되다 ㄹ変則 用言+으셨/셨 用言+으니까/니까	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(1時間)
8回目	韓国語応用文法・実戦会話7 名詞+하고, 과/와 用言+을/ㄹ수 있다/없다 動詞+은/ㄴ+名詞 形容詞・指定詞・存在詞+던+名詞 指定詞+이던+名詞 用言+을/ㄹ게요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(1時間)
9回目	韓国語応用文法・実戦会話8 用言+으려고 하다 用言+기로 하다 用言+을/ㄹ ㄹ変則	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(1時間)
10回目	韓国語応用文法・実戦会話9 ㄹ変則 用言+아/어야 되다(하다) 用言+을/ㄹ것 같다 用言+아/어도 되다	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(1時間)
11回目	韓国語応用文法・実戦会話10 ㄹ変則 못+動詞・存在詞 動詞・存在詞+는 것 같다 形容詞+은/ㄴ 것 같다 指定詞+인 것 같다 動詞+아/어 보다	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 模擬テストを準備する(1時間)

12回目	韓国語スピーチ大会準備1 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
13回目	韓国語スピーチ大会準備2 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、韓国語スピーチ大会を準備する(1時間)
14回目	韓国語スピーチ大会準備3 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、韓国語スピーチ大会を準備する(1時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 30時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「おはよう韓国語2」
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水曜日4コマ目(研究室) *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語会話I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC305

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(3Q)	1年	1単位	選択	演習
担当教員				
パク・キョン				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、会話を中心としたコミュニケーション能力を身に付けることを目標としている。さまざまな場面で核心フレーズを聴いて、離す練習を通じてネイティブの韓国人学生達と話して会話の「感」を覚える。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・試行錯誤しながら、自ら考え行動する。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。 ・韓国語で、直接的関係がある領域に関してよく使われる表現が理解できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 韓国語会話練習、スピーチコンテストについて	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
2回目	韓国語応用文法・実戦会話1 用言+았/었 하다用言 했 動詞+고 있다 用言+으면/면 動詞・存在詞+고 싶다	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)

3回目	韓国語応用文法・実戦会話2 用言+으시/시 用言+고 用言+네요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
4回目	韓国語応用文法・実戦会話3 用言+으세요/세요 用言+지요(죠) 用言+는/은/ㄴ 데요 으変則	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
5回目	韓国語応用文法・実戦会話4 안+用言 ㄴ変則 用言+아서/어서 動詞+을래요/ㄹ래요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
6回目	韓国語応用文法・実戦会話5 用言+을/ㄹ 거예요 겠 動詞・存在詞+는+名詞 形容詞+은/ㄴ+名詞 指定詞+인+名詞 動詞+으러/러	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
7回目	韓国語応用文法・実戦会話6 用言+으면 되다 ㄹ変則 用言+으셨/셨 用言+으니까/니까	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
8回目	韓国語応用文法・実戦会話7 名詞+하고, 과/와 用言+을/ㄹ 수 있다/없다 動詞+은/ㄴ+名詞 形容詞・指定詞・存在詞+던+名詞 指定詞+이던+名詞 用言+을/ㄹ 게요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
9回目	韓国語応用文法・実戦会話8 用言+으려고 하다 用言+기로 하다 用言+을/ㄹ ㄹ変則	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
10回目	韓国語応用文法・実戦会話9 ㄹ変則 用言+아/어야 되다(하다) 用言+을/ㄹ 것 같다 用言+아/어도 되다	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
11回目	韓国語応用文法・実戦会話10 ㄴ変則 ㄹ+動詞・存在詞 動詞・存在詞+는 것 같다 形容詞+은/ㄴ 것 같다 指定詞+인 것 같다	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(1時間)

	動詞+아/어 보다		
12回目	韓国語スピーチ大会準備1 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
13回目	韓国語スピーチ大会準備2 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、韓国語スピーチ大会を準備する(1時間)
14回目	韓国語スピーチ大会準備3 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、韓国語スピーチ大会を準備する(1時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(1時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「おはよう韓国語2」
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし・ 授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称: 韓国語会話Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC707

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(7Q-8Q)	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK Speaking」を受験するために問題の類型を分析し、模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、合格を目指す。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・談話状況に適切な言語を使用し、語彙と表現を多様・正確に使用できる ・TOPIK Speaking問題の類型を把握し、合格できる	・課題	60%
異文化知識・対応能力	・相手や目的・場面に応じて自らの意思を適切に表現・伝達し、相手の意思を的確に理解することができる。	・グループワーク	35%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、課題60%、グループワーク35%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査など	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	類型1 質問に答える 日常生活で良く出会う状況で簡単な質問を聞いて、適切に答える	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し

			て、単語テストを準備する(2時間)
3回目	類型1 質問に答える 日常生活で良く出会う状況で簡単な質問を聞いて、適切に答える	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	類型2 絵を見て役割を随行する 日常生活で良く出会う状況に関する絵を見ながら、簡単な質問を聞いて適切に役割を随行する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	類型2 絵を見て役割を随行する 日常生活で良く出会う状況に関する絵を見ながら、簡単な質問を聞いて適切に役割を随行する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	類型3 絵を見て話す 身近な社会的話題の連続された絵を見て、絵の中の人物の行動や状況などを説明し、提示された絵の順番に従って事件を叙述する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	類型3 絵を見て話す 身近な社会的話題の連続された絵を見て、絵の中の人物の行動や状況などを説明し、提示された絵の順番に従って事件を叙述する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	類型4 会話を完成させる 社会的状況で行われる会話を聞いて、会話の脈略に合わせて相手の言葉に適切に対応する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	類型4 会話を完成させる 社会的状況で行われる会話を聞いて、会話の脈略に合わせて相手の言葉に適切に対応する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	類型5 資料解釈 経済、科学、大衆媒体、文化、芸術、政治、環境など社会的話題や抽象的話題の資料を見て解釈し、批判的に自分の意見を述べる	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	類型5 資料解釈 経済、科学、大衆媒体、文化、芸術、政治、環境など社会的話題や抽象的話題の資料を見て解釈し、批判的に自分の意見を述べる	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12回目	類型6 意見提示 専門分野や抽象的内容、社会的題などに対して自分の見解を論理的に提示し、賛成または反対の立場から自分の見解	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し

	を提示する		て、単語テストを準備する(2時間)
13回目	類型6 意見提示 専門分野や抽象的内容、社会的題など に対して自分の見解を論理的に提示し、 賛成または反対の立場から自分の見解 を提示する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
14回目	グループワーク 今まで勉強した内容を持ってTOPIK Speakingを実施し、相互評価する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容 を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	
教科書・参考書	各授業で提示
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水曜日4コマ目(研究室) *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称: 韓国語会話Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC707

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(7Q-8Q)	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
パク・キョン				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK Speaking」を受験するために問題の類型を分析し、模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、合格を目指す。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・談話状況に適切な言語を使用し、語彙と表現を多様・正確に使用できる ・TOPIK Speaking問題の類型を把握し、合格できる	・課題	60%
異文化知識・対応能力	・相手や目的・場面に応じて自らの意思を適切に表現・伝達し、相手の意思を的確に理解することができる。	・グループワーク	35%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、課題60%、グループワーク35%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査など	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	類型1 質問に答える 日常生活で良く出会う状況で簡単な質問を聞いて、適切に答える	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)

3回目	<p>類型1 質問に答える 日常生活で良く出会う状況で簡単な質問を聞いて、適切に答える</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
4回目	<p>類型2 絵を見て役割を随行する 日常生活で良く出会う状況に関する絵を見ながら、簡単な質問を聞いて適切に役割を随行する</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
5回目	<p>類型2 絵を見て役割を随行する 日常生活で良く出会う状況に関する絵を見ながら、簡単な質問を聞いて適切に役割を随行する</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
6回目	<p>類型3 絵を見て話す 身近な社会的話題の連続された絵を見て、絵の中の人物の行動や状況などを説明し、提示された絵の順番に従って事件を叙述する</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
7回目	<p>類型3 絵を見て話す 身近な社会的話題の連続された絵を見て、絵の中の人物の行動や状況などを説明し、提示された絵の順番に従って事件を叙述する</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
8回目	<p>類型4 会話を完成させる 社会的状況で行われる会話を聞いて、会話の脈略に合わせて相手の言葉に適切に対応する</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
9回目	<p>類型4 会話を完成させる 社会的状況で行われる会話を聞いて、会話の脈略に合わせて相手の言葉に適切に対応する</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
10回目	<p>類型5 資料解釈 経済、科学、大衆媒体、文化、芸術、政治、環境など社会的話題や抽象的 話題の資料を見て解釈し、批判的に自分の意見を述べる</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
11回目	<p>類型5 資料解釈 経済、科学、大衆媒体、文化、芸術、政治、環境など社会的話題や抽象的 話題の資料を見て解釈し、批判的に自分の意見を述べる</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
12回目	<p>類型6 意見提示 専門分野や抽象的内容、社会的題などに対して自分の見解を論理的に提示し、賛成または反対の立場から自分の見解を提示する</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>

13回目	<p>類型6 意見提示 専門分野や抽象的内容、社会的題などに対して自分の見解を論理的に提示し、賛成または反対の立場から自分の見解を提示する</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
14回目	<p>グループワーク 今まで勉強した内容を持ってTOPIK Speakingを実施し、相互評価する</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
15回目	<p>総まとめ 今まで学習した内容の整理</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)</p>
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	各授業で提示
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし・授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。
備考・メッセージ	

講義科目名称: 韓国語検定I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC507

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(5Q)	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近な話題について主要な点を理解できる。 ・TOPIK3級問題の類型を把握し、合格できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいていな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIK 3級問題分析1 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK 3級問題分析2 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、表 現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK 3級問題分析3 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、表 現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK 3級問題分析4 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、表 現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIK 3級問題分析5 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、表 現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIK 3級問題分析6 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、表 現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIK 3級問題分析7 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、表 現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIK 3級問題分析8 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、表 現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIK 3級問題分析9 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、表 現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIK 3級問題分析10 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、表 現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIK 3級問題分析11 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、表 現を整理する(2時間)

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIK 3級問題分析12 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIK 3級問題分析13 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水曜日4コマ目(研究室) *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称: 韓国語検定I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC507

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(5Q)	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
パク・キョン				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近な話題について主要な点を理解できる。 ・TOPIK3級問題の類型を把握し、合格できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいていな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIK 3級問題分析1 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK 3級問題分析2 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK 3級問題分析3 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK 3級問題分析4 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIK 3級問題分析5 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIK 3級問題分析6 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIK 3級問題分析7 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIK 3級問題分析8 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIK 3級問題分析9 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIK 3級問題分析10 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIK 3級問題分析11 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIK 3級問題分析12 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIK 3級問題分析13 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし・ 授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称: 韓国語検定 II	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC508

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(5Q-6Q)	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近な話題について主要な点を理解できる。 ・TOPIK3級問題の類型を把握し、合格できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいいな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIK 3級問題分析1 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK 3級問題分析2 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK 3級問題分析3 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK 3級問題分析4 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIK 3級問題分析5 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIK 3級問題分析6 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIK 3級問題分析7 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIK 3級問題分析8 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIK 3級問題分析9 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIK 3級問題分析10 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIK 3級問題分析11 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIK 3級問題分析12 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIK 3級問題分析13 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水曜日4コマ目(研究室) * その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称: 韓国語検定 II	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC508

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(5Q-6Q)	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
パク・キョン				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近な話題について主要な点を理解できる。 ・TOPIK3級問題の類型を把握し、合格できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいいな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIK 3級問題分析1 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK 3級問題分析2 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK 3級問題分析3 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK 3級問題分析4 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIK 3級問題分析5 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIK 3級問題分析6 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIK 3級問題分析7 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIK 3級問題分析8 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIK 3級問題分析9 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIK 3級問題分析10 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIK 3級問題分析11 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIK 3級問題分析12 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIK 3級問題分析13 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし・ 授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称: 韓国語検定III	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC509

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(5Q-6Q)	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK4級以上合格を目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。 ・TOPIKIIのライティング問題の類型を把握できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいいな場面での自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIKIIライティング問題分析1 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIKIIライティング問題分析2 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIKIIライティング問題分析3 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIKIIライティング問題分析4 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIKIIライティング問題分析5 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIKIIライティング問題分析6 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIKIIライティング問題分析7 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIKIIライティング問題分析8 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIKIIライティング問題分析9 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIKIIライティング問題分析10 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIKIIライティング問題分析11 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIKIIライティング問題分析12 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIKIIライティング問題分析13 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII한국어능력시험 토픽 쓰기」 参考書:「TOPIKII1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水曜日4コマ目(研究室) *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称: 韓国語検定Ⅲ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC509

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(5Q-6Q)	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
パク・キョン				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK4級以上合格を目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。 ・TOPIKIIのライティング問題の類型を把握できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいいな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIKIIライティング問題分析1 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIKIIライティング問題分析2 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIKIIライティング問題分析3 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIKIIライティング問題分析4 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIKIIライティング問題分析5 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIKIIライティング問題分析6 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIKIIライティング問題分析7 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIKIIライティング問題分析8 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIKIIライティング問題分析9 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIKIIライティング問題分析10 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIKIIライティング問題分析11 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIKIIライティング問題分析12 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIKIIライティング問題分析13 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII한국어능력시험 토픽 쓰기」 参考書:「TOPIKII1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし・ 授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称: 韓国語ライティング&文法I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC306

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(4Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにライティングを学習し、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・試行錯誤しながら、自ら考え行動する。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、自身の必要や感情を表すために、基礎的な語彙を用いた短い文章を書くことができる。 ・韓国語で書かれた、自身に直接関連する領域についての基本的な文章を読み、内容を理解することができる。 ・TOPIK II級のライティング問題の類型を把握できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIライティング問題の特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)

2回目	TOPIKIIライティング問題分析1 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIKIIライティング問題分析2 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIKIIライティング問題分析3 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIKIIライティング問題分析4 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIKIIライティング問題分析5 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIKIIライティング問題分析6 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIKIIライティング問題分析7 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIKIIライティング問題分析8 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIKIIライティング問題分析9 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIKIIライティング問題分析10 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(2時間)

12回目	TOPIKIIライティング問題分析11 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIKIIライティング問題分析12 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、TOPIKII作文を準備する(2時間)
14回目	TOPIKIIライティング問題分析13 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、TOPIKII作文を準備する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、韓国語スピーチ大会を準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII한국어능력시험 토픽 쓰기」 参考書:「TOPIKII1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水曜日4コマ目(研究室) *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称: 韓国語ライティング&文法I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC306

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(4Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
パク・キョン				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにライティングを学習し、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・試行錯誤しながら、自ら考え行動する。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、自身の必要や感情を表すために、基礎的な語彙を用いた短い文章を書くことができる。 ・韓国語で書かれた、自身に直接関連する領域についての基本的な文章を読み、内容を理解することができる。 ・TOPIK II級のライティング問題の類型を把握できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIライティング問題の特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)

2回目	TOPIKIIライティング問題分析1 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIKIIライティング問題分析2 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIKIIライティング問題分析3 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIKIIライティング問題分析4 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIKIIライティング問題分析5 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIKIIライティング問題分析6 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIKIIライティング問題分析7 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIKIIライティング問題分析8 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIKIIライティング問題分析9 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIKIIライティング問題分析10 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(2時間)

12回目	TOPIKIIライティング問題分析11 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIKIIライティング問題分析12 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、TOPIKII作文を準備する(2時間)
14回目	TOPIKIIライティング問題分析13 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、TOPIKII作文を準備する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、韓国語スピーチ大会を準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII한국어능력시험 토픽 쓰기」 参考書:「TOPIKII1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし・ 授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称: 韓国語ライティング&グラマーII	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC708

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(7Q-8Q)	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK5級以上合格を目指す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。 ・TOPIKIIのライティング問題の類型を把握できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいいな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIKIIライティング問題分析1 TOPIKIIのライティング問題の類型を	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、

	分析し、受験対策を行う		表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIKIIライティング問題分析2 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIKIIライティング問題分析3 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIKIIライティング問題分析4 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIKIIライティング問題分析5 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIKIIライティング問題分析6 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIKIIライティング問題分析7 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIKIIライティング問題分析8 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIKIIライティング問題分析9 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIKIIライティング問題分析10 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIKIIライティング問題分析11 TOPIKIIのライティング問題の類型を	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、

	分析し、受験対策を行う		表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIKIIライティング問題分析12 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 模擬テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIKIIライティング問題分析13 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を 確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII한국어능력시험 토픽 쓰기」 参考書:「TOPIKII1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水曜日4コマ目(研究室) *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語ライティング&グラマーII	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC708

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(7Q-8Q)	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
パク・キョン				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK5級以上合格を目指す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。 ・TOPIKIIのライティング問題の類型を把握できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいていな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIKIIライティング問題分析1	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提

	TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う		示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIKIIライティング問題分析2 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIKIIライティング問題分析3 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIKIIライティング問題分析4 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIKIIライティング問題分析5 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIKIIライティング問題分析6 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIKIIライティング問題分析7 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIKIIライティング問題分析8 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIKIIライティング問題分析9 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIKIIライティング問題分析10 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIKIIライティング問題分析11	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提

	TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う		示す講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIKIIライティング問題分析12 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIKIIライティング問題分析13 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII한국어능력시험 토픽 쓰기」 参考書:「TOPIKII1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし・授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:基礎日本語 I N1N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC110

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年(留学生)	2単位	選択	講義
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	ある程度詳しく自己紹介ができ、日常生活で興味のある事柄について情報交換でき、それに対して自分の心情を表現できることを目指し、語彙・文法能力を高めることを主眼とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	社会のルールや状況に適した態度を意識して、振る舞うことができる。	授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	日本語で自身の必要や感情を表すために、基本的な語彙や文法を用いた文章を理解して書くことができる。	定期試験	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して、自己の世界観を基本として理解しようとする考え方をもちすることができる。	ペアでのダイアログ	5%
課題解決能力	自らの意思で活動に参加し、目的や課題を理解し、解決に向けて相手の意見を聞き、確認や見直しを行い、計画的に動くことができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自分の行動特徴について理解して自分のパーソナリティと適職の関係について理解できる。	作文	20%
合計			100%

補足事項

授業に関する必要事項については、Google Classroomを使用して、メールで行う。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション TOPIC1 はじめての人と (PART4①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
2回目	TOPIC1 はじめての人と(PART4④)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
3回目	TOPIC1 はじめての人と(PART4⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
4回目	TOPIC2 おすすめの料理 (PART4①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
5回目	TOPIC2 おすすめの料理(PART4④)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
6回目	TOPIC2 おすすめの料理(PART5)	SC(OL)	予習:2時間

			復習:2時間
7回目	TOPIC3 私の好きな音楽 (PART4①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
8回目	TOPIC3 私の好きな音楽(PART4④)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
9回目	TOPIC3 私の好きな音楽(PART4⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
10回目	TOPIC4 温泉に行こう (PART4①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
11回目	TOPIC4 温泉に行こう(PART4④)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
12回目	TOPIC4 温泉に行こう(PART4⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
13回目	TOPIC1・2 復習とまとめ	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
14回目	TOPIC3 復習とまとめ	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
15回目	TOPIC4 復習とまとめ	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	まるごと 日本のことばと文化 中級1 B1
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	午前8時~午後9時まで メールを使用すること。
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止。 携帯電話使用は語句確認時(指示有)のみとする。

講義科目名称:基礎日本語 I N3N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC110

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	日本語学習の基礎となる初級日本語文法を習得し初中級日本語文法の運用力をつける。学習した文型、語彙の理解を深める。内容のポイントをとらえる練習を継続的に行い、能動的な言語活動を促す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。	定期試験 ミニテスト	40% 25%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。		
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	20%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では目標設定シートレポート報告20%、ミニテスト20%、期末テスト60%の割合で評価する ・本講義の課題レポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題についての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	インTRODクシヨン ・授業内容を説明すること。 「トピック1」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
2回目	「トピック2・3」 ・答えあわせ・解説	対面授業 オンライン等の	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間)

	<ul style="list-style-type: none"> トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 「ミニテスト①」 	対応可	復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
3回目	<ul style="list-style-type: none"> 「トピック4・5」 ・答えあわせ・解説 トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 「ミニテスト②」 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
4回目	<ul style="list-style-type: none"> 「トピック6・7」 ・答えあわせ・解説 トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う 「ミニテスト③」 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
5回目	<ul style="list-style-type: none"> 「トピック8・9」 ・答えあわせ・解説 トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 「ミニテスト④」 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
6回目	<ul style="list-style-type: none"> 「復習トピック1～5」 ・答えあわせ・解説 トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
7回目	<ul style="list-style-type: none"> 「復習トピック6～9」 ・答えあわせ・解説 トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
8回目	<ul style="list-style-type: none"> 「中間テスト」 ・答えあわせ・解説 トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
9回目	<ul style="list-style-type: none"> 「トピック1」 ・答えあわせ・解説 トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
10回目	<ul style="list-style-type: none"> 「トピック2・3」 ・答えあわせ・解説 トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 「ミニテスト⑤」 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
11回目	<ul style="list-style-type: none"> 「トピック4・5」 ・答えあわせ・解説 トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 「ミニテスト⑥」 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
12回目	<ul style="list-style-type: none"> 「トピック6・7」 ・答えあわせ・解説 トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 「ミニテスト⑦」 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
13回目	<ul style="list-style-type: none"> 「トピック8・9」 ・答えあわせ・解説 トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)

	「ミニテスト⑧」		
14回目	「復習トピック1～5」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
15回目	「復習トピック6～9」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
16回目	「定期試験」	対面のみ	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 授業外学修時間 62時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 初級1 A2」 「まるごと日本のことばと文化 初級2 A2」
履修条件	日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とする
履修上の注意	指定された課題を必ず、授業前にはしておくこと
オフィスアワー	金曜日10:00~11:00
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。動機を大切に授業をのぞみます。 また、授業開始15分以内の出席は遅刻扱いになりますが、15分を越す場合は欠席になります。また、ひとつの授業に75分以上の出席がない場合、欠席扱いとなります。

講義科目名称:基礎日本語Ⅱ N1N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC603

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(3Q、4Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
栢丸華緒				

授業概要	この授業は、既習である中級日本語文法を自らが運用できるようになること、そして、大学で学ぶために必要な「講義や口頭発表を聞く力」に重点をおいた学習をする。 また、各回の授業内容のポイントをとらえる練習を継続的に行うことで、能動的な言語活動を促す。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、聞いて理解ができる。そして、概要をつかみ、話の構成を考えるために、ノートをとったり、要約を書いたりすることができる。	定期試験 学習態度	60% 20%
異文化知識・対応能力	文化背景の異なるクラスメイトを理解し、協力することで日本語の使用機会を増やし、より実践的な言語運用能力を高めることができる	グループ活動	10%
課題解決能力	様々な場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解することができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	自ら考え、自律的に行動することができる。		
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ・授業参加時間が75分に満たない場合も欠席とみなす。 ・定期試験60%、課題10%、授業への参加態度30%の割合で評価する。 ・授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。 ・講義に関する質問は直接受け付けるほか、Google classroomでも対応可能。 ・本講義の課題やレポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出された課題やレポートに関する教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って行う。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・講義の進め方 ・心構え ・Google classroom登録の確認 ・課題の提出方法などの確認	対面授業 ※OL 対応可	復習:授業の最後に教員が提示した内容を行う(4時間)

	第1課富士山		
2回目	第2課信号の話	対面授業 ※OL 対応可	復習: 授業の最後に教員が提示した内容を行う(4時間)
3回目	第3課隠れキリシタン	対面授業 ※OL 対応可	復習: 授業の最後に教員が提示した内容を行う(4時間)
4回目	第4課水族館	対面授業 ※OL 対応可	復習: 授業の最後に教員が提示した内容を行う(4時間)
5回目	第5課ゴリラの食事	対面授業 ※OL 対応可	復習: 授業の最後に教員が提示した内容を行う(4時間)
6回目	第6課東京の温泉	対面授業 ※OL 対応可	復習: 授業の最後に教員が提示した内容を行う(4時間)
7回目	第7課失敗学	対面授業 ※OL 対応可	復習: 授業の最後に教員が提示した内容を行う(4時間)
8回目	第8課札幌のお祭り	対面授業 ※OL 対応可	復習: 授業の最後に教員が提示した内容を行う(4時間)
9回目	第9課津軽三味線	対面授業 ※OL 対応可	復習: 授業の最後に教員が提示した内容を行う(4時間)
10回目	第10課メールの書き方	対面授業 ※OL 対応可	復習: 授業の最後に教員が提示した内容を行う(4時間)
11回目	第11課アクセント	対面授業 ※OL 対応可	復習: 授業の最後に教員が提示した内容を行う(4時間)
12回目	第12課からくり人形	対面授業 ※OL 対応可	復習: 授業の最後に教員が提示した内容を行う(4時間)
13回目	第13課四つ葉のクローバー	対面授業 ※OL 対応可	復習: 授業の最後に教員が提示した内容を行う(4時間)
14回目	第14課長寿の理由	対面授業 ※OL 対応可	復習: 授業の最後に教員が提示した内容を行う(4時間)
15回目	第15課長崎の猫	対面授業 ※OL 対応可	復習: 授業の最後に教員が提示した内容を行う(4時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 聴解』
履修条件	なし
履修上の注意	教員が指定した課題を必ず、授業前までしておくこと
オフィスアワー	金曜日10:00~11:00
備考・メッセージ	主に、大学の講義や発表を聞く力をつけるための練習をします。そして、聞く力だけでなく、聞いたことをまとめる力、要約を書いたりする勉強も行います。

講義科目名称:日本語会話 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC111

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
山本 みづほ				

授業概要	進学希望が多い留学生に流暢な日本語会話力を身に付けることを目標とする。 本演習では、設定された場面での会話を、①場面に即したことば遣いができる、②豊富な語彙を用いることができる、③的確な表現ができる ことを目指したい。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・他への思いやりを持った受け答えができる。	・グループディスカッション	5%
専門的知識や技能	・質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 ・正しい発音でわかりやすく話すことができる。 ・オノマトペを使いこなすことができる。	・定期試験 ・ミニテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	・日本文化の特徴を理解している。 ・日本のマナーを体得している。	・レポート	10%
課題解決能力	・分からないこと、聞き取れなかったことをその場で聞き返すことができる。	・授業への参加・態度	5%
キャリアデザイン力	・自分の将来を言語化してしっかりと説明することができる。	・スピーチ	10%
合計			100%

補足事項

・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。
・本授業では、定期試験50%、ミニテスト20%、レポート10%、グループディスカッション・授業への参加態度10%、スピーチ10%の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。 まると中級2日本のことばと文化 TOPIC 1 PART1結婚することになりました P42～P45 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習:P42～45を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
2回目	まると中級2日本のことばと文化 TOPIC 1 PART2厳しいけど学生思いなんですね P46～P50 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習:P46～50を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
3回目	まると中級2日本のことばと文化	対面授業	予習:P51～53を読み自分の

	TOPIC 1 PART3 すごくおもしろい人ですよ P51~P53 ・TOPICから会話を広げる	オンライン等の対応可	意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
4回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 1 PART4 書道でコミュニケーションを P54~P56 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P54~56を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
5回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 1 PART5 友だちの紹介メール P57~P58 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P57~58を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
6回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 2 PART1 富士山に勝る山はない P60~P63 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P60~63を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
7回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 2 PART2 ご来光はやっぱり見たいしね P64~P68 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P64~68を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
8回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 2 PART3 誰でも楽しめるんじゃないかと思います P69~P71 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P69~71を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
9回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 2 PART4 四季折々に楽しめる富士五湖 P72~P74 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P72~74を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
10回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 2 PART5 おすすめスポットは... P75~P76 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P75~76を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
11回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 3 PART1 ウォーキングがいいんじゃないですか P78~P81 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P78~81を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
12回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 3 PART2 どんなダイエットしてるの? P82~P86 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P82~86を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
13回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 3 PART3 病気の原因を消してくれるんです P87~P89 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P87~89を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
14回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 3 PART4 本当に効くのかな? P9	対面授業 オンライン等	予習: P90~92を読み自分の意見を持つ(2時間)

	0~P92 ・TOPICから会話を広げる	の対応可	復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
15回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 3 PART5 世界の健康法 P93~P94 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等 の対応可	予習: P93~94を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	まるごと中級2日本のことばと文化 新聞、タウン誌、パンフレットなど参考にしましょう
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 授業でTOPICに即したNHK for Schoolの番組を見せることがあります。

講義科目名称:日本語会話 I N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC111

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	実際に使える日本語習得のため、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での「can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N2 レベルの 実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題発表やプレゼンテーションもある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習:2回目の語彙を調べ覚える。
2回目	トピック1part1 みなさん、こんにちは	対面授業 オンライン可	予習:3 回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
3回目	トピック1part2 あのう、失礼ですが・・・	対面授業 オンライン可	予習:4 回目の語彙を調べ覚える。 ページ 53を考察する。(2時間)

			復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	トピック1part3 はじめまして、マイと申します	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	トピック1part1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習:6回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	トピック2part1 ここは、とくに魚がうまい	対面授業 オンライン可	予習:7回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	トピック2part2 お好み焼き粉は・・・	対面授業 オンライン可	予習:8回目の語彙を調べ覚える。ページ71を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	トピック2part3 ぜひ、めしあがってみてください	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	トピック2part1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習:10回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	トピック3part1 やっぱり演歌でしょう	対面授業 オンライン可	予習:11回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	トピック3part2 いい歌は古くならないんです	対面授業 オンライン可	予習:12回目の語彙を調べ覚える。ページ89を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	トピック3part3 彼女のすごいところは・・・	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	トピック3part1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	トピック1～3part1～3 総まとめ①	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	トピック1～3part1～3 総まとめ②	対面授業 オンライン可	予習:定期試験の準備(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	まるごと 中級1 B1
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:日本語会話 I N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC111

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年(留学生)	2	選択	演習
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	日本語での基本的な個人的事柄や日常の事柄について簡単な情報交換に対応できる。更に身近で個人的にも関心のある話題について、意見や計画、説明を簡単に述べるができることを主眼とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え、行動することを意識することができる。適切に判断し継続して行動することができる。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	日本語で基本的な定型の挨拶や短い文章を理解し、日常的表現と基本的な言い回しを用いることができ、理解できる。	定期試験	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して自己の世界観を基本として理解しようとする考え方をもち、他者との関わりによって文化的ルールを認識することができる。	ペアでのダイアログ	20%
課題解決能力	自らの意思で活動に参加し、その目的をよく考え、自分から動くことができる。相手の意見をよく聴き、自分の役割分担を理解し、チームで活動することができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自分の行動特徴について理解している。		
合計			100%
補足事項			
授業に関する必要事項についての連絡は、Google Classroomを使用して メールで行う。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション 『まるごと』(初級2A2かつどう)復習1	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
2回目	『まるごと』(初級2A2かつどう)復習2	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
3回目	『まるごと』(初級2A2かつどう)復習3	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
4回目	トピック1 スポーツの試合1~2	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
5回目	トピック1 スポーツの試合3~5	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
6回目	トピック1 スポーツの試合5~6	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間

7回目	トピック2 家をさがす1～2	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
8回目	トピック2 家をさがす3～4	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
9回目	トピック2 家をさがす4～5	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
10回目	トピック3 ほっとする食べ物1～2	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
11回目	トピック3 ほっとする食べ物3～4	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
12回目	トピック3 ほっとする食べ物4～5	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
13回目	トピック4 訪問1～2	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
14回目	トピック4 訪問3～4	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
15回目	トピック4 訪問4～5 トピック1～4 まとめ	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	まるごと 日本のことばと文化 初級2A2 / 初中級A2 / B1
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	午前8時～午後9時 メールを使用すること
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止 携帯電話は語句確認時(指示有)のみとする

講義科目名称: 日本語会話 I N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC111

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
栃丸 華緒				

授業概要	N4レベルに応じたコミュニケーション力をつける。「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での「can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他人を思いやる心や感動する心を高めることができる。 他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。		
専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N4 レベルの 実力) 日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。	定期試験 ミニテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化 に対応でき、また自己表現できる。		
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の 課題に向き合うことができる。 日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	20%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。 自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ・授業参加時間が75分に満たない場合も欠席とみなす。 ・定期試験50%、ミニテスト20%、課題20%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 ・授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。 ・課題発表やプレゼンテーションもある。 ・講義に関する質問は直接受け付けるほか、Google classroomでも対応可能。 ・本講義の課題レポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って行う。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・講義の進め方 ・心構え ・Google classroom登録の確認 ・課題の確認、提出方法 ・フィードバックの確認方法 ・教科書の確認 ・クラスメイトについて理解する・知る (自己紹介)	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
2回目	トピック1 だい1・2	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
3回目	トピック2 だい3・4	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
4回目	トピック3 だい5・6	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
5回目	トピック1・2・3復習	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
6回目	トピック4 だい7・8	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
7回目	トピック5 だい9・10	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
8回目	トピック6 だい11・12	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
9回目	トピック4・5・6復習	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
10回目	トピック7 だい13・14	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
11回目	トピック8 だい15・16	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
12回目	トピック9 だい17・18	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)

			る(2時間)
13回目	トピック7・8・9復習	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
14回目	トピック1~5復習 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
15回目	トピック6~9復習 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
16回目	「定期試験」	対面のみ	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 授業外学修時間 62時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	『まるごと 日本のことばと文化 初級 1 A2』
履修条件	日本語の学習時間が300時間から400時間程度の学習者を対象とする。
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。。
オフィスアワー	前期 金曜日10:30~11:30 研究室
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・失敗を気にせず、習った文法を積極的に使ってみること。 ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。 ・授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

講義科目名称: 日本語会話Ⅱ N1	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC202

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
栃丸華緒				

授業概要	この授業では、B1レベル相当の日本語コミュニケーションを養う。B1レベルとは、「自立した言語使用者」として、日本語でまとまりのある話をしたり、身近な話題の文章の大切な点を理解したり、日本に行ったときに自分一人でいろいろなことに対応したりできるレベルである。各回の授業では「Can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・他への思いやりを持った受け答えができる。	・ディスカッション	5%
専門的知識や技能	・質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 ・正しい発音でわかりやすく話すことができる。 ・オノマトペを使いこなすことができる。	・定期試験 ・課題	50% 20%
異文化知識・対応能力	・培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	・学習態度	10%
課題解決能力	・問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。 ・日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・学習態度	5%
キャリアデザイン力	・モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。 ・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・スピーチ	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始から 15 分までの入室は遅刻。15 分以降は欠席とする。 ・授業参加時間が 75 分に満たない場合も欠席とみなす。 ・定期試験 50%、課題 20%、発表10%、授業への参加態度20%の割合で評価する。 ・授業の出席・連絡は Google classroom を使用する。 ・課題発表やプレゼンテーションもある。 ・講義に関する質問は直接受け付けるほか、Google classroom でも対応可能。 ・本講義の課題レポートは Google classroom を通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックは Google classroom のコメント機能を使って行う。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」	対面授業	予習: Classroom で指示さ

	授業の進め方と注意点についての説明をする。 『まるごと 日本のことばと文化 中級2』 TOPIC4 PART1 P95~P99 ・TOPICから会話を広げる	※OL 対応可	れたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
2回目	TOPIC4 PART2 P100~P104 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
3回目	TOPIC4 PART3 P105~P107 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
4回目	TOPIC4 PART4 P108~P110 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
5回目	TOPIC4 PART5 P111~P112 TOPIC4の復習	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
6回目	TOPIC5 PART1 P113~P117 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
7回目	TOPIC5 PART2 P118~P122 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
8回目	TOPIC5 PART3 P123~P125 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
9回目	TOPIC5 PART4 P126~P128 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
10回目	TOPIC5 PART5 P129~P130 TOPIC5の復習	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
11回目	TOPIC6 PART1 P131~P135 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
12回目	TOPIC6 PART2 P136~P140 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
13回目	TOPIC6 PART3 P141~P143 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
14回目	TOPIC6 PART4	対面授業	予習:Classroomで指示さ

	P144～P146 ・TOPICから会話を広げる	※OL 対応可	れたことを行う(2 時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2 時間)
15回目	TOPIC6 PART5 P147～P148 TOPIC6の復習 次回の定期試験に関する説明	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroom で指示されたことを行う(2 時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2 時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『まるごと 日本のことばと文化 中級2』 新聞、タウン誌、パンフレットなど参考にしましょう
履修条件	
履修上の注意	指示された内容の予習・復習を忘れずにやること。
オフィスアワー	火曜日 13:00～14:00
備考・メッセージ	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも 1.5 時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。

講義科目名称:日本語会話Ⅱ N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC202

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年(留学生)	2単位	選択	演習
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	既習の基礎的表現に加え、日常生活の様々な場面で必要となる対話能力向上を主眼とし、運用能力アップを目指す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え、行動することができ、社会のルールや状況に適した振る舞いができる。	授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	日本語で、身近な日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	定期試験	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して得た知識を基本として、理解しようとする考え方をもちることができる。自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持、改善しようと試みることができる。	ペアでのダイアログ	20%
課題解決能力	周りに確認と質問をしながら、自立的に活動に取り組むことができる。事前に計画を立て、自分の考察を交えて解決法を考えることができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自分のパーソナリティと適職の関係について理解している。	作文	5%
合計			100%

補足事項

授業に関する必要事項については、Google Classroomを使用して、メールで行う。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション TOPIC4温泉に行こう(準備①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
2回目	TOPIC4温泉に行こう(PART1①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
3回目	TOPIC4温泉に行こう(PART2①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
4回目	TOPIC 4温泉に行こう(PART2④~⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
5回目	TOPIC4温泉に行こう(PART3①~⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間

6回目	TOPIC 5 最近どう？(準備①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
7回目	TOPIC 5 最近どう？(PART1①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
8回目	TOPIC 5 最近どう？(PART2①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
9回目	TOPIC 5 最近どう？(PART2④～⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
10回目	TOPIC 5 最近どう？(PART 3 ①～⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
11回目	TOPIC 6 マンガを読もう(準備①～②)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
12回目	TOPIC6マンガを読もう(PART 1 ①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
13回目	TOPIC 6 マンガを読もう(PART 2 ①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
14回目	TOPIC6マンガを読もう(PART 2 ④～⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
15回目	TOPIC 6マンガを読もう(PART 3 ①～⑤) TOPIC4～6 まとめ	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	まるごと 日本のことばと文化 中級1 B1
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	午前8時～午後9時まで メールを使用すること。
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止。 携帯電話使用は語句確認時(指示有)のみとする。

講義科目名称: 日本語会話Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC202

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
山本 みづほ				

授業概要	日本で生活する中での、基礎的な日本語会話力を身に付けることを目標とする。 本演習では、設定された場面での会話を、①場面に即したことば遣いができる、②覚えた語彙を用いることができる、③的確な表現ができることを目指したい。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・他への思いやりを持った受け答えができる。	・グループディスカッション	5%
専門的知識や技能	・質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 ・正しい発音でわかりやすく話すことができる。 ・オノマトペを使いこなすことができる。	・定期試験 ・ミニテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	・日本文化の特徴を理解している。 ・日本のマナーを体得している。	・レポート	10%
課題解決能力	・分からないこと、聞き取れなかったことをその場で聞き返すことができる。	・授業への参加・態度	5%
キャリアデザイン力	・自分の将来を言語化してしっかりと説明することができる。	・スピーチ	10%
合計			100%
補足事項			
<p>・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。 ・本授業では、定期試験50%、ミニテスト20%、レポート10%、グループディスカッション・授業への参加態度10%、スピーチ10%の割合で評価する。</p>			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。 「トピック5」① ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
2回目	「トピック5」② ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い	対面授業 オンライン等の対応可	予習: 最近のニュースを調べる(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)

	<p>順番に発表する。</p> <p>・ミニテスト</p>		
3回目	<p>「トピック5」③</p> <p>・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。</p> <p>・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習:最近のニュースを調べる(2時間)</p> <p>復習:今日の新出単語を確認する(2時間)</p>
4回目	<p>「トピック6」①</p> <p>・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。</p> <p>・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。</p> <p>・ミニテスト</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習:最近のニュースを調べる(2時間)</p> <p>復習:今日の新出単語を確認する(2時間)</p>
5回目	<p>「トピック6」②</p> <p>・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。</p> <p>・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習:最近のニュースを調べる(2時間)</p> <p>復習:今日の新出単語を確認する(2時間)</p>
6回目	<p>「トピック6」③</p> <p>・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。</p> <p>・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。</p> <p>・ミニテスト</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習:最近のニュースを調べる(2時間)</p> <p>復習:今日の新出単語を確認する(2時間)</p>
7回目	<p>「トピック7」①</p> <p>・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。</p> <p>・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習:最近のニュースを調べる(2時間)</p> <p>復習:今日の新出単語を確認する(2時間)</p>
8回目	<p>「トピック7」②</p> <p>・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。</p> <p>・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。</p> <p>・ミニテスト</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習:最近のニュースを調べる(2時間)</p> <p>復習:今日の新出単語を確認する(2時間)</p>
9回目	<p>「トピック7」③</p> <p>・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。</p> <p>・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習:最近のニュースを調べる(2時間)</p> <p>復習:今日の新出単語を確認する(2時間)</p>
10回目	<p>「トピック8」①</p> <p>・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。</p> <p>・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。</p> <p>・ミニテスト</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習:最近のニュースを調べる(2時間)</p> <p>復習:今日の新出単語を確認する(2時間)</p>
11回目	<p>「トピック8」②</p> <p>・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。</p> <p>・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習:最近のニュースを調べる(2時間)</p> <p>復習:今日の新出単語を確認する(2時間)</p>
12回目	<p>「トピック8」③</p> <p>・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習:最近のニュースを調べる(2時間)</p> <p>復習:今日の新出単語を確認する(2時間)</p>

	・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 ・ミニテスト		認する(2時間)
13回目	「トピック9」① ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
14回目	「トピック9」② ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 ・ミニテスト	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
15回目	「トピック9」③ ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	まるごと初中級A2/B1 まるごと初級1A2リカイ
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。 授業開始から15分経過したら欠席となります。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使用しないこと。 時間があれば、授業でNHK for schoolを視聴するので、番組を楽しみながらより会話力をつけましょう。

講義科目名称: 日本語会話Ⅱ N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CG202

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	N4レベルに応じたコミュニケーション力をつける。「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での「can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N4 レベルの 実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題発表やプレゼンテーションもある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習: 2回目の語彙を調べ覚える。 (2時間)
2回目	トピック1 だい1・2	対面授業 オンライン可	予習: 3回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
3回目	トピック2 だい3・4	対面授業 オンライン可	予習: 4回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間)

			復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	トピック3 だい5・6	対面授業 オンライン可	予習:5回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	トピック4 だい7・8	対面授業 オンライン可	予習:6回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	トピック5 だい9・10	対面授業 オンライン可	予習:7回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	トピック6 だい11・12	対面授業 オンライン可	予習:8回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	トピック7 だい13・14	対面授業 オンライン可	予習:9回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	トピック8 だい15・16	対面授業 オンライン可	予習:10回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	トピック9 だい17・18	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	トピック1~2まとめ	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	トピック3~4まとめ	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	トピック5~6まとめ	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	トピック7~9まとめ	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	トピック1~9総まとめ	対面授業 オンライン可	予習:定期試験の準備(4時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	まるごと 初級2A2 かつどう
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:日本語会話Ⅲ N1	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC307

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年(留学生)	2	選択	演習
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	既習の基礎表現に加えて、更に日常生活で必要となる場面での丁寧な表現、細やかな心情表現などの運用能力向上を目指す
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え、適切に判断し常に社会のルールや状況に適した行動ができ、他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。	授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	日本語で仕事、学校、娯楽などたいいな場面で対応でき、身近な話題についても主要な点を理解できる。様々な場面で自らの意思を表現、伝達し相手の意思を理解し得ることができる。	定期試験	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的相違を認識し、行動に取り入れ、共通の理解を得るために交渉を始めることができる。その新しい視点に沿って複雑な視点を持つことができる。	ペアでのダイアログ	20%
課題解決能力	目標を設定し、自分の意見を出し、周り助け合って、物事に取り組むことができる。問題点の解決に向けたプロセスを明確にし、新しい解決方法を考えることができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自己のライフスタイルを振り返り、職業志向条件や勤務条件について考え、自分自身を十分プレゼンできる準備ができている。	作文	5%
合計			100%

補足事項

授業に関する必要事項については、Google Classroomを使用して、メールで行う。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション TOPIC7お気に入りの映画(準備)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
2回目	TOPIC7お気に入りの映画(PART 1①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
3回目	TOPIC7お気に入りの映画(PART2①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
4回目	TOPIC7お気に入りの映画(PART2④~⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間

5回目	TOPIC7お気に入りの映画(PART3)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
6回目	TOPIC8私の街の交通機関(準備)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
7回目	TOPIC8私の街の交通機関(PART1)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
8回目	TOPIC8私の街の交通機関(PART2①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
9回目	TOPIC8私の街の交通機関(PART2④~⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
10回目	TOPIC8私の街の交通機関(PART3)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
11回目	TOPIC9忍者、侍、その頃は...(準備)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
12回目	TOPIC9忍者、侍、その頃は...(PART1)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
13回目	TOPIC9忍者、侍、その頃は...(PART 2①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
14回目	TOPIC9忍者、侍、その頃は...(PART 2④~⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
15回目	TOPIC9忍者、侍、その頃は...(PART3)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	まるごと 日本のことばと文化 中級2 B1
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	午前8時~午後9時まで メールで行う
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止。 携帯電話使用は語句確認時(指示有)のみとする。

講義科目名称: 日本語会話Ⅲ N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC307

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	実際に使える日本語習得のため、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での「can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N2 レベルの 実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化 に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ ペアワーク	10%
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題発表やプレゼンテーションもある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習: 2回目の語彙を調べ覚える。(2時間)
2回目	トピック7part1 私は柔道をやっています	対面授業 オンライン可	予習: 3回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
3回目	トピック7part2 練習は何曜日にあるんでしょう	対面授業 オンライン可	予習: 4回目の語彙を調べ覚える。 ページ161を考察する。(2時間)

	か？		復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	トピックpart3 子どものころ、学校で習いました。	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	トピック7part1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習:6回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	トピック8part1 スマホなしじゃどこにも行けない!	対面授業 オンライン可	予習:7回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	トピック8part2 電子辞書を買おうと思うんですけど	対面授業 オンライン可	予習:8回目の語彙を調べ覚える。ページ179を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	トピック8part3 いいもの買ったんですよ	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	トピック8part1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習:10回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	トピック9part1 祭りは7日まで続きます	対面授業 オンライン可	予習:11回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	トピック9part2 私も踊ってきました	対面授業 オンライン可	予習:12回目の語彙を調べ覚える。ページ197を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	トピック9part3 祭りのいちばんの見どころは…	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	トピック9part1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	トピック7～9part1～3 総まとめ①	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	トピック7～9part1～3 総まとめ②	対面授業 オンライン可	予習:定期試験の準備(4時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	まるごと 中級1 B1
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:日本語会話Ⅲ N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC307

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2	選択	演習
担当教員				
チャウユンテン				

授業概要	「話す」技能に焦点を当てた授業である。会話やプレゼンテーションについて、分かりやすく伝えるためにどのような話し方が適切かをCDや動画を参考にしながらディスカッションやロールプレイを通して学ぶ。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。	会話テスト ミニテスト	40% 10%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	20%
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	15%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では目標設定シートレポート報告20%、ミニテスト20%、期末テスト60%の割合で評価する ・本講義の課題レポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	インTRODクシヨン ・授業内容を説明すること。 「中級1トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
2回目	「中級1トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等の	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間)

	語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対応可	復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
3回目	「中級1トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
4回目	「中級1トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
5回目	「中級1トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
6回目	「中級1トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
7回目	「中級1トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
8回目	「中級1トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
9回目	「中級1トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
10回目	「中級1トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
11回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
12回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレ	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)

	イを行い、順番に発表する。		
13回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
14回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
15回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級B1」
履修条件	日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とする
履修上の注意	指定された課題を必ず、授業前にはしておくこと
オフィスアワー	金曜日10:00~11:00
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。日本語が正しく使えることより、話したいことが話せる、わかってもらえる経験をみんなと共有したいので、興味があること、話したいことを積極的に話題にしてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称: 日本語会話Ⅲ N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC307

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
栃丸華緒				

授業概要	<p>本講義は、会話の場面におけるN4(A2)レベル相当のコミュニケーション能力の向上を目的としている。そのため、「聞く・話す」に重点をおいた学習を行う。</p> <p>本講義は、多様な文化背景をもつ留学生を対象としているため、直接法を基本とするが、使用する教科書は国際交流基金が作成した『まるごと』を使用し、ことばと文化を併せて学ぶことができるよう設定されている。各回での「Can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他人を思いやる心や感動する心を高めることができる。他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。	学習態度	10
専門的知識や技能	日本語で身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報を伝えることができるようになる。また、日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解しえることができる。	定期試験	60
異文化知識・対応能力	文化背景の異なるクラスメイトを理解し、協力することで日本語の使用機会を増やし、より実践的な言語運用能力を高めることができる	グループ・ペアワーク	10
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題・学習態度	10
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	課題・学習態度	10
合計			100%

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ・授業参加時間が75分に満たない場合も欠席とみなす。 ・定期試験60%、課題20%、授業への参加態度20%の割合で評価する。 ・授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。 ・課題発表やプレゼンテーションもある。 ・講義に関する質問は直接受け付けるほか、Google classroomでも対応可能。 ・本講義の課題レポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って行う。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・講義の進め方 ・心構え	対面授業 ※OL対応可	復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)

	<ul style="list-style-type: none"> ・Google classroom登録の確認 ・課題の確認、提出方法 ・フィードバックの確認方法 ・教科書の確認 クラスメイトについて理解する・知る 詳細な自己紹介の方法等を知る		
2回目	【トピック1 スポーツの試合】 ①スポーツの試合 ②行きたいんですが... ③行けなくなったんです	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
3回目	【トピック1 スポーツの試合】 ④おうえんのことば ⑤おわびのメール ⑥シンさんからのメール	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
4回目	【トピック2 家を探す】 ①私が住んでいるところ ②家はもう見つかりましたか ③週末はひっこしです	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
5回目	【トピック2 家を探す】 ④私の家 ⑤くにさんは今	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
6回目	トピック1・2復習	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
7回目	【トピック3 ほっとする食べ物】 ①食べ物 ②日本の食べ物にはもうなれましたか ③夜はうちで食べてます	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
8回目	【トピック3 ほっとする食べ物】 ④ないとこまる食べ物 ⑤日本での食生活	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
9回目	【トピック4 訪問】 ①知りあいの家を訪問する ②うちの家族です ③外国生活の思い出	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
10回目	【トピック4 訪問】 ④友だちの家 ⑤外国からのお客さま	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
11回目	トピック3・4復習	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
12回目	【トピック5 ことばを学ぶ楽しみ】 ①ことばを学ぶ目的と方法 ②どうやって勉強してますか ③見習わなきゃ	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
13回目	【トピック5 ことばを学ぶ楽しみ】 ④しょうらいの計画 ⑤カーラさんへのメール	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)

14回目	トピック5復習	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
15回目	総復習	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(4時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	なし
教科書・参考書	『まるごと 日本のことばと文化 初中級A2/B1』
履修条件	日本語会話Ⅰ、Ⅱの履修済みであること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り 得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習 が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、 しっかりと予習で語彙を調べてくること。
オフィスアワー	後期: 月曜日4コマ目(15:00~16:00)研究室
備考・メッセージ	・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。 ・授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

講義科目名称: 日本語会話VI N1	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC410

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
栃丸華緒				

授業概要	この授業では、B1レベル相当の日本語コミュニケーションを養う。B1レベルとは、「自立した言語使用者」として、日本語でまとまりのある話をしたり、身近な話題の文章の大切な点を理解したり、日本に行ったときに自分一人でいろいろなことに対応したりできるレベルである。各回の授業では「Can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・他への思いやりを持った受け答えができる。	・ディスカッション	5%
専門的知識や技能	・質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 ・正しい発音でわかりやすく話すことができる。 ・オノマトペを使いこなすことができる。	・定期試験 ・課題	50% 20%
異文化知識・対応能力	・培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	・学習態度	10%
課題解決能力	・問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。 ・日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・学習態度	5%
キャリアデザイン力	・モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。 ・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・スピーチ	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始から 15 分までの入室は遅刻。15 分以降は欠席とする。 ・授業参加時間が 75 分に満たない場合も欠席とみなす。 ・定期試験 50%、課題 20%、発表10%、授業への参加態度20%の割合で評価する。 ・授業の出席・連絡は Google classroom を使用する。 ・課題発表やプレゼンテーションもある。 ・講義に関する質問は直接受け付けるほか、Google classroom でも対応可能。 ・本講義の課題レポートは Google classroom を通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックは Google classroom のコメント機能を使って行う。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」	対面授業	予習: Classroom で指示さ

	授業の進め方と注意点についての説明をする。 『まるごと 日本のことばと文化 中級2』 TOPIC4 PART1 P95~P99 ・TOPICから会話を広げる	※OL 対応可	れたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
2回目	TOPIC4 PART2 P100~P104 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
3回目	TOPIC4 PART3 P105~P107 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
4回目	TOPIC4 PART4 P108~P110 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
5回目	TOPIC4 PART5 P111~P112 TOPIC4の復習	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
6回目	TOPIC5 PART1 P113~P117 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
7回目	TOPIC5 PART2 P118~P122 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
8回目	TOPIC5 PART3 P123~P125 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
9回目	TOPIC5 PART4 P126~P128 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
10回目	TOPIC5 PART5 P129~P130 TOPIC5の復習	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
11回目	TOPIC6 PART1 P131~P135 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
12回目	TOPIC6 PART2 P136~P140 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
13回目	TOPIC6 PART3 P141~P143 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
14回目	TOPIC6 PART4	対面授業	予習:Classroomで指示さ

	P144～P146 ・TOPICから会話を広げる	※OL 対応可	れたことを行う(2 時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2 時間)
15回目	TOPIC6 PART5 P147～P148 TOPIC6の復習 次回の定期試験に関する説明	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroom で指示されたことを行う(2 時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2 時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『まるごと 日本のことばと文化 中級2』 新聞、タウン誌、パンフレットなど参考にしましょう
履修条件	
履修上の注意	指示された内容の予習・復習を忘れずにやること。
オフィスアワー	火曜日13:00～14:00
備考・メッセージ	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。

講義科目名称: 日本語会話Ⅳ N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC410

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	「話す」技能に焦点を当てた授業である。会話やプレゼンテーションについて、分かりやすく伝えるためにどのような話し方が適切かをCDや動画を参考にしながらディスカッションやロールプレイを通して学ぶ。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近で日常の事柄や様々な場面やことについて詳しく伝えることができる。	会話テスト ミニテスト	40% 10%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	20%
課題解決能力	様々な場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	15%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題20%、授業参加態度20%、試験60%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション ・授業内容を説明すること。 「中級2トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
2回目	「中級2トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレ	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)

	イを行い、順番に発表する。		
3回目	「中級2トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
4回目	「中級2トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
5回目	「中級2トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
6回目	「中級2トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
7回目	「中級2トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
8回目	「中級2トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
9回目	「中級2トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
10回目	「中級2トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
11回目	「中級2トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
12回目	「中級2トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)

13回目	「中級2トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
14回目	「中級2トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
15回目	「中級2トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
16回目	定期試験 ・グループプレゼンテーション ・個人会話テスト	対面のみ	復習: 既習単語と文型を確認する(2時間) 授業外学修時間 62時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級2」
履修条件	学ぶ意欲のある学生
履修上の注意	予習復習が学修成功の鍵です。課題を基にした演習も予定していますので忘れることなく、課題をしてきてください。
オフィスアワー	火曜日 10:00~11:00
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。日本語が正しく使えることより、話したいことが話せる、わかってもらえる経験をみんなと共有したいので、興味があること、話したいことを積極的に話題にしてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称:日本語会話Ⅳ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC410

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年(留学生)	2単位	選択	演習
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	既習の基礎的表現に加え、日常生活の様々な場面で必要となる標準的表現、自身の心情表現などの対話能力向上を主眼とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。社会のルールや状況に適した振る舞いができる。他者に対して親和的な態度で関わる事ができる。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	日本語で自身の必要な感情を表すために、基礎的な語彙を用いて日常の事柄について情報を伝え、相手の情報についても理解できる。	定期試験	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して得た知識を基本として、単純な疑問を基に理解しようとする考え方を持つことができる。自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持、改善をしようとする試みができる。	ペアでのダイアログ	20%
課題解決能力	目標に向かって自らやるべきことを見つけて取り組むことが多少でき、周囲の人々に声をかけ、動かすことが多少できる。自ら問題を見つけ、解決方法を検討することが多少できる。社会のルールに則って自らの発言や行動を適切に律しポジティブに捉えて対応することが多少できる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自分のパーソナリティと適職の関係について理解している。		
合計			100%

補足事項

授業に関する必要事項についての連絡は、Google Classroomを使用して、メールで行う

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション TOPIC4温泉に行こう(準備①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
2回目	TOPIC4温泉に行こう(PART1①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
3回目	TOPIC4温泉に行こう(PART2①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
4回目	TOPIC4温泉に行こう(PART2③~⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間

5回目	TOPIC4温泉に行こう(PART3①～⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
6回目	TOPIC5最近どう?(準備①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
7回目	TOPIC5最近どう?(PART1①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
8回目	TOPIC5最近どう?(PART2①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
9回目	TOPIC5最近どう?(PART2③～⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
10回目	TOPIC5最近どう?(PART3①～⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
11回目	TOPIC6マンガを読もう(準備①～②)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
12回目	TOPIC6マンガを読もう(PART1①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
13回目	TOPIC6マンガを読もう(PART2①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
14回目	TOPIC6マンガを読もう(PART2③～⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
15回目	TOPIC6マンガを読もう(PART3①～⑤) TOPIC4～6 まとめ	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	まるごと 日本のことばと文化 中級1 B1
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	午前8時～午後9時 メールで行う
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止 携帯電話使用は語句確認時(指示有)のみとする

講義科目名称:日本語会話Ⅳ N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC410

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	N4レベルに応じたコミュニケーション力をつける。「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での「can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N4 レベルの実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題発表やプレゼンテーションもある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習:2回目の語彙を調べ覚える。(2時間)
2回目	トピック6 1・人生いろいろ 2・ほんとうですか	対面授業 オンライン可	予習:3回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
3回目	トピック6 3・おめでとう、お幸せに!	対面授業 オンライン可	予習:4回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間)

	4・結婚式のスピーチ		復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	トピック6 5・ふたりの気持ち 6・結婚相手はどんな人?	対面授業 オンライン可	予習:5回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	トピック7 1・人はなやむ 2・最近、元気がないですね	対面授業 オンライン可	予習:6回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	トピック7 3・社会人のなやみ 4・こまった友だち	対面授業 オンライン可	予習:7回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	トピック7 5・はっきり言いましょう	対面授業 オンライン可	予習:8回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	トピック8 1・空港の中 2・今のアナウンス、何て言っていましたか	対面授業 オンライン可	予習:9回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	トピック8 3・あった、あった 4・トラブルのときのことば	対面授業 オンライン可	予習:10回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	トピック8 5・海外旅行のトラブル 6・ブログへのコメント	対面授業 オンライン可	予習:11回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	トピック9 1・いろいろな会社 2・少々お待ちください	対面授業 オンライン可	予習:12回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	トピック9 3・働きやすいですよ 4・しゅうしょくの相談	対面授業 オンライン可	予習:13回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	トピック9 5・キムさんへのメール	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	トピック6～9まとめ①	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	トピック6～9まとめ②		予習:定期試験の準備(4時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	まるごと 初中級 A2/B1
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。

○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:日本語会話V	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC510

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
山本 みづほ				

授業概要	進学希望が多い留学生に流暢な日本語会話力を身に付けることを目標とする。 本演習では、設定された場面での会話を、①場面に即したことば遣いができる、②豊富な語彙を用いることができる、③的確な表現ができることを目指したい。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・他への思いやりを持った受け答えができる。	・グループディスカッション	5%
専門的知識や技能	・質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 ・正しい発音でわかりやすく話すことができる。 ・オノマトペを使いこなすことができる。	・定期試験 ・ミニテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	・日本文化の特徴を理解している。 ・日本のマナーを体得している。	・レポート	10%
課題解決能力	・分からないこと、聞き取れなかったことをその場で聞き返すことができる。	・授業への参加・態度	5%
キャリアデザイン力	・自分の将来を言語化してしっかりと説明することができる。	・スピーチ	10%
合計			100%

補足事項	
<p>・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。 ・本授業では、定期試験50%、ミニテスト20%、レポート10%、グループディスカッション・授業への参加態度10%、スピーチ10%の割合で評価する。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。 まると中級2日本のことばと文化 TOPIC 1 PART1結婚することになりました P42～P45 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習:P42～45を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
2回目	まると中級2日本のことばと文化 TOPIC 1 PART2厳しいけど学生思いなんですね P46～P50 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習:P46～50を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
3回目	まると中級2日本のことばと文化	対面授業	予習:P51～53を読み自分の

	TOPIC 1 PART3 すごくおもしろい人ですよ P51~P53 ・TOPICから会話を広げる	オンライン等の対応可	意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
4回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 1 PART4 書道でコミュニケーションを P54~P56 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P54~56を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
5回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 1 PART5 友だちの紹介メール P57~P58 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P57~58を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
6回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 2 PART1 富士山に勝る山はない P60~P63 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P60~63を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
7回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 2 PART2 ご来光はやっぱり見たいしね P64~P68 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P64~68を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
8回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 2 PART3 誰でも楽しめるんじゃないかと思います P69~P71 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P69~71を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
9回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 2 PART4 四季折々に楽しめる富士五湖 P72~P74 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P72~74を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
10回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 2 PART5 おすすめスポットは... P75~P76 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P75~76を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
11回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 3 PART1 ウォーキングがいいんじゃないですか P78~P81 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P78~81を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
12回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 3 PART2 どんなダイエットしてるの? P82~P86 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P82~86を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
13回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 3 PART3 病気の原因を消してくれるんです P87~P89 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P87~89を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
14回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 3 PART4 本当に効くのかな? P9	対面授業 オンライン等	予習: P90~92を読み自分の意見を持つ(2時間)

	0~P92 ・TOPICから会話を広げる	の対応可	復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
15回目	まるごと中級2日本のことばと文化 TOPIC 3 PART5 世界の健康法 P93~P94 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等 の対応可	予習: P93~94を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	まるごと中級2日本のことばと文化 新聞、タウン誌、パンフレットなど参考にしましょう
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 授業でTOPICに即したNHK for Schoolの番組を見せることがあります。

講義科目名称:日本語会話Ⅴ N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC510

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	実際に使える日本語習得のため、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での「can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N2 レベルの 実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題発表やプレゼンテーションもある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習:2回目の語彙を調べ覚える。
2回目	トピック1part1 みなさん、こんにちは	対面授業 オンライン可	予習:3 回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
3回目	トピック1part2 あのう、失礼ですが・・・	対面授業 オンライン可	予習:4 回目の語彙を調べ覚える。 ページ 53を考察する。(2時間)

			復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	トピック1part3 はじめまして、マイと申します	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	トピック1part1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習:6回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	トピック2part1 ここは、とくに魚がうまい	対面授業 オンライン可	予習:7回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	トピック2part2 お好み焼き粉は・・・	対面授業 オンライン可	予習:8回目の語彙を調べ覚える。ページ71を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	トピック2part3 ぜひ、めしあがってみてください	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	トピック2part1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習:10回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	トピック3part1 やっぱり演歌でしょう	対面授業 オンライン可	予習:11回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	トピック3part2 いい歌は古くならないんです	対面授業 オンライン可	予習:12回目の語彙を調べ覚える。ページ89を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	トピック3part3 彼女のすごいところは・・・	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	トピック3part1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	トピック1～3part1～3 総まとめ①	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	トピック1～3part1～3 総まとめ②	対面授業 オンライン可	予習:定期試験の準備(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	まるごと 中級1 B1
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:日本語会話V N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC510

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年(留学生)	2	選択	演習
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	日本語での基本的な個人的事柄や日常の事柄について簡単な情報交換に対応できる。更に身近で個人的にも関心のある話題について、意見や計画、説明を簡単に述べるができることを主眼とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え、行動することを意識することができる。適切に判断し継続して行動することができる。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	日本語で基本的な定型の挨拶や短い文章を理解し、日常的表現と基本的な言い回しを用いることができ、理解できる。	定期試験	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して自己の世界観を基本として理解しようとする考え方をもち、他者との関わりによって文化的ルールを認識することができる。	ペアでのダイアログ	20%
課題解決能力	自らの意思で活動に参加し、その目的をよく考え、自分から動くことができる。相手の意見をよく聴き、自分の役割分担を理解し、チームで活動することができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自分の行動特徴について理解している。		
合計			100%
補足事項			
授業に関する必要事項についての連絡は、Google Classroomを使用して メールで行う。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション 『まるごと』(初級2A2かつどう)復習1	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
2回目	『まるごと』(初級2A2かつどう)復習2	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
3回目	『まるごと』(初級2A2かつどう)復習3	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
4回目	トピック1 スポーツの試合1~2	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
5回目	トピック1 スポーツの試合3~5	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
6回目	トピック1 スポーツの試合5~6	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間

7回目	トピック2 家をさがす1～2	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
8回目	トピック2 家をさがす3～4	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
9回目	トピック2 家をさがす4～5	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
10回目	トピック3 ほっとする食べ物1～2	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
11回目	トピック3 ほっとする食べ物3～4	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
12回目	トピック3 ほっとする食べ物4～5	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
13回目	トピック4 訪問1～2	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
14回目	トピック4 訪問3～4	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
15回目	トピック4 訪問4～5 トピック1～4 まとめ	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	まるごと 日本のことばと文化 初級2A2 / 初中級A2 / B1
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	午前8時～午後9時 メールを使用すること
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止 携帯電話は語句確認時(指示有)のみとする

講義科目名称: 日本語会話 V N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC510

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
析丸 華緒				

授業概要	N4レベルに応じたコミュニケーション力をつける。「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での「can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他人を思いやる心や感動する心を高めることができる。 他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。		
専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N4 レベルの 実力) 日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。	定期試験 ミニテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化 に対応でき、また自己表現できる。		
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の 課題に向き合うことができる。 日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	20%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。 自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ・授業参加時間が75分に満たない場合も欠席とみなす。 ・定期試験50%、ミニテスト20%、課題20%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 ・授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。 ・課題発表やプレゼンテーションもある。 ・講義に関する質問は直接受け付けるほか、Google classroomでも対応可能。 ・本講義の課題レポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って行う。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・講義の進め方 ・心構え ・Google classroom登録の確認 ・課題の確認、提出方法 ・フィードバックの確認方法 ・教科書の確認 ・クラスメイトについて理解する・知る (自己紹介)	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
2回目	トピック1 だい1・2	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
3回目	トピック2 だい3・4	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
4回目	トピック3 だい5・6	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
5回目	トピック1・2・3復習	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
6回目	トピック4 だい7・8	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
7回目	トピック5 だい9・10	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
8回目	トピック6 だい11・12	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
9回目	トピック4・5・6復習	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
10回目	トピック7 だい13・14	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
11回目	トピック8 だい15・16	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
12回目	トピック9 だい17・18	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)

			る(2時間)
13回目	トピック7・8・9復習	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
14回目	トピック1~5復習 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
15回目	トピック6~9復習 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
16回目	「定期試験」	対面のみ	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 授業外学修時間 62時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	『まるごと 日本のことばと文化 初級 1 A2』
履修条件	日本語の学習時間が300時間から400時間程度の学習者を対象とする。
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。。
オフィスアワー	前期 金曜日10:30~11:30 研究室
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・失敗を気にせず、習った文法を積極的に使ってみること。 ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。 ・授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

講義科目名称: 日本語会話VI N1	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC603

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
栃丸華緒				

授業概要	この授業では、B1レベル相当の日本語コミュニケーションを養う。B1レベルとは、「自立した言語使用者」として、日本語でまとまりのある話をしたり、身近な話題の文章の大切な点を理解したり、日本に行ったときに自分一人ですべてのことに対応したりできるレベルである。各回の授業では「Can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・他への思いやりを持った受け答えができる。	・ディスカッション	5%
専門的知識や技能	・質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 ・正しい発音でわかりやすく話すことができる。 ・オノマトペを使いこなすことができる。	・定期試験 ・課題	50% 20%
異文化知識・対応能力	・培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	・学習態度	10%
課題解決能力	・問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。 ・日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・学習態度	5%
キャリアデザイン力	・モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。 ・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・スピーチ	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始から 15 分までの入室は遅刻。15 分以降は欠席とする。 ・授業参加時間が 75 分に満たない場合も欠席とみなす。 ・定期試験 50%、課題 20%、発表10%、授業への参加態度20%の割合で評価する。 ・授業の出席・連絡は Google classroom を使用する。 ・課題発表やプレゼンテーションもある。 ・講義に関する質問は直接受け付けるほか、Google classroom でも対応可能。 ・本講義の課題レポートは Google classroom を通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックは Google classroom のコメント機能を使って行う。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」	対面授業	予習: Classroom で指示さ

	授業の進め方と注意点についての説明をする。 『まるごと 日本のことばと文化 中級2』 TOPIC4 PART1 P95~P99 ・TOPICから会話を広げる	※OL 対応可	れたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
2回目	TOPIC4 PART2 P100~P104 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
3回目	TOPIC4 PART3 P105~P107 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
4回目	TOPIC4 PART4 P108~P110 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
5回目	TOPIC4 PART5 P111~P112 TOPIC4の復習	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
6回目	TOPIC5 PART1 P113~P117 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
7回目	TOPIC5 PART2 P118~P122 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
8回目	TOPIC5 PART3 P123~P125 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
9回目	TOPIC5 PART4 P126~P128 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
10回目	TOPIC5 PART5 P129~P130 TOPIC5の復習	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
11回目	TOPIC6 PART1 P131~P135 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
12回目	TOPIC6 PART2 P136~P140 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
13回目	TOPIC6 PART3 P141~P143 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
14回目	TOPIC6 PART4	対面授業	予習:Classroomで指示さ

	P144～P146 ・TOPICから会話を広げる	※OL 対応可	れたことを行う(2 時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2 時間)
15回目	TOPIC6 PART5 P147～P148 TOPIC6の復習 次回の定期試験に関する説明	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroom で指示されたことを行う(2 時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2 時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『まるごと 日本のことばと文化 中級2』 新聞、タウン誌、パンフレットなど参考にしましょう
履修条件	
履修上の注意	指示された内容の予習・復習を忘れずにやること。
オフィスアワー	火曜日13:00～14:00
備考・メッセージ	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。

講義科目名称:日本語会話VI N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC603

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年(留学生)	2単位	選択	演習
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	既習の基礎的表現に加え、日常生活の様々な場面で必要となる対話能力向上を主眼とし、運用能力アップを目指す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え、行動することができる。社会のルールや状況に適した振る舞いができる。	授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	日本語で、身近な日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	定期試験	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して得た知識を基本として、理解しようとする考え方をもちることができる。自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持、改善しようと試みることができる。	ペアでのダイアログ	20%
課題解決能力	周りに確認と質問をしながら、自立的に活動に取り組むことができる。事前に計画を立て、自分の考察を交えて解決法を考えることができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自分のパーソナリティと適職の関係について理解している。	作文	5%
合計			100%

補足事項

授業に関する必要事項については、Google Classroomを使用して、メールで行う。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション TOPIC4温泉に行こう(準備①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
2回目	TOPIC4温泉に行こう(PART1①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
3回目	TOPIC4温泉に行こう(PART2①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
4回目	TOPIC 4温泉に行こう(PART2④~⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
5回目	TOPIC4温泉に行こう(PART3①~⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間

6回目	TOPIC 5 最近どう？(準備①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
7回目	TOPIC 5 最近どう？(PART1①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
8回目	TOPIC 5 最近どう？(PART2①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
9回目	TOPIC 5 最近どう？(PART2④～⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
10回目	TOPIC 5 最近どう？(PART 3 ①～⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
11回目	TOPIC 6 マンガを読もう(準備①～②)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
12回目	TOPIC6マンガを読もう(PART 1 ①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
13回目	TOPIC 6 マンガを読もう(PART 2 ①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
14回目	TOPIC6マンガを読もう(PART 2 ④～⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
15回目	TOPIC 6マンガを読もう(PART 3 ①～⑤) TOPIC4～6 まとめ	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	まるごと 日本のことばと文化 中級1 B1
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	午前8時～午後9時まで メールを使用すること。
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止。 携帯電話使用は語句確認時(指示有)のみとする。

講義科目名称: 日本語会話VI	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC603

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
山本 みづほ				

授業概要	日本で生活する中での、基礎的な日本語会話を身に付けることを目標とする。 本演習では、設定された場面での会話を、①場面に即したことば遣いができる、②覚えた語彙を用いることができる、③的確な表現ができることを目指したい。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・他への思いやりを持った受け答えができる。	・グループディスカッション	5%
専門的知識や技能	・質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 ・正しい発音でわかりやすく話すことができる。 ・オノマトペを使いこなすことができる。	・定期試験 ・ミニテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	・日本文化の特徴を理解している。 ・日本のマナーを体得している。	・レポート	10%
課題解決能力	・分からないこと、聞き取れなかったことをその場で聞き返すことができる。	・授業への参加・態度	5%
キャリアデザイン力	・自分の将来を言語化してしっかりと説明することができる。	・スピーチ	10%
合計			100%
補足事項			
<p>・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。 ・本授業では、定期試験50%、ミニテスト20%、レポート10%、グループディスカッション・授業への参加態度10%、スピーチ10%の割合で評価する。</p>			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。 「トピック5」① ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
2回目	「トピック5」② ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い	対面授業 オンライン等の対応可	予習: 最近のニュースを調べる(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)

	<p>順番に発表する。</p> <p>・ミニテスト</p>		
3回目	<p>「トピック5」③</p> <p>・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。</p> <p>・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習:最近のニュースを調べる(2時間)</p> <p>復習:今日の新出単語を確認する(2時間)</p>
4回目	<p>「トピック6」①</p> <p>・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。</p> <p>・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。</p> <p>・ミニテスト</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習:最近のニュースを調べる(2時間)</p> <p>復習:今日の新出単語を確認する(2時間)</p>
5回目	<p>「トピック6」②</p> <p>・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。</p> <p>・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習:最近のニュースを調べる(2時間)</p> <p>復習:今日の新出単語を確認する(2時間)</p>
6回目	<p>「トピック6」③</p> <p>・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。</p> <p>・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。</p> <p>・ミニテスト</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習:最近のニュースを調べる(2時間)</p> <p>復習:今日の新出単語を確認する(2時間)</p>
7回目	<p>「トピック7」①</p> <p>・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。</p> <p>・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習:最近のニュースを調べる(2時間)</p> <p>復習:今日の新出単語を確認する(2時間)</p>
8回目	<p>「トピック7」②</p> <p>・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。</p> <p>・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。</p> <p>・ミニテスト</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習:最近のニュースを調べる(2時間)</p> <p>復習:今日の新出単語を確認する(2時間)</p>
9回目	<p>「トピック7」③</p> <p>・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。</p> <p>・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習:最近のニュースを調べる(2時間)</p> <p>復習:今日の新出単語を確認する(2時間)</p>
10回目	<p>「トピック8」①</p> <p>・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。</p> <p>・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。</p> <p>・ミニテスト</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習:最近のニュースを調べる(2時間)</p> <p>復習:今日の新出単語を確認する(2時間)</p>
11回目	<p>「トピック8」②</p> <p>・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。</p> <p>・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習:最近のニュースを調べる(2時間)</p> <p>復習:今日の新出単語を確認する(2時間)</p>
12回目	<p>「トピック8」③</p> <p>・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。</p>	<p>対面授業 オンライン等の 対応可</p>	<p>予習:最近のニュースを調べる(2時間)</p> <p>復習:今日の新出単語を確認する(2時間)</p>

	・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 ・ミニテスト		認する(2時間)
13回目	「トピック9」① ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
14回目	「トピック9」② ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 ・ミニテスト	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
15回目	「トピック9」③ ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	まるごと初中級A2/B1 まるごと初級1A2リカイ
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。 授業開始から15分経過したら欠席となります。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 時間があれば、授業でNHK for schoolを視聴するので、番組を楽しみながらより会話力をつけましょう。

講義科目名称: 日本語会話VI N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC603

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	N4レベルに応じたコミュニケーション力をつける。「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での「can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N4 レベルの 実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題発表やプレゼンテーションもある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習: 2回目の語彙を調べ覚える。 (2時間)
2回目	トピック1 だい1・2	対面授業 オンライン可	予習: 3回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
3回目	トピック2 だい3・4	対面授業 オンライン可	予習: 4回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間)

			復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	トピック3 だい5・6	対面授業 オンライン可	予習:5回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	トピック4 だい7・8	対面授業 オンライン可	予習:6回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	トピック5 だい9・10	対面授業 オンライン可	予習:7回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	トピック6 だい11・12	対面授業 オンライン可	予習:8回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	トピック7 だい13・14	対面授業 オンライン可	予習:9回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	トピック8 だい15・16	対面授業 オンライン可	予習:10回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	トピック9 だい17・18	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	トピック1~2まとめ	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	トピック3~4まとめ	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	トピック5~6まとめ	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	トピック7~9まとめ	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	トピック1~9総まとめ	対面授業 オンライン可	予習:定期試験の準備(4時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	まるごと 初級2A2 かつどう
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:日本語検定 I N1	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC112

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	日本語能力試験N1レベルの各能力を高めるため、練習問題に取り組む。具体的には、教科書(ドリル&ドリル日本語能力試験N1)に沿って問題を解き、解答及び解説を行う。解説では、関連する文法事項などの確認を適宜行い、日本語能力試験N1合格を目指す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	N1相当の文法力や読解力が身に付いている。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	N1 相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。		
課題解決能力	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	20%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、予習・復習10%、授業への参加態度20%の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)
2回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙① ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
3回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙② ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
4回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙③ ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)

5回目	N1ドリル&ドリル 文法① ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	N1ドリル&ドリル 文法② ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	N1ドリル&ドリル 文法③ ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	N1ドリル&ドリル 文法④ ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	N1ドリル&ドリル 文法⑤ ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	N1ドリル&ドリル 文法⑥ ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	N1ドリル&ドリル 文法⑦ ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙 ・復習①	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙 ・復習②	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	N1ドリル&ドリル 文法 ・復習①	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	N1ドリル&ドリル 文法 ・復習②	対面授業 オンライン可	予習:定期試験の準備(4時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「ドリル&ドリル日本語能力試験 N1 文字語彙」 「ドリル&ドリル日本語能力試験 N1 文法」 「ドリル&ドリル日本語能力試験 N1 聴解読解」
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する) ○ドリル&ドリル日本語能力試験 N1 聴解読解も随時使用する。

講義科目名称: 日本語検定 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC112

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
山本 みづほ				

授業概要	JLPTN2級合格を目指して、文字・語彙と文法の力を養う。必ず予習として問題を解いて参加し、授業では解答と解説を行う。分からないところ、苦手なところを繰り返して学ぶことで、確実な日本語力をつけることを目標とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・目標に向かって、着実に進歩することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・N2レベルの文字・語彙・文法力を身に付けている。	・定期試験 ・ミニテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	・日本語の感覚を身に付けている。	・授業中の言動	5%
課題解決能力	・工夫した学習法を身に付けている。	・毎回の予習・復習の様子	10%
キャリアデザイン力	・資格を進学や就職に活かそうとする。	・レポート	10%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroom活用する。 ・本授業では、定期試験50%、ミニテスト20%、授業への参加態度20%、レポート10%の割合で評価する。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。1回に10ページ進むので、必ず問題を解いてくる。 N2TRY！スタッフ募集のお知らせ P18～P29 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P18～29を解く(2時間) 復習: 間違ったところのやり直しをする(2時間)
2回目	N2TRY！ 転任の挨拶(1) P30～P37 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P30～37を解く(2時間) 復習: 間違ったところのやり直しをする(2時間)
3回目	N2TRY！ 転任の挨拶(2) P38～P49 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P38～49を解く(2時間) 復習: 間違ったところのやり直しをする(2時間)

4回目	N2TRY! ホテルの仕事 P50～P61 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P59～61を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
5回目	N2TRY! 台風情報 P62～P71 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P61～71を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
6回目	N2TRY! 就職活動(1)(2) P72～P85 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P72～85を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
7回目	N2TRY! 苦勞した5年間(1)(2) P86～P102 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P86～102を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
8回目	N2TRY! オオカミと生態系(1)(2) P103～P121 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P103～121を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
9回目	N2TRY! 取引先で P122～P130 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P122～130を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
10回目	N2TRY! 食べ放題(1)(2) P131～P147 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P131～147を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
11回目	N2TRY! 満員電車(1)(2) P148～P159 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P148～159を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
12回目	N2TRY! ラーメンの紹介 P160～P171 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P160～171を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
13回目	N2TRY! ウォーキングシューズの開発(1)(2) P172～P187 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P172～187を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
14回目	N2TRY! 人生の転機(1)(2) P188～P204 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P188～204を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
15回目	N2TRY! オリンピックの開催について P205～P215 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P205～215を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
	試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規	

則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	N2TRY！ JLPTN2総合問題集 JLPTN2ベスト単語2400
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 N2合格に向けて頑張りましょう。

講義科目名称: 日本語検定 I N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC112

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
チャウユンテン				

授業概要	本講義は主に日本語検定試験(JLPT)の合格を目的とした試験対策講座である。本講義の受講対象者は日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とし、学習漢字数300、語彙数1,500語の獲得を目指す。また、これらの基本語彙や、漢字を使った身近な話題の文章を理解し、日常で使われる基本的な会話が理解できるようになる為の、聞く、読む、話す、書くの4技能も同様に演習を通して身に付けることができるようになる。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	N4を合格すると目標に向かっている。		
専門的知識や技能	N4の文字、語彙及び文法力を身につけている。	定期試験	40%
異文化知識・対応能力	N4の文字、語彙及び文法力を身につけている。	予習／復習	25%
課題解決能力	学習法と試験対策を身に付けている。	課題	25%
キャリアデザイン力	N4を合格することで、進学や就職に活かせる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では目標設定シートレポート報告20%、ミニテスト20%、期末テスト60%の割合で評価する ・本講義の課題レポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。 ・出席管理は必ず自己管理で行うこと。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	①「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする クラス分け試験の確認	対面授業	予習: シラバスを前もって読んでおき、わからない言葉は調べておくこと(2時間) 復習: 目標設定シートの作成に取り掛かり、毎日の勉強に反映させること(2時間)
2回目	文字語彙、文脈規定を中心に語彙	対面授業	予習: 教科書で指定された問題を事前に

	の取得と、その用法、言い換えなどを学ぶ①		解しておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
3回目	文字語彙、文脈規定を中心に語彙の取得と、その用法、言い換えなどを学ぶ②	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解しておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
4回目	文字語彙、文脈規定を中心に語彙の取得と、その用法、言い換えなどを学ぶ③	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解しておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
5回目	学習した語彙の使われ方を学ぶとともに、N3につながる基本的な文法を確実に学ぶ。また、文章を作ることができるようになる。①	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解しておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
6回目	学習した語彙の使われ方を学ぶとともに、N3につながる基本的な文法を確実に学ぶ。また、文章を作ることができるようになる。②	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解しておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
7回目	学習した語彙の使われ方を学ぶとともに、N3につながる基本的な文法を確実に学ぶ。また、文章を作ることができるようになる。③	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解しておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
8回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった短文の文章を読み、理解できるようになる①	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解しておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
9回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった短文の文章を読み、理解できるようになる②	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解しておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
10回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった中文の文章を読み、理解できるようになる①	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解しておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)

11回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった中文の文章を読み、理解できるようになる②	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
12回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、提示された資料を読み、必要な情報を読み解き、理解できるようになる①	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
13回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、提示された資料を読み、必要な情報を読み解き、理解できるようになる②	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
14回目	聴解① 短い会話文に繋がる適切な返答ができるようになる	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
15回目	聴解② 2人以上の会話を聞いて、適切な情報を取り出すことができるようになる	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
16回目	定期試験 これまで学んだ内容に関して、定期試験を行う	対面授業	予習:定期試験に備えておく(2時間) 授業外学修時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	TRY!日本語能力試験N4、日本語能力試験ベスト単語合格2100
履修条件	日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とする
履修上の注意	指定された課題を必ず、授業前にはしておくこと
オフィスアワー	金曜日10:00~11:00
備考・メッセージ	漢字の取得も目指しています。根気よく頑張る人は時間が始めはかかりますが、学びを実感しやすいです。 一緒に頑張りましょう! また、授業開始15分以内の出席は遅刻扱いになりますが、15分を越す場合は欠席になります。また、ひとつの授業に75分以上の出席がない場合、欠席扱いとなります。

講義科目名称: 日本語検定 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC112

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年(留学生)	2	選択	講義
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	日本語能力試験対策で、N3 合格を目標とし、文字・語彙・文法の習得、さらに読解力・聴解力の向上を主眼とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え、行動することを意識することができる。試行錯誤しながら、自ら考え行動する。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	日本語で基本的な定型の挨拶や短い文章を理解し、自らの意思を表現・伝達し相手の意思を理解できる。身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。	定期試験	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人々との関わりに対して自己の世界観を基本として理解しようとする考え方もつことができ、単純な疑問を基に理解しようとする考え方もつことができる。		
課題解決能力	自らの意思で活動に参加し、その目的や課題を理解し、確認と質問をしながらよく考え、自分から動くことができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自分の行動特徴について理解し自分のパーソナリティと適職の関係について理解している。	復習課題	20%
合計			100%

補足事項

授業に関する必要事項についての連絡は、Google Classroomを使用して メールで行う。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション 1. あいさつの言葉 2. おかし作り(1)(2)	SC(OL)	予習: 2時間 復習: 2時間
2回目	JLPT N3 単語小テスト(1) まとめの問題(P34~35) 3. けっこん式(1)	SC(OL)	予習: 2時間 復習: 2時間
3回目	JLPT N3 単語小テスト(2) 3. けっこん式(2) まとめの問題(P48~49)	SC(OL)	予習: 2時間 復習: 2時間

4回目	JLPT N3 単語小テスト(3) 4. 私の町ハノイ(1)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
5回目	JLPT N3 単語小テスト(4) 4. 私の町ハノイ(2) まとめの問題(P66~67)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
6回目	JLPT N3 単語小テスト(5) 5. ハイキングの計画(1)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
7回目	JLPT N3 単語小テスト(6) 5. ハイキングの計画(2) まとめの問題(P84~85)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
8回目	JLPT N3 単語小テスト(7) 6. 木の上の子ねこ(1)(2)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
9回目	JLPT N3 単語小テスト(8) 6. 木の上の子ねこ(2) まとめの問題(P101~102)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
10回目	JLPT N3 単語小テスト(9) 7. 大好きなピアノ(1)(2)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
11回目	JLPT N3 単語小テスト(10) 7. 大好きなピアノ(2) まとめの問題(P117~119)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
12回目	JLPT N3 単語小テスト(11) 8. 旅館のよやく(1)(2)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
13回目	JLPT N3 単語小テスト(12) 8. 旅館のよやく(2) まとめの問題(P132~133)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
14回目	JLPT N3 単語小テスト(13) 9. ゆうしょうインタビュー(1)(2) まとめの問題(P147~149)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
15回目	JLPT N3 単語小テスト(14) 10. アルバイトのめんせつ(1)(2) まとめの問題(P160~161)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	TRY!トライ 日本語能力試験N4 文法から伸ばす日本語 JLPT N3 日本語能力試験ベスト単語N3合格2100
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	午前8時~午後9時 メールで行う
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止。 携帯電話使用は語句確認時(指示有)のみとする。

講義科目名称:日本語検定Ⅱ N1	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC308

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	日本語能力試験N1 レベルの各能力を高めるため、練習問題に取り組む。具体的には、教科書(N1合格模試)に沿って問題を解き、解答及び解説を行う。解説では、関連する文法事項などの確認を適宜行い、日本語能力試験N1合格を目指す。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	N1相当の文法力や読解力が身に付いている。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	N1相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。		
課題解決能力	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	20%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、予習・復習10%、授業への参加態度20%の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)
2回目	合格模試第1回 N1 (文字・語彙)	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
3回目	合格模試第1回 N1 (文法)	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
4回目	合格模試第1回 N1 (読解)	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)

			復習: 既習内容の確認(2時間)
5回目	合格模試第1回 N1 (聴解) 第1回まとめ	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
6回目	合格模試第2回 N1 (文字・語彙)	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
7回目	合格模試第2回 N1 (文法)	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
8回目	合格模試第2回 N1 (読解)	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
9回目	合格模試第2回 N1 (聴解) 第2回まとめ	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
10回目	合格模試第3回 N1 (文字・語彙)	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
11回目	合格模試第3回 N1 (文法)	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
12回目	合格模試第3回 N1 (読解)	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
13回目	合格模試第3回 N1 (聴解) 第3回まとめ	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
14回目	総まとめ①	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
15回目	総まとめ②	対面授業 オンライン可	予習: 定期試験の準備(4時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	はじめての日本語能力試験N1 合格模試
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称: 日本語検定Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC308

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年(留学生)	2単位	選択	講義
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	日本語能力試験、N2合格を目標とし、高度な文法・漢字・語彙の習得、読解力、聴解力向上を主眼とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。社会のルールや状況に適した振る舞いができる。他者に対して、親和的な態度で関わることができる。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	日本語で仕事、学校、娯楽などに対応でき、身近な話題について主要な点を理解できる。様々な場面で自らの意思を表現、伝達し相手の意思を理解できる。	定期試験	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して、自己の世界観を基本として理解しようとし、その文化的な違いを認識し、行動に取り入れ共通の理解を得ようとし始める。		
課題解決能力	自ら目標を設定し、問題点を整理し、解決に向け相手の意見を理解し、自分の意見を的確に伝え、協力して活動することができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自己のライフスタイルを振り返り、職業志向条件や勤務条件について考え、自分自身を十分プレゼンできる準備ができている。	復習課題	20%
合計			100%
補足事項			
授業に関する必要事項については、Google Classroomを使用して、メールで行う。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション 7. オオカミと生態系(1)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
2回目	JLPT N2 単語小テスト(1) 7. オオカミと生態系(2)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
3回目	JLPT N2 単語小テスト(2) 8. 取引先で	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
4回目	JLPT N2 単語小テスト(3) 9. 食べ放題(1)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
5回目	JLPT N2 単語小テスト(4) 9. 食べ放題(2)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
6回目	JLPT N2 単語小テスト(5)	SC(OL)	予習:2時間

	10. 満員電車(1)		復習:2時間
7回目	JLPT N2単語小テスト(6) 10. 満員電車(2)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
8回目	JLPT N2 単語小テスト(7) 11. ラーメンの紹介	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
9回目	JLPT N2単語小テスト(8) 12. ウォーキングシューズの開発(1)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
10回目	JLPT N2 単語小テスト(9) 12. ウォーキングシューズの開発(2)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
11回目	JLPT N2 単語小テスト(10) 13. 人生の転機(1)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
12回目	JLPT N2 単語小テスト(11) 13. 人生の転機(2)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
13回目	JLPT N2 単語小テスト(12) 13. 人生の転機(2)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
14回目	JLPT N2 単語小テスト(13) 14. オリンピックの開催について	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
15回目	JLPT N2 単語小テスト(14) 14. オリンピックの開催について 復習・まとめ	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	TRY! N2 日本語能力試験 N2 文法から伸ばす日本語 JLPT N2日本語能力試験ベスト総合問題集
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	午前8時～午後9時 メールで行う。
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止。 携帯電話使用は語句確認時(指示有)のみとする。

講義科目名称: 日本語検定Ⅱ N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC308

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
栢丸華緒				

授業概要	本講義では、日本語能力試験N3レベル取得を目指し、試験に向けて問題を解く際のポイントを確認し、実践力を養う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	積極的に取り組もうとする姿勢を身に付けることができる。		
専門的知識や技能	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。	定期試験 ミニテスト 課題	50% 20% 10%
異文化知識・対応能力	文化背景の異なるクラスメイトを理解し、協力することで日本語の使用機会を増やし、より実践的な言語運用能力を高めることができる。	授業態度	10%
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、自らの課題に向き合うことができる。	授業態度	10%
キャリアデザイン力	自ら考え、自律的に継続して行動することができる。		
合計			100%

補足事項

- ・授業開始から 15 分までの入室は遅刻。15 分以降は欠席とする。
- ・授業参加時間が 75 分に満たない場合も欠席とみなす。
- ・定期試験50%、ミニテスト20%、課題10%、授業への参加態度20%の割合で評価する。
- ・授業の出席・連絡は Google classroom を使用する。
- ・講義に関する質問は直接受け付けるほか、Google classroom でも対応可能。
- ・本講義の課題レポートは Google classroom を通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックは Google classroom のコメント機能を使って行う。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・講義の進め方 ・心構え ・Google classroom 登録の確認 ・課題の確認、提出方法 ・フィードバックの確認方法 ・教科書の確認 【テキスト】 ・第1週1日目	対面授業 ※OL 対応可	復習: 授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)

	<ul style="list-style-type: none"> ・第5週1日目 ・第9週1日目、第10週1日目 		
2回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第1週2日目、3日目 ・第5週2日目 ・第9週2日目、第10週2日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第1週2日目、3日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
3回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第1週4日目、5日目 ・第5週3日目 ・第9週3日目、第10週3日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第1週4日目、5日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
4回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第2週1日目、2日目 ・第5週4日目 ・第9週4日目、第10週4日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第2週1日目、2日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
5回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第2週3日目、4日目 ・第5週5日目 ・第9週5日目、第10週5日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第2週3日目、4日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
6回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第2週5日目、第3週1日目 ・第6週1日目 ・第11週1日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第2週5日目、第3週1日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
7回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第3週2日目、3日目 ・第6週2日目 ・第11週2日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第3週2日目、3日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
8回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第3週4日目、5日目 ・第6週3日目 ・第11週3日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第3週4日目、5日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
9回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第4週1日目 ・第6週4日目 ・第11週4日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第4週1日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
10回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第4週2日目 ・第6週5日目 ・第11週5日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第4週2日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
11回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第4週3日目 ・第7週1日目、2日目 ・第12週1日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第4週3日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
12回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第4週4日目 ・第7週3日目、4日目 ・第12週2日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第4週4日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
13回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第4週5日目 ・第7週5日目、第8週1日目 ・第12週3日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第4週5日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
14回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・文字語彙文法 復習1 ・第8週2日目、3日目 ・第12週4日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:p16～p65(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)

15回目	【テキスト】 ・文字語彙文法 復習2 ・第8週目4日目、5日目 ・第12週5日目	対面授業 ※OL 対応可	予習:p16～p65(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(4時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	JLPTN3総合問題集 JLPTN3ベスト単語合格2100
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	日本語能力試験N3レベルを取得するためには、授業だけではなく自分で勉強することが大切です。授業でわからなかったところは教員に質問し、授業後は必ず復習するようにしてください。 また、「語彙・語彙・文法」に関しては、予習してきているものとして授業を進めるので、授業の前日までに必ず予習をしておいてください。

講義科目名称: 日本語検定Ⅱ N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC308

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	JLPTN3の文字、語彙及び文法力をアップするための授業である。必ず予習として練習問題を事前に解い、分からないことを授業で聞く。授業では解答及び解説をメインに行う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	N3を合格すると目標に向かっている。		
専門的知識や技能	N3の文字、語彙及び文法力を身につけている。	定期試験	40%
異文化知識・対応能力	N3の文字、語彙及び文法力を身につけている。	予習／復習	25%
課題解決能力	学習法と試験対策を身に付けている。	課題	25%
キャリアデザイン力	N3を合格することで、進学や就職に活かせる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項	
<p>・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。</p> <p>・本講義では目標設定シートレポート報告20%、ミニテスト20%、期末テスト60%の割合で評価する</p> <p>・本講義の課題レポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される</p> <p>・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	①「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする クラス分け試験の確認	対面授業 オンライン等の対応可	予習: シラバスを前もって読んでおき、わからない言葉は調べておくこと(2時間) 復習: 目標設定シートの作成に取り掛かり、毎日の勉強に反映させること(2時間)
2回目	文字語彙、文脈規定を中心に語彙の取得と、その用法、言い換えなどを学ぶ①	対面授業 オンライン等の対応可	予習: 教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習: 本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)

3回目	文字語彙、文脈規定を中心に語彙の取得と、その用法、言い換えなどを学ぶ②	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
4回目	文字語彙、文脈規定を中心に語彙の取得と、その用法、言い換えなどを学ぶ③	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
5回目	学習した語彙の使われ方を学ぶとともに、N3につながる基本的な文法を確実に学ぶ。また、文章を作ることができるようになる。①	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
6回目	学習した語彙の使われ方を学ぶとともに、N3につながる基本的な文法を確実に学ぶ。また、文章を作ることができるようになる。②	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
7回目	学習した語彙の使われ方を学ぶとともに、N3につながる基本的な文法を確実に学ぶ。また、文章を作ることができるようになる。③	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
8回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった短文の文章を読み、理解できるようになる①	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
9回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった短文の文章を読み、理解できるようになる②	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
10回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった中文の文章を読み、理解できるようになる①	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
11回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった中文の文章を読み、理解できるようになる②	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)

12回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、提示された資料を読み、必要な情報を読み解き、理解できるようになる①	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
13回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、提示された資料を読み、必要な情報を読み解き、理解できるようになる②	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
14回目	聴解① 短い会話文に繋がる適切な返答ができるようになる	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
15回目	聴解② 2人以上の会話を聞いて、適切な情報を取り出すことができるようになる	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
16回目	定期試験 これまで学んだ内容に関して、定期試験を行う	対面授業	予習:定期試験に備えておく(2時間) 復習:理解できなかったことなどをまとめておく(2時間) 授業外学修時間 64時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	TRY!日本語能力試験N4、日本語能力試験ベスト単語合格2100
履修条件	日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とする
履修上の注意	指定された課題を必ず、授業前にはしておくこと
オフィスアワー	金曜日10:00~11:00
備考・メッセージ	漢字の取得も目指しています。根気よく頑張る人は時間が始めはかかりますが、学びを実感しやすいです。 一緒に頑張りましょう! また、授業開始15分以内の出席は遅刻扱いになりますが、15分を越す場合は欠席になります。また、ひとつの授業に75分以上の出席がない場合、欠席扱いとなります。

講義科目名称:日本語検定Ⅲ N1	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC511

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	日本語能力試験N1レベルの各能力を高めるため、練習問題に取り組む。具体的には、教科書(ドリル&ドリル日本語能力試験N1)に沿って問題を解き、解答及び解説を行う。解説では、関連する文法事項などの確認を適宜行い、日本語能力試験N1合格を目指す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	N1相当の文法力や読解力が身に付いている。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	N1 相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。		
課題解決能力	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	20%
合計			100%

補足事項	
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○定期試験60%、ミニテスト10%、予習・復習10%、授業への参加態度20%の割合で評価する。</p> <p>○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。</p> <p>○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)
2回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙① ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
3回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙② ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙③ ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)

5回目	N1ドリル&ドリル 文法① ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	N1ドリル&ドリル 文法② ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	N1ドリル&ドリル 文法③ ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	N1ドリル&ドリル 文法④ ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	N1ドリル&ドリル 文法⑤ ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	N1ドリル&ドリル 文法⑥ ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	N1ドリル&ドリル 文法⑦ ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙 ・復習①	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙 ・復習②	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	N1ドリル&ドリル 文法 ・復習①	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	N1ドリル&ドリル 文法 ・復習②	対面授業 オンライン可	予習:定期試験の準備(4時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「ドリル&ドリル日本語能力試験 N1 文字語彙」 「ドリル&ドリル日本語能力試験 N1 文法」 「ドリル&ドリル日本語能力試験 N1 聴解読解」
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する) ○ドリル&ドリル日本語能力試験 N1 聴解読解も随時使用する。

講義科目名称:日本語検定Ⅲ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC511

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
山本 みづほ				

授業概要	JLPTN2級合格を目指して、文字・語彙と文法の力を養う。必ず予習として問題を解いて参加し、授業では解答と解説を行う。分からないところ、苦手なところを繰り返して学ぶことで、確実な日本語力をつけることを目標とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・目標に向かって、着実に進歩することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・N2レベルの文字・語彙・文法力を身に付けている。	・定期試験 ・ミニテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	・日本語の感覚を身に付けている。	・授業中の言動	5%
課題解決能力	・工夫した学習法を身に付けている。	・毎回の予習・復習の様子	10%
キャリアデザイン力	・資格を進学や就職に活かそうとする。	・レポート	10%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroom活用する。 ・本授業では、定期試験50%、ミニテスト20%、授業への参加態度20%、レポート10%の割合で評価する。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。1回に10ページ進むので、必ず問題を解いてくる。 N2TRY！スタッフ募集のお知らせ P18～P29 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の対応可	予習:P18～29を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
2回目	N2TRY！ 転任の挨拶(1) P30～P37 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の対応可	予習:P30～37を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
3回目	N2TRY！ 転任の挨拶(2) P38～P49 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の対応可	予習:P38～49を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)

4回目	N2TRY! ホテルの仕事 P50～P61 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P59～61を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
5回目	N2TRY! 台風情報 P62～P71 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P61～71を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
6回目	N2TRY! 就職活動(1)(2) P72～P85 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P72～85を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
7回目	N2TRY! 苦勞した5年間(1)(2) P86～P102 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P86～102を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
8回目	N2TRY! オオカミと生態系(1)(2) P103～P121 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P103～121を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
9回目	N2TRY! 取引先で P122～P130 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P122～130を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
10回目	N2TRY! 食べ放題(1)(2) P131～P147 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P131～147を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
11回目	N2TRY! 満員電車(1)(2) P148～P159 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P148～159を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
12回目	N2TRY! ラーメンの紹介 P160～P171 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P160～171を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
13回目	N2TRY! ウォーキングシューズの開発(1)(2) P172～P187 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P172～187を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
14回目	N2TRY! 人生の転機(1)(2) P188～P204 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P188～204を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
15回目	N2TRY! オリンピックの開催について P205～P215 ・解説と解答	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P205～215を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
	試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規	

則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	N2TRY！ JLPTN2総合問題集 JLPTN2ベスト単語2400
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 N2合格に向けて頑張りましょう。

講義科目名称: 日本語検定Ⅲ N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC511

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
チャウユンテン				

授業概要	本講義は主に日本語検定試験(JLPT)の合格を目的とした試験対策講座である。本講義の受講対象者は日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とし、学習漢字数300、語彙数1,500語の獲得を目指す。また、これらの基本語彙や、漢字を使った身近な話題の文章を理解し、日常で使われる基本的な会話が理解できるようになる為の、聞く、読む、話す、書くの4技能も同様に演習を通して身に付けることができるようになる。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	N4を合格すると目標に向かっている。		
専門的知識や技能	N4の文字、語彙及び文法力を身につけている。	定期試験	40%
異文化知識・対応能力	N4の文字、語彙及び文法力を身につけている。	予習／復習	25%
課題解決能力	学習法と試験対策を身に付けている。	課題	25%
キャリアデザイン力	N4を合格することで、進学や就職に活かせる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では目標設定シートレポート報告20%、ミニテスト20%、期末テスト60%の割合で評価する ・本講義の課題レポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。 ・出席管理は必ず自己管理で行うこと。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	①「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする クラス分け試験の確認	対面授業	予習: シラバスを前もって読んでおき、わからない言葉は調べておくこと(2時間) 復習: 目標設定シートの作成に取り掛かり、毎日の勉強に反映させること(2時間)
2回目	文字語彙、文脈規定を中心に語彙	対面授業	予習: 教科書で指定された問題を事前に

	の取得と、その用法、言い換えなどを学ぶ①		解しておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
3回目	文字語彙、文脈規定を中心に語彙の取得と、その用法、言い換えなどを学ぶ②	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解しておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
4回目	文字語彙、文脈規定を中心に語彙の取得と、その用法、言い換えなどを学ぶ③	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解しておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
5回目	学習した語彙の使われ方を学ぶとともに、N3につながる基本的な文法を確実に学ぶ。また、文章を作ることができるようになる。①	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解しておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
6回目	学習した語彙の使われ方を学ぶとともに、N3につながる基本的な文法を確実に学ぶ。また、文章を作ることができるようになる。②	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解しておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
7回目	学習した語彙の使われ方を学ぶとともに、N3につながる基本的な文法を確実に学ぶ。また、文章を作ることができるようになる。③	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解しておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
8回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった短文の文章を読み、理解できるようになる①	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解しておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
9回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった短文の文章を読み、理解できるようになる②	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解しておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
10回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった中文の文章を読み、理解できるようになる①	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解しておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)

11回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった中文の文章を読み、理解できるようになる②	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
12回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、提示された資料を読み、必要な情報を読み解き、理解できるようになる①	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
13回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、提示された資料を読み、必要な情報を読み解き、理解できるようになる②	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
14回目	聴解① 短い会話文に繋がる適切な返答ができるようになる	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
15回目	聴解② 2人以上の会話を聞いて、適切な情報を取り出すことができるようになる	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
16回目	定期試験 これまで学んだ内容に関して、定期試験を行う	対面授業	予習:定期試験に備えておく(2時間) 授業外学修時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	TRY!日本語能力試験N4、日本語能力試験ベスト単語合格2100
履修条件	日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とする
履修上の注意	指定された課題を必ず、授業前にはしておくこと
オフィスアワー	金曜日10:00~11:00
備考・メッセージ	漢字の取得も目指しています。根気よく頑張る人は時間が始めはかかりますが、学びを実感しやすいです。 一緒に頑張りましょう! また、授業開始15分以内の出席は遅刻扱いになりますが、15分を越す場合は欠席になります。また、ひとつの授業に75分以上の出席がない場合、欠席扱いとなります。

講義科目名称: 日本語検定Ⅲ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC511

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年(留学生)	2単位	選択	講義
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	日本語能力試験対策で、N3 合格を目標とし、文字・語彙・文法の習得、さらに読解力・聴解力の向上を主眼とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え、行動することを意識することができる。試行錯誤しながら、自ら考え行動する。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	日本語で基本的な定型の挨拶や短い文章を理解し、自らの意思を表現・伝達し相手の意思を理解できる。身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。	定期試験	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人々との関わりに対して自己の世界観を基本として理解しようとする考え方もつことができ、単純な疑問を基に理解しようとする考え方もつことができる。		
課題解決能力	自らの意思で活動に参加し、その目的や課題を理解し、確認と質問をしながらよく考え、自分から動くことができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自分の行動特徴について理解し自分のパーソナリティと適職の関係について理解している。	復習課題	20%
合計			100%

補足事項

授業に関する必要事項についての連絡は、Google Classroomを使用して メールで行う。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション 1. あいさつの言葉 2. おかし作り(1)(2)	SC(OL)	予習: 2時間 復習: 2時間
2回目	JLPT N3 単語小テスト(1) まとめの問題(P34~35) 3. けっこん式(1)	SC(OL)	予習: 2時間 復習: 2時間
3回目	JLPT N3 単語小テスト(2) 3. けっこん式(2) まとめの問題(P48~49)	SC(OL)	予習: 2時間 復習: 2時間

4回目	JLPT N3 単語小テスト(3) 4. 私の町ハノイ(1)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
5回目	JLPT N3 単語小テスト(4) 4. 私の町ハノイ(2) まとめの問題(P66~67)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
6回目	JLPT N3 単語小テスト(5) 5. ハイキングの計画(1)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
7回目	JLPT N3 単語小テスト(6) 5. ハイキングの計画(2) まとめの問題(P84~85)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
8回目	JLPT N3 単語小テスト(7) 6. 木の上の子ねこ(1)(2)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
9回目	JLPT N3 単語小テスト(8) 6. 木の上の子ねこ(2) まとめの問題(P101~102)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
10回目	JLPT N3 単語小テスト(9) 7. 大好きなピアノ(1)(2)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
11回目	JLPT N3 単語小テスト(10) 7. 大好きなピアノ(2) まとめの問題(P117~119)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
12回目	JLPT N3 単語小テスト(11) 8. 旅館のよやく(1)(2)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
13回目	JLPT N3 単語小テスト(12) 8. 旅館のよやく(2) まとめの問題(P132~133)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
14回目	JLPT N3 単語小テスト(13) 9. ゆうしょうインタビュー(1)(2) まとめの問題(P147~149)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
15回目	JLPT N3 単語小テスト(14) 10. アルバイトのめんせつ(1)(2) まとめの問題(P160~161)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	TRY!トライ 日本語能力試験N4 文法から伸ばす日本語 JLPT N3 日本語能力試験ベスト単語N3合格2100
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	午前8時~午後9時 メールで行う
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止。 携帯電話使用は語句確認時(指示有)のみとする。

講義科目名称: 日本語ライティング&文法 I N1	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC403

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
山本みづほ				

授業概要	本講義は、日本語能力試験及び、J.Testの結果を基に編成されたN4からN1レベルの学生を対象とした科目である。日本の企業や、日本人と協働する上で最低限必要な日本語コミュニケーション能力の育成から、ビジネス上で使用される文章作成能力、メール上のコミュニケーション能力を身に付けることを目的としている。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	・これまで学んだ日本語に加えて、敬語、謙譲語を確かな日本語を用いて、文章にまとめることができる。	課題	20%
異文化知識・対応能力	・日本社会で必要な、敬語、謙譲語、丁寧語を相手によって使い分けられるようになる	授業参加態度	10%
課題解決能力	・自らの課題解決に向けて真摯に取り組むことができる。	授業参加態度	10%
キャリアデザイン力	学んだ文法、語彙に関して責任をもち、活用する。また、正しい知識を持つ事ができる。	試験	60%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題20%、授業参加態度20%、試験60%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題についての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	シラバス確認、教科書確認、課題確認 P103-106 ホウレンソウとは 学校だけでなく、就職や進学先での必須スキル、報連相に関して、文章でアウトプットできるようになる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: シラバス読む 教科書の確認・準備をしておく (2時間) 復習: 報連相に関して実践できるようになる(2時間)
2回目	V 敬語 P109~P111 仕事をする上で必要な敬語を確認する。 ・敬語の種類と形 ・ビジネスでよく使われる丁寧な表現 ・敬語の種類と対象を理解する・書く	対面授業 オンライン等の対応可	予習: 新出語彙を覚えておく。 敬語の練習(2時間) 復習: 敬語の種類と、使われ方に関して理解できるようになる P111暗記(2時間)
3回目	P110	対面授業	予習: 新出語彙を覚えておく。

	①丁寧語(名詞) 「お/ご+名詞」 ②尊敬語(動詞) 「お+(動詞ます形)+になる」 「お+(動詞ます形)+です」 を使った文章が作ることができる	オンライン等の 対応可	敬語の練習(2時間) 復習:本日の内容に即して、該 当する例文を作成してくる。(2 時間)
4回目	前回の復習と実践練習 P111 「お+(動詞ます形)+になる」が使えない動 詞	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:配布プリントの新出語彙 を覚えておく。敬語の練習(2時 間) 復習:本日の内容に即して、該 当する例文を作成してくる。(2 時間)
5回目	P110 ②尊敬語(形容詞) 「お+(い形容詞)+です」 「お+(な形容詞)+です」 を使った文章が作ることができる	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:新出語彙を覚えておく。 敬語の練習(2時間) 復習:本日の内容に即して、該 当する例文を作成してくる。(2 時間)
6回目	前回の復習と実践練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:配布プリントの新出語彙 を覚えておく。敬語の練習(2時 間) 復習:本日の内容に即して、該 当する例文を作成してくる。(2 時間)
7回目	P110 ④立場が上のひとに対しての指示・依頼 「お+(動詞ます形)+ください」 「お+(動詞ます形)+いただけますか」 P112~113敬語まとめ	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:新出語彙を覚えておく。 敬語の練習(2時間) 復習:本日の内容に即して、該 当する例文を作成してくる。(2 時間)
8回目	P114~P116 ビジネス上使われる丁寧な表現 言い換え練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P114~P116 新出語彙 を覚えておく。敬語の練習(2時 間) 復習:本日の内容に即して、該 当する例文を作成してくる。(2 時間)
9回目	敬語総復習(中間テスト)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:中間テスト対策(2時間)
10回目	P117~P119 ビジネス上の挨拶 雑談など高度なコミュニケーションのための 日本語がアウトプットできるようになる	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P114~P116 新出語彙 を覚えておく。敬語の練習(2時 間) 復習:p120~p122を記入し、 理解を深めておく。(2時間)
11回目	P133~P137 電話を受ける ビジネス上、電話を受けることは必須であ る。この課では、ビジネスに即した電話の出 方を学び、実践できるようになる まずは書いて、内容を確認する	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:p133~137 新出語彙を 覚えておく。敬語の練習(2時 間) 復習:p138~140を記入し、理 解を深めておく。(2時間)
12回目	p138~140 復習 P141~142 ロールプレイで実践力を高め る	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P133~140 内容の確 認 (2時間) 復習:これまでの学びを記入 し、理解を深めておく。(2時間)
13回目	P143~	対面授業	予習:P143~146 新出語彙

	電話 アポイントをとる 今後、就職活動、進学の場面で約束をとる 付けることは必須である。、様々な状況に 応じて、約束ができるようにメモを取りながら、 電話対応ができるようになる	オンライン等の 対応可	を覚えておく。内容の確認(2時 間) 復習:P147~148を記入し、理 解を深めておく。(2時間)
14回目	P172~p173 メール連絡 メールの設定・署名等の記入について学ぶ	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P172~173 新出語彙 を覚えておく。内容の確認(2時 間) 復習:p173真ん中の問いに対 して、担当教員へメールする。 理解を深めておく。(2時間)
15回目	p173 確認 全体のまとめ	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: これまでの学びの確認 (2時間) 復習: 全体的に質問がないか 確認する(4時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	なし
教科書・参考書	伸ばす! 就活能力・ビジネス日本語力
履修条件	学ぶ意欲のある学生
履修上の注意	予習復習が学修成功の鍵です。課題を基にした演習も予定していますので忘れ ることなく、課題をしてきてください。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	積極的な参加を求めます

講義科目名称: 日本語ライティング&文法 I N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC403

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
栢丸華緒				

授業概要	本講義は、日本語能力試験及び、J.Testの結果を基に編成されたN4からN1レベルの学生を対象とした科目である。日本の企業や、日本人と協働する上で最低限必要な日本語コミュニケーション能力の育成から、ビジネス上で使用される文章作成能力、メール上のコミュニケーション能力を身に付けることを目的としている。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	・これまで学んだ日本語に加えて、敬語、謙譲語を確かな日本語を用いて、文章にまとめることができる。	課題	20%
異文化知識・対応能力	・日本社会で必要な、敬語、謙譲語、丁寧語を相手によって使い分けられるようになる	授業参加態度	10%
課題解決能力	・自らの課題解決に向けて真摯に取り組むことができる。	授業参加態度	10%
キャリアデザイン力	学んだ文法、語彙に関して責任をもち、活用する。また、正しい知識を持つ事ができる。	試験	60%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題20%、授業参加態度20%、試験60%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題についての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	シラバス確認、教科書確認、課題確認 P103-106 ホウレンソウとは 学校だけでなく、就職や進学先での必須スキル、報連相に関して、文章でアウトプットできるようになる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: シラバス読む 教科書の確認・準備をしておく (2時間) 復習: 報連相に関して実践できるようになる(2時間)
2回目	V 敬語 P109~P111 仕事をする上で必要な敬語を確認する。 ・敬語の種類と形 ・ビジネスでよく使われる丁寧な表現 ・敬語の種類と対象を理解する・書く	対面授業 オンライン等の対応可	予習: 新出語彙を覚えておく。 敬語の練習(2時間) 復習: 敬語の種類と、使われ方に関して理解できるようになる P111暗記(2時間)
3回目	P110	対面授業	予習: 新出語彙を覚えておく。

	①丁寧語(名詞) 「お/ご+名詞」 ②尊敬語(動詞) 「お+(動詞ます形)+になる」 「お+(動詞ます形)+です」 を使った文章が作ることができる	オンライン等 の対応可	敬語の練習(2時間) 復習:本日の内容に即して、該 当する例文を作成してくる。(2 時間)
4回目	前回の復習と実践練習 P111 「お+(動詞ます形)+になる」が使えない動詞	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:配布プリントの新出語彙 を覚えておく。敬語の練習(2時 間) 復習:本日の内容に即して、該 当する例文を作成してくる。(2 時間)
5回目	P110 ②尊敬語(形容詞) 「お+(い形容詞)+です」 「お+(な形容詞)+です」 を使った文章が作ることができる	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:新出語彙を覚えておく。 敬語の練習(2時間) 復習:本日の内容に即して、該 当する例文を作成してくる。(2 時間)
6回目	前回の復習と実践練習	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:配布プリントの新出語彙 を覚えておく。敬語の練習(2 時間) 復習:本日の内容に即して、該 当する例文を作成してくる。(2 時間)
7回目	P110 ④立場が上のひとに対しての指示・依頼 「お+(動詞ます形)+ください」 「お+(動詞ます形)+いただけますか」 P112~113敬語まとめ	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:新出語彙を覚えておく。 敬語の練習(2時間) 復習:本日の内容に即して、該 当する例文を作成してくる。(2 時間)
8回目	P114~P116 ビジネス上使われる丁寧な表現 言い換え練習	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P114~P116 新出語彙 を覚えておく。敬語の練習(2時 間) 復習:本日の内容に即して、該 当する例文を作成してくる。(2 時間)
9回目	敬語総復習(中間テスト)	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:中間テスト対策(2時間)
10回目	P117~P119 ビジネス上の挨拶 雑談など高度なコミュニケーションのための 日本語がアウトプットできるようになる	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P114~P116 新出語彙 を覚えておく。敬語の練習(2時 間) 復習:p120~p122を記入し、 理解を深めておく。(2時間)
11回目	P133~P137 電話を受ける ビジネス上、電話を受けることは必須であ る。この課では、ビジネスに即した電話の出 方を学び、実践できるようになる まずは書いて、内容を確認する	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:p133~137 新出語彙を 覚えておく。敬語の練習(2時 間) 復習:p138~140を記入し、理 解を深めておく。(2時間)
12回目	p138~140 復習 P141~142 ロールプレイで実践力を高める	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P133~140 内容の確認 (2時間) 復習:これまでの学びを記入 し、理解を深めておく。(2時間)
13回目	P143~ 電話 アポイントをとる	対面授業 オンライン等	予習:P143~146 新出語彙 を覚えておく。内容の確認(2時

	今後、就職活動、進学の場合で約束をとる付けることは必須である。、様々な状況に応じて、約束ができるようにメモを取りながら、電話対応ができるようになる	の対応可	間) 復習:P147~148を記入し、理解を深めておく。(2時間)
14回目	P172~p173 メール連絡 メールの設定・署名等の記入について学ぶ	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P172~173 新出語彙を覚えておく。内容の確認(2時間) 復習:p173真ん中の問いに対して、担当教員へメールする。理解を深めておく。(2時間)
15回目	p173 確認 全体のまとめ	対面授業 オンライン等 の対応可	予習: これまでの学びの確認(2時間) 復習: 全体的に質問がないか確認する(4時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	伸ばす! 就活能力・ビジネス日本語力
履修条件	学ぶ意欲のある学生
履修上の注意	予習復習が学修成功の鍵です。課題を基にした演習も予定していますので忘れることなく、課題をしてきてください。
オフィスアワー	火曜日 10:00~11:00
備考・メッセージ	積極的な参加を求めます

講義科目名称: 日本語ライティング&文法 I N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC403

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2	選択	講義
担当教員				
チャウユンテン				

授業概要	本講義は、日本語能力試験及び、J.Testの結果を基に編成されたN4からN1レベルの学生を対象とした科目である。日本の企業や、日本人と協働する上で最低限必要な日本語コミュニケーション能力の育成から、ビジネス上で使用される文章作成能力、メール上のコミュニケーション能力を身に付けることを目的としている。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	・これまで学んだ日本語に加えて、敬語、謙譲語を確かな日本語を用いて、文章にまとめることができる。	課題	20%
異文化知識・対応能力	・日本社会で必要な、敬語、謙譲語、丁寧語を相手によって使い分けられるようになる	授業参加態度	10%
課題解決能力	・自らの課題解決に向けて真摯に取り組むことができる。	授業参加態度	10%
キャリアデザイン力	学んだ文法、語彙に関して責任をもち、活用する。また、正しい知識を持つ事ができる。	試験	60%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題20%、授業参加態度20%、試験60%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題についての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	シラバス確認、教科書確認、課題確認 P103-106 ホウレンソウとは 学校だけでなく、就職や進学先での必須スキル、報連相に関して、文章でアウトプットできるようになる	対面授業 オンライン等の対応可	予習: シラバス読む 教科書の確認・準備をしておく(2時間) 復習: 報連相に関して実践できるようにする(2時間)
2回目	V 敬語 P109~P111 仕事をする上で必要な敬語を確認する。 ・敬語の種類と形 ・ビジネスでよく使われる丁寧な表現 ・敬語の種類と対象を理解する・書く	対面授業 オンライン等の対応可	予習: 新出語彙を覚えておく。 敬語の練習(2時間) 復習: 敬語の種類と、使われ方に関して理解できるようにする P111暗記(2時間)

3回目	P110 ①丁寧語(名詞) 「お+名詞」 ②尊敬語(動詞) 「お+(動詞-ます形)+になる」 「お+(動詞-ます形)+です」 を使った文章が作ることができる	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:新出語彙を覚えておく。 敬語の練習(2時間) 復習:本日の内容に即して、該 当する例文を作成してくる。(2 時間)
4回目	前回の復習と実践練習 P111 「お+(動詞-ます形)+になる」が使えない動 詞	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:配布プリントの新出語彙 を覚えておく。敬語の練習(2時 間) 復習:本日の内容に即して、該 当する例文を作成してくる。(2 時間)
5回目	P110 ②尊敬語(形容詞) 「お+(い形容詞)+です」 「お+(な形容詞)+です」 を使った文章が作ることができる	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:新出語彙を覚えておく。 敬語の練習(2時間) 復習:本日の内容に即して、該 当する例文を作成してくる。(2 時間)
6回目	前回の復習と実践練習	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:配布プリントの新出語彙 を覚えておく。敬語の練習(2時 間) 復習:本日の内容に即して、該 当する例文を作成してくる。(2 時間)
7回目	P110 ④立場が上のひとに対しての指示・依頼 「お+(動詞ます形)+ください」 「お+(動詞ます形)+いただけますか」 P112~113敬語まとめ	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:新出語彙を覚えておく。 敬語の練習(2時間) 復習:本日の内容に即して、該 当する例文を作成してくる。(2 時間)
8回目	P114~P116 ビジネス上使われる丁寧な表現 言い換え練習	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P114~P116 新出語彙を 覚えておく。敬語の練習(2時 間) 復習:本日の内容に即して、該 当する例文を作成してくる。(2 時間)
9回目	敬語総復習(中間テスト)	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:中間テスト対策(2時間)
10回目	P117~P119 ビジネス上の挨拶 雑談など高度なコミュニケーションのための 日本語がアウトプットできるようになる	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P114~P116 新出語彙 を覚えておく。敬語の練習(2時 間) 復習:p120~p122を記入し、 理解を深めておく。(2時間)
11回目	P133~P137 電話を受ける ビジネス上、電話を受けることは必須であ る。この課では、ビジネスに即した電話の出 方を学び、実践できるようになる まずは書いて、内容を確認する	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:p133~137 新出語彙を 覚えておく。敬語の練習(2時 間) 復習:p138~140を記入し、理 解を深めておく。(2時間)
12回目	p138~140 復習 P141~142 ロールプレイで実践力を高め る	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P133~140 内容の確 認(2時間) 復習:これまでの学びを記入 し、理解を深めておく。(2時間)

13回目	P143～ 電話 アポイントをとる 今後、就職活動、進学の場面で約束をとる 付けることは必須である。、様々な状況に 応じて、約束ができるようにメモを取りながら、 電話対応ができるようになる	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P143～146 新出語彙を 覚えておく。内容の確認 (2時 間) 復習:P147～148を記入し、理 解を深めておく。(2時間)
14回目	P172～p173 メール連絡 メールの設定・署名等の記入について学ぶ	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P172～173 新出語彙を 覚えておく。内容の確認(2時 間) 復習:p173真ん中の問いに対 して、担当教員へメールする。 理解を深めておく。(2時間)
15回目	p173 確認 全体のまとめ	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:これまでの学びの確認(2 時間) 復習:全体的に質問がないか 確認する(4時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	なし
教科書・参考書	伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力
履修条件	学ぶ意欲のある学生
履修上の注意	予習復習が学修成功の鍵です。課題を基にした演習も予定していますので忘れ ることなく、課題をしてきてください。
オフィスアワー	金曜日10:00~11:00
備考・メッセージ	積極的な参加を求めます

講義科目名称: 日本語W&G II N1	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC710

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
栃丸華緒				

授業概要	この授業は、「読むこと」「書くこと」に重点を置く。読解を通して、色々な分野の日本語を読むことに慣れることを目指す。「書くこと」に関しては、800字程度の小論文が書けるよう授業を通して訓練する。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他人への思いやりを持った受け答えができる。		
専門的知識や技能	N1レベルに必要な読解力・記述力(語彙・文型)を身につけ、運用ができる。	定期試験 授業の成果物	50% 20%
異文化知識・対応能力	培った知識で多様な日本文化に対応でき、また自己表現ができる。		
課題解決能力	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	授業への参加・態度	20%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始から 15 分までの入室は遅刻。15 分以降は欠席とする。 ・授業参加時間が 75 分に満たない場合も欠席とみなす。 ・定期試験 50%、課題 20%、発表10%、授業への参加態度20%の割合で評価する。 ・授業の出席・連絡は Google classroom を使用する。 ・課題発表やプレゼンテーションもある。 ・講義に関する質問は直接受け付けるほか、Google classroom でも対応可能。 ・本講義の課題レポートは Google classroom を通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックは Google classroom のコメント機能を使って行う。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 ・授業の説明 ・評価方法の説明 小論文とは①	対面授業 オンライン可	
2回目	小論文とは② (小論文課題①)	対面授業 オンライン可	復習: 授業で理解が曖昧だったところを確認する。(4時間)
3回目	小論文課題①のFBと修正 36 日本人の「すみません」	対面授業 オンライン可	復習: 授業で理解が曖昧だったところを確認する。(4時間)
4回目	36 日本人の「すみません」 (小論文課題②)	対面授業 オンライン可	復習: 授業で理解が曖昧だったところを確認する。(4時間)

5回目	小論文課題②のFBと修正 40 文化の多様性	対面授業 オンライン可	復習:授業で理解が曖昧だったところを 確認する。(4時間)
6回目	40 文化の多様性 (小論文課題③)	対面授業 オンライン可	復習:授業で理解が曖昧だったところを 確認する。(4時間)
7回目	小論文課題③のFBと修正 42 リサイクル社会	対面授業 オンライン可	復習:授業で理解が曖昧だったところを 確認する。(4時間)
8回目	42 リサイクル社会 (小論文課題④)	対面授業 オンライン可	復習:授業で理解が曖昧だったところを 確認する。(4時間)
9回目	小論文課題④のFBと修正 44 子どもの本	対面授業 オンライン可	復習:授業で理解が曖昧だったところを 確認する。(4時間)
10回目	44 子どもの本 (小論文課題⑤)	対面授業 オンライン可	復習:授業で理解が曖昧だったところを 確認する。(4時間)
11回目	小論文課題⑤のFBと修正 48 生きものの建築学	対面授業 オンライン可	復習:授業で理解が曖昧だったところを 確認する。(4時間)
12回目	48 生きものの建築学 (小論文課題⑥)	対面授業 オンライン可	復習:授業で理解が曖昧だったところを 確認する。(4時間)
13回目	小論文課題⑥のFBと修正 49 電気自動車の時代	対面授業 オンライン可	復習:授業で理解が曖昧だったところを 確認する。(4時間)
14回目	49 電気自動車の時代 (小論文課題⑦)	対面授業 オンライン可	復習:授業で理解が曖昧だったところを 確認する。(4時間)
15回目	小論文課題⑦のFBと修正 定期試験の説明	対面授業 オンライン可	復習:授業で理解が曖昧だったところを 確認し、試験に備える。(8時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク出版 その他、必要に応じて使用する。
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の 知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、最低1.5時間の自学自習は 必要である。

講義科目名称: 日本語ライティング&文法Ⅱ N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC710

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2	選択	講義
担当教員				
チャウユンテン				

授業概要	日本語学習の基礎となる初級日本語文法を習得し中級日本語文法の運用力をつける。学習した文型、語彙の理解を深める。内容のポイントをとらえる練習を継続的にを行い、能動的な言語活動を促す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を読む・書くことができる。	定期試験 グループ活動	40% 25%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。		
課題解決能力	様々な場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	25%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では目標設定シートレポート報告20%、ミニテスト20%、期末テスト60%の割合で評価する ・本講義の課題レポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題についての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	インTRODクシヨン ・授業内容を説明すること。 ユニT1(「天国」という意味です) ユニT2(朝ごはん、昼ごはん) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認 する(2時間)
2回目	ユニT3(ササキペーカー)	対面授業	予習: Classroomで指示された

	ユニット4(指の運動) ・読む練習 ・書く練習	オンライン等の 対応可	ことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認 する(2時間)
3回目	ユニット5(サンフランシスコ) ユニット6(歌うカナリア) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認 する(2時間)
4回目	ユニット7(ストレス、さようなら) ユニット8(春は桜 秋はもみじ?) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認 する(2時間)
5回目	ユニット9(何を食べようかな) ユニット10(日本の生活 高い?安い?) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認 する(2時間)
6回目	ユニット11(みんなのスポーツ) ユニット12(仕事、がんばります) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認 する(2時間)
7回目	ユニット13(わたしの町は日本一) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認 する(2時間)
8回目	ユニット14(ケータイ、持った?) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認 する(2時間)
9回目	ユニット15(結婚いろいろ) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認 する(2時間)
10回目	ユニット16(大変だったね) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認 する(2時間)
11回目	ユニット17(祭りだ わっしょい!) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認 する(2時間)
12回目	ユニット18(楽しく 日本語) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認 する(2時間)
13回目	ユニット19(女と男ー仕事と役割) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認 する(2時間)
14回目	ユニット20(ごみを減らそう) ・読む練習 ・書く練習	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認 する(2時間)
15回目	総まとめ(ユニット1~20) ・グループディスカッション	対面授業 オンライン等の	予習:Classroomで指示された ことを行う(2時間)

	・プレゼンテーション	対応可	復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	「日本語読み書きのたね」
履修条件	なし
履修上の注意	指定された課題を必ず、授業前にはしておくこと
オフィスアワー	金曜日10:00~11:00
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。動機を大切に授業をのぞみます。 また、授業開始15分以内の出席は遅刻扱いになりますが、15分を越す場合は欠席になります。また、ひとつの授業に75分以上の出席がない場合、欠席扱いとなります。

講義科目名称:日本語W&GⅡ N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC710

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	2年(留学生)	2	選択	講義
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	日常生活における身近な話題を読み、「読む力」(内容理解能力)を高めると同時に、自分のこと・考えなど本文を参考に表現できる「書く力」の向上を主眼とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え、行動することができ、社会のルールや状況に適した振る舞いができる。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	日本語で、身近な日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	定期試験	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して得た知識を基本として、理解しようとする考え方をもちることができる。自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持、改善しようと試みることができる。	意見発表	20%
課題解決能力	周りに確認と質問をしながら、自立的に活動に取り組むことができる。事前に計画を立て、自分の考察を交えて解決法を考えることができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自分のパーソナリティと適職の関係について理解している。		
合計			100%

補足事項

授業に関する必要事項についての連絡は、Google Classroomを使用して、メールで行う

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション ユニット1 はじめまして ユニット2 いただきます	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
2回目	ユニット2 いただきます ユニット3 ちょっと買い物に	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
3回目	ユニット4 ジェスチャーで伝えよう ユニット5 旅行大好き	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
4回目	ユニット5 旅行大好き ユニット6 ペットと暮らす	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間

5回目	ユニット7 お元気ですか ユニット8 春は桜 秋はもみじ	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
6回目	ユニット8 春は桜 秋はもみじ ユニット9 何を食べようかな	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
7回目	ユニット10 日本の生活 高い?安い? ユニット11 みんなのスポーツ	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
8回目	ユニット11 みんなのスポーツ ユニット12 仕事、がんばります	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
9回目	ユニット13 わたしの町は日本一 ユニット14 ケータイ、持った?	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
10回目	ユニット14 ケータイ、持った? ユニット15 結婚いろいろ	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
11回目	ユニット16 大変だったね ユニット17 祭りだ わっしょい!	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
12回目	ユニット17 祭りだ わっしょい! ユニット18 楽しく 日本語	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
13回目	ユニット18 楽しく 日本語 ユニット19 女と男—仕事と役割	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
14回目	ユニット19 女と男—仕事と役割 ユニット20 ごみを減らそう	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
15回目	ユニット20 ごみを減らそう ユニット1~20 まとめ	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	日本語 読み書きのたね
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	午前8時~午後9時 メールで行う
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止 携帯電話使用は語句確認時(指示有)のみとする

講義科目名称: 日本語W&G II N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC710

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	読解を通して異文化理解を深める。漢字の読み書き力、語彙量、文法知識の向上を目指す。「読むこと」「書くこと」に重点を置く。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	N2レベルに必要な読解・作文力(語彙・文型)を身につけることができる。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培った知識で多様な日本文化に対応でき、また自己表現ができる。		
課題解決能力	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	20%
合計			100%

補足事項	
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○定期試験60%、ミニテスト10%、予習・復習10%、授業への参加態度20%の割合で評価する。</p> <p>○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。</p> <p>○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。</p> <p>○課題発表やプレゼンテーションもある。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習: 2回目の語彙を調べ覚える。 本文を読む(2時間)
2回目	●ユニット1 はじめまして ●ユニット2 いただきまーす	対面授業 オンライン可	予習: 3回目の語彙を調べ覚える。本文を読む(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
3回目	●ユニット3 ちょっと買い物に ●ユニット4 ジェスチャーで伝えよう	対面授業 オンライン可	予習: 4回目の語彙を調べ覚える。本文を読む(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
4回目	●ユニット5 旅行大好き ●ユニット6 ペットと暮らす	対面授業 オンライン可	予習: 5回目の語彙を調べ覚える。本文を読む(2時間)

			復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	●ユニット7 お元気ですか ●ユニット8 春は桜 秋はもみじ	対面授業 オンライン可	予習:6回目の語彙を調べ覚える。本文を読む(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	●ユニット9 何を食べようかな ●ユニット10 日本の生活 高い?安い?	対面授業 オンライン可	予習:これまでの語彙を覚える。本文を読む(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	ユニット1~10までの振り返り	対面授業 オンライン可	予習:8回目の語彙を調べ覚える。本文を読む(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	●ユニット11 みんなのスポーツ ●ユニット12 仕事、がんばります	対面授業 オンライン可	予習:9回目の語彙を調べ覚える。本文を読む(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	●ユニット13 わたしの町は日本一 ●ユニット14 ケータイ、持った?	対面授業 オンライン可	予習:10回目の語彙を調べ覚える。本文を読む(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	●ユニット15 結婚いろいろ ●ユニット16 大変だったね	対面授業 オンライン可	予習:11回目の語彙を調べ覚える。本文を読む(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	●ユニット17 祭りだ わっしょい! ●ユニット18 楽しく 日本語	対面授業 オンライン可	予習:12回目の語彙を調べ覚える。本文を読む(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	●ユニット19 女と男 — 仕事と役割 ●ユニット20 ごみを減らそう	対面授業 オンライン可	予習:これまでの語彙の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	ユニット11~20までの振り返り	対面授業 オンライン可	予習:これまでの語彙の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	ユニット1~20までの復習①	対面授業 オンライン可	予習:これまで語彙の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	ユニット1~20までの復習②	対面授業 オンライン可	予習:定期試験の準備(4時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	日本語読み書きのたね
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:日本語演習 I N1N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC513

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q6Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	一般的・社会的な内容から専門的な内容までのトピックについて理解を深めながら、アカデミック・ライティングの力(書く力)をつける。さらに論理構成を整え、内容を深く掘り下げた説得力のある文章を書くことを目指す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	アカデミック・ライティングにふさわしい日本語のスタイル、適切な言語表現、説得力のある内容・構成で書くことができる。	定期試験	60%
異文化知識・対応能力	培った知識で多様な日本文化に対応でき、また自己表現ができる。		
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・ 方策の決定等の力を身に付け、一般的・社会的な内容から専門的な内容の 課題に向き合うことができる。	課題／レポート	30%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、課題／レポート30%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題／レポート提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題／レポートは提出期限を守り必ず提出すること。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習:次回の言葉調べと内容確認(2時間)
2回目	第1課 「アカデミック・ライティングへの準備」	対面授業 オンライン可	予習:次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習:既習内容の確認。課題作成(2時間)

3回目	第2課「日本・日本人」 Step1 文化・習慣の違い Step2 日本らしさの発見	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。課題作成(2時間)
4回目	第2課 Step3 日本論・日本人論	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。課題作成(2時間)
5回目	第3課「テクノロジー」 Step1 アナログVSデジタル Step2 インターネットの功罪	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。課題作成(2時間)
6回目	第3課 Step3 AIの光と影	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。課題作成(2時間)
7回目	まとめ 第1課～第3課	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。課題作成(2時間)
8回目	第4課「教育」 Step1 自国の教育の特徴と課題 Step2 宿題の必要性	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。課題作成(2時間)
9回目	第4課 Step3 教育格差の是正	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。課題作成(2時間)
10回目	第5課「ニュース」 Step1 ニュースの紹介 Step2 新聞記事の紹介	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。課題作成(2時間)
11回目	第5課 Step3 複数の記事の検討	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。課題作成(2時間)
12回目	第6課「働き方」 Step1 将来の職業選択 Step2 女性と労働	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。課題作成(2時間)
13回目	第6課 Step3 労働に関する社会的課題	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。課題作成(2時間)
14回目	第7課① 「持続可能な世界:SDGsを考える」	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。課題作成(2時間)
15回目	第7課② 学んだことを生かしてレポートを完成させる	対面授業 オンライン可	予習: 定期試験の準備(4時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	日本語を学ぶためのアカデミック・ライティング講座
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	<p>○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)</p>

講義科目名称: 日本語演習 I N3N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q・6Q	2年	2	選択	演習
担当教員				
チャウユンテン				

授業概要	卒業後も日本で生活している留学生のために、日本語でコミュニケーションをとったり、生活できるようになったりすることを目指しての授業です。日本語のレベルにより、学習するシーン、キーワードに応じて学習コンテンツを取り上げています。日本語を勉強し、実際に使うことを通じて、社会と繋がり、生活を広げる目標を設定しています。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近で日常の事柄や様々な場面やことについて詳しく伝えることができる。	会話テスト	40%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	20%
課題解決能力	様々な場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	25%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では目標設定シートレポート報告20%、ミニテスト20%、期末テスト60%の割合で評価する ・本講義の課題レポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題についての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	インTRODクシヨン ・授業内容を説明すること。 「場面に応じたあいさつをしよう」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
2回目	「お店のサービスを利用してみよう」	対面授業	予習: Classroomで指示され

	<ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	オンライン等の対応可	<ul style="list-style-type: none"> たことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
3回目	<ul style="list-style-type: none"> 「お店を選んでみよう」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<ul style="list-style-type: none"> 予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
4回目	<ul style="list-style-type: none"> 「いろいろなお店を利用しよう」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<ul style="list-style-type: none"> 予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
5回目	<ul style="list-style-type: none"> 「上手に買い物をしよう」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<ul style="list-style-type: none"> 予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
6回目	<ul style="list-style-type: none"> 「自治会に入ってみよう」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<ul style="list-style-type: none"> 予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
7回目	<ul style="list-style-type: none"> 「イベントに行ってみよう」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<ul style="list-style-type: none"> 予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
8回目	<ul style="list-style-type: none"> 「病院に行こう」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<ul style="list-style-type: none"> 予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
9回目	<ul style="list-style-type: none"> 「緊急の時は助けを求めよう」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<ul style="list-style-type: none"> 予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
10回目	<ul style="list-style-type: none"> 「役所に行こう」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<ul style="list-style-type: none"> 予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
11回目	<ul style="list-style-type: none"> 「図書館に行ってみよう」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<ul style="list-style-type: none"> 予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
12回目	<ul style="list-style-type: none"> 「ハガキを送ってみよう」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレ 	対面授業 オンライン等の対応可	<ul style="list-style-type: none"> 予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)

	イを行い、順番に発表する。		
13回目	「インターネットや電話を利用しよう」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
14回目	「薬局を利用しよう」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
15回目	「引っ越し先を探そう」 「引っ越しの準備をしよう」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
16回目	会話テスト ・個別で会話テストをする。	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	配布資料
履修条件	なし
履修上の注意	指定された課題を必ず、授業前にはしておくこと
オフィスアワー	金曜日10:00~11:00
備考・メッセージ	動機を大切にしたい授業をのぞみます。 また、授業開始15分以内の出席は遅刻扱いになりますが、15分を越す場合は欠席になります。また、ひとつの授業に75分以上の出席がない場合、欠席扱いとなります。

講義科目名称:日本語演習Ⅱ N1	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC711

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年(留学生)	2	選択	演習
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	既習の基礎表現に加えて、更に日常生活で必要となる場面での丁寧な表現、細やかな心情表現などの運用能力向上を目指す
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え、適切に判断し常に社会のルールや状況に適した行動ができ、他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。	授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	日本語で仕事、学校、娯楽などたいいな場面で対応でき、身近な話題についても主要な点を理解できる。様々な場面で自らの意思を表現、伝達し相手の意思を理解し得ることができる。	定期試験	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的相違を認識し、行動に取り入れ、共通の理解を得るために交渉を始めることができる。その新しい視点に沿って複雑な視点を持つことができる。	ペアでのダイアログ	20%
課題解決能力	目標を設定し、自分の意見を出し、周り助け合って、物事に取り組むことができる。問題点の解決に向けたプロセスを明確にし、新しい解決方法を考えることができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自己のライフスタイルを振り返り、職業志向条件や勤務条件について考え、自分自身を十分プレゼンできる準備ができている。	作文	5%
合計			100%

補足事項

授業に関する必要事項については、Google Classroomを使用して、メールで行う。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション TOPIC7お気に入りの映画(準備)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
2回目	TOPIC7お気に入りの映画(PART 1①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
3回目	TOPIC7お気に入りの映画(PART2①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
4回目	TOPIC7お気に入りの映画(PART2④~⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間

5回目	TOPIC7お気に入りの映画(PART3)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
6回目	TOPIC8私の街の交通機関(準備)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
7回目	TOPIC8私の街の交通機関(PART1)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
8回目	TOPIC8私の街の交通機関(PART2①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
9回目	TOPIC8私の街の交通機関(PART2④~⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
10回目	TOPIC8私の街の交通機関(PART3)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
11回目	TOPIC9忍者、侍、その頃は...(準備)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
12回目	TOPIC9忍者、侍、その頃は...(PART1)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
13回目	TOPIC9忍者、侍、その頃は...(PART 2①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
14回目	TOPIC9忍者、侍、その頃は...(PART 2④~⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
15回目	TOPIC9忍者、侍、その頃は...(PART3)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	まるごと 日本のことばと文化 中級2 B1
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	午前8時~午後9時まで メールで行う
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止。 携帯電話使用は語句確認時(指示有)のみとする。

講義科目名称: 日本語演習 II N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC711

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	実際に使える日本語習得のため、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での「can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N2 レベルの 実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化 に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ ペアワーク	10%
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題発表やプレゼンテーションもある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習: 2回目の語彙を調べ覚える。(2時間)
2回目	トピック7part1 私は柔道をやっています	対面授業 オンライン可	予習: 3回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
3回目	トピック7part2 練習は何曜日にあるんでしょう	対面授業 オンライン可	予習: 4回目の語彙を調べ覚える。 ページ161を考察する。(2時間)

	か？		復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	トピックpart3 子どものころ、学校で習いました。	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	トピック7part1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習:6回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	トピック8part1 スマホなしじゃどこにも行けない!	対面授業 オンライン可	予習:7回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	トピック8part2 電子辞書を買おうと思うんですけど	対面授業 オンライン可	予習:8回目の語彙を調べ覚える。ページ179を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	トピック8part3 いいもの買ったんですよ	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	トピック8part1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習:10回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	トピック9part1 祭りは7日まで続きます	対面授業 オンライン可	予習:11回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	トピック9part2 私も踊ってきました	対面授業 オンライン可	予習:12回目の語彙を調べ覚える。ページ197を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	トピック9part3 祭りのいちばんの見どころは…	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	トピック9part1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	トピック7～9part1～3 総まとめ①	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	トピック7～9part1～3 総まとめ②	対面授業 オンライン可	予習:定期試験の準備(4時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	まるごと 中級1 B1
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称: 日本語演習Ⅱ N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC711

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウユンテン				

授業概要	「話す」技能に焦点を当てた授業である。会話やプレゼンテーションについて、分かりやすく伝えるためにどのような話し方が適切かをCDや動画を参考にしながらディスカッションやロールプレイを通して学ぶ。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。	会話テスト ミニテスト	40% 10%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	20%
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	15%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では目標設定シートレポート報告20%、ミニテスト20%、期末テスト60%の割合で評価する ・本講義の課題レポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	インTRODクシヨン ・授業内容を説明すること。 「中級1トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
2回目	「中級1トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等の	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間)

	語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対応可	復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
3回目	「中級1トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
4回目	「中級1トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
5回目	「中級1トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 <u>「ミニテスト」</u>	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
6回目	「中級1トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
7回目	「中級1トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
8回目	「中級1トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
9回目	「中級1トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
10回目	「中級1トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 <u>「ミニテスト」</u>	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
11回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
12回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレ	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)

	イを行い、順番に発表する。		
13回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
14回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
15回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級B1」
履修条件	日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とする
履修上の注意	指定された課題を必ず、授業前にはしておくこと
オフィスアワー	金曜日10:00~11:00
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。日本語が正しく使えることより、話したいことが話せる、わかってもらえる経験をみんなと共有したいので、興味があること、話したいことを積極的に話題にしてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称: 日本語演習Ⅱ N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC711

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
栃丸華緒				

授業概要	<p>本講義は、会話の場面におけるN4(A2)レベル相当のコミュニケーション能力の向上を目的としている。そのため、「聞く・話す」に重点をおいた学習を行う。</p> <p>本講義は、多様な文化背景をもつ留学生を対象としているため、直接法を基本とするが、使用する教科書は国際交流基金が作成した『まるごと』を使用し、ことばと文化を併せて学ぶことができるよう設定されている。各回での「Can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他人を思いやる心や感動する心を高めることができる。他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。	学習態度	10
専門的知識や技能	日本語で身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報を伝えることができるようになる。また、日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解しえることができる。	定期試験	60
異文化知識・対応能力	文化背景の異なるクラスメイトを理解し、協力することで日本語の使用機会を増やし、より実践的な言語運用能力を高めることができる	グループ・ペアワーク	10
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題・学習態度	10
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	課題・学習態度	10
合計			100%

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ・授業参加時間が75分に満たない場合も欠席とみなす。 ・定期試験60%、課題20%、授業への参加態度20%の割合で評価する。 ・授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。 ・課題発表やプレゼンテーションもある。 ・講義に関する質問は直接受け付けるほか、Google classroomでも対応可能。 ・本講義の課題レポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って行う。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・講義の進め方 ・心構え	対面授業 ※OL対応可	復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)

	<ul style="list-style-type: none"> ・Google classroom登録の確認 ・課題の確認、提出方法 ・フィードバックの確認方法 ・教科書の確認 クラスメイトについて理解する・知る 詳細な自己紹介の方法等を知る		
2回目	【トピック1 スポーツの試合】 ①スポーツの試合 ②行きたいんですが... ③行けなくなったんです	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
3回目	【トピック1 スポーツの試合】 ④おうえんのことば ⑤おわびのメール ⑥シンさんからのメール	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
4回目	【トピック2 家を探す】 ①私が住んでいるところ ②家はもう見つかりましたか ③週末はひっこしです	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
5回目	【トピック2 家を探す】 ④私の家 ⑤くにさんは今	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
6回目	トピック1・2復習	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
7回目	【トピック3 ほっとする食べ物】 ①食べ物 ②日本の食べ物にはもうなれましたか ③夜はうちで食べてます	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
8回目	【トピック3 ほっとする食べ物】 ④ないとこまる食べ物 ⑤日本での食生活	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
9回目	【トピック4 訪問】 ①知りあいの家を訪問する ②うちの家族です ③外国生活の思い出	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
10回目	【トピック4 訪問】 ④友だちの家 ⑤外国からのお客さま	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
11回目	トピック3・4復習	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
12回目	【トピック5 ことばを学ぶ楽しみ】 ①ことばを学ぶ目的と方法 ②どうやって勉強してますか ③見習わなきゃ	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
13回目	【トピック5 ことばを学ぶ楽しみ】 ④しょうらいの計画 ⑤カーラさんへのメール	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)

14回目	トピック5復習	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(2時間)
15回目	総復習	対面授業 ※OL対応可	予習: Classroomで指示された ことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認す る(4時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	なし
教科書・参考書	『まるごと 日本のことばと文化 初中級A2/B1』
履修条件	日本語会話Ⅰ、Ⅱの履修済みであること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り 得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習 が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、 しっかりと予習で語彙を調べてくること。
オフィスアワー	後期: 月曜日4コマ目(15:00~16:00)研究室
備考・メッセージ	・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。 ・授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

講義科目名称: 日本語アクティブラーニング N1	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC712

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8Q	2年	1単位	選択	演習
担当教員				
栃丸華緒				

授業概要	この授業では、B1レベル相当の日本語コミュニケーションを養う。B1レベルとは、「自立した言語使用者」として、日本語でまとまりのある話をしたり、身近な話題の文章の大切な点を理解したり、日本に行ったときに自分一人でいろいろなことに対応したりできるレベルである。各回の授業では「Can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・他への思いやりを持った受け答えができる。	・ディスカッション	5%
専門的知識や技能	・質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 ・正しい発音でわかりやすく話すことができる。 ・オノマトペを使いこなすことができる。	・定期試験 ・課題	50% 20%
異文化知識・対応能力	・培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	・学習態度	10%
課題解決能力	・問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。 ・日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・学習態度	5%
キャリアデザイン力	・モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。 ・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・スピーチ	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始から 15 分までの入室は遅刻。15 分以降は欠席とする。 ・授業参加時間が 75 分に満たない場合も欠席とみなす。 ・定期試験 50%、課題 20%、発表10%、授業への参加態度20%の割合で評価する。 ・授業の出席・連絡は Google classroom を使用する。 ・課題発表やプレゼンテーションもある。 ・講義に関する質問は直接受け付けるほか、Google classroom でも対応可能。 ・本講義の課題レポートは Google classroom を通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックは Google classroom のコメント機能を使って行う。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」	対面授業	予習: Classroom で指示さ

	授業の進め方と注意点についての説明をする。 『まるごと 日本のことばと文化 中級2』 TOPIC4 PART1 P95~P99 ・TOPICから会話を広げる	※OL 対応可	れたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
2回目	TOPIC4 PART2 P100~P104 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
3回目	TOPIC4 PART3 P105~P107 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
4回目	TOPIC4 PART4 P108~P110 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
5回目	TOPIC4 PART5 P111~P112 TOPIC4の復習	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
6回目	TOPIC5 PART1 P113~P117 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
7回目	TOPIC5 PART2 P118~P122 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
8回目	TOPIC5 PART3 P123~P125 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
9回目	TOPIC5 PART4 P126~P128 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
10回目	TOPIC5 PART5 P129~P130 TOPIC5の復習	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
11回目	TOPIC6 PART1 P131~P135 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
12回目	TOPIC6 PART2 P136~P140 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
13回目	TOPIC6 PART3 P141~P143 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
14回目	TOPIC6 PART4	対面授業	予習:Classroomで指示さ

	P144～P146 ・TOPICから会話を広げる	※OL 対応可	れたことを行う(2 時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2 時間)
15回目	TOPIC6 PART5 P147～P148 TOPIC6の復習 次回の定期試験に関する説明	対面授業 ※OL 対応可	予習:Classroom で指示されたことを行う(2 時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2 時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『まるごと 日本のことばと文化 中級2』 新聞、タウン誌、パンフレットなど参考にしましょう
履修条件	
履修上の注意	指示された内容の予習・復習を忘れずにやること。
オフィスアワー	火曜日13:00～14:00
備考・メッセージ	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。

講義科目名称: 日本語アクティブラーニング N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC712

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8Q	2年	1単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	「話す」技能に焦点を当てた授業である。会話やプレゼンテーションについて、分かりやすく伝えるためにどのような話し方が適切かをCDや動画を参考にしながらディスカッションやロールプレイを通して学ぶ。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近で日常の事柄や様々な場面やことについて詳しく伝えることができる。	会話テスト ミニテスト	40% 10%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	20%
課題解決能力	様々な場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	15%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題20%、授業参加態度20%、試験60%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	インTRODクシヨン ・授業内容を説明すること。 「中級2トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
2回目	「中級2トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレ	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)

	イを行い、順番に発表する。		
3回目	「中級2トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
4回目	「中級2トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
5回目	「中級2トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
6回目	「中級2トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
7回目	「中級2トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
8回目	「中級2トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
9回目	「中級2トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
10回目	「中級2トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
11回目	「中級2トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
12回目	「中級2トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)

13回目	「中級2トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
14回目	「中級2トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
15回目	「中級2トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 「ミニテスト」	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 既習単語と文型を確認する(2時間)
16回目	定期試験 ・グループプレゼンテーション ・個人会話テスト	対面のみ	復習: 既習単語と文型を確認する(2時間) 授業外学修時間 62時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級2」
履修条件	学ぶ意欲のある学生
履修上の注意	予習復習が学修成功の鍵です。課題を基にした演習も予定していますので忘れることなく、課題をしてきてください。
オフィスアワー	火曜日 10:00~11:00
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。日本語が正しく使えることより、話したいことが話せる、わかってもらえる経験をみんなと共有したいので、興味があること、話したいことを積極的に話題にしてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称:日本語アクティブラーニング N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC712

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8Q	2年(留学生)	1単位	選択	演習
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	既習の基礎的表現に加え、日常生活の様々な場面で必要となる標準的表現、自身の心情表現などの対話能力向上を主眼とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。社会のルールや状況に適した振る舞いができる。他者に対して親和的な態度で関わるができる。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	日本語で自身の必要な感情を表すために、基礎的な語彙を用いて日常の事柄について情報を伝え、相手の情報についても理解できる。	定期試験	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して得た知識を基本として、単純な疑問を基に理解しようとする考え方を持つことができる。自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持、改善をしようとする試みができる。	ペアでのダイアログ	20%
課題解決能力	目標に向かって自らやるべきことを見つけて取り組むことが多少でき、周囲の人々に声をかけ、動かすことが多少できる。自ら問題を見つけ、解決方法を検討することが多少できる。社会のルールに則って自らの発言や行動を適切に律しポジティブに捉えて対応することが多少できる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自分のパーソナリティと適職の関係について理解している。		
合計			100%

補足事項

授業に関する必要事項についての連絡は、Google Classroomを使用して、メールで行う

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション TOPIC4温泉に行こう(準備①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
2回目	TOPIC4温泉に行こう(PART1①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
3回目	TOPIC4温泉に行こう(PART2①~③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
4回目	TOPIC4温泉に行こう(PART2③~⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間

5回目	TOPIC4温泉に行こう(PART3①～⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
6回目	TOPIC5最近どう?(準備①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
7回目	TOPIC5最近どう?(PART1①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
8回目	TOPIC5最近どう?(PART2①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
9回目	TOPIC5最近どう?(PART2③～⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
10回目	TOPIC5最近どう?(PART3①～⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
11回目	TOPIC6マンガを読もう(準備①～②)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
12回目	TOPIC6マンガを読もう(PART1①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
13回目	TOPIC6マンガを読もう(PART2①～③)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
14回目	TOPIC6マンガを読もう(PART2③～⑤)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
15回目	TOPIC6マンガを読もう(PART3①～⑤) TOPIC4～6 まとめ	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	まるごと 日本のことばと文化 中級1 B1
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	午前8時～午後9時 メールで行う
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止 携帯電話使用は語句確認時(指示有)のみとする

講義科目名称: 日本語アクティブラーニング N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC712

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8Q	2年	1単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	N4レベルに応じたコミュニケーション力をつける。「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での「can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N4 レベルの実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題発表やプレゼンテーションもある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習: 2回目の語彙を調べ覚える。(2時間)
2回目	トピック6 1・人生いろいろ 2・ほんとうですか	対面授業 オンライン可	予習: 3回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
3回目	トピック6 3・おめでとう、お幸せに!	対面授業 オンライン可	予習: 4回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間)

	4・結婚式のスピーチ		復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	トピック6 5・ふたりの気持ち 6・結婚相手はどんな人?	対面授業 オンライン可	予習:5回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	トピック7 1・人はなやむ 2・最近、元気がないですね	対面授業 オンライン可	予習:6回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	トピック7 3・社会人のなやみ 4・こまった友だち	対面授業 オンライン可	予習:7回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	トピック7 5・はっきり言いましょう	対面授業 オンライン可	予習:8回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	トピック8 1・空港の中 2・今のアナウンス、何て言っていましたか	対面授業 オンライン可	予習:9回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	トピック8 3・あった、あった 4・トラブルのときのことば	対面授業 オンライン可	予習:10回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	トピック8 5・海外旅行のトラブル 6・ブログへのコメント	対面授業 オンライン可	予習:11回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	トピック9 1・いろいろな会社 2・少々お待ちください	対面授業 オンライン可	予習:12回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	トピック9 3・働きやすいですよ 4・しゅうしょくの相談	対面授業 オンライン可	予習:13回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	トピック9 5・キムさんへのメール	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	トピック6～9まとめ①	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	トピック6～9まとめ②		予習:定期試験の準備(4時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	まるごと 初中級 A2/B1
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。

○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称: 応用日本語 N1	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC606

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	日本語能力試験N1 レベルの各能力を高めるため、練習問題に取り組む。具体的には、教科書(ドリル&ドリル日本語能力試験N1)に沿って問題を解き、解答及び解説を行う。解説では、関連する文法事項などの確認を適宜行い、日本語能力試験N1合格を目指す。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	N1相当の文法力や読解力が身に付いている。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	N1 相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。		
課題解決能力	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	20%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、予習・復習10%、授業への参加態度20%の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)
2回目	N1ドリル&ドリル 聴解① ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
3回目	N1ドリル&ドリル 聴解② ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
4回目	N1ドリル&ドリル 聴解③ ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)

			復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	N1ドリル&ドリル 聴解④ ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	N1ドリル&ドリル 聴解⑤ ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	N1ドリル&ドリル 読解① ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	N1ドリル&ドリル 読解② ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	N1ドリル&ドリル 読解③ ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	N1ドリル&ドリル 読解④ ・解答と解説	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	N1ドリル&ドリル 聴解読解 ・復習①	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	N1ドリル&ドリル 聴解読解 ・復習②	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙 ・復習	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	N1ドリル&ドリル 文法 ・復習	対面授業 オンライン可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	N1ドリル&ドリル 総まとめ	対面授業 オンライン可	予習:定期試験の準備(4時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「ドリル&ドリル日本語能力試験 N1 文字語彙」 「ドリル&ドリル日本語能力試験 N1 文法」 「ドリル&ドリル日本語能力試験 N1 聴解読解」
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する) ○「ドリル&ドリル日本語能力試験 N1文字語彙・文法」も随時使用する。

講義科目名称: 応用日本語 N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC606

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
栢丸華緒				

授業概要	この授業では、日本語能力試験N2レベルの合格を目指す。そのため、問題集を通して試験問題に慣れるとともに、分からないところや苦手なところを繰り返して学ぶことで、確実な日本語力をつけることを目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・他人を思いやる心や感動する心を高めることができる。 ・他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。	学習態度	10%
専門的知識や技能	・N2レベルの文字・語彙・文法を理解し、運用できる。	定期試験 ミニテスト	50% 10%
異文化知識・対応能力	・培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。		
課題解決能力	・問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。 ・日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	予習・復習	20%
キャリアデザイン力	・モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。 ・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ・授業参加時間が75分に満たない場合も欠席とみなす。 ・定期試験50%、ミニテスト10%、予習・復習20%、授業への参加態度20%の割合で評価する。 ・授業の出席・連絡は Google classroom を使用する。 ・課題発表やプレゼンテーションもある。 ・講義に関する質問は直接受け付けるほか、Google classroom でも対応可能。 ・本講義の課題レポートは Google classroom を通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックは Google classroom のコメント機能を使って行う。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・講義の進め方	対面授業 ※OL 対応可	予習: 問題集を解く(2時間) 復習: 間違ったところのやり直しを

	<ul style="list-style-type: none"> ・心構え ・Google classroom 登録の確認 ・課題の確認、提出方法 ・フィードバックの確認方法 ・教科書の確認 第5週1日目2日目3日目 第10週1日目／第12週1日目 (⇒授業内で行う)		する(2時間)
2回目	第1週1日目 ・解説と解答 第5週4日目5日目 第10週2日目／第12週2日目 (⇒授業内で行う)	対面授業 ※OL 対応可	予習:問題集を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
3回目	第1週2日目 ・解説と解答 第6週1日目 第10週3日目／第12週3日目 (⇒授業内で行う)	対面授業 ※OL 対応可	予習:問題集を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
4回目	第1週3日目 ・解説と解答 第6週2日目 第10週4日目／第12週4日目 (⇒授業内で行う)	対面授業 ※OL 対応可	予習:問題集を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
5回目	第1週4日目 ・解説と解答 第6週3日目 第10週5日目／第12週5日目 (⇒授業内で行う)	対面授業 ※OL 対応可	予習:問題集を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
6回目	第1週5日目 ・解説と解答 第6週4日目 第11週1日目／第11週2日目 (⇒授業内で行う)	対面授業 ※OL 対応可	予習:問題集を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
7回目	第2週1日目／第3週1日目 ・解説と解答 第6週5日目 第11週3日目 (⇒授業内で行う)	対面授業 ※OL 対応可	予習:問題集を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
8回目	第2週2日目／第3週2日目 ・解説と解答 第7週1日目 第11週4日目 (⇒授業内で行う)	対面授業 ※OL 対応可	予習:問題集を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
9回目	第2週3日目／第3週3日目 ・解説と解答 第7週2日目 第11週5日目 (⇒授業内で行う)	対面授業 ※OL 対応可	予習:問題集を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
10回目	第2週4日目／第3週4日目 ・解説と解答・解説と解答 第7週3日目 第9週1日目 (⇒授業内で行う)	対面授業 ※OL 対応可	予習:問題集を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
11回目	第2週5日目／第3週5日目	対面授業	予習:問題集を解く(2時間)

	・解説と解答 第7週4日目 第9週2日目 (⇒授業内で行う)	※OL 対応可	復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
12回目	第4週1日目／第4週2日目 ・解説と解答 第7週5日目 第9週3日目 (⇒授業内で行う)	対面授業 ※OL 対応可	予習:問題集を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
13回目	第4週3日目 ・解説と解答 第8週1日目／第8週2日目 第9週3日目 (⇒授業内で行う)	対面授業 ※OL 対応可	予習:問題集を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
14回目	第4週4日目 ・解説と解答 第8週3日目／第8週4日目 第9週4日目 (⇒授業内で行う)	対面授業 ※OL 対応可	予習:問題集を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
15回目	第4週5日目 ・解説と解答 第8週5日目 第9週5日目 (⇒授業内で行う)	対面授業 ※OL 対応可	予習:問題集を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
	試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	JLPTN2総合問題集 JLPTN2ベスト単語2400
履修条件	
履修上の注意	日本語能力試験N3レベルに合格している学習者を対象とする。
オフィスアワー	火曜日13:00～14:00
備考・メッセージ	各回の授業は、「文字・語彙・文法」は、解答・解説のみとし、「読解」と「聴解」は、授業中に一斉に行うこととする。 そのため、各回の授業で扱う「文字・語彙・文法」の部分は、必ず予習をしてから授業に出席すること。

講義科目名称: 応用日本語 N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC606

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
山本 みづほ				

授業概要	日常生活に必要な知識、会話力を養う。 本講義では、JLPTN3取得を目指し、①文法の「使い方」を理解し、②聞く・読む練習で文法を身に付けることを目標にする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・一つひとつのトピックに、積極的に取り組もうとする。	・グループディスカッション	5%
専門的知識や技能	・日常生活に必要な用語を適切に使うことができる。 ・自分の思いを短い会話をつなぎながら表現することができる。	・定期試験 ・ミニテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	・日本文化についての理解を深め、日本社会に馴染もうとする姿勢が見られる。	・レポート	10%
課題解決能力	・分からないことをそのままにせず、自ら調べたり質問することができる。	・授業への参加・態度	5%
キャリアデザイン力	・学んだことをその日から活かそうとする。	・レポート	10%
合計			100%

補足事項	
・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。 ・本授業では、定期試験50%、ミニテスト20%、レポート20%、授業への参加態度10%の割合で評価する。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方、心がまえ、注意点について説明する。 N3TRY! 初めての富士登山(1) P16～P21 ・解答と解説	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P16～21を読み問題を解く(2時間) 復習: 間違った問題のやり直し、新出単語を書いて覚える。(2時間)
2回目	N3TRY! 初めての富士登山(2) P22～P30 N3TRY! ぼくの犬、クロ(1)(2) P31～P43 ・解答と解説	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P22～43を読み問題を解く(2時間) 復習: 間違った問題のやり直し、新出単語を書いて覚える。(2時間)
3回目	N3TRY! 市民農園の募集(1)(2) P44～P56 ・解答と解説	対面授業 オンライン等の対応可	予習: P44～56を読み問題を解く(2時間) 復習: 間違った問題のやり直し、

			新出単語を書いて覚える。(2時間)
4回目	N3TRY! 水泳大会(1)(2) P57~P71 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P57~71を読み問題を 解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、 新出単語を書いて覚える。(2時間)
5回目	N3TRY! 手作りハムのレシピ(1)(2) P72~P85 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P72~85を読み問題を 解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、 新出単語を書いて覚える。(2時間)
6回目	N3TRY! 里山について(1)(2) P86~P101 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P86~101を読み問題を 解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、 新出単語を書いて覚える。(2時間)
7回目	N3TRY! 不動産屋で(1)(2) P102~P115 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P102~115を読み問題を 解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、 新出単語を書いて覚える。(2時間)
8回目	N3TRY! 就職の面接 P116~P126 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P116~126を読み問題を 解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、 新出単語を書いて覚える。(2時間)
9回目	N3TRY! お花見(1)(2) P127~P139 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P127~139を読み問題を 解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、 新出単語を書いて覚える。(2時間)
10回目	N3TRY! ゆきの選択(1)(2) P140~P156 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P140~156を読み問題を 解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、 新出単語を書いて覚える。(2時間)
11回目	N3TRY! 友だちのお見舞い(1) P157~P165 ・解説と解答	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P157~165を読み問題を 解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、 新出単語を書いて覚える。(2時間)
12回目	N3TRY! 友だちのお見舞い(2) P166~P176 ・解説と解答	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P166~176を読み問題を 解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、 新出単語を書いて覚える。(2時間)
13回目	N3TRY!の振り返り① P16~P56 特に理解できなかった部分を再度解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P16~56を読み問題を 再度解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、 新出単語を書いて覚える。(2時間)
14回目	N3TRY!の振り返り② P57~P101	対面授業 オンライン等	予習:P57~101を読み問題を 解く(2時間)

	特に理解できなかった部分を再度解説	の対応可	復習:間違った問題のやり直し、新出単語を書いて覚える。(2時間)
15回目	N3TRY!振り返り③ P102~P176	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P102~176を読み問題を解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、新出単語を書いて覚える。(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	N3TRY! JLPTN3総合問題集 JLPTN3ベスト単語合格2100
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 授業時間に余裕があるときはNHK for Schoolを視聴する。

講義科目名称: 応用日本語	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC606

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年(留学生)	2単位	選択	講義
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	日本語能力試験対策で、N4 合格を目標とし、文字・語彙・文法の習得、さらに読解力・聴解力の向上を主眼とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え、行動することができる。社会のルールや状況に適した振る舞いができる。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	日本語で、身近な日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	定期試験	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して得た知識を基本として、理解しようとする考え方をもちことができる。自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持、改善しようと試みることができる。		
課題解決能力	周りに確認と質問をしながら、自立的に活動に取り組むことができる。 事前に計画を立て、自分の考察を交えて解決法を考えることができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自分のパーソナリティと適職の関係について理解している。	復習課題	20%
合計			100%

補足事項

授業に関する必要事項についての連絡は、Google Classroomを使用して メールで行う。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション 1. 文字・語彙・文法・読解・聴解	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
2回目	JLPT N3 単語小テスト(1) 2. 文字・語彙・文法・読解・聴解	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
3回目	JLPT N3 単語小テスト(2) 3. 文字・語彙・文法・読解・聴解	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
4回目	JLPT N3 単語小テスト(3) 4. 文字・語彙・文法・読解・聴解	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
5回目	JLPT N3 単語小テスト(4) 5. 文字・語彙・文法・読解・聴解	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間

6回目	JLPT N3 単語小テスト(5) 6. 文字・語彙・文法・読解・聴解	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
7回目	JLPT N3 単語小テスト(6) 7. 文字・語彙・文法・読解・聴解	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
8回目	JLPT N3 単語小テスト(7) 8. 文字・語彙・文法・読解・聴解	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
9回目	JLPT N3 単語小テスト(8) 9. 文字・語彙・文法・読解・聴解	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
10回目	JLPT N3 単語小テスト(9) 10. 文字・語彙・文法・読解・聴解	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
11回目	JLPT N3 単語小テスト(10) 11. 文字・語彙・文法・読解・聴解	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
12回目	JLPT N3 単語小テスト(11) 12. 文字・語彙・文法・読解・聴解	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
13回目	JLPT N3 単語小テスト(12) 13. 文字・語彙・文法・読解・聴解	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
14回目	JLPT N3 単語小テスト(13) 14. 文字・語彙・文法・読解・聴解	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
15回目	JLPT N3 単語小テスト(14) 15. 文字・語彙・文法・読解・聴解(まとめ)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	JLPT N4 日本語能力試験 ベスト 総合問題集 JLPT N3 日本語能力試験 ベスト単語 合格2100
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	午前8時～午後9時 メールで行う
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止 携帯電話使用は語句確認時(指示有)のみとする

講義科目名称:総合日本語 N1	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC713

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	日本語能力試験N1 レベルの各能力を高めるため、練習問題に取り組む。具体的には、教科書(N1合格模試)に沿って問題を解き、解答及び解説を行う。解説では、関連する文法事項などの確認を適宜行い、日本語能力試験N1合格を目指す。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	N1相当の文法力や読解力が身に付いている。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	N1相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。		
課題解決能力	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	20%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、予習・復習10%、授業への参加態度20%の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)
2回目	合格模試第1回 N1 (文字・語彙)	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
3回目	合格模試第1回 N1 (文法)	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
4回目	合格模試第1回 N1 (読解)	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)

			復習: 既習内容の確認(2時間)
5回目	合格模試第1回 N1 (聴解) 第1回まとめ	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
6回目	合格模試第2回 N1 (文字・語彙)	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
7回目	合格模試第2回 N1 (文法)	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
8回目	合格模試第2回 N1 (読解)	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
9回目	合格模試第2回 N1 (聴解) 第2回まとめ	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
10回目	合格模試第3回 N1 (文字・語彙)	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
11回目	合格模試第3回 N1 (文法)	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
12回目	合格模試第3回 N1 (読解)	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
13回目	合格模試第3回 N1 (聴解) 第3回まとめ	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
14回目	総まとめ①	対面授業 オンライン可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
15回目	総まとめ②	対面授業 オンライン可	予習: 定期試験の準備(4時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	はじめての日本語能力試験N1 合格模試
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:総合日本語	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC713

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年(留学生)	2単位	選択	講義
担当教員				
岩見真知子				

授業概要	日本語能力試験、N2合格を目標とし、高度な文法・漢字・語彙の習得、読解力、聴解力向上を主眼とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。社会のルールや状況に適した振る舞いができる。他者に対して、親和的な態度で関わることができる。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	日本語で仕事、学校、娯楽などに対応でき、身近な話題について主要な点を理解できる。様々な場面で自らの意思を表現、伝達し相手の意思を理解できる。	定期試験	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して、自己の世界観を基本として理解しようとし、その文化的な違いを認識し、行動に取り入れ共通の理解を得ようとし始める。		
課題解決能力	自ら目標を設定し、問題点を整理し、解決に向け相手の意見を理解し、自分の意見を的確に伝え、協力して活動することができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自己のライフスタイルを振り返り、職業志向条件や勤務条件について考え、自分自身を十分プレゼンできる準備ができている。	復習課題	20%
合計			100%
補足事項			
授業に関する必要事項については、Google Classroomを使用して、メールで行う。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション 7. オオカミと生態系(1)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
2回目	JLPT N2 単語小テスト(1) 7. オオカミと生態系(2)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
3回目	JLPT N2 単語小テスト(2) 8. 取引先で	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
4回目	JLPT N2 単語小テスト(3) 9. 食べ放題(1)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
5回目	JLPT N2 単語小テスト(4) 9. 食べ放題(2)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
6回目	JLPT N2 単語小テスト(5)	SC(OL)	予習:2時間

	10. 満員電車(1)		復習:2時間
7回目	JLPT N2単語小テスト(6) 10. 満員電車(2)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
8回目	JLPT N2 単語小テスト(7) 11. ラーメンの紹介	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
9回目	JLPT N2単語小テスト(8) 12. ウォーキングシューズの開発(1)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
10回目	JLPT N2 単語小テスト(9) 12. ウォーキングシューズの開発(2)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
11回目	JLPT N2 単語小テスト(10) 13. 人生の転機(1)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
12回目	JLPT N2 単語小テスト(11) 13. 人生の転機(2)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
13回目	JLPT N2 単語小テスト(12) 13. 人生の転機(2)	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
14回目	JLPT N2 単語小テスト(13) 14. オリンピックの開催について	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
15回目	JLPT N2 単語小テスト(14) 14. オリンピックの開催について 復習・まとめ	SC(OL)	予習:2時間 復習:2時間
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	TRY! N2 日本語能力試験 N2 文法から伸ばす日本語 JLPT N2日本語能力試験ベスト総合問題集
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	午前8時～午後9時 メールで行う。
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止。 携帯電話使用は語句確認時(指示有)のみとする。

講義科目名称:総合日本語 N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC713

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
栃丸華緒				

授業概要	本講義では、日本語能力試験N3レベル取得を目指し、試験に向けて問題を解く際のポイントを確認し、実践力を養う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	積極的に取り組もうとする姿勢を身に付けることができる。		
専門的知識や技能	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。	定期試験 ミニテスト 課題	50% 20% 10%
異文化知識・対応能力	文化背景の異なるクラスメイトを理解し、協力することで日本語の使用機会を増やし、より実践的な言語運用能力を高めることができる。	授業態度	10%
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、自らの課題に向き合うことができる。	授業態度	10%
キャリアデザイン力	自ら考え、自律的に継続して行動することができる。		
合計			100%

補足事項

- ・授業開始から 15 分までの入室は遅刻。15 分以降は欠席とする。
- ・授業参加時間が 75 分に満たない場合も欠席とみなす。
- ・定期試験50%、ミニテスト20%、課題10%、授業への参加態度20%の割合で評価する。
- ・授業の出席・連絡は Google classroom を使用する。
- ・講義に関する質問は直接受け付けるほか、Google classroom でも対応可能。
- ・本講義の課題レポートは Google classroom を通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックは Google classroom のコメント機能を使って行う。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・講義の進め方 ・心構え ・Google classroom 登録の確認 ・課題の確認、提出方法 ・フィードバックの確認方法 ・教科書の確認 【テキスト】 ・第1週1日目	対面授業 ※OL 対応可	復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)

	<ul style="list-style-type: none"> ・第5週1日目 ・第9週1日目、第10週1日目 		
2回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第1週2日目、3日目 ・第5週2日目 ・第9週2日目、第10週2日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第1週2日目、3日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
3回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第1週4日目、5日目 ・第5週3日目 ・第9週3日目、第10週3日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第1週4日目、5日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
4回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第2週1日目、2日目 ・第5週4日目 ・第9週4日目、第10週4日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第2週1日目、2日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
5回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第2週3日目、4日目 ・第5週5日目 ・第9週5日目、第10週5日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第2週3日目、4日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
6回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第2週5日目、第3週1日目 ・第6週1日目 ・第11週1日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第2週5日目、第3週1日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
7回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第3週2日目、3日目 ・第6週2日目 ・第11週2日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第3週2日目、3日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
8回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第3週4日目、5日目 ・第6週3日目 ・第11週3日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第3週4日目、5日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
9回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第4週1日目 ・第6週4日目 ・第11週4日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第4週1日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
10回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第4週2日目 ・第6週5日目 ・第11週5日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第4週2日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
11回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第4週3日目 ・第7週1日目、2日目 ・第12週1日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第4週3日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
12回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第4週4日目 ・第7週3日目、4日目 ・第12週2日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第4週4日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
13回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・第4週5日目 ・第7週5日目、第8週1日目 ・第12週3日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:第4週5日目(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)
14回目	【テキスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・文字語彙文法 復習1 ・第8週2日目、3日目 ・第12週4日目 	対面授業 ※OL 対応可	予習:p16～p65(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(2時間)

15回目	【テキスト】 ・文字語彙文法 復習2 ・第8週目4日目、5日目 ・第12週5日目	対面授業 ※OL 対応可	予習:p16～p65(2時間) 復習:授業でわからなかったところをもう一度やること。(4時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	JLPTN3総合問題集 JLPTN3ベスト単語合格2100
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	日本語能力試験N3レベルを取得するためには、授業だけではなく自分で勉強することが大切です。授業でわからなかったところは教員に質問し、授業後は必ず復習するようにしてください。 また、「語彙・語彙・文法」に関しては、予習してきているものとして授業を進めるので、授業の前日までに必ず予習をしておいてください。

講義科目名称:総合日本語 N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC713

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	JLPTN3の文字、語彙及び文法力をアップするための授業である。必ず予習として練習問題を事前に解い、分からないことを授業で聞く。授業では解答及び解説をメインに行う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	N3を合格すると目標に向かっている。		
専門的知識や技能	N3の文字、語彙及び文法力を身につけている。	定期試験	40%
異文化知識・対応能力	N3の文字、語彙及び文法力を身につけている。	予習／復習	25%
課題解決能力	学習法と試験対策を身に付けている。	課題	25%
キャリアデザイン力	N3を合格することで、進学や就職に活かせる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では目標設定シートレポート報告20%、ミニテスト20%、期末テスト60%の割合で評価する ・本講義の課題レポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題についての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	①「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする クラス分け試験の確認	対面授業 オンライン等の対応可	予習:シラバスを前もって読んでおき、わからない言葉は調べておくこと(2時間) 復習:目標設定シートの作成に取り掛かり、毎日の勉強に反映させること(2時間)
2回目	文字語彙、文脈規定を中心に語彙の取得と、その用法、言い換えなどを学ぶ①	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)

3回目	文字語彙、文脈規定を中心に語彙の取得と、その用法、言い換えなどを学ぶ②	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
4回目	文字語彙、文脈規定を中心に語彙の取得と、その用法、言い換えなどを学ぶ③	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
5回目	学習した語彙の使われ方を学ぶとともに、N3につながる基本的な文法を確実に学ぶ。また、文章を作ることができるようになる。①	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
6回目	学習した語彙の使われ方を学ぶとともに、N3につながる基本的な文法を確実に学ぶ。また、文章を作ることができるようになる。②	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
7回目	学習した語彙の使われ方を学ぶとともに、N3につながる基本的な文法を確実に学ぶ。また、文章を作ることができるようになる。③	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
8回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった短文の文章を読み、理解できるようになる①	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
9回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった短文の文章を読み、理解できるようになる②	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
10回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった中文の文章を読み、理解できるようになる①	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
11回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった中文の文章を読み、理解できるようになる②	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)

12回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、提示された資料を読み、必要な情報を読み解き、理解できるようになる①	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
13回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、提示された資料を読み、必要な情報を読み解き、理解できるようになる②	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
14回目	聴解① 短い会話文に繋がる適切な返答ができるようになる	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
15回目	聴解② 2人以上の会話を聞いて、適切な情報を取り出すことができるようになる	対面授業 オンライン等の対応可	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと(2時間) 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく(2時間)
16回目	定期試験 これまで学んだ内容に関して、定期試験を行う	対面授業	予習:定期試験に備えておく(2時間) 復習:理解できなかったことなどをまとめておく(2時間) 授業外学修時間 64時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	TRY!日本語能力試験N4、日本語能力試験ベスト単語合格2100
履修条件	日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とする
履修上の注意	指定された課題を必ず、授業前にはしておくこと
オフィスアワー	金曜日10:00~11:00
備考・メッセージ	漢字の取得も目指しています。根気よく頑張る人は時間が始めはかかりますが、学びを実感しやすいです。 一緒に頑張りましょう! また、授業開始15分以内の出席は遅刻扱いになりますが、15分を越す場合は欠席になります。また、ひとつの授業に75分以上の出席がない場合、欠席扱いとなります。

講義科目名称:比較文化研究(日・留)	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:MU701

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(7Q)	2年	2単位	選択	講義(オムニバス)
担当教員				
牟田、李、ローズ、チャウ、近藤、松浦、柝丸				

授業概要	<p>コミュニケーション力とグローバルな視点によって多様な人々と積極的に交流することができるようにするため、この授業の目的となるキーワードは、「協働」「比較文化」「異文化理解」「コミュニケーション」とする。これからのグローバル社会では、様々な国の出身者と協働で働き、生活を共にすることがますます必要となる。いくつかのプロジェクトを通して、多様な文化を理解し、価値観の違いを知り、また自国文化についての理解を深める。1年次の「異文化理解演習」をベースに、さらに幾つかの国の文化を自国の文化と比較研究をおこなう。特に、日本、韓国、中国、カナダ、ニュージーランドをより深く理解しておくことが重要だと考える。グループワークを通じたプロジェクト型の授業となるため、その中でコミュニケーション力を磨き、協調性を培い、責任感を育てる。グループ全員がそれぞれの立場からそれぞれの資質を活かし、プロジェクトにコミットすることに意義があり、共に学ぶ日本人・留学生が協働して、プロジェクトに取り組み、プレゼンテーション等の作成・発表を通して、5つの到達目標達成を目指す。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる	・グループワーク	40%
専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる文化を持つ人々にとって重要な要素の複雑さを理解して、自発的に多面的な場面に関わり、その関わりを発展させることができる ・自己の文化的ルールや偏見について認識し、明確に自分の意見を述べることができ、自己の経験がどのように形成されたか認識し、抱える文化的な偏見に対する気づき、対応する方法がわかる。 	・課題	30%
課題解決能力	・目標に向かって、自ら問題を見つけ、その解決方法を提案、検討、計画し、課題に対して新しい解決方法を考えることができる	・課題	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、課題60%、グループワーク40%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	韓国へようこそ！1 この授業全体のガイダンスをした後、韓国の地理、国旗、花、伝統衣装、お金、住食など韓国の概要について勉強しながら、日本・日本文化との比較を行う。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
2回目	韓国へようこそ！2 韓国と日本の国際交流について話して、両国の望ましい関係について議論する。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
3回目	中国語の擬声語 中国語で鶏の鳴き声は？猫の鳴き声は？水の音は？日本語と比較しながら楽しく学ぶ。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
4回目	中国茶と日本茶 中国の緑茶、黒茶、白茶、青茶、紅茶、黄茶等を実際に試飲しながら、日本茶および日本の茶文化との比較を行う。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
5回目	「文化」とは何か、文化研究に取り組む前に「文化」の概念を共有した後に、異文化研究や異文化接触時に必要な「文化」の概念とは何かを学習する。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
6回目	「文化」とは何か、文化研究に取り組む前に「文化」の概念を共有した後に、異文化研究や異文化接触時に必要な「文化」の概念とは何かを学習する。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
7回目	香港文化の紹介1 香港の伝統文化って何？香港の様々な文化について学びましょう。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
8回目	香港文化の紹介2 香港の伝統文化って何？香港の様々な文化について学びましょう。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
9回目	カナダの言語/文化/社会事情紹介 カナダの言語事情 日本と比べたカナダの教育事情 日本と比べたカナダの文化/社会事情 食文化の違い	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
10回目	世界/日本の英語とグローバル人材 世界の英語、日本の英語 これから求められるグローバル人材とは 英語圏に暮らす人とzoomでインタビュー	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな

	(予定)		な情報を追加する。(2時間)
11回目	英文学入門1 英文学とは何か？様々な作品とその特徴について学びましょう。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
12回目	英文学入門2 英文学とは何か？様々な作品とその特徴について学びましょう。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
13回目	ニュージーランドの文化1 ニュージーランド史の要約と現在のニュージーランドの紹介。日常生活、人気の趣味・スポーツなども紹介する。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
14回目	ニュージーランドの文化2 現代のニュージーランドのマオリ文化を紹介し、伝統的なマオリの織物バッグを作りましょう。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
15回目	総まとめ 学習内容まとめ アンケート調査	面接授業	予習:今までの授業内容を改めて整理する(4時間) 復習:とくになし
			授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	授業中に指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月曜日の1コマ目、火曜日の2コマ目(研究室) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	母語が異なるメンバーによるプロジェクトになるため、コミュニケーションが難しい時がある。その場合、辞書などを上手に使うなど、工夫してプロジェクトを完成すること。

講義科目名称:異文化理解演習	授業コード:
英文科目名称:Cross-cultural Understanding	ナンバリング:MU101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>国境を超えた人々の自由な往来や、インターネットの世界的な普及により、社会のグローバル化が加速されています。それに伴い、文化背景の異なる人々間でのコミュニケーションは、日常的になっており、大学でも、様々な国からの留学生と共に学び、また、地域社会においても、外国籍の人たちが日本人と共に働いています。</p> <p>国籍が同じでも文化背景が異なることは往々にしてあります。また、同じ日本人でも文化背景は同じではありません。</p> <p>この授業では、日本人と留学生が様々な異文化理解のためのタスクやエクササイズを通して、自文化及び他文化について再認識し、文化背景の異なる人々への開かれた心と態度を持ち、今後様々な場面で必要とされる異文化コミュニケーション能力を身につけることを目標とします。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・文化背景の異なる人々への開かれた心と態度を持つことができる。	・タスクやエクササイズへの参加度	30%
専門的知識や技能	・文化紹介のタスクを適切におこなうことができる。	・各タスクの評価	40%
異文化知識・対応能力	・異文化理解に関する概念や専門用語を理解できる。 ・異文化コミュニケーション能力を身につけることができる。	・タスクやエクササイズへの参加度	30%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
<p>授業1～7回は、日本人と留学生がいくつかのタスクやエクササイズを通して交流し、異文化理解を促し、友達作りをします。この過程で、異文化とはなにかを体験的に感じてもらいます。</p> <p>授業8～14回は、異文化理解とはどのようなことなのかを講義で学び、同時に、「異文化交流パーティー」でのプレゼンの準備を行います。具体的には、各国紹介ポスターの作成、各国を代表するお菓子の購入と説明プレゼンの作成、各グループでの異文化パフォーマンスの準備等を行います。「国情報」、「言葉」、「独自の文化と思うもの」、などで、最後に、まとめとして「文化背景の異なる人々と共生していくにはどうしたら良いか」をグループで話し合い、書き入れてください。</p> <p>「異文化交流パーティー」での各グループのプレゼンテーションを全員で確認し、評価します。</p> <p>本授業では、タスクやエクササイズへの参加度(60%)、各タスクの評価(40%)の割合で、総合評価します。</p> <p>プレゼンテーションに関しては、ルーブリック評価表を使用します。</p>

<https://drive.google.com/file/d/1YOUijafajqaZ3thTOBrbU8S7lmhUnCr-/view?usp=sharing>

15分以上の遅刻の場合、欠席とみなします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目 4/13	<p>オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業概要と授業目標の説明 ・全体で自己紹介 ・多国籍グループ作り、及びグループ内自己紹介 <p>異文化理解タスク1「グループ内メンバー紹介動画作成」の計画と作成(1回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 動画は、3分程度。 * グループメンバーで紹介動画の構成を考える。 * 日本人は、「日本語(又は日本語のサブタイトル)」と「日本語以外のメンバーの言語」で自己紹介。 * 留学生は、「日本語」のみ。余裕があれば、「日本語以外のメンバーの言語」で自己紹介。 * それぞれのネイティブスピーカーが発音指導を行う。 	対面授業	<p>予習:「異文化」とはなにを指すのかを考え、自分の身の回りの異文化と思われるもの・ことを書き出す。(2時間)</p> <p>復習:他言語での自己紹介を反復練習し、暗記する。適宜、ネイティブスピーカーの指導を仰ぐ。この過程において、母国語との違いは何かを考える。(2時間)</p>
2回目 4/20 3回目 4/27	<p>異文化理解タスク1「グループ内メンバー紹介動画作成」(2回目、3回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画の撮影と編集 <ul style="list-style-type: none"> * スポーツディ競技方法の理解 	対面授業	<p>予習:他言語での自己紹介を反復練習し、暗記する。適宜、ネイティブスピーカーの指導を仰ぐ。この過程において、母国語との違いは何かを考える。(各回2時間)</p> <p>復習:他言語での自己紹介を反復練習し、暗記する。適宜、ネイティブスピーカーの指導を仰ぐ。この過程において、母国語との違いは何かを考える。(各回2時間)</p>
4回目 5/11	<p>異文化理解タスク1「グループ内メンバー紹介動画作成」プレゼンテーションは、HTB研修で実施。</p> <p>異文化理解タスク2「HTB研修」(1回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題提示 ・計画と準備 <p>①撮影する場所をピックアップする。</p> <p>②日本人学生が中心になり、留学生と話しながらシナリオを考える。</p> <p>課題:「外国人ツアー客に対してHTB観光を行うという設定で、シナリオを考えながら、スポットごとに動画を撮影し、編集する。」</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HTB入り口:「皆さんこんにちは、ようこそHTBへ。私はツアーガイドの〇〇です。私はアシスタントの〇〇です。本日は、私たちが園内をご案内いたします。ど 	対面授業	<p>予習:まとめプレゼンテーションでの自分の発表の練習をしておく。(2時間)</p> <p>復習:タスク1の発表の振り返りを行い、反省点、評価された点に関して、まとめておく。(2時間)</p>

	<p>うぞよろしくお願ひします。まずは、皆さんにお名前と出身地をお聞きたいと思ひます。。。。。」では、出発しましょう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかのポイントを回りながら、外国人客(留学生)と簡単なやりとり、感想などを聴きコミュニケーションをとり撮影する。何か食べる場合、突然、トイレの場所を聞くとか、自由なシチュエーションを考える。。。 ・簡単で、片言の会話でもいいので、できるだけ会話のやり取りを撮影する。 		
5回目 5/18	<p>異文化理解タスク2「HTB研修」(2回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画と準備 ・各グループの計画概要発表 <p>* HTB研修は、5/20(土)9:00-17:00を予定</p>	対面授業	<p>予習:タスク2のHTBに関して、インターネット等で情報を収集しておく。(4時間)</p> <p>復習:計画した内容に沿って、自分の役割分担を確認し、動画作成の段取りを再確認しておく。(4時間)</p>
6回目 5/22(月) * 木曜日 授業	<p>異文化理解タスク2「HTB研修」(3回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HTB研修のプレゼンテーション作成 	対面授業	<p>予習:HTB研修の行動履歴を確認し、撮影した写真や動画を整理し、編集しやすいようにまとめておく。(4時間)</p> <p>復習:作成した動画に基づいて準備しているプレゼンテーションでの自分の役割を練習し、準備する。(4時間)</p>
7回目 5/25	<p>異文化理解タスク2「HTB研修」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ・プレゼンテーション 	対面授業	<p>予習:プレゼンテーションにおける自分の発表で、メモを見ないで発表できるように準備をしておく。(2時間)</p> <p>復習:たのグループの発表も参考に、自分たちのプレゼンを見直し、よかった点、改善点などをまとめる。(2時間)</p>
8回目 6/1	<p>講義①:「異文化コミュニケーションとは(1)」</p> <p>a) 新しい常識発見</p> <p>b) ステレオタイプ</p> <p>* グループメンバー同士で協力し内容を理解する。</p> <p>異文化理解タスク3「異文化交流パーティーの準備」</p> <p>★国別グループ再編成(作業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カレーのレシピ作り、材料調達、調理方法を考える。 ・国紹介のポスター作成 ・カレー紹介ポスター(大)作成 & 口頭説明シナリオ作成 	対面授業	<p>予習:タスク1、タスク2で経験したことを通して「異文化コミュニケーション」の難しさや問題点について考えておく。(2時間)</p> <p>復習:講義①に関して、内容を再度確認し、理解しておく。</p> <p>また、タスク3の比較項目を考えておく。(2時間)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・当日配布するハンドアウト(A4)(チラシ)作成 ・国別パフォーマンスの準備 		
<p>9回目 6/15 *6/8はターム間休校</p>	<p>講義②:「異文化コミュニケーションとは(2)」</p> <p>a) 異文化理解への態度 b) 文化とコミュニケーション</p> <p>異文化理解タスク3「異文化交流パーティーの準備①」 (作業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カレーのレシピ作り、材料調達、調理方法を考える。 ・国紹介のポスター作成 ・カレー紹介ポスター(大)作成 & 口頭説明シナリオ作成 ・当日配布するハンドアウト(A4)(チラシ)作成 ・国別パフォーマンスの準備 	対面授業	<p>予習:タスク3の新たな比較項目と内容を考えておく。(2時間)</p> <p>復習:講義②に関して、内容を再度確認し、理解しておく。</p> <p>また、タスク3の比較項目とその内容を考えておく。(2時間)</p>
<p>10回目 6/22</p>	<p>講義③:「コミュニケーションスタイル」</p> <p>a) コンテキスト b) 双方向コミュニケーション/ターンテーキング</p> <p>異文化理解タスク3「異文化交流パーティーの準備②」 (作業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カレーのレシピ作り、材料調達、調理方法を考える。 ・国紹介のポスター作成 ・カレー紹介ポスター(大)作成 & 口頭説明シナリオ作成 ・当日配布するハンドアウト(A4)(チラシ)作成 ・国別パフォーマンスの準備 	対面授業	<p>予習:タスク3の新たな比較項目と内容を考えておく。(2時間)</p> <p>復習:講義③に関して、内容を再度確認し、理解しておく。</p> <p>また、タスク3の比較項目とその内容を考えておく。(2時間)</p>
<p>11回目 6/29</p>	<p>講義④:「非言語コミュニケーション(1)」</p> <p>a) 表情 b) アイコンタクト c) しぐさとジェスチャー</p> <p>異文化理解タスク3「異文化交流パーティーの準備③」 (作業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カレーのレシピ作り、材料調達、調理方法を考える。 ・国紹介のポスター作成 ・カレー紹介ポスター(大)作成 & 口頭説明シナリオ作成 ・当日配布するハンドアウト(A4)(チラシ)作成 ・国別パフォーマンスの準備 	対面授業	<p>予習:タスク3の新たな比較項目と内容を考えておく。(2時間)</p> <p>復習:講義④に関して、内容を再度確認し、理解しておく。</p> <p>また、タスク3の比較項目とその内容を考えておく。(2時間)</p>
<p>12回目 7/6</p>	<p>講義⑤:「非言語コミュニケーション(2)」</p> <p>a) タッチング b) 空間と対人距離 c) 時間の感覚</p>	対面授業	<p>予習:タスク3の新たな比較項目と内容を考えておく。(4時間)</p> <p>復習:講義⑤に関して、内容を再度確認し、理解しておく。</p>

	異文化理解タスク3「 異文化交流パーティーの準備④ 」 (作業内容) ・カレーのレシピ作り、材料調達、調理方法を考える。 ・国紹介のポスター作成 ・カレー紹介ポスター(大)作成 & 口頭説明シナリオ作成 ・当日配布するハンドアウト(A4)(チラシ)作成 ・国別パフォーマンスの準備 * 異文化交流パーティー: 7月8日(土)		また、タスク3のポスタープレゼンの自分の担当を練習し準備しておく。(4時間)
13回目 ～ 15回目	(授業なし) * HTB研修/異文化交流パーティー実施の代講ため	対面授業	
			授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	参考として、各社新聞、ネットニュース、その他、授業中に指示
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	国籍の異なる多くのクラスメイトと交流し、自国の文化を認識すると同時に、異文化理解力を高めてください。

講義科目名称: 国際・時事研究	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: MU601

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				

授業概要	<p>最近の国内外の時事問題に関して、広く知識を獲得し、自分の意見を持ち、発言できるようにする。就職活動や海外へ留学した際に、基本的な時事問題を理解し、それについて自分の意見を述べることは非常に重要である。</p> <p>google classroomを使用し、参考文献や活用するデータのリンク先やデータ等を提供する。</p> <p>授業の中では、主に以下をおこなう。</p> <p>①テキストで扱っている時事問題に関して教員が解説し、議論する。</p> <p>②受講者が気になった新聞やネット記事を読み、内容をマインドマップ(留学生クラスは、ワークシート)に落とし込み、そのマインドマップ(ワークシート)を元に記事内容をクラスで説明する。</p> <p>③同時に、プレゼンする記事に関して「自分の意見」を述べ、他の学生と意見交換を行い、時事問題について理解を深める。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースを正しく理解でき、記事内容を簡潔に要約(マインドマップ/ワークシート化)できる。 ・取り扱う国内・国際時事用語を正しく理解できる。 ・マインドマップ/ワークシートの概念を理解できる。 ・情報を整理し、分かり易いマインドマップ/ワークシートを作成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最終課題 ・毎回の授業でのタスク ・授業への参加・態度 	30% 30% 10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・要約した記事内容を口頭で第三者にわかりやすく説明できる。 ・記事に関して、自分の意見を論理的に簡潔に述べることができる。 		30%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・「授業内で行うタスク」、「授業や活動への参加・態度」で、総合的に評価する。 ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 			

・「グループ内プレゼン」→「グループ代表者による全体プレゼン(ローテーション)」を行い、徐々に人前でのプレゼンに慣れるようにする。また、決められた時間で自分の考えや意見をわかりやすく伝える力をつける。

・プレゼンテーションに関しては、ルーブリック評価表を使用する。
<https://drive.google.com/file/d/1YOUijafajqaZ3thTOBrbU8S7lmhUnCr/view?usp=sharing>

・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・新聞の構成を理解し、効率的な読み方を学習する。 ・マインドマップ/ワークシートの理解、及び作成方法を学ぶ。	対面授業	予習:提示するマインドマップの説明動画を視聴し、概要を理解しておく。(2時間) 復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次の授業で発表する準備をしておく。(2時間)
2回目	国際情勢理解1 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ/ワークシート作成、グループ内発表・ディスカッション	対面授業	予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間) 復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次の授業で発表する準備をしておく。(2時間)
3回目	国際情勢理解2 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ/ワークシート作成、グループ内発表・ディスカッション	対面授業	予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間) 復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次の授業で発表する準備をしておく。(2時間)
4回目	国際情勢理解3 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ/ワークシート作成、グループ内発表・ディスカッション	対面授業	予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間) 復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次の授業で発表する準備をしておく。(2時間)
5回目	国際情勢理解4 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション	対面授業	予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間) 復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次の授業で発表する準備をしておく。(2時間)
6回目	紛争と領土問題1 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。	対面授業	予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間)

	<ul style="list-style-type: none"> 各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ/ワークシート作成、グループ内発表・ディスカッション 		<p>時間)</p> <p>復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次回の授業で発表する準備をしておく。(2時間)</p>
7回目	<p>紛争と領土問題2</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ/ワークシート作成、グループ内発表・ディスカッション 	対面授業	<p>予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間)</p> <p>復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次回の授業で発表する準備をしておく。(2時間)</p>
8回目	<p>社会1</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ/ワークシート作成、グループ内発表・ディスカッション 	対面授業	<p>予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間)</p> <p>復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次回の授業で発表する準備をしておく。(2時間)</p>
9回目	<p>社会2</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ/ワークシート作成、グループ内発表・ディスカッション 	対面授業	<p>予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間)</p> <p>復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次回の授業で発表する準備をしておく。(2時間)</p>
10回目	<p>社会3</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ/ワークシート作成、グループ内発表・ディスカッション 	対面授業	<p>予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間)</p> <p>復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次回の授業で発表する準備をしておく。(2時間)</p>
11回目	<p>産業・資源1</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	対面授業	<p>予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間)</p> <p>復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次回の授業で発表する準備をしておく。(2時間)</p>
12回目	<p>産業・資源2</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ/ワークシート作成、グループ内発表・ディスカッション 	対面授業	<p>予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間)</p> <p>復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次</p>

			回の授業で発表する準備をしておく。 (2時間)
13回目	自然・地理 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容の マインドマップ/ワークシート作成、グループ 内発表・ディスカッション	対面授業	予習:教員が指定する新聞やネット上の ニュースソースから各自興味あるもの を講読し、内容を理解しておく。(2 時間) 復習:学習した内容をノートに整理し再 確認する。又、疑問点などを調べ、次 回の授業で発表する準備をしておく。 (2時間)
14回目	旅行・世界遺産 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容の マインドマップ/ワークシート作成、グループ 内発表・ディスカッション	対面授業	予習:教員が指定する新聞やネット上の ニュースソースから各自興味あるもの を講読し、内容を理解しておく。(2 時間) 復習:学習した内容をノートに整理し再 確認する。又、疑問点などを調べ、次 回の授業で発表する準備をしておく。 (2時間)
15回目	まとめ ・授業で取り扱った内容に関して、総復習を おこなう。	対面授業	予習:これまで学習した項目の内容を 再確認しておく。(2時間) 復習:学習した内容をノートに整理し再 確認する。(2時間)
	定期試験	対面授業	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	(教科書) 日本人クラス:「なるほど地図帳日本2024」(昭和社) 留学生クラス:「13歳からのSDGs」(くもん出版) * 各社新聞、ネットニュース、その他、授業中に指示
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	就職活動においても、時事問題に関心を持ち、理解を深めることは大切である。できるだけ毎日、新聞やネットニュースを読み、テレビ・ラジオのニュースを視聴することを心がけること。

講義科目名称:キャリアガイダンス(日本人)	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CD101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1・2Q	1	2	選択	講義
担当教員				
中野 明人				

授業概要	
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解を通して、自分自身について説明できるようになる。 職業理解を通して、自分の生き方やパーソナリティと適職について説明できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への参加・態度 課題提出 プレゼンテーション 	10% 80% 10%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> 本講義では1Q修了時の課題の中間提出(40%)、2Q修了時の課題の最終提出(40%)、最終回授業でのプレゼンテーション(10%)、授業への参加・態度(10%)の割合で評価する。 授業後に行うコミュニケーションシート以外にも、「Google Classroom」での質問も大いに歓迎します。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「ガイダンス この授業がめざすもの」 ・この授業が、キャリアをデザインする上でどのような役割を果たすのかについて理解する。 ・就活事情の今について、新聞の切り抜きを見て、考える。	対面授業	予習:シラバスを読み、キャリアについて調べる(2時間)。 復習:今の就職戦線について自分なりの理解の内容をまとめる(2時間)。
2回目	「客観的な自分のイメージ」 ・自己認識をする。 ・理想の自己イメージについて考える。 ・自分のパーソナリティ分析をする(ペアワーク)。	対面授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる。(2時間) 復習:ありがたい自分を再度確認しまとめる(2時間)。

3回目	「自分の行動特徴(エゴグラム)」 ・エゴグラムテストで自分の行動特徴を知る。 ・自分のセルフコントロールしたい自我について考える。 ・ジョハリウィンドウについて学ぶ。	対面授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間)。 復習:自我についてまとめる(2時間)。
4回目	「自分のパーソナリティと適職の関係について」 ・いろいろな職業について説明する ・興味のある職業調べを行う。	対面授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間)。 復習:自分の知らなかった職業についてまとめる(2時間)。
5回目	「自分のパーソナリティと適職の関係について」 ・自分にとって大切なものは何かについて考える。 ・自分と職業の関係についてまとめる。	対面授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間)。 復習:自分の価値観についてまとめる(2時間)。
6回目	「キャリア選択のバリアーの正体」 ・自分の考え方のクセに気づく。	対面授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間)。 復習:自分の一番のこだわりについて確認する(2時間)。
7回目	「キャリア選択のバリアーの克服法」 ・自分の思い込みについて考え、その思い込みについて修正を試みる。 ・自分がどうしたいかについて考えをまとめる。	対面授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間)。 復習:思い込みの克服法についてまとめる(2時間)。
8回目	「今までのライフスタイル」 ・今までの自分を振り返り、ライフラインを書いてみる。 ・影響のあった出来事や人物について書き出し、どんな影響を受けたのかについてまとめる。	対面授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間)。 復習:一番大切だと思ったエピソードについてまとめる(2時間)。
9回目	「ライフスタイルと職業生活」 ・職業志向条件と勤務条件から職業について調べる ・自分なりに必要な勤務条件について考える。	対面授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間)。 復習:勤務条件と職業生活について自分の考えをまとめる(2時間)。
10回目	「キャリアレインボーを作る」 ・キャリアレインボーを描いてみる。 ・キャリア計画と目標について、各年代ごとにまとめ、行動目標を作る	対面授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間)。 復習:一番自分が生き生きしている年代をイメージし言葉にする(2時間)。
11回目	「仕事選択職業レディネス度 職業レディネスチェック 資格取得の意志決定」 ・職業レディネスチェックをする。 ・自分が選択した職業と資格について調べてまとめる。	対面授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間)。 復習:具体的な目標の実現のためにまず何に取り組むか決定する(2時間)。
12回目	「就職の意志決定」 ・企業情報を自分で調べてシートにまとめる。	対面授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間)。 復習:授業で調べられなかった企業についてまとめる(2時間)。
13回目	「自分情報」 ・自分情報シートについてまとめてみる。	対面授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間)。 復習:シートを完成させる(2時間)。
14回目	「5年後と10年後の自分」	対面授業	予習:この1週間の就職に関連する

	<ul style="list-style-type: none"> ・5年後と10年後の、「ありたい姿」の私について考えをまとめる。 ・就職活動のアクションプランを自分で計画する。 		<p>記事を調べる(2時間)。 復習:就活のポイントについてまとめておく(2時間)。</p>
15回目	<p>「未来の自分をプレゼンする」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年後と10年後の自分について発表し、聞きあい、評価する。 ・就職活動だけでなく、卒業後の自分自身の生き方を主体的に考え、デザインすることができるようになる 	対面授業	<p>予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間)。 復習:ギャップイヤーでどんな体験をしたいかについてまとめる(2時間)。</p>
16回目	課題最終提出		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	日頃からニュースなど時事問題に関心を持つことが大切です。必ずニュースに目を通して授業に臨んでください。
オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> ・木曜日の放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問してくださいと助かります。 ・また、水曜日以外の昼休みもオフィスアワーとして利用できますので、ぜひ質問にきてください。
備考・メッセージ	就職活動で内定をえるのはゴールではなく、スタートラインに立つということです。よりよい人生を主体的に生きるためには、キャリアデザインがとても大切になります。計画を立てると修正もできます。早い段階でキャリアについて考えることが大事になります。

講義科目名称:キャリアガイダンス	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CD101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2	2	選択	講義
担当教員				
梶谷 良子・山口 佳奈子				

授業概要	<p>日本で就職を希望する留学生のうち、就職に成功する学生は約 50%ということが言われている。一方で日本人学生はほぼ 100%が就職できている。この差の要因として日本固有の就職活動文化が多く指摘されている。日本における就職活動を留学生が行う場合、まずは日本式の就職に関わる知識がないまま、自国の就職プロセスを踏んでしまうため、失敗に終わることがある。また、進学キャリアを目指す学生も入学試験に必要な要件である出席率やEJU試験などに関し、知識不足によって進学ができない学生もいる。そのため、本講義では、留学生に特化した就職や進学に関する一般的知識、所属しているコースと就労ビザの関係、就職ビザへ切り替える際の公的税金との関係などや、進学の際の成績や出席率など一の基礎的な知識習得をするだけでなく、一方で日本における面接時に必要な身だしなみや、挨拶、受け答えの知識を学び、就職や進学の面接に備えるための授業とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・就職面接時に正しいマナー・日本語で自分の気持ちを表現することができる。	筆記試験 実技試験 講義への参加・態度	60% 30% 10%
専門的知識や技能	・自分で現在の在留資格の内容を、HPなどを利用し正しく理解することができる。		
異文化知識・対応能力	・社会人として働くために必要なビジネスマナー・コミュニケーション能力を身につける。		
課題解決能力	・自らの課題解決に向けて真摯に取り組むことができる。		
キャリアデザイン力	・卒業後の進路を見据え、積極的に情報収集に努め、考え行動する。		
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	ガイダンス 授業の目標と評価の方法 担当教員による聞き取りと現状把握 教科書の説明	対面授業	
2回目	在留資格 ・現在の在留資格について ・資格外活動について	対面授業	予習:GoogleClassroomのクラスに登録(1時間) 復習:本日の学びに関して復習す

			る(2時間)
3回目	日本企業における「面接」文化 ・3つの面接の種類とその方法を座学で学ぶ ・日本の面接官の判断基準を知る ・面接のための3つのキーワードを知り、準備をする ・p148~149 身だしなみを確認し、備える	対面授業	予習:配布プリント p142~145 までを読んでおく(2時間) 復習:授業中に学んだ中で、理解に繋がらなかったところをまとめて次の時間までに質問をしておく(2時間)
4回目	在留資格① ・就労可能な在留資格について(技術・人文知識・国際業務) ・小テスト	対面授業	予習:配布プリントを読み、未習語彙を調べる(2時間) 復習:小テストの復習(2時間)
5回目	面接の可否を分ける第一印象 ・第一印象とは ・4つのポイントを知り、実行できるようになる ・話し方について学び、実行できるようになる ・身だしなみをお互いに確認する	対面授業	予習:配布プリント p146~149 までを読んでおく(2時間) 復習:授業中に学んだ中で、理解に繋がらなかったところをまとめて次の時間までに質問をしておく(2時間) ※履歴書の準備
6回目	在留資格② ・就労可能な在留資格について(特定技能・特定活動46号) ・小テスト	対面授業	予習:配布プリントを読み、未習語彙を調べる(2時間) 復習:小テストの復習(2時間)
7回目	会話のマナー ・面接の中の会話の中で、敬語・謙譲語・丁寧語を使うことができるようになる。また、語彙レベルでなく、文章で使うことができるようになる 電話のマナー ・p152 場面に応じた適切な連絡方法を理解し、実行できるようになる ・学校生活で使用する機会を想定し、練習、実行できるようになる	対面授業	予習:配布プリント p150~155 までを読んでおく(2時間) 復習:授業中に学んだ中で、理解に繋がらなかったところをまとめて次の時間までに質問をしておく(2時間)
8回目	在留資格③ ・在留資格の変更手続きについて1 ・卒業後の就職活動について ・高度人材ポイント制	対面授業	予習:配布プリントを読み、未習語彙を調べる(2時間) 復習:小テストの復習(2時間)
9回目	面接の手順とマナー ・対面の面接を実施された場合とウェブ面接の場合の両方に備えるためのマナーを学び実行できるようになる ・対面・ウェブ面接における一連の流れを理解し、つまづくことの内容に練習する	対面授業	予習:配布プリント p156~159 までを読んでおく(2時間) 復習:授業中に学んだ中で、理解に繋がらなかったところをまとめて次の時間までに質問をしておく(2時間)
10回目	在留資格④ ・在留資格の変更手続きについて2 ・卒業後の手続きとその重要性	対面授業	予習:配布プリントを読み、未習語彙を調べる(2時間) 復習:小テストの復習(2時間)
11回目	中間テスト ・これまで学んだ内容を確認	対面授業	予習:配布プリント p142~159 までを読んでまとめておく(2時間) 復習:授業中に学んだ中で、理解に繋がらなかったところをまとめて次の時間までに質問をしておく(2時間)
12回目	日本の社会制度① ・課税制度について	対面授業	予習:配布プリントを読み、未習語彙を調べる(2時間)

	・福利厚生について ・小テスト		復習:小テストの復習(2時間)
13回目	面接で聞かれる質問 ・p160 に書かれた質問に対して、答えることができるようになる。 ・会社や大学が求める人材と、自己紹介や活動がリンクしているか確認する ・p162 留学生が必ず聞かれる内容に関して、全て答えることができるかを準備する	対面授業	予習:配布プリント p160~162 までを読んでおく、作成した履歴書をまとめておく(2時間) 復習:授業中に学んだ中で、理解に繋がらなかったところをまとめて次の時間までに質問しておく(2時間)
14回目	日本の社会制度② ・雇用形態について ・労働条件について ・社会保障制度について ・小テスト	対面授業	予習:配布プリントを読み、未習語彙を調べる(2時間) 復習:小テストの復習(2時間)
15回目	面接試験 ・p163 の☑シートに則してテストを行います	対面授業	予習:配布プリント p142~162 までを読んでおく 試験に備える(2時間) 復習:テストの際に指摘された内容に関して、改善を行いキャリアの実現のために活かす(7時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『留学生のための就職内定ワークブック』日本能率協会マネジメントセンター
履修条件	2年生
履修上の注意	積極的な授業参加を望みます
オフィスアワー	授業時間の前後 10 分間
備考・メッセージ	質問等はメール、Google classroom にて受け付けます

講義科目名称：ビジネス文書	授業コード：34141
英文科目名称：	ナンバリング：CD401

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ・2ndQ	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
梶谷 良子				

授業概要	サービス接遇を学ぶことで人に対する思いやり、心配り、気遣いを形として表す方法を身につける。サービススタッフとして必要な専門的知識を養う。サービス接遇検定の合格を目指す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	サービススタッフとして必要とされる資質を構築する	筆記試験	70%
確かな専門的知識や技能	サービススタッフが持つ専門的知識や技能を理解できる		
異文化知識・対応能力	社会常識をもって公の場にふさわしい態度（言葉遣いや話し方）を身につけることができる		
課題解決能力	サービス接遇検定試験2級の合格を目指す	検定試験合格	20%
キャリアデザイン力	サービス接遇検定試験2級を取得し、さらに上級を目指す	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義のすすめ方・サービス接遇検定について説明する	対面授業 オンライン可	
2回目	「おもてなしの心とは」 「サービス」と「接遇」について理解する	対面授業 オンライン可	予習：「サービス」と「接遇」について考えておく 復習：講義内容の確認

3回目	「サービススタッフの資質」 必要とされる要件を説明する	対面授業 オンライン可	予習：前回の講義の確認(1時間) 復習：配布プリント問題を解く(1時間)
4回目	「サービススタッフの資質」 従業要件を理解する	対面授業 オンライン可	予習：サービススタッフについて 考えておく 復習：配布プリント問題を解く(1時間)
5回目	「専門知識」 サービス知識の説明	対面授業 オンライン可	予習：前回の講義の確認(1時間) 復習：配布プリント問題を解く(1時間)
6回目	「専門知識」 商業用語・経済用語を理解する	対面授業 オンライン可	予習：配布プリントの確認(1時間) 復習：講義内容の確認(1時間)
7回目	「一般知識」 社会常識を理解する	対面授業 オンライン可	予習：社会常識について考えておく(1時間) 復習：配布プリント問題を解く(1時間)
8回目	「対人技能」 人間関係・対人心理を説明する	対面授業 オンライン可	予習：配布プリント問題を解く(1時間) 復習：講義内容の確認(1時間)
9回目	「対人技能」 接遇知識を説明する	対面授業 オンライン可	予習：配布プリント問題を解く(1時間) 復習：講義内容の確認(1時間)
10回目	「対人技能」 接遇用語を理解する	対面授業 オンライン可	予習：接遇用語を確認しておく(1時間) 復習：配布プリント問題を解く(1時間)
11回目	「実務技能」 問題処理(苦情や問い合わせ)について説明する	対面授業 オンライン可	予習：苦情について考えておく(1時間) 復習：配布プリント問題を解く(1時間)
12回目	「実務技能」 環境整備について説明する	対面授業 オンライン可	予習：配布プリント問題を解く(1時間) 復習：講義内容の確認(1時間)
13回目	「実務技能」 社交儀礼について説明する	対面授業 オンライン可	予習：マナーテキストブックを読み返す(1時間) 復習：配布プリント問題を解く(1時間)

14 回目	「総まとめ（講義の振り返り）」 総合問題を解く（解答・解説）	対面授業 オンライン可	予習：総合問題プリントを解く（1 時間） 復習：総合問題プリントを解く（1 時間）
15 回目	「最終対策問題」 総合問題を解く（解答・解説）	対面授業 オンライン可	予習：総合問題プリントを解く（1 時間） 復習：総合問題の再確認（1 時間）
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	サービス接遇検定 2 級に必要な事項・問題のプリントを配布する
履修条件	
履修上の注意	原則としてビジネスに相応した身だしなみ（制服又はスーツ）、髪型を整えて出席すること
オフィスアワー	授業の前後又は Classroom で対応する
備考・メッセージ	自身の資格取得のため 2 級だけではなく準 1 級、1 級と上を目指してほしい

講義科目名称:ビジネス文書 N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CD401

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q/4Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	ビジネス場面における習慣や考え方について理解を深め、日本語力の向上を目指す。 ビジネス場面で必要とされる文書形式を学ぶ。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	社会人として身につけておくべき基本的な知識や考え方、習慣を身に付けることができる。	定期試験	60%
異文化知識・対応能力	日本に関する基本的な知識や、異文化の壁を乗り越えるための柔軟な思考方法を学習できる。		
課題解決能力	場面や状況・立場に応じた多様な日本語表現が理解できる。	小テスト	10%
キャリアデザイン力	履歴書等、就職活動の際に必要な書類を日本語で作成できる。メールや報告書等、仕事をする際に必要な書類を日本語で作成できる。	文書作成	20%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 授業への参加態度10%、定期試験60%、小テスト10%、文書作成20%、の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題発表やプレゼンテーションもある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間)
2回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 1 履歴書のポイント	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
3回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 2 エントリーシートのポイント	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)

4回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 3 送付状の書き方	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
5回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 4 封筒の書き方	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
6回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 5 課題(履歴書・送付状作成)	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
7回目	p43~52 まとめ	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
8回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 1 ビジネスメールの基本	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
9回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 2 ビジネスメールでよく使う表現	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
10回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 3 ビジネスメールの例	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
11回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 4 課題1(署名欄の設定など)	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
12回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 5 課題2(志望先企業にメールを書く)	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
13回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 6 課題3(自分の上司にメールを書く)	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
14回目	p167~173 まとめ①	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
15回目	p167~173 まとめ②	対面授業 オンライン可	予習: 定期試験の準備(4時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	伸ばす! 就活能力・ビジネス日本語力
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・小テスト・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。

○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:ビジネス文書 N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CD401

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q4Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
栃丸 華緒				

授業概要	ビジネス場面における習慣や考え方について理解を深め、日本語力の向上を目指す。 ビジネス場面で必要とされる文書形式を学ぶ。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	社会人として身につけておくべき基本的な知識や考え方、習慣を身に付けることができる。	定期試験	50%
異文化知識・対応能力	日本に関する基本的な知識や、異文化の壁を乗り越えるための柔軟な思考方法を学習できる。		
課題解決能力	場面や状況・立場に応じた多様な日本語表現が理解できる。	小テスト	10%
キャリアデザイン力	履歴書等、就職活動の際に必要な書類を日本語で作成できる。メールや報告書等、仕事をする際に必要な書類を日本語で作成できる。	文書作成	30%
合計			100%

補足事項

- ・授業開始から 15 分までの入室は遅刻。15 分以降は欠席とする。
- ・授業参加時間が 75 分に満たない場合も欠席とみなす。
- ・定期試験 50%、ミニテスト 10%、予習・復習 20%、授業への参加態度 20%の割合で評価する。
- ・授業の出席・連絡は Google classroom を使用する。
- ・課題発表やプレゼンテーションもある。
- ・講義に関する質問は直接受け付けるほか、Google classroom でも対応可能。
- ・本講義の課題レポートは Google classroom を通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックは Google classroom のコメント機能を使って行う。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 1 履歴書のポイント	対面授業 ※OL対応可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間)
2回目	Ⅱ 就活能力 7履歴書・送付状 2 エントリーシートのポイント	対面授業 ※OL対応可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。(2時間)

3回目	Ⅱ 就活能力 7履歴書・送付状 3 送付状の書き方	対面授業 ※OL対応可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。(2時間)
4回目	Ⅱ 就活能力 7履歴書・送付状 4 封筒の書き方	対面授業 ※OL対応可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。(2時間)
5回目	Ⅱ 就活能力 7履歴書・送付状 5 課題(履歴書・送付状作成)	対面授業 ※OL対応可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。(2時間)
6回目	Ⅱ 就活能力 7履歴書・送付状 p43~52 復習	対面授業 ※OL対応可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。(2時間)
7回目	V 仕事の日本語力 8ビジネスメール 1 ビジネスメールの基本	対面授業 ※OL対応可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。(2時間)
8回目	V 仕事の日本語力 8ビジネスメール 2 ビジネスメールでよく使う表現	対面授業 ※OL対応可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。(2時間)
9回目	V 仕事の日本語力 8ビジネスメール 3 ビジネスメールの例	対面授業 ※OL対応可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。(2時間)
10回目	V 仕事の日本語力 8ビジネスメール p167~171 復習	対面授業 ※OL対応可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。(2時間)
11回目	V 仕事の日本語力 8ビジネスメール 4 課題1(署名欄の設定など)	対面授業 ※OL対応可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。(2時間)
12回目	V 仕事の日本語力 8ビジネスメール 5 課題2(志望先企業にメールを書く)	対面授業 ※OL対応可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。(2時間)
13回目	V 仕事の日本語力 8ビジネスメール 6 課題3(自分の上司にメールを書く)	対面授業 ※OL対応可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。(2時間)
14回目	V 仕事の日本語力 8ビジネスメール p171~173 復習	対面授業 ※OL対応可	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。(2時間)
15回目	総まとめ	対面授業 ※OL対応可	予習: 定期試験の準備(4時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・小テスト・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ・欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ・授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ・授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:ホテル業論	授業コード:
英文科目名称: Practical Business Skill for Hotel	ナンバリング: CD201

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
本田 奈美子				

授業概要	<p>実際にホテルで働く講師からホテル業界のリアルを学び、就職活動を行うにあたっての企業研究・業界研究の場とし、資格取得やインターンシップに繋がる時間とすることを目的とした授業です。ホテル業界で働く上で必要な専門知識、社会人としてのマナーや役立つ知識などホテルに関わる「接客分野」、レストラン・宴会・婚礼・調理の「料飲分野」、フロント・客室の「宿泊分野」、その他関連法規などの「ホテル関連分野」、ホテルのバック部門(業務・施設・企画)について学修します。また、ビジネス能力認定サーティファイ「ホテル実務技能認定試験 初級」合格を目指し過去問題を通して理解を深めていきます。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	ホテルの全ての分野について問題集(教科書)の内容を理解して試験合格を目指すことができる。	定期試験	60点
異文化知識・対応能力	ホテルの概要を知ること、利用しやすくなると共に今後のインターンシップにも役立つことができる。	授業への参加・態度	10点
課題解決能力	毎回、問題集(教科書)を用いて予習・復習内容を確認して理解度を高めることができる。	口述試験	10点
キャリアデザイン力	実際にホテル見学を通して、よりホテルの構造を理解できる。	感想レポートの提出	20点
合計			100%

補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> 履修の際は、サーティファイの「ホテル実務技能認定試験 初級 問題集」を購入しておくこと。 毎回、教科書から項目を指定しますので、予習にて解答して下さい。当日授業にて答え合わせをします。また、間違えた問題については、復習にて理解して次回授業にて解説していきます。 遅刻3回および早退は開始から45分以前で、いずれも欠席1回と見做します。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方、心構え、授業中の注意点について説明する。 「2025年度新卒就職活動について」 一般的な就職活動及びホテル業界の就職活動スケジュールを確認する。	面接授業	予習: シラバスを読む。(2時間) 復習: 今後の就職活動の方向性を考える。(2時間)
2回目	「接客分野」①ホテルスタッフの心得について ②ホテルの種類と組織について	面接授業	予習: 指定した問題集(教科書)を読む。(2時間)

	③ホテルのルーツ及び歴史について 「ホテル実務技能認定試験について」 試験内容及びスケジュールの確認		復習: 指定した問題集(教科書) を復習する。(2時間)
3回目	「料飲分野」①料飲部門の主な業務と組織について②什器・食器・備品類の取扱いについて	面接授業	予習: 指定した問題集(教科書) を読む。(2時間) 復習: 指定した問題集(教科書) を復習する。(2時間)
4回目	「料飲分野」①西洋料理の基礎知識について ②西洋料理のテーブルマナーについて ※ホテル実務技能認定試験解説	面接授業	予習: 指定した問題集(教科書) を読む。(2時間) 復習: 指定した問題集(教科書) を復習する。(2時間)
5回目	「料飲分野」①朝食の知識について②日本料理・中国料理の基礎知識について	面接授業	予習: 指定した問題集(教科書) を読む。(2時間) 復習: 指定した問題集(教科書) を復習する。(2時間)
6回目	「料飲分野」①宴会部門の組織と業務について②バー・ラウンジ部門の組織と業務について ③婚礼部門の組織と業務について ※ホテル実務技能認定試験解説	面接授業	予習: 指定した問題集(教科書) を読む。(2時間) 復習: 指定した問題集(教科書) を復習する。(2時間)
7回目	「ホテル見学」 レストランおよび料飲関連施設を見学	面接授業	予習: ホテル日航ハウステンボスのホームページを閲覧する。(1時間) 復習: 感想レポートを提出する。(2時間)
8回目	「ホテル見学」 客室などの宿泊施設および関連施設を見学	面接授業	予習: ホテル日航ハウステンボスのホームページを閲覧する。(1時間) 復習: 感想レポートを提出する。(2時間)
9回目	「宿泊分野」①フロントオフィスの組織と業務について②フロントサービスの組織と業務について	面接授業	予習: 指定した問題集(教科書) を読む。(2時間) 復習: 指定した問題集(教科書) を復習する。(2時間)
10回目	「宿泊分野」①客室部門の組織と業務について②コンシェルジュについて ※ホテル実務技能認定試験解説	面接授業	予習: 指定した問題集(教科書) を読む。(2時間) 復習: 指定した問題集(教科書) を復習する。(2時間)
11回目	「管理部門」①業務・施設・企画などのホテルバック部門について理解する。	面接授業	予習: 指定した問題集(教科書) を読む。(2時間) 復習: 指定した問題集(教科書) を復習する。(2時間)
12回目	「その他ホテル関連分野」①食品・公衆・安全衛生に関する知識について②プロトコルに関する知識について ※ホテル実務技能認定試験解説	面接授業	予習: 指定した問題集(教科書) を読む。(2時間) 復習: 指定した問題集(教科書) を復習する。(2時間)
13回目	「ワークショップ(ホテル調査)」 事前に調べたホテルについて発表資料を作成する	面接授業	予習: 調査するホテルを決めて指定の項目について調べる(3時間) 復習: なし
14回目	「ワークショップ(ホテル調査)」 事前に調べたホテルについて各自発表する	面接授業	予習: 同上 復習: 各自が調べたホテルについて改めて資料を見直す(3時間)

15回目	授業のふり返し	面接授業	復習:定期試験に向けた学修(8時間)
16回目	定期試験(四択問題テスト)		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	教科書「ホテル実務技能認定試験 初級 問題集」(編著:サーティファイホテル実務能力認定委員会・発行(株)サーティファイ 1,700円(税別)) 参考書「ウイネット発行「料飲Ⅰ レストラン・宴会編」・「料飲Ⅱ バー・ラウンジ編」・「宿泊Ⅰ フロント・オフィス編」・「宿泊Ⅱ フロント・サービス編」・「ホテル業務関連知識」
履修条件	なし
履修上の注意	授業中に各自必要に応じてウェブサイトで調べものをして構わないので、必要であればPCやタブレットを持参すること。
オフィスアワー	授業終了後に声をかけてください。
備考・メッセージ	複数のホテルで実務経験を有する教員が授業を担当します。

講義科目名称:ホスピタリティビジネス	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CD701

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q・8Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
梶谷 良子				

授業概要	1年生時に学んだビジネスマナーの内容を『わかる』から確実に『できる』ようにする。授業内容を復習、再確認することでそれをしっかりと身につけ各自の就職へと結びつける。また卒業後、社会人として働くための心構え、自覚を促す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・就職面接時に自分の気持ちを素直に表現できる	筆記試験 実技試験	70% 20%
専門的知識や技能	・就職面接時に向けて好感のもてる立ち居振る舞いを身につけることができる ・感じの良い電話応対を身につけることができる		
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	・各自希望の就職先への内定をいただくことができる	授業への参加 態度	10%
キャリアデザイン力	・社会人として働くために必要なビジネスマナー、コミュニケーション能力を身につけることができる ・ロールプレイングを繰り返すことで、自信をもって就職面接に臨むことができる		
合計			100%

補足事項

授業に関する質問は直接受け付け、また web 上あるいは以降の授業回で答える。
本授業では筆記 70%、実技試験 20%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義のすすめ方、心構えについて説明する	対面授業 オンライン可	復習:1年時に使用したマナーテキストブックを読み返す(2時間)
2回目	「言葉遣い」 正しい敬語の遣い方(復習編)	対面授業 オンライン可	予習:マナーテキストブックを読み返す(2時間) 復習:正しい敬語の遣い方を確認する(2時間)
3回目	「面接指導」 ・就職面接での好感の持てる立ち居振る舞い ・就職面接に向けての身だしなみ	対面授業 オンライン可	予習:マナーテキストブック(P18.P19.P20.P21)を読んでおく(2時間) 復習:立ち居振る舞いの練習をする(2時間)
4回目	「面接指導」	対面授業	予習:言葉遣い・立ち居振る舞い

	・ロールプレイング(Ⅰ)	オンライン可	の練習をする(2時間) 復習:指摘された点を再確認する(2時間)
5回目	「面接指導」 ・ロールプレイング(Ⅱ)	対面授業 オンライン可	予習:質疑応答の練習をする (1時間) 復習:指摘された点を再確認する(2時間)
6回目	「電話対応」 ・復習編	対面授業 オンライン可	予習:マナーテキストブックを読み返す(2時間) 復習:講義内容を確認する(2時間)
7回目	「電話対応」 ・応用編(Ⅰ)	対面授業 オンライン可	予習:実習内容を確認しておく (2時間) 復習:応用編(Ⅰ)の練習 (2時間)
8回目	「電話対応」 ・応用編(Ⅱ)	対面授業 オンライン可	予習:実習内容を確認しておく (2時間) 復習:応用編(Ⅱ)の練習 (2時間)
9回目	「冠婚葬祭のマナー」 ・復習編	対面授業 オンライン可	予習:マナーテキストブックを読み直す(2時間) 復習:講義内容を確認する (2時間)
10回目	「冠婚葬祭のマナー」 ・お参りの仕方(仏教・神道・キリスト教)	対面授業 オンライン可	予習:配布プリントを読んでおく(2時間) 復習:講義内容を確認とお参りの練習(2時間)
11回目	「来客対応」 ・復習編	対面授業 オンライン可	予習:マナーテキストブックを読み直す(2時間) 復習:配布されたプリントを確認する (2時間)
12回目	「来客対応」 ・ロールプレイング(来客の先導)	対面授業 オンライン可	予習:マナーテキストブックを読み直す(2時間) 復習:配布されたプリントを確認する (2時間)
13回目	「名刺交換」 ・ロールプレイング	対面授業 オンライン可	予習:マナーテキストブックを読み直す(2時間) 復習:名刺交換の練習をする (2時間)
14回目	「お茶の淹れ方・出し方・いただき方」 ロールプレイング(お茶の淹れ方・出し方・いただき方)	対面授業 オンライン可	予習:マナーテキストブックを読み直す(30分) 復習:自分でお茶を淹れ、いただいてみる(2時間30分)
15回目	テーブルマナー ・洋食フルコースのマナー(ホテルにて実食)	対面授業 オンライン可	予習:マナーテキストブックを読み直す(2時間) 復習:テーブルマナーの確認と試験対策(6時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし

教科書・参考書	『センスアップマナーテキスト』ソシアル淳心
履修条件	・原則として制服又はスーツ ビジネスの場にふさわしい身だしなみを整える(髪型・くつ)
履修上の注意	
オフィスアワー	・授業の前後又は Classroom に対応する
備考・メッセージ	長崎短期大学の卒業生として、自信をもって社会人として出発できるようになってほしい。

講義科目名称:実践グローバルリーダーシップ I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CD402

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>生活する地域の異なる学生や地域市民と相互交流することで、自分たちの視野を広げ、豊かな人間関係を築く楽しさを感じる。同時に、学生が主体的に交流活動を行うことで、グローバルな感覚を持ったリーダーの育成を行う。</p> <p>平成28年度は、韓国の3つの大学を訪問し現地大学生と相互にプレゼンや意見交換を行った。また、現地日系企業を訪れ、業務内容を紹介していただき、異文化でのビジネスの難しさや、現地生活の楽しさなども講義していただいた。</p> <p>平成29年度は、日本国内でも北(北海道)と南(長崎)という、気候も生活の仕方も異なる地域で生活する学生同士が、互いに「地元の観光、食、文化の紹介、自分達の大学紹介、自分たちのキャリアプランなど」についてプレゼンし、質問し合い、互いに学び感じ、刺激を受け合う国内研修を実施した。</p> <p>平成30年度は、ミャンマーを訪問し、現地の日本語学校で日本語の模擬授業、現地学生と観光やグループワークなどを実施した。</p> <p>留学生は、日本の小学校、中学校、高校などへ赴き、自国の文化や言語、観光資源などの紹介を実施する。</p> <p>「事前準備」「実践」「事後まとめ」に分けて、授業をすすめる。事前準備では、訪問する大学や地域に関する事前調査、交流時に実施するプレゼンテーションの準備を行う。「実践」では、プレゼンテーションや交流を行う。また、実践終了後は、実績や経験したことをプレゼンテーションにまとめ、発表する。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を訪問するにあたり、綿密な計画を立て、十分な情報を集める事ができる。 ・現地で効果的なプレゼンテーションと意見交換ができる。 ・現地の様々な情報を収集することができる。 	レポート評価	30%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・現地の人たちと積極的にコミュニケーションができる。 	レポート評価	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を訪問後、実施したプログラムを検証し、学んだことや改善すべきことをまとめ、簡潔に発表することができる。 	プレゼンテーション	40%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項			
・本授業では、レポート60%、プレゼンテーション40%の割合で総合評価する。			

・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・活動の概要(内容、趣旨、目的など)説明 ・過去の研修の紹介 ・活動の成果報告方法説明 ・活動評価方法の説明	対面授業	予習:グローバルリーダーシップとは何かを調べてくる。(2時間) 復習:どのような活動に取り組むかを考える。(2時間)
2回目	活動準備1 ・現地の情報を収集する。 ・現地活動への移動や宿泊等の準備を行う。	対面授業	予習:基本的な情報収集を行う。(2時間) 復習:収集した情報の整理と見直しを行う。(2時間)
3回目	活動準備2 ・現地の情報を収集する。 ・現地活動への移動や宿泊等の準備を行う。	対面授業	予習:基本的な情報収集を行う。(2時間) 復習:収集した情報の整理と見直しを行う。(2時間)
4回目	現地での活動準備1 ・現地でのプレゼンテーションの準備を行う。 ・現地との連絡を含む、交流活動の準備を行う。	対面授業	予習:どのようなプレゼンや活動を行うかを考える。(2時間) 復習:プレゼン内容や交流活動について整理し、準備に関して不足がないかを考える。(2時間)
5回目	現地での活動準備2 ・現地でのプレゼンテーションの準備を行う。 ・現地との連絡を含む、交流活動の準備を行う。	対面授業	予習:どのようなプレゼンや活動を行うかを考える。(2時間) 復習:プレゼン内容や交流活動について整理し、準備に関して不足がないかを考える。(2時間)
6回目	現地での活動準備3 ・現地でのプレゼンテーションの準備を行う。 ・現地との連絡を含む、交流活動の準備を行う。	対面授業	予習:どのようなプレゼンや活動を行うかを考える。(2時間) 復習:プレゼン内容や交流活動について整理し、準備に関して不足がないかを考える。(2時間)
7回目	現地での活動準備4 ・現地でのプレゼンテーションの準備を行う。 ・現地との連絡を含む、交流活動の準備を行う。	対面授業	予習:プレゼンや交流活動の準備に不備がないかを再度確認する。(2時間) 復習:活動やプレゼンテーションの内容や、持参するものの最終確認を行う。(2時間)
8回目	現地活動1 ・現地視察 ・現地での(交流)活動 ・プレゼンテーション	対面授業	予習:全体計画、プレゼンや活動内容の再確認。(2時間) 復習:実施した視察/活動/プレゼンについての振り返りを行う。(2時間)
9回目	現地活動2 ・現地視察 ・現地での(交流)活動 ・プレゼンテーション	対面授業	予習:全体計画、プレゼンや活動内容の再確認。(2時間) 復習:実施した視察/活動/プレゼンについての振り返りを行う。(2時間)
10回目	現地活動3 ・現地視察 ・現地での(交流)活動 ・プレゼンテーション	対面授業	予習:全体計画、プレゼンや活動内容の再確認。(2時間) 復習:実施した視察/活動/プレゼンについての振り返りを

			行う。(2時間)
11回目	現地活動4 ・現地視察 ・現地での(交流)活動 ・プレゼンテーション	対面授業	予習:全体計画、プレゼンや活動内容の再確認。(2時間) 復習:実施した視察/活動/プレゼンについての振り返りを行う。(2時間)
12回目	プレゼンテーション準備1 ・現地活動の振り返り。 ・活動内容をまとめ、プレゼンテーションの準備	対面授業	予習:活動の振り返りを行い、プレゼンの準備を行う。(2時間) 復習:授業で実施した内容の整理を行う。(2時間)
13回目	プレゼンテーション準備2 ・現地活動の振り返り。 ・活動内容をまとめ、プレゼンテーションの準備	対面授業	予習:活動の振り返りを行い、プレゼンの準備を行う。(2時間) 復習:授業で実施した内容の整理を行う。(2時間)
14回目	プレゼンテーション準備3 ・活動内容をまとめ、プレゼンテーションの準備 ・プレゼンテーションのリハーサル	対面授業	予習:活動の振り返りを行い、プレゼンの準備を行う。(2時間) 復習:授業で実施した内容の整理を行う。(2時間)
15回目	最終プレゼンテーション	対面授業	予習:活動の振り返りを行い、プレゼンの準備を行う。(2時間) 復習:自分のプレゼンと他の人のプレゼンを振り返り、今回の活動で学んだ内容を確認する。(2時間)
16回目			授業外学修(60時間以上) * 研修日数により異なる

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	必要に応じてプリント等を配布する。
履修条件	特になし
履修上の注意	他大学の同世代の学生や地域の人達と交流を行うため、自分の意見をしっかりと述べられるように準備すること。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	事前の十分な準備、事後の報告書の作成など、しっかりと取り組むこと。

講義科目名称:実践グローバルリーダーシップⅡ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CD403

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>生活する地域の異なる学生や地域市民と相互交流することで、自分たちの視野を広げ、豊かな人間関係を築く楽しさを感じる。同時に、学生が主体的に交流活動を行うことで、グローバルな感覚を持ったリーダーの育成を行う。</p> <p>平成28年度は、韓国の3つの大学を訪問し現地大学生と相互にプレゼンや意見交換を行った。また、現地日系企業を訪れ、業務内容を紹介していただき、異文化でのビジネスの難しさや、現地生活の楽しさなども講義していただいた。</p> <p>平成29年度は、日本国内でも北(北海道)と南(長崎)という、気候も生活の仕方も異なる地域で生活する学生同士が、互いに「地元の観光、食、文化の紹介、自分達の大学紹介、自分たちのキャリアプランなど」についてプレゼンし、質問し合い、互いに学び感じ、刺激を受け合う国内研修を実施した。</p> <p>平成30年度は、ミャンマーを訪問し、現地の日本語学校で日本語の模擬授業、現地学生と観光やグループワークなどを実施した。</p> <p>留学生は、日本の小学校、中学校、高校などへ赴き、自国の文化や言語、観光資源などの紹介を実施する。</p> <p>「事前準備」「実践」「事後まとめ」に分けて、授業をすすめる。事前準備では、訪問する大学や地域に関する事前調査、交流時に実施するプレゼンテーションの準備を行う。「実践」では、プレゼンテーションや交流を行う。また、実践終了後は、実績や経験したことをプレゼンテーションにまとめ、発表する。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を訪問するにあたり、綿密な計画を立て、十分な情報を集める事ができる。 ・現地で効果的なプレゼンテーションと意見交換ができる。 ・現地の様々な情報を収集することができる。 	レポート評価	30%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・現地の人たちと積極的にコミュニケーションができる。 	レポート評価	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を訪問後、実施したプログラムを検証し、学んだことや改善すべきことをまとめ、簡潔に発表することができる。 	プレゼンテーション	40%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
・本授業では、レポート60%、プレゼンテーション40%の割合で総合評価する。

・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・活動の概要(内容、趣旨、目的など)説明 ・過去の研修の紹介 ・活動の成果報告方法説明 ・活動評価方法の説明	対面授業	予習:グローバルリーダーシップとは何かを調べてくる。(2時間) 復習:どのような活動に取り組むかを考える。(2時間)
2回目	活動準備1 ・現地の情報を収集する。 ・現地活動への移動や宿泊等の準備を行う。	対面授業	予習:基本的な情報収集を行う。(2時間) 復習:収集した情報の整理と見直しを行う。(2時間)
3回目	活動準備2 ・現地の情報を収集する。 ・現地活動への移動や宿泊等の準備を行う。	対面授業	予習:基本的な情報収集を行う。(2時間) 復習:収集した情報の整理と見直しを行う。(2時間)
4回目	現地での活動準備1 ・現地でのプレゼンテーションの準備を行う。 ・現地との連絡を含む、交流活動の準備を行う。	対面授業	予習:どのようなプレゼンや活動を行うかを考える。(2時間) 復習:プレゼン内容や交流活動について整理し、準備に関して不足がないかを考える。(2時間)
5回目	現地での活動準備2 ・現地でのプレゼンテーションの準備を行う。 ・現地との連絡を含む、交流活動の準備を行う。	対面授業	予習:どのようなプレゼンや活動を行うかを考える。(2時間) 復習:プレゼン内容や交流活動について整理し、準備に関して不足がないかを考える。(2時間)
6回目	現地での活動準備3 ・現地でのプレゼンテーションの準備を行う。 ・現地との連絡を含む、交流活動の準備を行う。	対面授業	予習:どのようなプレゼンや活動を行うかを考える。(2時間) 復習:プレゼン内容や交流活動について整理し、準備に関して不足がないかを考える。(2時間)
7回目	現地での活動準備4 ・現地でのプレゼンテーションの準備を行う。 ・現地との連絡を含む、交流活動の準備を行う。	対面授業	予習:プレゼンや交流活動の準備に不備がないかを再度確認する。(2時間) 復習:活動やプレゼンテーションの内容や、持参するものの最終確認を行う。(2時間)
8回目	現地活動1 ・現地視察 ・現地での(交流)活動 ・プレゼンテーション	対面授業	予習:全体計画、プレゼンや活動内容の再確認。(2時間) 復習:実施した視察/活動/プレゼンについての振り返りを行う。(2時間)
9回目	現地活動2 ・現地視察 ・現地での(交流)活動 ・プレゼンテーション	対面授業	予習:全体計画、プレゼンや活動内容の再確認。(2時間) 復習:実施した視察/活動/プレゼンについての振り返りを行う。(2時間)
10回目	現地活動3 ・現地視察 ・現地での(交流)活動 ・プレゼンテーション	対面授業	予習:全体計画、プレゼンや活動内容の再確認。(2時間) 復習:実施した視察/活動/プレゼンについての振り返りを

			行う。(2時間)
11回目	現地活動4 ・現地視察 ・現地での(交流)活動 ・プレゼンテーション	対面授業	予習:全体計画、プレゼンや活動内容の再確認。(2時間) 復習:実施した視察/活動/プレゼンについての振り返りを行う。(2時間)
12回目	プレゼンテーション準備1 ・現地活動の振り返り。 ・活動内容をまとめ、プレゼンテーションの準備	対面授業	予習:活動の振り返りを行い、プレゼンの準備を行う。(2時間) 復習:授業で実施した内容の整理を行う。(2時間)
13回目	プレゼンテーション準備2 ・現地活動の振り返り。 ・活動内容をまとめ、プレゼンテーションの準備	対面授業	予習:活動の振り返りを行い、プレゼンの準備を行う。(2時間) 復習:授業で実施した内容の整理を行う。(2時間)
14回目	プレゼンテーション準備3 ・活動内容をまとめ、プレゼンテーションの準備 ・プレゼンテーションのリハーサル	対面授業	予習:活動の振り返りを行い、プレゼンの準備を行う。(2時間) 復習:授業で実施した内容の整理を行う。(2時間)
15回目	最終プレゼンテーション	対面授業	予習:活動の振り返りを行い、プレゼンの準備を行う。(2時間) 復習:自分のプレゼンと他の人のプレゼンを振り返り、今回の活動で学んだ内容を確認する。(2時間)
16回目			授業外学修(60時間以上) * 研修日数により異なる

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	必要に応じてプリント等を配布する。
履修条件	特になし
履修上の注意	他大学の同世代の学生や地域の人達と交流を行うため、自分の意見をしっかりと述べられるように準備すること。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	事前の十分な準備、事後の報告書の作成など、しっかりと取り組むこと。

講義科目名称:実践グローバルリーダーシップⅢ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CD404

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>生活する地域の異なる学生や地域市民と相互交流することで、自分たちの視野を広げ、豊かな人間関係を築く楽しさを感じる。同時に、学生が主体的に交流活動を行うことで、グローバルな感覚を持ったリーダーの育成を行う。</p> <p>平成28年度は、韓国の3つの大学を訪問し現地大学生と相互にプレゼンや意見交換を行った。また、現地日系企業を訪れ、業務内容を紹介していただき、異文化でのビジネスの難しさや、現地生活の楽しさなども講義していただいた。</p> <p>平成29年度は、日本国内でも北(北海道)と南(長崎)という、気候も生活の仕方も異なる地域で生活する学生同士が、互いに「地元の観光、食、文化の紹介、自分達の大学紹介、自分たちのキャリアプランなど」についてプレゼンし、質問し合い、互いに学び感じ、刺激を受け合う国内研修を実施した。</p> <p>平成30年度は、ミャンマーを訪問し、現地の日本語学校で日本語の模擬授業、現地学生と観光やグループワークなどを実施した。</p> <p>留学生は、日本の小学校、中学校、高校などへ赴き、自国の文化や言語、観光資源などの紹介を実施する。</p> <p>「事前準備」「実践」「事後まとめ」に分けて、授業をすすめる。事前準備では、訪問する大学や地域に関する事前調査、交流時に実施するプレゼンテーションの準備を行う。「実践」では、プレゼンテーションや交流を行う。また、実践終了後は、実績や経験したことをプレゼンテーションにまとめ、発表する。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を訪問するにあたり、綿密な計画を立て、十分な情報を集める事ができる。 ・現地で効果的なプレゼンテーションと意見交換ができる。 ・現地の様々な情報を収集することができる。 	レポート評価	30%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・現地の人たちと積極的にコミュニケーションができる。 	レポート評価	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を訪問後、実施したプログラムを検証し、学んだことや改善すべきことをまとめ、簡潔に発表することができる。 	プレゼンテーション	40%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項			
・本授業では、レポート60%、プレゼンテーション40%の割合で総合評価する。			

・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・活動の概要(内容、趣旨、目的など)説明 ・過去の研修の紹介 ・活動の成果報告方法説明 ・活動評価方法の説明	対面授業	予習:グローバルリーダーシップとは何かを調べてくる。(2時間) 復習:どのような活動に取り組むかを考える。(2時間)
2回目	活動準備1 ・現地の情報を収集する。 ・現地活動への移動や宿泊等の準備を行う。	対面授業	予習:基本的な情報収集を行う。(2時間) 復習:収集した情報の整理と見直しを行う。(2時間)
3回目	活動準備2 ・現地の情報を収集する。 ・現地活動への移動や宿泊等の準備を行う。	対面授業	予習:基本的な情報収集を行う。(2時間) 復習:収集した情報の整理と見直しを行う。(2時間)
4回目	現地での活動準備1 ・現地でのプレゼンテーションの準備を行う。 ・現地との連絡を含む、交流活動の準備を行う。	対面授業	予習:どのようなプレゼンや活動を行うかを考える。(2時間) 復習:プレゼン内容や交流活動について整理し、準備に関して不足がないかを考える。(2時間)
5回目	現地での活動準備2 ・現地でのプレゼンテーションの準備を行う。 ・現地との連絡を含む、交流活動の準備を行う。	対面授業	予習:どのようなプレゼンや活動を行うかを考える。(2時間) 復習:プレゼン内容や交流活動について整理し、準備に関して不足がないかを考える。(2時間)
6回目	現地での活動準備3 ・現地でのプレゼンテーションの準備を行う。 ・現地との連絡を含む、交流活動の準備を行う。	対面授業	予習:どのようなプレゼンや活動を行うかを考える。(2時間) 復習:プレゼン内容や交流活動について整理し、準備に関して不足がないかを考える。(2時間)
7回目	現地での活動準備4 ・現地でのプレゼンテーションの準備を行う。 ・現地との連絡を含む、交流活動の準備を行う。	対面授業	予習:プレゼンや交流活動の準備に不備がないかを再度確認する。(2時間) 復習:活動やプレゼンテーションの内容や、持参するものの最終確認を行う。(2時間)
8回目	現地活動1 ・現地視察 ・現地での(交流)活動 ・プレゼンテーション	対面授業	予習:全体計画、プレゼンや活動内容の再確認。(2時間) 復習:実施した視察/活動/プレゼンについての振り返りを行う。(2時間)
9回目	現地活動2 ・現地視察 ・現地での(交流)活動 ・プレゼンテーション	対面授業	予習:全体計画、プレゼンや活動内容の再確認。(2時間) 復習:実施した視察/活動/プレゼンについての振り返りを行う。(2時間)
10回目	現地活動3 ・現地視察 ・現地での(交流)活動 ・プレゼンテーション	対面授業	予習:全体計画、プレゼンや活動内容の再確認。(2時間) 復習:実施した視察/活動/プレゼンについての振り返りを

			行う。(2時間)
11回目	現地活動4 ・現地視察 ・現地での(交流)活動 ・プレゼンテーション	対面授業	予習:全体計画、プレゼンや活動内容の再確認。(2時間) 復習:実施した視察/活動/プレゼンについての振り返りを行う。(2時間)
12回目	プレゼンテーション準備1 ・現地活動の振り返り。 ・活動内容をまとめ、プレゼンテーションの準備	対面授業	予習:活動の振り返りを行い、プレゼンの準備を行う。(2時間) 復習:授業で実施した内容の整理を行う。(2時間)
13回目	プレゼンテーション準備2 ・現地活動の振り返り。 ・活動内容をまとめ、プレゼンテーションの準備	対面授業	予習:活動の振り返りを行い、プレゼンの準備を行う。(2時間) 復習:授業で実施した内容の整理を行う。(2時間)
14回目	プレゼンテーション準備3 ・活動内容をまとめ、プレゼンテーションの準備 ・プレゼンテーションのリハーサル	対面授業	予習:活動の振り返りを行い、プレゼンの準備を行う。(2時間) 復習:授業で実施した内容の整理を行う。(2時間)
15回目	最終プレゼンテーション	対面授業	予習:活動の振り返りを行い、プレゼンの準備を行う。(2時間) 復習:自分のプレゼンと他の人のプレゼンを振り返り、今回の活動で学んだ内容を確認する。(2時間)
16回目			授業外学修(60時間以上) * 研修日数により異なる

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	必要に応じてプリント等を配布する。
履修条件	特になし
履修上の注意	他大学の同世代の学生や地域の人達と交流を行うため、自分の意見をしっかりと述べられるように準備すること。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	事前の十分な準備、事後の報告書の作成など、しっかりと取り組むこと。

講義科目名称: 児童英語教授法	授業コード:
英文科目名称: Teaching English to Children	ナンバリング: CD501

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8	2	2	選択	講義
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>This course is designed to give students a brief introduction to the skills needed to teach English to young learners. With guidance from the teacher, students will practice designing lessons and materials aimed at young learners. Students will then get hands-on practice team-teaching at an elementary school English program.</p> <p>児童英語教授法では、児童に英語を教えるために必要なスキルを学生に紹介することを目的としています。教師の指導の下、学生は子供向けのレッスンや教材の作成を練習します。その後、学生は小学校の英語プログラムで実践的なチームティーチングを体験します。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	・授業と授業で行うグループワークへの参加・態度	10%
専門的知識や技能		・九州文化学園小学校での英語授業	70%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力		・自己評価フォーム	20%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ol style="list-style-type: none"> 1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。 2) 本授業では、定期試験を実施しません。担当する英語授業 70%、自己評価フォーム 20%、授業と授業で行うグループワークへの参加・態度 10%の割合で評価します。 3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。 4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: シラバスを説明する、評価方法・九州文化学園小学校で行う英語授業する、教材を見ます。	対面授業	予習: クラスルームにある資料を見る(1時間) 復習: 参考書を読む(1時間)
2回目	1) 見本の授業のLesson Plan (計画) と実施やり方を勉強する。 2) Phonicsを紹介します。	対面授業	予習: 見本授業のビデオを見てメモかきます。(4時間) 復習: Phonicsを復習し、学習ノートをまとめます(4時間)
3回目	Classroom Materials: フラッシュカード・音	対面授業	予習: クラスルームにある資料を

	楽などなどの英語授業に使う資料・教材を紹介する		見る(2時間) 復習:学習ノートをまとめます(2時間)
4回目	グループワーク:小学校に行く英語授業のためブレインストーミングする。	対面授業	予習:Lesson Planのアイデアをいくつか考えてきます。(2時間)
5回目	授業①の準備:Lesson Plan, 教材、練習(グループワーク)	対面授業	復習:グループで考えた授業のLesson Planを書き、必要な資料を作る(6時間)
6回目	授業①の準備:Lesson Plan, 教材、練習(グループワーク)	対面授業	復習:グループで考えた授業のLesson Planを書き、必要な資料を作る(6時間)
7回目	九州文化学園小学校での英語授業①(グループワーク)	対面授業	予習:Lesson Planを見て、教え方を練習する(2時間)
8回目	九州文化学園小学校での英語授業①(グループワーク) ※自己評価フォーム①も提出する	対面授業	予習:Lesson Planを見て、教え方を練習する(2時間)
9回目	授業①を振り替え、授業②&③のアイデアを考えます。	対面授業	復習:グループで考えた授業のLesson Planを書き、必要な資料を作る(6時間)
10回目	授業②&③のLesson Plan、資料・教材の準備をします。	対面授業	復習:グループで考えた授業のLesson Planを書き、必要な資料を作る(6時間)
11回目	授業のための資料を完成させ、授業の教え方を練習します。(グループワーク)	対面授業	復習:グループで考えた授業のLesson Planを書き、必要な資料を作る(6時間)
12回目	九州文化学園小学校での英語授業②(グループワーク)※評価される	対面授業	予習:Lesson Planを見て、教え方を練習する(2時間)
13回目	九州文化学園小学校での英語授業②(グループワーク)※評価される ※自己評価フォーム②も提出する	対面授業	予習:Lesson Planを見て、教え方を練習する(2時間) 復習:自己評価(1時間)
14回目	九州文化学園小学校での英語授業③(グループワーク)※評価される	対面授業	予習:Lesson Planを見て、教え方を練習する(2時間)
15回目	九州文化学園小学校での英語授業③(グループワーク)※評価される ※自己評価フォーム③も提出する	対面授業	予習:Lesson Planを見て、教え方を練習する(2時間) 復習:自己評価(1時間)
16回目	定期試験なし		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	参考書:Rise and Shine(担当先生に注文します)
履修条件	特になし
履修上の注意	科目の一部として、3回九州文化学園小学校に行って、実際の英語授業を教えます。 ※九州文化学園小学校での英語授業の日程は変更になる場合があります。
オフィスアワー	木曜日 1~2コマ目
備考・メッセージ	小学生向けにはやさしい英語を教えるので、英語が得意じゃない人でもご気楽に履修してください。

講義科目名称: 日本語教授法	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CD502

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
栃丸 華緒				

授業概要	<p>本講義では、全15回の講義を通して、日本語を教える基盤となる次の3つについて学生個々人が見聞を深める機会としたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 世界・日本における日本語教育の現状 2 第二言語として日本語を習得すること 3 日本語教師という職業・役割 <p>本講義では日本語教育の現状を知り、留学生の日本語学習過程や環境を理解した上で、教育指導案を書くことができるように指導案作りもカリキュラムに入れている。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	サポートが必要な人に寄り添い、どのようなサポートが必要か自身で考え、手を差し伸べることができる。	授業態度	5%
専門的知識や技能	日本語教育に必要な専門的知識を身に着けることができる。また、学習者の学習過程を知ることにより、効果的な学習支援ができる。	課題	30%
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いに気づき、理解ができる。さらに共通の理解を得るために必要な姿勢を自身の行動に取り入れることができる。	課題	10%
課題解決能力	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながら目標に粘り強く取り組むことができる。	授業態度	50%
キャリアデザイン力	講義を通して得た知識と教養をもとに、自身のキャリアに照らして考えてみるができる。	授業態度	5%
合計			100%

補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・講義開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ・講義参加時間が75分に満たない場合も欠席とみなす。 ・本講義では課題40%、授業参加態度60%の割合で評価する。 ・授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。 ・講義に関する質問は直接受け付けるほか、Google classroomでも対応可能。 ・本講義の課題レポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って行う。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、 Google classroom登録の確認と課題の確	対面授業	予習: Google classroomのクラスに登録する(2時間) 復習: 本日の学びに関して復

	認、 提出方法、フィードバックの確認方法、 テキストの確認をする はじめに(日本語教員とは)		習し、出されている課題を Google classroomに提出する (2時間)
2回目	日本語教育1(世界の中の日本語/日本語教育とは) 日本国内の日本語教育について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、課題を提出する(2時間)
3回目	第二言語の習得 第二言語を習得するとはどのようなことか、また日本語を母語として見るのではなく、教育対象の言語として考える。	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、課題を提出する(2時間)
4回目	異文化理解と心理 第二言語を習得するうえで、その言語の文化を理解することは重要なことであると考えられている。本テーマの見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて学びを深める。	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、課題を提出する(2時間)
5回目	「日本語」とは何か1 ・構造、文字と表記 日本語の構造、文字と表記について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、課題を提出する(2時間)
6回目	「日本語」とは何か2 ・語彙 日本語の語彙について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、課題を提出する(2時間)
7回目	「日本語」とは何か3 ・文法1 日本語文法に関して学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、課題を提出する(2時間)
8回目	「日本語」とは何か3 ・文法2 前回の講義で学んだことを踏まえて、日本語文法を教えることに焦点を当て、学びを深める。	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、課題を提出する(2時間)
9回目	社会言語学 社会における言語とは何か学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、課題を提出する(2時間)
10回目	留学生への日本語教育1 外国における日本語教育とは別に、日本で日本語を学習する留学生は在留資格、生活、学費などを取り巻く様々な制限や問題を抱えている。日本語教育を実施する上での現状を把握し、留学生への理解を深めることでより良い日本語教育への気づきを得る。	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、課題を提出する(2時間)
11回目	留学生への日本語教育2 本学の留学生や知り合いの留学生等にインタビューをし、現状を把握し問題点、改善点、日	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間)

	本語教師としての支援に何が可能なのかを調べて、まとめる。		復習: 本日の学びに関して復習し、課題を提出する(2時間)
12回目	日本語教授法 日本語教育現場では、どのような教授法を用いて授業が行われているのか、理解する。また、教授法の種類や時代の変化に伴い転換されていることも同時に学ぶ。	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、課題を提出する(2時間)
13回目	留学生への日本語教育3 これまで学んだことを踏まえて、実際の日本語教育の現場に参加する。日本語教育がどのように行われているのか授業を見学し、学んだことをまとめる。	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、課題を提出する(2時間)
14回目	留学生への日本語教育4 指導案・教案の作り方、実践 見学実習から学んだことをグループで話し合い、工夫した点や改善点必要点などを聞いて、指導案を書いてみる。	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、課題を提出する(2時間)
15回目	留学生への日本語教育5 指導案をもとに、実践する。 ・振り返りと総括	対面授業	予習: 授業実践に関する準備(2時間) 復習: 実践に関する感想をレポートとして書く(2時間)
			授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	なし 随時配布プリントあり
履修条件	日本語教育に興味・関心がある学生
履修上の注意	講義だけではなく、実践もある。
オフィスアワー	授業の前後に対応する
備考・メッセージ	遅刻は講義開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、講義参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

講義科目名称: Awesome Sasebo! I	授業コード:
英文科目名称: Awesome Sasebo! I	ナンバリング: PS501

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	1単位	コース必修	実習
担当教員				
李 載宇、Shiraishi Rosalind、松浦 百恵、福原 功太郎				

授業概要	<p>以下の6項目を学びの目的とし、「地域共生学科PRプロジェクト」「地域活動・行事参加プロジェクト」をグループ別を実施します。</p> <p>1) 社会人基礎力の醸成(①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力)</p> <p>2) 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成</p> <p>3) 調査・情報収集・まとめの力の向上</p> <p>4) プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上</p> <p>5) 言語運用能力(翻訳等)の向上</p> <p>6) 地域のニーズを把握して解決する力の向上</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> - 調査・情報収集・まとめの力の向上ができる - プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上ができる - 言語運用能力(翻訳等)の向上ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - NJC学生ホームページの充実度 - インタビュー取材、映像作成の内容 	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> - 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - 自発的なコミュニケーションと関わり度 	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> - 社会人基礎力の醸成(①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力)ができる - 地域のニーズを把握して解決する力の向上ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - 積極性 - 独創性 - チームとしてのまとめ 	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
<p>1) 「地域共生学科PRプロジェクト」では、いかに「地域共生学科」をPRするかをプロジェクトミッションとし、その過程で、6つの学びの目的の達成を目指す。また、</p> <p>2) 「地域活動・行事参加プロジェクト」では、地域の行事に参加することで、同様に、6項目の目標達成を目指します。学科指定の行事以外でも、教員確認後、例えば地元のイベントに参加し活動し、活動報告を行うことも可能とする。</p> <p>3) 地域の声を聞いて、地域で必要とされる課題を把握し、地域の方と協力しながら解決することを目指す。また、地域住民のアンケートなどを通じて評価を頂き、その結果を次年度の活動に反映する。</p> <p>4) 課題の提出はGoogle classroomを使って行い、フィードバックは次回の授業の中で行う。</p> <p>5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション1: ホームページを紹介す	対面授業	予習: Awesome NJC!サイトを

	る、2022のプロジェクトを見る、5Qのプロジェクトを説明する。		見る (0.5時間) 復習: チーム希望アンケートに記入する (0.5時間)
2回目	オリエンテーション2: オープンキャンパス(OC)チーム・ビデオチームを決めます。グループ活動とデータ保存の基本を説明する。グループでブレインストーミングする。	対面授業	予習: 去年のプロジェクトをHPで見る(0.5時間) 復習: 学びノートのまとめ (0.5時間)
3回目	グループワーク: プロジェクト活動 OC資料 または PR動画	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
4回目	グループワーク: プロジェクト活動 OC資料 または PR動画	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
5回目	グループワーク: プロジェクト活動 OC資料 または PR動画	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
6回目	グループワーク: プロジェクト活動 OC資料 または PR動画	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
7回目	グループワーク: プロジェクト活動 OC資料 または PR動画	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
8回目	グループワーク: プロジェクト活動 OC資料 または PR動画	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
9回目	グループワーク: プロジェクト活動 OC資料 または PR動画	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
10回目	グループワーク: プロジェクト活動 OC資料 または PR動画	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
11回目	グループワーク: プロジェクト活動 OC資料 または PR動画	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
12回目	グループワーク: プロジェクト活動 OC資料 または PR動画	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
13回目	グループワーク: プロジェクト活動 OC資料 または PR動画	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
14回目	グループワーク: プロジェクト活動 OC資料 または PR動画	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間)

	※OC資料提出〆切 Q5の進捗プレゼン作成		復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
15回目	まとめの発表 OCチーム: 資料を発表する ビデオチーム: 進捗を発表する	対面授業	予習: まとめの発表の準備をする (1時間)
			授業外学修時間 15時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	特になし
履修条件	なし
履修上の注意	グループメンバー全員が分担して作業が行えるように計画すること。
オフィスアワー	各先生によって異なります。グループ担当の先生に確認してください。 *空きコマ(研究室ドアに提示)も可
備考・メッセージ	普段から、学科、コースを超えて、教職員や学生とコミュニケーションをとるように心がけてください。

講義科目名称: 留② Awesome Sasebo I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: PS501

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	1単位	コース必修	演習
担当教員				
牟田、近藤				

授業概要	<p>「Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で課題解決能力の育成を目的とした1Qから2年生の8Qまで続く演習授業である。留学生の本演習授業では、学んだ様々な語学を活用しながらこれまで学び、体験したことを用いて、地域の様々な課題解決に挑戦し、自己を振り返る機会となるように組み立てられている。</p> <p>Awesome Sasebo! II では、2年生のチームが、来日間もない留学生1年生とそれぞれチームを組み、佐世保地域アクティビティを計画・実践しながら交流し、人、文化を理解しながらチームビルディングの方法を学ぶ。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	身近な他者に対して親和的な態度で関わることができる	授業態度	5%
専門的知識や技能	相手や目的・場面に応じて自らの意志を表現・伝達することができる。また、相手の意志を理解することができる。	授業態度 課題	5% 10%
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、行動に取り入れることができる。さらに共通の理解を得るために交渉を始めることができる。	課題	10%
課題解決能力	相手の意見を理解し、自分の意見を的確に伝え、自分の感情をコントロールすることができる。 また、柔軟に物事に取り組み、チームで協力して活動することができる	授業態度	50%
キャリアデザイン力	チームビルディングの方法を実践することができる	授業態度	20%
合計			100%

補足事項

- ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・本講義では課題20%、授業参加態度80%の割合で評価する
- ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目 (4/10)	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする	対面授業	予習:『伸ばす!就活能力・ビジネス日本語力』II課1p15~24を読んでおく。未習語彙は調べておくこと。Googleclassroomのク

	<p>「チーム作り①」 パールシーMT準備 チーム分け、役割分担 ・1年生サポーター・司会 ・点数カウント(集計表)・記録係 ・ジェスチャー係・フリップ係 ・問題係(正当表:配布用)</p>		<p>クラスに登録する(1時間) 復習:本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(1時間)</p>
2回目 (4/10)	<p>「チーム作り②」 イベント計画(チームごと) 1年生のメンバーが誰かを考える 準備物の確認・準備・購入 <u>リハーサル</u></p>	対面授業	<p>予習:配布プリントを読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。 Google classroomのクラスに登録する(1時間) 復習:本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(1時間)</p>
3回目 (4/17)	<p>「チーム作り③」 チームで交流会での出し物を決める 役割決定、練習、およびレポート提出 <u>リハーサル</u></p>	対面授業	<p>予習:自分を表すものは何か考えてデザインしておく。その語彙もメモにかいておく(1時間) 復習:どの部分で、チームビルディングに関して何を学んだかをレポートにまとめる(1時間)</p>
4回目 (4/17)	<p>「チーム作り④」 最終確認 <u>リハーサル</u></p>	対面授業	<p>予習:交流会での出し物のアイディアを考えておく(1時間) 復習:自分のチームでの活動を振り返る。レポート提出(1時間)</p>
5回目 (4/24)	<p>「チーム作り⑤」 1年生と合流 『伸ばす!就活能力・ビジネス日本語力』Ⅱ課 1p15~24を参考に自己紹介をしっかりと考えておく マシュマロチャレンジにチームで挑戦</p>	対面授業	<p>予習:これまでの準備を見直して、すぐに研修が開始できるようにしておく(1時間) 復習:構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(1時間)</p>
6回目 (4/24)	<p>「学外研修①」 海きらら研修、佐世保の観光地体験、表示の工夫などをチームで散策して調べる 資料等を集めておく ※2年生は1年生へGoogle classroomの使い方教える</p>	対面授業	<p>予習:これまでの準備を見直して、すぐに研修が開始できるようにしておく(1時間) 復習:資料の共有などをclassroomを通して実施する(1時間)</p>
7回目 (5/1)	<p>「日本を知る、佐世保を知る①」 災害に備える学習 語彙を勉強する 災害に備える学習 ビデオを見る</p>	対面授業	<p>予習:これまでの準備を見直して、すぐに振り返りが開始できるようにしておく(1時間) 復習:構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(1時間)</p>
8回目 (5/1)	<p>「日本を知る、佐世保を知る②」 災害に備える学習 グループで討論する 災害に備える学習 発表</p>	対面授業	<p>予習:『伸ばす!就活能力・ビジネス日本語力』Ⅳ課p79~85を読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(1時間) 復習:構成を見直し、次に各部分に必要な語彙などを覚えておく(1時間)</p>
9回目 (5/15)	<p>「学外研修②~パールシー~」 10:50 移動開始(マイクロバス) 11:15 1年生歓迎MT</p>	対面授業	<p>予習:これまでの準備を見直して、すぐに振り返りが開始できるようにしておく(1時間)</p>

	<p>11:50 パールシー散策 ※食事 12:50 乗り場集合乗船 13:00 乗船 14:00 写真撮影・水族館移動 ※ミッション実施 15:10 イルカショー(大水槽の上)集合 15:20 イルカショー観覧 15:40 外移動(オリエン:課題提出:資料・写真の共有) 16:00 解散 移動開始(マイクロバス)</p>		<p>復習:構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(1時間)</p>
10回目 (5/15)	<p>「学外研修③」 ミッション、活動などの動画、写真を撮影、共有しておく</p>	対面授業	<p>予習:これまでの準備を見直して、すぐに振り返りが開始できるようにしておく(1時間) 復習:構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(1時間)</p>
11回目 (5/15)	<p>「学外研修④」 ミッション、活動などの動画、写真を撮影、共有しておく</p>	対面授業	<p>予習:『伸ばす!就活能力・ビジネス日本語力』IV課p79~85を読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(1時間) 復習:構成を見直し、次に各部分に必要な語彙などを覚えておく(1時間)</p>
12回目 (5/15)	<p>「学外研修⑤」 ミッション、活動などの動画、写真を撮影、共有しておく</p>	対面授業	<p>予習:『伸ばす!就活能力・ビジネス日本語力』IV課p79~85を読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(1時間) 復習:構成を見直し、次に各部分に必要な語彙などを覚えておく(2時間)</p>
13回目 (5/29)	<p>「情報機器のスキル①:発表準備」 動画・PPTなどプレゼンテーションに必要なスキルを学ぶ。 チームごとに発表をまとめ、発表する。 発表の仕方は授業中に指示する</p>	対面授業	<p>予習:『伸ばす!就活能力・ビジネス日本語力』III課p67~73を読んでおく。未習語彙は調べておくこと(1時間) 復習:ミニテストと講演の内容を再確認する(1時間)</p>
14回目 (5/29)	<p>「情報機器のスキル②:発表準備」 動画・PPTなどプレゼンテーションに必要なスキルを学ぶ。 チームごとに発表をまとめ、発表する。 発表の仕方は授業中に指示する</p>	対面授業	<p>予習:全体の体裁等を確認しておく(1時間) 復習:提出したのを見直し、発表会準備をする(1時間)</p>
15回目 (6/5)	<p>「情報機器のスキル③」 動画・PPTなどプレゼンテーションに必要なスキルを学ぶ。 チームごとに発表をまとめ、発表する。 発表の仕方は授業中に指示する</p>	対面授業	<p>予習:配布プリントを読んでおく。発表準備を入念に行うこと(2時間) 復習:提出したのを見直し、発表会準備をする(1時間)</p>
16回目 (6/5)	<p>「情報機器のスキル④:発表」</p>	対面授業	<p>予習:配布プリントを読んでおく。発表準備を入念に行うこと(2時間) 復習:提出したのを見直し、発表会準備をする(1時間)</p>

			授業外学修時間 35時間
--	--	--	--------------

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』
履修条件	7、8Q開講の『国際時事研究』および『卒業研究』の履修を行うこと
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。 また、2年生は1年生のチューターの役割があるため、昨年の学びを自分の中で授業前に復習しておくこと
オフィスアワー	金曜日1コマ目(09:40~10:40)研究室
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはクラスルームへ連絡すること

講義科目名称: Awesome Sasebo! II	授業コード:
英文科目名称: Awesome Sasebo! II	ナンバリング: PS601

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	1単位	コース必修	演習
担当教員				
李 載宇、Shiraishi Rosalind、松浦 百恵、福原 功太郎				

授業概要	<p>以下の6項目を学びの目的とし、「地域共生学科PRプロジェクト」「地域活動・行事参加プロジェクト」をグループ別を実施します。</p> <p>1) 社会人基礎力の醸成(①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力)</p> <p>2) 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成</p> <p>3) 調査・情報収集・まとめの力の向上</p> <p>4) プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上</p> <p>5) 言語運用能力(翻訳等)の向上</p> <p>6) 地域のニーズを把握して解決する力の向上</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> - 調査・情報収集・まとめの力の向上ができる - プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上させることができる - 言語運用能力(翻訳等)の向上ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - NJC学生ホームページの充実度 - インタビュー取材、映像作成の内容 	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> - 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - 自発的なコミュニケーションと関わり度 	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> - 社会人基礎力の醸成(①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力)ができる - 地域のニーズを把握して解決する力の向上ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - 積極性 - 独創性 - チームとしてのまとめ 	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<p>1) 「地域共生学科PRプロジェクト」では、いかに「地域共生学科」をPRするかをプロジェクトミッションとし、その過程で、6つの学びの目的の達成を目指す。また、</p> <p>2) 「地域活動・行事参加プロジェクト」では、地域の行事に参加することで、同様に、6項目の目標達成を目指します。学科指定の行事以外でも、教員確認後、例えば地元のイベントに参加し活動し、活動報告を行うことも可能とする。</p> <p>3) 地域の声を聞いて、地域で必要とされる課題を把握し、地域の方と協力しながら解決することを目指す。また、地域住民のアンケートなどを通じて評価を頂き、その結果を次年度の活動に反映する。</p> <p>4) 課題の提出はGoogle classroomを使って行い、フィードバックは次回の授業の中で行う。</p> <p>5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: Q6プロジェクトを説明する、オープンキャンパス(OC)の内容を詳しく見る、過去のOCプレゼンを見る	対面授業	予習: 特になし 復習: 去年のOCの内容を見ておく(1時間)
2回目	OC当日のリーダー、担当者、個人プレゼンする人などを決めます。スケジュールを確認する。 Tシャツグループ・夏イベントグループ分け	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく(0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
3回目	グループワーク: プロジェクト活動 Tシャツ・イベント・個人発表・PR動画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく(0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
4回目	グループワーク: プロジェクト活動 Tシャツ・イベント・個人発表・PR動画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく(0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
5回目	グループワーク: プロジェクト活動 Tシャツ・イベント・個人発表・PR動画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく(0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
6回目	グループワーク: プロジェクト活動 Tシャツ・イベント・個人発表・PR動画 ※Tシャツデザイン提出	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく(0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
7回目	グループワーク: プロジェクト活動 イベント・個人発表・PR動画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく(0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
8回目	グループワーク: プロジェクト活動 イベント・個人発表・PR動画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく(0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
9回目	グループワーク: プロジェクト活動 イベント・個人発表・PR動画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく(0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
10回目	グループワーク: プロジェクト活動 イベント・個人発表・PR動画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく(0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
11回目	オープンキャンパスリハーサル	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく(0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
12回目	オープンキャンパスリハーサル	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく(0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
13回目	・OCチーム話し合い ・Q6の進捗プレゼン作成	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく(0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
14回目	夏前イベント準備・実施	対面授業	予習: 参考アイデアを調べて

			おく(0.5時間) 復習:知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
15回目	まとめの発表 OCチーム:OC準備の振り返り ビデオチーム:PR動画	対面授業	予習:まとめの発表の準備をする (1時間)
16回目	試験は実施せず、授業の成果物で評価する		授業外学修時間 15時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	特になし
履修条件	なし
履修上の注意	グループメンバー全員が分担して作業が行えるように計画すること。
オフィスアワー	各先生によって異なります。グループ担当の先生に確認してください。 *空きコマ(研究室ドアに提示)も可
備考・メッセージ	普段から、学科、コースを超えて、教職員や学生とコミュニケーションをとるように心がけてください。

講義科目名称: 留② Awesome Sasebo II	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: PS601

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	1単位	コース必修	演習
担当教員				
近藤、栞丸				

授業概要	<p>「Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で課題解決能力の育成を目的とした1Qから2年生の8Qまで続く演習授業である。留学生の本演習授業では、学んだ様々な語学を活用しながらこれまで学び、体験したことを用いて、地域の様々な課題解決に挑戦し、自己を振り返る機会となるように組み立てられている。</p> <p>Awesome Sasebo!Ⅲでは、2年生のチームが主体となってコーチングスキルなどを学びながら、目的に応じてそれぞれチームを組み、佐世保地域の課題解決に関するアプローチを学ぶ。それぞれの目的に応じたアクティビティを計画・実践しながら交流し、人、文化を理解しながら具体的な解決方法解決・実践能力を育成する。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	率先して、常に社会のルールや状況に適した振る舞いができ、他者にも促すことができる。	授業態度	5%
専門的知識や技能	日本語で幅広い話題について明確で詳細な文章を読み書きでき、伝えることができる。 また、動画や画像を使用し、相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料をつくることができる。	課題	30%
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、行動に取り入れることができる。さらに共通の理解を得るために交渉を始めることができる。	課題	10%
課題解決能力	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながら目標に粘り強く取り組むことができる。	授業態度	50%
キャリアデザイン力	長崎県や佐世保市のニーズを把握し、就職・進学の見点を持つことができる。	授業態度	5%
合計			100%

補足事項

- ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・本講義では課題40%、授業参加態度60%の割合で評価する
- ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される
- ・本講義における出席は合計16回とし、開始15分までは「遅刻」、16分以降は「欠席」となる。また、授業参加時間が合計で75分に満たない場合も同様に「欠席」となる。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」	対面授業	予習: Googleclassroomのクラス

	講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする		に登録する(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
2回目	レシピについて 日本語のレシピについて、Cook padなどの実例を通して、日本の定食の構成を学び、自国との比較を通して進出語彙や専門用語を学ぶ	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
3回目	レシピ作成① 学生毎に担当する料理を決め、レシピ作りのための語彙探し、食材名を調べ、レシピを作成する 教科書「まるごと」中級B1を参考に作成	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
4回目	レシピ作成② 学生毎に担当する料理を決め、レシピ作りのための語彙探し、食材名を調べ、レシピを作成する 教科書「まるごと」中級B1を参考に作成	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
5回目	レシピ作成③ 学生毎に担当する料理を決め、レシピ作りのための語彙探し、食材名を調べ、レシピを作成する ※この日までに写真以外を仕上げる 教科書「まるごと」中級B1を参考に作成	対面授業	予習: これまでの準備を見直して、すぐに作成できるようにしておく(2時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
6回目	レシピ作成④ / 動画作成① レシピに使用する写真や動画のための食材を買いに行く PPT発表に必要な動画を作成する計画をたてる	遠隔授業	予習: これまでの準備を見直して、すぐに作成できるようにしておく(2時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
7回目	レシピ作成⑤ / 動画作成② レシピに使用する写真やPPT発表に必要な動画を作成する (自宅での実習)	遠隔授業	予習: これまでの準備を基に、必要な写真や動画の構成を検討する(2時間) 復習: 出来上がりが満足できるものか、何度も確認する(2時間)
8回目	レシピ作成⑥ / 動画作成③ レシピに使用する写真やPPT発表に必要な動画を作成する (自宅での実習)	遠隔授業	予習: これまでの準備を基に、必要な写真や動画の構成を検討する(2時間) 復習: 出来上がりが満足できるものか、何度も確認する(2時間)
9回目	レシピ作成⑦ / 動画作成④ 食物栄養コースに提出する「レシピ」及び、動画付きPPTを作成する ※レシピはこの日までに仕上げGoogle	対面授業	予習: 必要な映像資料をまとめて、ファイルやドライブに保存しておく(2時間) 復習: 作成したそれぞれのファイルを見直し、改善が必要な部分があれば改善する(2時間)

	classroomに提出すること		
10回目	PPT作成① 食物栄養コースに提出する動画付きPPTを作成する ※PPTを作成すること	対面授業	予習: 必要な映像資料をまとめて、ファイルやドライブに保存しておく(2時間) 復習: 作成したそれぞれのファイルを見直し、改善が必要な部分があれば改善する(2時間)
11回目	PPT作成② 食物栄養コースに提出する動画付きPPTを作成する ※PPTを作成すること	対面授業	予習: 必要な映像資料をまとめて、ファイルやドライブに保存しておく(2時間) 復習: 作成したそれぞれのファイルを見直し、改善が必要な部分があれば改善する(2時間)
12回目	PPT作成③ 食物栄養コースに提出する動画付きPPTを作成する ※PPTをGoogle classroomに提出	対面授業	予習: 必要な映像資料をまとめて、ファイルやドライブに保存しておく(2時間) 復習: 作成したそれぞれのファイルを見直し、改善が必要な部分があれば改善する(2時間)
13回目	レシピ振り返り① 食物栄養コースのアンケート結果を基に、日本語表現を改善する→仕上げる ※最終版レシピをGoogle classroomに提出	対面授業	予習: 食物栄養コースからのアンケート結果を読み、改善をメモしておく(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
14回目	PPT振り返り① 食物栄養コースのアンケート結果を基に、日本語表現を改善する→仕上げる ※最終版PPTをGoogle classroomに提出	対面授業	予習: 食物栄養コースからのアンケート結果を読み、改善をメモしておく(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
15回目	PPT発表練習① 食物栄養コースにわかりやすく説明できるように発表の練習をする ※伸ばす就活能力・ビジネス日本語力 p.79~p.88	対面授業	予習: 作成したPPTのプレゼンの方法をテキストを見て練習しておく(2時間) 復習: 他の方のプレゼンで良かったところを確認し、自分のプレゼンに取り入れる(2時間)
16回目	PPT発表練習② 食物栄養コースにわかりやすく説明できるように発表の練習をする ※伸ばす就活能力・ビジネス日本語力 p.79~p.88	対面授業	予習: 作成したPPTのプレゼンの方法をテキストを見て練習しておく(2時間) 復習: 他の方のプレゼンで良かったところを確認し、自分のプレゼンに取り入れ、本番に備える(2時間)
			授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
-----------	----

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	「まるごと」中級B1 「伸ばす就活能力・ビジネス日本語力」
履修条件	Awesome Sasebo! I を成功的に履修が修了した者
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。 また、担当教員との連携が求められるため、ハウレンソウをしっかりと実行できるように努力すること。
オフィスアワー	火曜日3コマ目(13:30~14:30)研究室
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはGoogle classroomへ連絡すること

講義科目名称: Awesome Sasebo! III	授業コード:
英文科目名称: Awesome Sasebo! III	ナンバリング: PS701

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	1単位	コース必修	実習
担当教員				
李 載宇、Shiraishi Rosalind、松浦 百恵、福原 功太郎				

授業概要	<p>以下の6項目を学びの目的とし、「地域共生学科PRプロジェクト」「地域活動・行事参加プロジェクト」をグループ別を実施します。</p> <p>1) 社会人基礎力の醸成 (①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力)</p> <p>2) 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成</p> <p>3) 調査・情報収集・まとめの力の向上</p> <p>4) プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上</p> <p>5) 言語運用能力(翻訳等)の向上</p> <p>6) 地域のニーズを把握して解決する力の向上</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> - 調査・情報収集・まとめの力の向上ができる - プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上させることができる - 言語運用能力(翻訳等)の向上ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - NJC学生ホームページの充実度 - インタビュー取材、映像作成の内容 	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> - 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - 自発的なコミュニケーションと関わり度 	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> - 社会人基礎力の醸成 (①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力)ができる - 地域のニーズを把握して解決する力の向上ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - 積極性 - 独創性 - チームとしてのまとめ 	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<p>1) 「地域共生学科PRプロジェクト」では、いかに「地域共生学科」をPRするかをプロジェクトミッションとし、その過程で、6つの学びの目的の達成を目指す。また、</p> <p>2) 「地域活動・行事参加プロジェクト」では、地域の行事に参加することで、同様に、6項目の目標達成を目指します。学科指定の行事以外でも、教員確認後、例えば地元のイベントに参加し活動し、活動報告を行うことも可能とする。</p> <p>3) 地域の声を聞いて、地域で必要とされる課題を把握し、地域の方と協力しながら解決することを目指す。また、地域住民のアンケートなどを通じて評価を頂き、その結果を次年度の活動に反映する。</p> <p>4) 課題の提出はGoogle classroomを使って行い、フィードバックは次回の授業の中で行う。</p> <p>5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: Q7~8のプロジェクトを説明する。去年の動画・記事を見る。後期のグループ分けをする(ビデオチーム・学外活動グループ)	対面授業	予習: 去年の学外学習の動画を見る (0.5時間) 復習: チーム希望アンケートに記入する (0.5時間)
2回目	白蝶祭のテーマを発表する。役割・仕事を説明する。	対面授業	予習: 去年の学外学習の動画を見る (0.5時間) 復習: 学びノートのまとめ (0.5時間)
3回目	グループワーク: 白蝶祭の準備	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
4回目	グループワーク: 白蝶祭の準備	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
5回目	グループワーク: 白蝶祭の準備	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
6回目	グループワーク: 白蝶祭の準備 ※学外活動グループ行き先報告書提出	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
7回目	グループワーク: 白蝶祭の準備	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
8回目	グループワーク: 白蝶祭の準備	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
9回目	グループワーク: 白蝶祭の準備	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
10回目	グループワーク: 白蝶祭の準備	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
11回目	グループワーク: 学外活動計画	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
12回目	グループワーク: 学外活動計画	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
13回目	グループワーク: 学外活動計画	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)

14回目	グループワーク:学外活動計画	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
15回目	まとめの発表 ※学外活動計画も提出 学外活動グループ:計画を発表する ビデオチーム:進捗を発表する	対面授業	予習:まとめの発表の準備をする(1時間)
16回目	試験は実施せず、授業の成果物で評価する		授業外学修時間 15時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	特になし
履修条件	なし
履修上の注意	グループメンバー全員が分担して作業が行えるように計画すること。
オフィスアワー	各先生によって異なります。グループ担当の先生に確認してください。 *空きコマ(研究室ドアに提示)も可
備考・メッセージ	普段から、学科、コースを超えて、教職員や学生とコミュニケーションをとるように心がけてください。

講義科目名称: 留② Awesome Sasebo III	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: PS701

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	1単位	コース必修	演習
担当教員				
牟田、近藤				

授業概要	<p>「Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で課題解決能力の育成を目的とした1Qから2年生の8Qまで続く演習授業である。留学生の本演習授業では、学んだ様々な語学を活用しながらこれまで学び、体験したことを用いて、地域の様々な課題解決に挑戦し、自己を振り返る機会となるように組み立てられている。</p> <p>Awesome Sasebo IIIでは、2年生のチームが主体となってコーチングスキルなどを学びながら、目的に応じてそれぞれチームを組み、佐世保地域の課題解決に関するアプローチを学ぶ。それぞれの目的に応じたアクティビティを計画・実践しながら交流し、人、文化を理解しながら具体的な解決方法解決・実践能力を育成する。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	率先して、常に社会のルールや状況に適した振る舞いができ、他者にも促すことができる。	授業態度	5%
専門的知識や技能	日本語で幅広い話題について明確で詳細な文章を読み書きでき、伝えることができる。 また、動画や画像を使用し、相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料をつくることができる。	課題	30%
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、行動に取り入れることができる。さらに共通の理解を得るために交渉を始めることができる。	課題	10%
課題解決能力	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながら目標に粘り強く取り組むことができる。	授業態度	50%
キャリアデザイン力	長崎県や佐世保市のニーズを把握し、就職・進学 の視点を持つことができる。	授業態度	5%
合計			100%

補足事項

- ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・本講義では課題40%、授業参加態度60%の割合で評価する
- ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される
- ・本講義における出席は合計16回とし、開始15分までは「遅刻」、16分以降は「欠席」となる。また、授業参加時間が合計で75分に満たない場合も同様に「欠席」となる。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする	対面授業	予習: Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
2回目	レシピについて 日本語のレシピについて、Cook padなどの実例を通して、日本の定食の構成を学び、自国との比較を通して進出語彙や専門用語を学ぶ	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
3回目	レシピ作成① 学生毎に担当する料理を決め、レシピ作りのための語彙探し、食材名を調べ、レシピを作成する 教科書「まるごと」中級B1を参考に作成	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
4回目	レシピ作成② 学生毎に担当する料理を決め、レシピ作りのための語彙探し、食材名を調べ、レシピを作成する 教科書「まるごと」中級B1を参考に作成	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
5回目	レシピ作成③ 学生毎に担当する料理を決め、レシピ作りのための語彙探し、食材名を調べ、レシピを作成する ※この日までに写真以外を仕上げること 教科書「まるごと」中級B1を参考に作成	対面授業	予習: これまでの準備を見直して、すぐに作成できるようにしておく(2時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
6回目	レシピ作成④ / 動画作成① レシピに使用する写真や動画のための食材を買いに行く PPT発表に必要な動画を作成する計画をたてる	遠隔授業	予習: これまでの準備を見直して、すぐに作成できるようにしておく(2時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
7回目	レシピ作成⑤ / 動画作成② レシピに使用する写真やPPT発表に必要な動画を作成する (自宅での実習)	遠隔授業	予習: これまでの準備を基に、必要な写真や動画の構成を検討する(2時間) 復習: 出来上がりが満足できるものか、何度も確認する(2時間)
8回目	レシピ作成⑥ / 動画作成③ レシピに使用する写真やPPT発表に必要な動画を作成する (自宅での実習)	遠隔授業	予習: これまでの準備を基に、必要な写真や動画の構成を検討する(2時間) 復習: 出来上がりが満足できるものか、何度も確認する(2時間)
9回目	レシピ作成⑦ / 動画作成④ 食物栄養コースに提出する「レシピ」及び、動画付きPPTを作成する	対面授業	予習: 必要な映像資料をまとめて、ファイルやドライブに保存しておく(2時間) 復習: 作成したそれぞれのファイルを見直し、改善が必要な部

	※レシピはこの日までに仕上げてGoogle classroomに提出すること		分があれば改善する(2時間)
10回目	PPT作成① 食物栄養コースに提出する動画付きPPTを作成する ※PPTを作成すること	対面授業	予習:必要な映像資料をまとめて、ファイルやドライブに保存しておく(2時間) 復習:作成したそれぞれのファイルを見直し、改善が必要な部分があれば改善する(2時間)
11回目	PPT作成② 食物栄養コースに提出する動画付きPPTを作成する ※PPTを作成すること	対面授業	予習:必要な映像資料をまとめて、ファイルやドライブに保存しておく(2時間) 復習:作成したそれぞれのファイルを見直し、改善が必要な部分があれば改善する(2時間)
12回目	PPT作成③ 食物栄養コースに提出する動画付きPPTを作成する ※PPTをGoogle classroomに提出	対面授業	予習:必要な映像資料をまとめて、ファイルやドライブに保存しておく(2時間) 復習:作成したそれぞれのファイルを見直し、改善が必要な部分があれば改善する(2時間)
13回目	レシピ振り返り① 食物栄養コースのアンケート結果を基に、日本語表現を改善する→仕上げる ※最終版レシピをGoogle classroomに提出	対面授業	予習:食物栄養コースからのアンケート結果を読み、改善をメモしておく(2時間) 復習:本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
14回目	PPT振り返り① 食物栄養コースのアンケート結果を基に、日本語表現を改善する→仕上げる ※最終版PPTをGoogle classroomに提出	対面授業	予習:食物栄養コースからのアンケート結果を読み、改善をメモしておく(2時間) 復習:本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
15回目	PPT発表練習① 食物栄養コースにわかりやすく説明できるように発表の練習をする ※伸ばす就活能力・ビジネス日本語力 p.79~p.88	対面授業	予習:作成したPPTのプレゼンの方法をテキストを見て練習しておく(2時間) 復習:他の人のプレゼンで良かったところを確認し、自分のプレゼンに取り入れる(2時間)
16回目	PPT発表練習② 食物栄養コースにわかりやすく説明できるように発表の練習をする ※伸ばす就活能力・ビジネス日本語力 p.79~p.88	対面授業	予習:作成したPPTのプレゼンの方法をテキストを見て練習しておく(2時間) 復習:他の人のプレゼンで良かったところを確認し、自分のプレゼンに取り入れ、本番に備える(2時間)
			授業外学修時間 64時間

科目(教職課程用)	なし
-----------	----

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	「まるごと」中級B1 「伸ばす就活能力・ビジネス日本語力」
履修条件	Awesome Sasebo! IIを成功的に履修が修了した者
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。 また、担当教員との連携が求められるため、ハウレンソウをしっかりと実行できるように努力すること。
オフィスアワー	授業の前後に対応します。
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはGoogle classroomへ連絡すること

講義科目名称: Awesome Sasebo! IV	授業コード:
英文科目名称: Awesome Sasebo! IV	ナンバリング: PS801

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8Q	2年	1単位	コース必修	演習
担当教員				
李 載宇、Shiraishi Rosalind、松浦 百恵、福原 功太郎				

授業概要	<p>以下の6項目を学びの目的とし、「地域共生学科PRプロジェクト」「地域活動・行事参加プロジェクト」をグループ別を実施します。</p> <p>1) 社会人基礎力の醸成 (①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力)</p> <p>2) 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成</p> <p>3) 調査・情報収集・まとめの力の向上</p> <p>4) プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上</p> <p>5) 言語運用能力(翻訳等)の向上</p> <p>6) 地域のニーズを把握して解決する力の向上</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> - 調査・情報収集・まとめの力の向上ができる - プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上させることができる - 言語運用能力(翻訳等)の向上ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - NJC学生ホームページの充実度 - インタビュー取材、映像作成の内容 	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> - 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - 自発的なコミュニケーションと関わり度 	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> - 社会人基礎力の醸成 (①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力) ができる - 地域のニーズを把握して解決する力の向上ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - 積極性 - 独創性 - チームとしてのまとめ 	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
<p>1) 「地域共生学科PRプロジェクト」では、いかに「地域共生学科」をPRするかをプロジェクトミッションとし、その過程で、6つの学びの目的の達成を目指す。また、</p> <p>2) 「地域活動・行事参加プロジェクト」では、地域の行事に参加することで、同様に、6項目の目標達成を目指す。学科指定の行事以外でも、教員確認後、例えば地元のイベントに参加し活動し、活動報告を行うことも可能とする。</p> <p>3) 地域の声を聞いて、地域で必要とされる課題を把握し、地域の方と協力しながら解決することを目指す。また、地域住民のアンケートなどを通じて評価を頂き、その結果を次年度の活動に反映する。</p> <p>4) 課題の提出はGoogle classroomを使って行い、フィードバックは次回の授業の中で行う。</p> <p>5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:グループで計画を確認する、取材・ビデオ撮影などについての説明を聞く。	対面授業	予習:去年の学外学習の動画を見る(0.5時間) 復習:チーム希望アンケートに記入する(0.5時間)
2回目	スケジュールを確認する。15回目に提出すべきものを確認する。	対面授業	予習:去年の学外学習の動画を見る(0.5時間) 復習:学びノートのみまとめ(0.5時間)
3回目	グループワーク:プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得た情報のまとめ(0.5時間)
4回目	グループワーク:プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得た情報のまとめ(0.5時間)
5回目	グループワーク:プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得た情報のまとめ(0.5時間)
6回目	グループワーク:プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得た情報のまとめ(0.5時間)
7回目	グループワーク:プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得た情報のまとめ(0.5時間)
8回目	グループワーク:プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得た情報のまとめ(0.5時間)
9回目	グループワーク:プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得た情報のまとめ(0.5時間)
10回目	グループワーク:プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得た情報のまとめ(0.5時間)
11回目	グループワーク:プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得た情報のまとめ(0.5時間)
12回目	グループワーク:プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得た情報のまとめ(0.5時間)
13回目	グループワーク:プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得た情報のまとめ(0.5時間)

14回目	グループワーク:プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得た情報のまとめ(0.5時間)
15回目	まとめの発表 学外活動グループ:動画・チラシ・HP記事を発表する ビデオチーム:動画と振り返りのプレゼンを発表する	対面授業	予習:まとめの発表の準備をする(1時間)
16回目	試験は実施せず、授業の成果物で評価する		授業外学修時間 15時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	特になし
履修条件	なし
履修上の注意	グループメンバー全員が分担して作業が行えるように計画すること。
オフィスアワー	各先生によって異なります。グループ担当の先生に確認してください。 *空きコマ(研究室ドアに提示)も可
備考・メッセージ	普段から、学科、コースを超えて、教職員や学生とコミュニケーションをとるように心がけてください。

講義科目名称: 留② Awesome Sasebo!IV	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: PS801

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8Q	2年	1単位	コース必修	演習
担当教員				
牟田／近藤				

授業概要	<p>「Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で課題解決能力の育成を目的とした1Qから2年生の8Qまで続く演習授業である。留学生の本演習授業では、学んだ様々な語学を活用しながらこれまで学び、体験したことを用いて、地域の様々な課題解決に挑戦し、自己を振り返る機会となるように組み立てられている。</p> <p>Awesome Sasebo!では、佐世保地域の課題解決に関するアクティビティを計画・実践しながら交流し、人、文化を理解しながら具体的な解決方法解決・実践を学ぶ。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	率先して、常に社会のルールや状況に適した振る舞いができ、他者にも促すことができる。	授業態度	5%
専門的知識や技能	日本語で幅広い話題について明確で詳細な文章を読み書きでき、伝えることができる。 また、動画や画像を使用し、レイアウトや相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料を作成できる。	課題	40%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	課題に対して考えた自分の意見を明確に伝え、相手の意見や立場を尊重しつつ、少しのストレスも成長の機会であるとポジティブに捉えて、チーム全体で取り組むことができる。 また、既存の発想に捉われず、新しくユニークな解決法で対処できる。	授業態度 課題・作成物	30% 20%
キャリアデザイン力	ビジネスに必要な知識を実践していきながら、一般的な業務について対応できる知識と技能を持つことができる。	授業態度	5%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題・作成物60%、授業参加態度40%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1回目	<p>「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする 2年間の学びについてPPT&動画を作成① チーム作成、役割分担 ①来年の1年生に伝えたいこと A: 日本での生活ルール B: 学校のルール(授業のルール) C: 学校のルール(先生とのルール) D: 日本語の勉強 E: 就職活動について F: 進学活動について G: お金について</p>	対面授業	<p>予習: Googleclassroomのクラスに登録する(1時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(1時間)</p>
2回目	<p>2年間の学びについてPPT&動画を作成② チーム作成、役割分担 ①来年の1年生に伝えたいこと A: 日本での生活ルール B: 学校のルール(授業のルール) C: 学校のルール(先生とのルール) D: 日本語の勉強 E: 就職活動について F: 進学活動について G: お金について</p>	対面授業	<p>予習: チームで共有した情報を確認しておくこと(1時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(1時間)</p>
3回目	<p>2年間の学びについてPPT&動画を作成③ チーム作成、役割分担 ①来年の1年生に伝えたいこと A: 日本での生活ルール B: 学校のルール(授業のルール) C: 学校のルール(先生とのルール) D: 日本語の勉強 E: 就職活動について F: 進学活動について G: お金について</p>	対面授業	<p>予習: チームで共有した情報を確認しておくこと(1時間) 復習: どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(1時間)</p>
4回目	<p>2年間の学びについてPPT&動画を作成④ チーム作成、役割分担 ①来年の1年生に伝えたいこと A: 日本での生活ルール B: 学校のルール(授業のルール) C: 学校のルール(先生とのルール) D: 日本語の勉強 E: 就職活動について F: 進学活動について G: お金について 完成作品をGoogle classroomへ提出する</p>	対面授業	<p>予習: チームで共有した情報を確認しておくこと(1時間) 復習: どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(1時間)</p>
5回目	<p>学校紹介プロジェクト① 入学前や入学する学生に対して、短期大学の紹介動画を作成する アンケート調査を実施し、ニーズ分析を行う 必要な情報等の把握の方法を学ぶ Google formの使い方を学ぶ</p>	対面授業	<p>予習: インターネット上にある紹介動画を参考に、どのような工夫があるかをまとめておく(1時間) 復習: ニーズ調査の重要性を理解し、自分たちでニーズ調査ができるようになる(1時間)</p>

6回目	<p>学校紹介プロジェクト②</p> <p>チーム編成。チームごとに</p> <p>①脚本作り→プロット作り→コマ割り図作成</p> <p>②写真や図の収集</p> <p>③インタビュー相手の検討</p> <p>④全体計画</p> <p>を作成し、まとめる。実施する。</p>	対面授業	<p>予習:これまでの準備を振り返り、チーム活動に必要な事柄を、Google classroomに提出する(1時間)</p> <p>復習:構成を見直し、次回までに必要な事柄をまとめておく(1時間)</p>
7回目	<p>学校紹介プロジェクト③</p> <p>チームごとに</p> <p>①脚本作り→プロット作り→コマ割り図作成</p> <p>②写真や図の収集</p> <p>③インタビュー相手の検討</p> <p>④全体計画</p> <p>を作成し、まとめる。実施する。</p>	対面授業	<p>予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(1時間)</p> <p>復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(1時間)</p>
8回目	<p>学校紹介プロジェクト④</p> <p>チームごとに</p> <p>①脚本作り→プロット作り→コマ割り図作成</p> <p>②写真や図の収集</p> <p>③インタビュー相手の検討</p> <p>④全体計画</p> <p>を作成し、まとめる。実施する。</p>	対面授業	<p>予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(1時間)</p> <p>復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(1時間)</p>
9回目	<p>学校紹介プロジェクト⑤</p> <p>チームごとに</p> <p>①脚本作り→プロット作り→コマ割り図作成</p> <p>②写真や図の収集</p> <p>③インタビュー相手の検討</p> <p>④全体計画</p> <p>を作成し、まとめる。実施する。</p>	対面授業	<p>予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(1時間)</p> <p>復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(1時間)</p>
10回目	<p>学校紹介プロジェクト⑥ 提出</p> <p>チームごとに</p> <p>①脚本作り→プロット作り→コマ割り図作成</p> <p>②写真や図の収集</p> <p>③インタビュー相手の検討</p> <p>④全体計画</p> <p>を作成し、まとめる。作成物の提出</p>	対面授業	<p>予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(1時間)</p> <p>復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(1時間)</p>
11回目	<p>学校紹介プロジェクト⑦ 修正</p> <p>指摘を受けた部分について修正を行う</p> <p>改善を実施したのち、再提出を行う</p>	対面授業	<p>予習:これまでの準備を見直し、全体の完成を目指す(1時間)</p> <p>復習:構成を見直し、次までに各部分に修正が必要な部分に関して修正をする(1時間)</p>
12回目	<p>学校紹介プロジェクト⑧ 修正</p> <p>指摘を受けた部分について修正を行う</p> <p>改善を実施したのち、再提出を行う</p>	対面授業	<p>予習:全体の体裁等を確認しておく(1時間)</p> <p>復習:提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(1時間)</p>
13回目	<p>学校紹介プロジェクト 鑑賞会</p> <p>それぞれのチームの発表にコメントを入れて</p> <p>フィードバックを行う</p>	対面授業	<p>予習:配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(1時間)</p> <p>復習:本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(1時間)</p>

14回目	学校紹介プロジェクト 鑑賞会 それぞれのチームの発表にコメントを入れて フィードバックを行う これまでの活動を振り返ってのレポート作成	対面授業	予習:もらった評価を確認して おくこと(1時間) 復習:どの部分で、チームに 貢献し、何を学んだかを Google classroomに提出す る。表彰式の準備(1時間)
15回目	表彰式 これまでの活動を振り返って、ベストチューデ ント賞を選定	対面授業	予習:事前配布のアンケート フォームに回答しておくこと(1 時間) 復習:これまでの学習を学習 ノートにまとめ、1年間の学習 の振り返りをおこなう(1時間)
			授業外学修時間 30時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	なし
教科書・参考書	なし 随時配布プリントあり
履修条件	Awesome Sasebo!Ⅲを履修すること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り 得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1時間の予習が 求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっ かりと予習で語彙を調べてくること。 また、2年生は1年生のチューターの役割があるため、昨年の学びを自分の中で 授業前に復習しておくこと。また、チーム活動が求められるため、ハウレンソウを しっかりと実行できるように努力すること。
オフィスアワー	月曜日3コマ目(13:30~14:30)研究室
備考・メッセージ	・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参 加時間が75分にみえない場合も同様に欠席とみなす。

講義科目名称: 学外学修事前指導	授業コード:
英文科目名称: Preparation Seminar for Gap Term	ナンバリング: GY101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q3Q	1年	2単位	コース必修	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>Quarter1:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期学外学修の意義と目的を正しく理解する。 ・ギャップタームで各学生が選択する「(オンライン)留学」「インターンシップ」「サービラーニング」に関して、教員からの説明、2年生の経験談や学びをしっかりと聞き、「ギャップターム計画表」を綿密に作成することができる。 ・ギャップターム計画において、大学生として、正しく情報を収集分析し、適切な判断を行える力を養うことができる。
	<p>Quarter3:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Quarter1で作成した計画に従って、以下のカテゴリー別に詳細な直前準備を行う。準備を行う上で、自分の考え、一つの可能性、一つのものの見方にとらわれず、色々な角度から物事を考え、他人の意見に耳を傾け、十分に見直しを行えるようにする。 ①中期(3か月)留学: 渡航手続き、留学・ホームステイアプリケーション作成、異文化理解、ホームシック対応等 *希望者は、オンライン留学も可能。 ②インターンシップ: インターンシップ先の情報収集、履歴書作成、面接準備、ビジネスマナー等 ③サービラーニング: 内容の確認、実施方法の決定、対応マナー等

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャップイヤーの活動に必要な適切で十分な情報を得ることができる。 ・Google Classroom/Google Meet, Google Document, Google Photo, Zoomを使うことができる。 	・活動計画書作成	40%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャップイヤーの活動の目的を正しく理解できる。 ・ギャップイヤーの活動の際のリスクに関しても正しく分析できる。 ・ギャップイヤーの活動に関する評価システム(活動後に、自らの学びの確認と改善、さらなる学びのために)を理解し、運用できる。 	・授業や活動への参加・態度	20%
キャリアデザイン力	・ギャップイヤーの活動計画を立て、プレゼンテーションができる。	・活動計画のプレゼンテーション	40%
合計			100%
補足事項			

- ・「活動計画書作成」、「活動計画のプレゼンテーション」、「授業や活動への参加・態度」で、総合的に評価する。
- ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。
- ・プレゼンテーションに関しては、ルーブリック評価表を使用する。
<https://drive.google.com/file/d/1YOUijafajgaZ3thTOBrbU8S7lmhUnCr/view?usp=sharing>
- ・ギャップターム期間は、語学学習の一環として「暗唱(音読)マラソン」も実施する。
- ・「キャリアステップ(社会人基礎力及び職業適性)テスト」は、1回目は、「大学教育入門」の授業内で、第2回目は、2年次の「学外学修事後指導」の授業内で実施する。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目 4/11	オリエンテーション ・ギャップターム概要説明 ・ディプロマサプリの説明 ・Google Classroom/Meetの理解 →予定通り実施できた ・短期/中期/サンドイッチ留学の説明 ・その他、Q&A	対面授業	予習:特になし 復習:説明された内容を整理し、分からない点、質問事項を考えておく。(4時間)
2回目 4/18	ギャップターム概要説明 1)履修科目の確認作業(赤入れ) 2)培材大学より訪問あり 3)履歴書作成:*google documentで作成し、2年間追加修正し、就職の際に利用する。教員とシェアする。 4)留学(3ヶ月/短期/オンライン留学) →教員説明 *過去の学生のプレゼン使用 5)第1回ギャップターム希望調査 → google formへ回答 6) googleのアプリを全て携帯にダウンロード ・履修登録の確認 ・次回の予定(ワーキングホリデー協会)	対面授業	予習:ギャップタームに関して自分の希望を考えておく。(2時間) 復習:説明された内容を整理し、分からない点、質問事項を考えておく。(2時間)
3回目 4/25	ワーホリ留学の説明 (外部講師:日本ワーホリ協会) ・感想文/質問提出 ・Google Photoの理解 履歴書作成 *google documentで作成し、2年間追加修正し、就職の際に利用する。教員とシェアする。)	対面授業 (遠隔)	予習:ワーホリ留学とはどのようなものか事前に調べておく。(2時間) 復習:説明された内容を整理し、分からない点、質問事項を考えておく。(2時間)
4回目 5/2	NZ有給インターンシップ留学説明 ・ <u>ジーナ&パートナーズ</u> 履歴書作成 *google documentで作成し、2年間追加修正し、就職の際に利用する。教員とシェアする。)	対面授業	予習:NZ有給インターンシップ留学とはどのようなものか事前に調べておく。(2時間) 復習:説明された内容を整理し、分からない点、質問事項を考えておく。(2時間)

5回目 5/9	<p>NZ有給インターンシップ留学説明</p> <p>・Worldwide School of English</p> <p>履歴書作成</p> <p>*google documentで作成し、2年間追加修正し、就職の際に利用する。教員とシェアする。</p>	対面授業	<p>予習:国内有給インターンシップとはどのようなものか事前に調べておく。(2時間)</p> <p>復習:説明された内容を整理し、分からない点、質問事項を考えておく。(2時間)</p>
6回目 5/16 ↓ 5/15 月4	<p>2年生によるプレゼンへの参加</p> <p>・2年生によるギャップターム体験プレゼン(・医療事務講座説明)</p> <p>→ Q&A、コメント作成</p> <p>https://forms.gle/AAgwbxLiPLw75fnn6</p>	対面授業	<p>予習:履歴書作成のための情報収集をおこなう。(2時間)</p> <p>復習:完成させた履歴書に間違いがないかを再確認しておく(2時間)</p>
7回目 5/23 ↓ 5/29 月4	<p>2年生によるプレゼンへの参加</p> <p>・2年生によるギャップターム体験プレゼン(・医療事務講座説明)</p> <p>→ Q&A、コメント作成</p> <p>https://forms.gle/AAgwbxLiPLw75fnn6</p>	対面授業	<p>予習:ギャップタームでどのような体験ができるか/したいかを考えておく。(2時間)</p> <p>復習:先輩のプレゼンを聞き、感じたこと、学んだことを整理する。(2時間)</p>
8回目 6/6	<p>国内有給インターンシップ説明(外部講師:ダイブ)</p> <p>・感想文/質問提出</p> <p>----- 1Q 終了 -----</p> <p>* 次回は、3Qより</p>	対面授業	<p>予習:ギャップタームでどのような体験ができるか/したいかを考えておく。(2時間)</p> <p>復習:先輩のプレゼンを聞き、感じたこと、学んだことを整理する。(2時間)</p>
9回目 9/21	<p>ギャップターム準備</p> <p>・インターンシップ/サービ斯拉ーニングのどちらにするか確認</p> <p>* R4年度も、コロナの影響で留学は実施しない。3月にコロナが落ち着けば、短期研修の可能生はあり。</p>	対面授業	<p>予習:自分がどれを選択するかを保護者も交えて決めてくる。(2時間)</p> <p>復習:必要な事項の準備を始める。(2時間)</p>
10回目 9/28	<p>オンラインジャーナルの説明と記入</p> <p>・SLかインターンシップかの確認(数名)</p> <p>・オンライン日誌の書き方説明と基本情報入力(キャリアステップ情報を含む)</p> <p>・2年生のジャーナルを参考として提示する。</p> <p>・ダイブのやりとりなど、ジャーナルに書き始める。</p> <p>・インターンシップ参加条件の確認(体力、気力、髪の色、ピアス、爪 etc.)</p> <p>-----</p> <p>準備①</p> <p>「チームで働く力」の各項目の定義・エピソード・改善方法を書き出す。</p>	対面授業	<p>予習:自分がどれを選択するかを保護者も交えて決めてくる。(2時間)</p> <p>復習:ジャーナルに情報を追加する。(2時間)</p>
11回目	準備②	対面授業	<p>予習:指定する資料を読んでおく。(2時間)</p>

10/5	<ul style="list-style-type: none"> ・前回は引き続き「チームで働く力」の各項目の定義・エピソード・改善方法を書き出しの完成。 ・ギャップ計画作成(5つの目標等) <ul style="list-style-type: none"> → 完成していない人は、インターンシップへは送れません。 ・各自の履歴書更新 ・次回のグループでの意見発表(交換会)の準備 		<p>復習:ジャーナルに情報を追加する。(2時間)</p>
12回目 10/19	<p>準備③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内発表(ローテーション) ①「チームで働く力」の各項目の定義・エピソード・改善方法のグループディスカッション。 ②「5つの目標」全員発表 ← 次回?? <ul style="list-style-type: none"> * グループ決め(教員) * 司会を決めて、順番に答えてもらう。 ③T-shat 禅語探し <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・11/15(火)梶谷先生のエアライン講話の受講者確認 ・ダイブとの調整状況→日誌に書き出す。 	対面授業	<p>予習:プレゼンの準備を行う。(2時間)</p> <p>復習:ジャーナルに情報を追加する。(2時間)</p>
13回目 10/26	<ul style="list-style-type: none"> ◎(宿題)ダイブとの調整状況→日誌に書き出す。 ◎SLは、自分がやりたいことを書き出す。 ◎今年度用キャッチコピー(ロゴ)を考える。 ・個人、ペアグループを決めてプレゼン準備 ・各グループにgoogleslideを割当てる ・ロゴは、Awesomeに年号を入れる。 ・禅語(日本語&英語) <ul style="list-style-type: none"> * ポロシャツ、ステッカー用 * 留学/インターンシップ/サービ斯拉ーニング別教室で作業 	対面授業	<p>予習:ギャップタームの目標を考えておく。(2時間)</p> <p>復習:プレゼンテーションの練習をしておく。(2時間)</p>
14回目 11/2	<ul style="list-style-type: none"> * 留学/インターンシップ/サービ斯拉ーニング別教室で作業 ◎「5つの目標」の完成 ◎キャッチコピー投票 ◎自分が行くインターンシップ先情報の調査→インターンシップ日誌に書き出す(リンクを含む) <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ先名 ・URL ・期間 ・住所 ・自分の緊急連絡携帯番号(特徴) ・客室数: ・施設:温泉2か所(00の湯、。)、レストラン3か所(和食、イタリアン、中華) ・行き方など 	対面授業	<p>予習:プレゼンテーションの練習。(2時間)</p> <p>復習:プレゼンテーションの練習、及び日誌の書き方の確認をしておく。(2時間)</p>
15回目 11/9	<ul style="list-style-type: none"> ◎個別発表 ・自分のギャップ計画 	対面授業	<p>予習:ジャーナルを完成させる。(2時間)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・5つの目標 ◎キャッチコピー最終発表 ◎ギャップチーム前、最終確認 ・ギャップチームジャーナルへの書込み確認 ・保健室からの注意事項 ・教員からの最終注意事項 <p>https://docs.google.com/document/d/1YrMWE7HAq7aszB41mDURv8qdjH74kvKQF0R8eUhdTi8/edit?usp=sharing</p>		復習:ギャップチーム活動の直前の準備を行う(2時間)
16回目	<ul style="list-style-type: none"> 希望者のみ ◎航空業界への就職に関する講話 		授業外学修 60 時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	インターンシップ参加者は、「ビジネスマナー」を受講すること。
履修上の注意	ギャップチームでの経験は、これからの職業や進路選択に重要な時期になるので、真剣に取り組むこと。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	必要な知識・技術を吸収し、十分な準備をしてギャップイヤーに臨むこと。

講義科目名称: 留① 学外学修事前指導	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: GY101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年	2単位	コース必修	講義
担当教員				
チャウ、栃丸				

授業概要	<p>「学外学修事前指導」は「学外学修事前指導」と共に、国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で自己実現のための「生きる力」の育成を目的とした1Q2Qと4Qまで続く授業である。</p> <p>留学生の本授業では、3Qでの地域学習(高校での授業、小学校との交流授業など)の実施準備期間として、必要なプレゼンテーション能力や語学力、異文化対応能力等の育成を図る。チームでの活動が多いため、チーム力育成のための方法なども同時に学ぶ。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。	授業態度	10%
専門的知識や技能	画像などを用い、デザインを工夫したプレゼンテーションが作成できる。 また、必要で関心のある事柄に対し、適切な日本語で伝えることができる。	課題	40%
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々との関わりを通して、自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持・改善をしようと試みることができる。	課題	10%
課題解決能力	確認や見直しを行い、事前に計画をたて自分の考察を交えてチームで解決することができる。	授業態度	30%
キャリアデザイン力	佐世保市の教育現場に関わる事で、自己認識をし、生活者としての自分に気が付くことができる。さらに自ら関わる意識を持つことができる。	授業態度	10%
合計			100%

補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題50%、授業参加態度50%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目 (4/10)	<p>「オリエンテーション」</p> <p>自己紹介</p> <p>講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィード</p>	対面授業	<p>予習: 配布プリントを読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。 Google classroomのクラスに登録する(1時間)</p> <p>復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題を</p>

	バックの確認方法、教科書の確認をする		Googleclassroomをとおして提出する(1時間)
2回目 (4/17)	「面談」「授業の解説」 レゴで自己表現方法を学ぶ チームでの会話を増やす仕組み	対面授業	予習: 交流会での出し物のアイデアを考えておく(1時間) 復習: 自分のチームでの活動を振り返る。レポート提出(1時間)
3回目 (4/24)	「学外研修①」 海きらら研修、佐世保の観光地体験、表示の工夫などをチームで散策して調べる 資料等をまとめておく 交流会	対面授業	予習: これまでの準備を見直して、すぐに研修が開始できるようにしておく(1時間) 復習: 資料の共有などをclassroomを通して実施する(1時間)
4回目 (5/1)	「日本を知る、佐世保を知る①」 災害に備える学習 語彙を勉強する 災害に備える学習 ビデオを見る	対面授業	予習: 資料の共有などをclassroomを通して準備する(2時間) 復習: 段落を決定させ、書いたものを提出(2時間)
5回目 (5/15)	「学外研修②～パールシー～」 10:50 移動開始(マイクロバス) 11:15 1年生歓迎MT 11:50 パールシー散策 ※食事 12:50 乗り場集合乗船 13:00 乗船 14:00 写真撮影・水族館移動 ※ミッション実施 15:10 イルカショー(大水槽の上)集合 15:20 イルカショー観覧 15:40 外移動(オリエン:課題提出:資料・写真の共有) 16:00 解散移動開始(マイクロバス) 「情報機器のスキル:ミッション発表準備①」 動画・PPTなどプレゼンテーションに必要なスキルを学ぶ 活動の振り返り 振り返りアンケートに入力する。 また、活動に関してチーム内でインタビューをして動画にまとめる(役割決め)	対面授業	予習: 『伸ばす! 就活能力・ビジネス日本語力』IV課p79~85を読んでおく。未習語彙は調べておくこと。 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要な語彙などを覚えておく(2時間)
6回目 (5/15)	「日本を知る、佐世保を知る②」 (ハザードマップ作成実習) 自分の家付近でどのような災害に備えなければならないのか各自で調査する(避難場所の確認・撮影)	対面授業	予習: 『伸ばす! 就活能力・ビジネス日本語力』III課p67~73を読んでおく。未習語彙は調べておくこと(1時間) 復習: ミニテストと講演の内容を再確認する(1時間)
7回目	「情報機器のスキル②:発表準備」 チームごとに発表をまとめ、発表する。 発表の仕方は授業中に指示する	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙に関しては調べておくこと(1時間) 復習: 地図記号を覚える。相浦から短大までの地図のルートを確認しておく(1時間)
8回目	「日本を知る、佐世保を知る④」 災害に備える学習	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙に関しては調べておくこと(1時間)

	グループで討論する 災害に備える学習 発表		復習:地図記号を覚える。相浦から短大までの地図のルートを確認しておく(1時間)
9回目	「オープンキャンパス①」 6/11に行われたオープンキャンパスについての反省会	対面授業	予習:交流授業に関する質問を考えてくる(2時間) 復習:自分が交流授業をする時のイメージを文字起こしする(2時間)
10回目	「3Qへ向けて①」 3Qの交流授業に向けて、昨年の小学校交流授業を見学する 2年生へインタビューする	対面授業	予習:交流授業に関する質問を考えてくる(2時間) 復習:自分が交流授業をする時のイメージを文字起こしする(2時間)
11回目	チーム分け 「活動準備①」 リーダー決め、チームメンバー決め アイスブレイク 役割決めをして各役割の活動を明確にする	対面授業	予習:これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(2時間) 復習:資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)
12回目	「活動準備②」 活動に必要な物、タイムスケジュールなど計画を具体的に立てる PPT等の作成に取り掛かる	対面授業	予習:これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(2時間) 復習:資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)
13回目	「活動準備③」 活動に必要な物、タイムスケジュールなど計画を具体的に立てる PPT等の作成に取り掛かる	対面授業	予習:これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(2時間) 復習:資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)
14回目	「試演①」 実際に時間を計って、計画通りにしてみる 感想を出し合い、修正があれば修正を行う	対面授業	予習:自分の役割などを明確にしておく(2時間) 復習:構成を見直し、次までに修正が必要なものは見直す(2時間)
15回目	「修正①」 実際に時間を計りながら修正を加える 感想を出し合いチームとして、良いものになるように互いの意見を共有する	対面授業	予習:修正が加わった部分に関して、ひとりりでできる部分は事前にしておく(2時間) 復習:互いの意見をまとめて提出する(2時間)
16回目	「発表」 作成物の発表(PPT、配布物、掲示物)を行う。 授業アンケートの実施	対面授業	予習:発表会の資料に目を通しておく(2時間) 復習:作成物を皆で共有できる場所に保存し、内容確認をしておく(2時間)
			授業外学修時間 50時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	なし

たは事項等	
教科書・参考書	『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』プレゼンテーション
履修条件	3Qの実践Awesome SaseboIと実践Awesome SaseboIIを併せて履修すること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること また、本授業はチーム活動が中心であるため、全体をみながらコミュニケーションを取ることが求められている。積極的な行動が望ましい。
オフィスアワー	金曜日2コマ目(11:00～12:00)研究室
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはクラスルームへ連絡すること

講義科目名称:海外文化事情 I (アジア圏短期研修)	授業コード:
英文科目名称:Foreign Culture Study I	ナンバリング:GY301

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>授業で学んでいる外国語を海外で試し、知識として得た異文化情報を実際に海外で直に感じてみる短期(約10日間)海外研修プログラム(オンラインでの留学を含む)。</p> <p>渡航前に、訪問する国についての文化、言語、観光地、マナー等を事前に学習する。</p> <p>主に、アジア諸国の韓国、中国、台湾の姉妹大学を訪問し、現地の学生と交流活動をおこなう。</p> <p>滞在中、自分たちで地元のスーパーなどで買物や観光を行い、現地の人と同じ生活体験する。可能な限り、現地の言語を使ってもらうために、現地での手続き等もできるだけ学生で行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> 海外渡航する場合に必要な情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。 	レポート評価	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> 姉妹校の学生との交流会(又は、ホームステイ)などを通して現地の文化を理解することができる。 	レポート評価	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> 帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。 	プレゼンテーションの評価	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> レポート(70%)、最終プレゼンテーション(30%)の割合で総合評価を行う。 費用(交通費、滞在費、現地プログラム費、食費、等)等は、事前にオリエンテーションで詳細に説明する。 授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・渡航先に関する説明	対面授業	予習:渡航先の情報を収集する。(2時間)

	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航の目的やプログラム概要について説明する。 ・既に参加したことのある先輩からの説明。 ・参加予定者からの質疑応答 		<p>復習:説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。(2時間)</p>
2回目	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航準備1 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備 	対面授業	<p>予習:渡航先の情報を収集する。(2時間)</p> <p>復習:説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)</p>
3回目	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航準備2 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備 	対面授業	<p>予習:渡航先の情報を収集する。(2時間)</p> <p>復習:説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)</p>
4回目	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航準備3 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備 	対面授業	<p>予習:渡航先の情報を収集する。(2時間)</p> <p>復習:説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)</p>
5回目	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航準備4 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備 	対面授業	<p>予習:渡航先の情報を収集する。(2時間)</p> <p>復習:説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)</p>
6回目	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航準備5 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備 	対面授業	<p>予習:渡航先の情報を収集する。(2時間)</p> <p>復習:説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)</p>
7回目 ～ 11回目	渡航先での活動	対面授業	<p>予習:渡航先のプログラムに従い予習を行う。(時間:プログラムの期間により異なる)</p> <p>復習:プログラム参加後の研修内容の復習を行う。(時間:プログラムの期間により異なる)</p>
12回目	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の振り返り1 ・研修を振り返りレポートの作成。 ・レポートを元にPPTのプレゼンテーションを作成。 	対面授業	<p>予習:現地での研修内容の振り返りを行う。(2時間)</p> <p>復習:作成中のレポートとプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)</p>

13回目	研修内容の振り返り2 ・研修を振り返りレポートの作成。 ・レポートを元にPPTのプレゼンテーションを作成。	対面授業	予習:現地での研修内容の振り返りを行う。(2時間) 復習:作成中のレポートとプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
14回目	研修内容の振り返り2 ・研修を振り返りレポートの作成。 ・レポートを元にPPTのプレゼンテーションを作成。	対面授業	予習:現地での研修内容の振り返りを行う。(2時間) 復習:作成中のレポートとプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
15回目	最終プレゼンテーション	対面授業	予習:プレゼンの最終準備を行う。(2時間) 復習:自分や他の学生のプレゼンテーションを振り返り、研修での学びを再確認する。(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修(60時間以上)

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし。一般の留学に関する本や雑誌を各自必ず読んでおくこと。 * 留学ジャーナル、地球の歩き方シリーズ
履修条件	授業(遅刻・欠席数)や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという強い意思があること。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、渡航先や研修内容が異なることがある。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	1)授業への出席状況が悪く、短大での生活態度が留学にふさわしくないと判断される場合は、申込後も留学を辞退させることもある。 2)自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込むこと。また、留学先では、自己責任の部分がかかなり高くなることを理解しておくこと。 3)渡航前に、先輩や長崎短大の留学生から様々な情報を得て、有意義な研修になるよう、努めること。

講義科目名称:海外文化事情Ⅱ(英語圏短期研修)	授業コード:
英文科目名称:Foreign Culture StudyⅡ	ナンバリング:GY302

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>授業で学んでいる外国語を海外で試し、知識として得た異文化情報を実際に海外で直に感じてみる短期(約10日間)海外研修プログラム(オンライン留学も含む)。渡航前に、訪問する国についての文化、言語、観光地、マナー等を事前に学習する。</p> <p>滞在中、自分たちで地元のスーパーなどで買物や観光を行い、現地の人と同じ生活体験を行う。可能な限り、現地の言語を使ってもらうために、現地での手続き等もできるだけ学生で行う。渡航先は、参加者の希望や人数で毎年変更する可能性がある。これまで、カナダ、オーストラリア、イギリス、アメリカ(ハワイ)、ニュージーランドへの研修を実施した。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> 海外渡航する場合に必要な情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。 	レポート評価	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> 姉妹校の学生との交流会(又は、ホームステイ)などを通して現地の文化を理解することができる。 	レポート評価	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> 帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。 	プレゼンテーションの評価	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> レポート(70%)、最終プレゼンテーション(30%)の割合で総合評価を行う。 費用(交通費、滞在費、現地プログラム費、食費、等)等は、事前にオリエンテーションで詳細に説明する。 授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション 渡航先に関する説明 	対面授業	予習:渡航先の情報を収集する。(2時間)

	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航の目的やプログラム概要について説明する。 ・既に参加したことのある先輩からの説明。 ・参加予定者からの質疑応答 		<p>復習:説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。(2時間)</p>
2回目	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航準備1 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備 	対面授業	<p>予習:渡航先の情報を収集する。(2時間)</p> <p>復習:説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)</p>
3回目	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航準備2 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備 	対面授業	<p>予習:渡航先の情報を収集する。(2時間)</p> <p>復習:説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)</p>
4回目	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航準備3 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備 	対面授業	<p>予習:渡航先の情報を収集する。(2時間)</p> <p>復習:説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)</p>
5回目	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航準備4 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備 	対面授業	<p>予習:渡航先の情報を収集する。(2時間)</p> <p>復習:説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)</p>
6回目	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航準備5 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備 	対面授業	<p>予習:渡航先の情報を収集する。(2時間)</p> <p>復習:説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)</p>
7回目 ～ 11回目	渡航先での活動	対面授業	<p>予習:渡航先のプログラムに従い予習を行う。(時間:プログラムの期間により異なる)</p> <p>復習:プログラム参加後の研修内容の復習を行う。(時間:プログラムの期間により異なる)</p>
12回目	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の振り返り1 ・研修を振り返りレポートの作成。 ・レポートを元にPPTのプレゼンテーションを作成。 	対面授業	<p>予習:現地での研修内容の振り返りを行う。(2時間)</p> <p>復習:作成中のレポートとプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)</p>

13回目	研修内容の振り返り2 ・研修を振り返りレポートの作成。 ・レポートを元にPPTのプレゼンテーションを作成。	対面授業	予習:現地での研修内容の振り返りを行う。(2時間) 復習:作成中のレポートとプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
14回目	研修内容の振り返り2 ・研修を振り返りレポートの作成。 ・レポートを元にPPTのプレゼンテーションを作成。	対面授業	予習:現地での研修内容の振り返りを行う。(2時間) 復習:作成中のレポートとプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
15回目	最終プレゼンテーション	対面授業	予習:プレゼンの最終準備を行う。(2時間) 復習:自分や他の学生のプレゼンテーションを振り返り、研修での学びを再確認する。(2時間)
			授業外学修(60時間以上)

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし。一般の留学に関する本や雑誌を各自必ず読んでおくこと。 * 留学ジャーナル、地球の歩き方シリーズ
履修条件	授業(遅刻・欠席数)や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという強い意思があること。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、渡航先や研修内容が異なることがある。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	1)授業への出席状況が悪く、短大での生活態度が留学にふさわしくないと判断される場合は、申込後も留学を辞退させることもある。 2)自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込むこと。また、留学先では、自己責任の部分がかなり高くなることを理解しておくこと。 3)渡航前に、先輩や長崎短大の留学生から様々な情報を得て、有意義な研修になるよう、努めること。

講義科目名称:海外文化事情Ⅲ(中期留学)	授業コード:
英文科目名称:Foreign Culture Study Ⅲ	ナンバリング:GY303

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q5Q	1年~2年	6単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>海外に約3ヶ月間留学するプログラム(オンライン留学も含む)。但し、希望者が少数の場合、渡航できない国もある。 (英語圏)カナダ、オーストラリア、イギリス、ニュージーランド (アジア圏)韓国、中国、台湾 現地での授業内容(例) * 留学する国や語学学校や大学により異なる。 1 新入生歓迎オリエンテーション 2 プレイスメントテスト 3 語学学習(月~金、週30時間程度) 4 セルフスタディ(スーパーバイザ指導のもと) 5 コンピュータやランゲージラボを使用した学習 6 定期的な授業外の課外活動(フィードトリップ、地域でのボランティア活動、等々) 7 学期末テスト(評価あり) 8 成績書及び修了証書授与</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・海外渡航する場合に必要な情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。 	レポート評価	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹校の学生との交流会(又は、ホームステイ)などを通して現地の文化を理解することができる。 	レポート評価	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。 	プレゼンテーションの評価	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・レポート(70%)、最終プレゼンテーション(30%)の割合で総合評価を行う。 ・費用(交通費、滞在費、現地プログラム費、食費、等)等は、事前にオリエンテーションで詳細に説明する。 ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・渡航先に関する説明 ・渡航の目的やプログラム概要について説明する。 ・既に参加したことのある先輩からの説明。 ・参加予定者からの質疑応答	対面授業	予習: 渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習: 説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。(2時間)
2回目	渡航準備1 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備	対面授業	予習: 渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習: 説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
3回目	渡航準備2 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備	対面授業	予習: 渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習: 説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
4回目	渡航準備3 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備	対面授業	予習: 渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習: 説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
5回目	渡航準備4 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備	対面授業	予習: 渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習: 説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
6回目	渡航準備5 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備	対面授業	予習: 渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習: 説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
7回目 ～ 11回目	渡航先での活動	対面授業	予習: 渡航先のプログラムに従い予習を行う。(時間: プログラムの期間により異なる) 復習: プログラム参加後の研修内容の復習を行う。(時間: プログラムの期間により異なる)
12回目	研修内容の振り返り1 ・研修を振り返りレポートの作成。	対面授業	予習: 現地での研修内容の振り返りを行う。(2時間)

	・レポートを元にPPTのプレゼンテーションを作成。		復習:作成中のレポートとプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
13回目	研修内容の振り返り2 ・研修を振り返りレポートの作成。 ・レポートを元にPPTのプレゼンテーションを作成。	対面授業	予習:現地での研修内容の振り返りを行う。(2時間) 復習:作成中のレポートとプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
14回目	研修内容の振り返り2 ・研修を振り返りレポートの作成。 ・レポートを元にPPTのプレゼンテーションを作成。	対面授業	予習:現地での研修内容の振り返りを行う。(2時間) 復習:作成中のレポートとプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
15回目	最終プレゼンテーション	対面授業	予習:プレゼンの最終準備を行う。(2時間) 復習:自分や他の学生のプレゼンテーションを振り返り、研修での学びを再確認する。(2時間)
			授業外学修(180時間以上)

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし。一般の留学に関する本や雑誌を各自必ず読んでおくこと。 * 留学ジャーナル、地球の歩き方シリーズ
履修条件	授業(遅刻・欠席数)や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという強い意思があること。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、渡航先や研修内容が異なることがある。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	1)授業への出席状況が悪く、短大での生活態度が留学にふさわしくないと判断される場合は、申込後も留学を辞退させることもある。 2)自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込むこと。また、留学先では、自己責任の部分がかかなり高くなることを理解しておくこと。 3)渡航前に、先輩や長崎短大の留学生から様々な情報を得て、有意義な研修になるよう、努めること。

講義科目名称: インターンシップ I	授業コード:
英文科目名称: Internship I	ナンバリング: GY304

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>将来、ホスピタリティビジネス(サービス業)に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を実践で学び、働くことの本質を体験から学ぶ。</p> <p>「学外学修事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。</p> <p>インターンシップ期間中、参加者は毎日、インターネット上(google document)の業務記録日誌「ギャップタームジャーナル」に業務内容や感想を記録し、教員がコメントを記入する。</p> <p>インターンシップ終了後、「学外学修事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。	インターンシップジャーナルの記入状況と内容 受入先評価	30%
確かな専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	<p>【主体性】与えられた役割に積極的に取り組むことができる。</p> <p>【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。</p> <p>【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。</p>	インターンシップジャーナルの記入状況と内容 受入先評価	70%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、毎日のインターンシップジャーナル記入状況と内容(70%)、受入先評価(30%)の割合で総合評価を行う。 ・インターンシップの就業日数で単位を算出する。* 授業中に説明。 ・毎日欠かさず、ギャップタームジャーナルに業務内容、生活状況、感想を書き込むこと。 ・(問題がない範囲で)写真や動画も記録し、ギャップタームのプレゼンテーション作成時に利用できるようにする。 ・学生の書く日誌に対しては、担当教員がコメントを書き支援等のフィードバックを行う。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目 ～ 15回目	インターンシップ先での勤務体制、就業規則等に従い、就業体験を行う。	対面での活動だが、オンラインで日誌確認	予習:やるべき業務内容を確認する。(2時間) 復習:実施した業務内容を振り返り、次の業務の準備を行う。2時間)
16回目	まとめ	対面での活動だが、オンラインで日誌確認	オンラインジャーナルの最終確認とまとめ。 授業外学修(60時間以上)*就業日数により異なる。

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	原則「ビジネスマナー」の授業を履修していること
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。 上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) *その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。 積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称: インターンシップⅡ	授業コード:
英文科目名称: Internship Ⅱ	ナンバリング: GY305

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>将来、ホスピタリティビジネス(サービス業)に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を実践で学び、働くことの本質を体験から学ぶ。</p> <p>「学外学修事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。</p> <p>インターンシップ期間中、参加者は毎日、インターネット上(google document)の業務記録日誌「ギャップタームジャーナル」に業務内容や感想を記録し、教員がコメントを記入する。</p> <p>インターンシップ終了後、「学外学修事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。	インターンシップジャーナルの記入状況と内容 受入先評価	30%
確かな専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	<p>【主体性】与えられた役割に積極的に取り組むことができる。</p> <p>【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。</p> <p>【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。</p>	インターンシップジャーナルの記入状況と内容 受入先評価	70%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、毎日のインターンシップジャーナル記入状況と内容(70%)、受入先評価(30%)の割合で総合評価を行う。
- ・インターンシップの就業日数で単位を算出する。* 授業中に説明。
- ・毎日欠かさず、ギャップタームジャーナルに業務内容、生活状況、感想を書き込むこと。
- ・(問題がない範囲で)写真や動画も記録し、ギャップタームのプレゼンテーション作成時に利用できるようにする。
- ・学生の書く日誌に対しては、担当教員がコメントを書き支援等のフィードバックを行う。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目 ～ 15回目	インターンシップ先での勤務体制、就業規則等に従い、就業体験を行う。	対面での活動だが、オンラインで日誌確認	予習:やるべき業務内容を確認する。(2時間) 復習:実施した業務内容を振り返り、次の業務の準備を行う。2時間)
16回目	まとめ	対面での活動だが、オンラインで日誌確認	オンラインジャーナルの最終確認とまとめ。 授業外学修(60時間以上)*就業日数により異なる。

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	原則「ビジネスマナー」の授業を履修していること
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。 上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) *その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。 積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称: インターンシップⅢ	授業コード:
英文科目名称: Internship Ⅲ	ナンバリング: GY306

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>将来、ホスピタリティビジネス(サービス業)に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を実践で学び、働くことの本質を体験から学ぶ。</p> <p>「学外学修事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。</p> <p>インターンシップ期間中、参加者は毎日、インターネット上(google document)の業務記録日誌「ギャップタームジャーナル」に業務内容や感想を記録し、教員がコメントを記入する。</p> <p>インターンシップ終了後、「学外学修事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。	インターンシップジャーナルの記入状況と内容 受入先評価	30%
確かな専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	<p>【主体性】与えられた役割に積極的に取り組むことができる。</p> <p>【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。</p> <p>【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。</p>	インターンシップジャーナルの記入状況と内容 受入先評価	70%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、毎日のインターンシップジャーナル記入状況と内容(70%)、受入先評価(30%)の割合で総合評価を行う。
- ・インターンシップの就業日数で単位を算出する。* 授業中に説明。
- ・毎日欠かさず、ギャップタームジャーナルに業務内容、生活状況、感想を書き込むこと。
- ・(問題がない範囲で)写真や動画も記録し、ギャップタームのプレゼンテーション作成時に利用できるようにする。
- ・学生の書く日誌に対しては、担当教員がコメントを書き支援等のフィードバックを行う。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目 ～ 15回目	インターンシップ先での勤務体制、就業規則等に従い、就業体験を行う。	対面での活動だが、オンラインで 日誌確認	予習:やるべき業務内容を確認する。(2時間) 復習:実施した業務内容を振り返り、次の業務の準備を行う。2時間)
16回目	まとめ	対面での活動だが、オンラインで 日誌確認	オンラインジャーナルの最終確認とまとめ。 授業外学修(60時間以上)*就業日数により異なる。

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	原則「ビジネスマナー」の授業を履修していること
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。 上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) *その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。 積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称: インターンシップⅣ	授業コード:
英文科目名称: Internship IV	ナンバリング: GY401

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>将来、ホスピタリティビジネス(サービス業)に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を実践で学び、働くことの本質を体験から学ぶ。</p> <p>「学外学修事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。</p> <p>インターンシップ期間中、参加者は毎日、インターネット上(google document)の業務記録日誌「ギャップタームジャーナル」に業務内容や感想を記録し、教員がコメントを記入する。</p> <p>インターンシップ終了後、「学外学修事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。	インターンシップジャーナルの記入状況と内容 受入先評価	30%
確かな専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	<p>【主体性】与えられた役割に積極的に取りかかることができる。</p> <p>【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。</p> <p>【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。</p>	インターンシップジャーナルの記入状況と内容 受入先評価	70%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、毎日のインターンシップジャーナル記入状況と内容(70%)、受入先評価(30%)の割合で総合評価を行う。 ・インターンシップの就業日数で単位を算出する。* 授業中に説明。 ・毎日欠かさず、ギャップタームジャーナルに業務内容、生活状況、感想を書き込むこと。 ・(問題がない範囲で)写真や動画も記録し、ギャップタームのプレゼンテーション作成時に利用できるようにする。 ・学生の書く日誌に対しては、担当教員がコメントを書き支援等のフィードバックを行う。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目 ～ 15回目	インターンシップ先での勤務体制、就業規則等に従い、就業体験を行う。	対面での活動だが、オンラインで日誌確認	予習:やるべき業務内容を確認する。(2時間) 復習:実施した業務内容を振り返り、次の業務の準備を行う。2時間)
16回目	まとめ	対面での活動だが、オンラインで日誌確認	オンラインジャーナルの最終確認とまとめ。 授業外学修(60時間以上)*就業日数により異なる。

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	原則「ビジネスマナー」の授業を履修していること
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。 上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) *その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。 積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称: 留① 実践Awesome Sasebo! I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: GY307

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
チャウ／柝丸				

授業概要	<p>「実践Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で1年次の3Qに設定されている、クォーターでの比較的自由な時間を活用してこれまで得た知識を各々の定めたフィールドで実践を行うものである。</p> <p>留学生を対象とした本授業では、自己がもつ言語社会を背景に加えて、これまで学び、体験した知識を用いて、地域の様々な課題解決に挑戦しながら自己を振り返る機会となるように組み立てられている。</p> <p>実践Awesome Sasebo! I では、2年生のチームが主体となって、留学生1年生とそれぞれチームを組み、佐世保地域の課題解決に関するアクティビティを計画・実践しながら交流し、人、文化を理解しながら具体的な解決方法解決・実践を学ぶだけでなく、1年生が主体となって、地域の小学校や高校へ赴き、異文化授業などを展開する。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動することができる	授業態度	5%
専門的知識や技能	日本語で学校で想定できる事態に対して対処することができる。 また、動画や画像を使用し、相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料をつくることができる	課題	30%
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、新たな視点に気づく	課題	10%
課題解決能力	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながら目標に粘り強く取り組むことができる	授業態度	50%
キャリアデザイン力	長崎県や佐世保市のニーズを把握し、就職・進学の見点を持つことができる	授業態度	5%
合計			100%

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題40%、授業参加態度60%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題についての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登	対面授業	予習: Googleclassroomのクラスに登録する(2時間)

	録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする Google Classroomへの発表資料アップロードが完了しているか確認し、チームに分かれて調整を行う スクリプトの提出を行う		復習:本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
2回目	相浦小学校との交流授業① 小学校へ出す招待状を作る 手紙の書き方を学ぶ、丁寧に書く、読む人のことを考えた書き方など「配慮」の姿勢を学ぶ	対面授業	予習:配布プリントを読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習:本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
3回目	相浦小学校との交流授業② 来た時の、プレゼント準備など、受け入れた後の準備 最終チェックを行う 小学生の質問に対して、返答の準備を行う	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)
4回目	相浦小学校との交流授業③ 来た時の、プレゼント準備など、受け入れた後の準備 最終チェックを行う 小学生の質問に対して、返答の準備を行う	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
5回目	「相浦小学校交流会A-①」 相浦小学校の児童と共に「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー 茶道体験	対面授業	予習:これまでの準備を見直して、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習:構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
6回目	相浦小学校交流会A-② 相浦小学校の児童と共に「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー 茶道体験	対面授業	予習:これまでの準備を見直して、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習:構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
7回目	「相浦小学校交流会B-①」 相浦小学校の児童と共に「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー 茶道体験	対面授業	予習:これまでの準備を見直して、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習:構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
8回目	「相浦小学校交流会B-②」 相浦小学校の児童と共に「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ	対面授業	予習:これまでの準備を見直して、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習:構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)

	学校ツアー 茶道体験		
9回目	相浦小学校活動の記録① それぞれのチームで、 ①引継ぎプレゼンチーム ②お礼状チーム に分かれ、来年の活動のための引継ぎデータ、プレゼンを作成する	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
10回目	相浦小学校活動の記録③ それぞれのチームで、 ①引継ぎプレゼンチーム ②お礼状チーム に分かれ、来年の活動のための引継ぎデータ、プレゼンを作成する	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
11回目	相浦小学校活動の発表 それぞれのチームで、 ①引継ぎプレゼンチーム ②お礼状チーム に分かれ、これまで実行してきたものを発表する。フィードバックをおこない、修正が必要なもの、箇所に関して認識する	対面授業	予習:これまでの準備を見直して、全体の完成を目指す(2時間) 復習:構成を見直し、次までに各部分に必要なものを見直す(2時間)
12回目	相浦小学校活動の修正・感想 それぞれのチームで、 ①引継ぎプレゼンチーム ②お礼状チーム に分かれ、修正が必要なもの、箇所に関して修正を行う。感想レポートの作成。	対面授業	予習:全体の体裁等を確認しておく(2時間) 復習:提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(2時間)
13回目	佐世保の観光業について知る①導入 佐世保市の特徴を知る(人口・産業など) 観光業と留学生の関係について理解する	対面授業	予習:配布プリントを読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習:本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
14回目	佐世保の観光業について知る②導入 市役所の観光課が佐世保の観光業に関して説明する ・観光業とコロナ ・佐世保市の観光に対する取り組みを学ぶ	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
15回目	佐世保の観光業について知る③実施 【ハウステンボスの外国人招致の工夫や対策を学ぶ】 チームごとにテーマに分けて取材、データ、画像、従業員へのインタビューなどを行う ※コロナの状況に応じて変更有	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
			授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし

教科書・参考書	なし 随時配布プリントあり
履修条件	2Q学外学修事前指導、地域と人々を履修すること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。
オフィスアワー	月曜日4コマ目(15:00~16:00)研究室
備考・メッセージ	遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分にみえない場合も同様に欠席とみなす。

講義科目名称: 留① 実践Awesome Sasebo! II	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: GY308

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
チャウ／栃丸				

授業概要	<p>「実践Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で1年次の3Qに設定されている、クォーターでの比較的自由な時間を活用してこれまで得た知識を各々の定めたフィールドで実践を行うものである。</p> <p>留学生を対象とした本授業では、自己がもつ言語社会を背景に加えて、これまで学び、体験した知識を用いて、地域の様々な課題解決に挑戦しながら自己を振り返る機会となるように組み立てられている。</p> <p>実践Awesome Sasebo! II では、2年生のチームが主体となってコーチングスキルなどを学ぶ他の授業と連携し、留学生1年生とそれぞれチームを組み、佐世保地域の課題解決に関するアクティビティを計画・実践しながら交流する。また、人、文化を理解しながら具体的な解決方法解決・実践を学ぶだけでなく、1年生が主体となって、地域の小学校や高校へ赴き、異文化授業などを展開する。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動することができる。	授業態度	5%
専門的知識や技能	日本語で学校で想定できる事態に対して対処することができる。 また、動画や画像を使用し、相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料をつくることことができる。	課題	30%
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、新たな視点に気づく。	課題	10%
課題解決能力	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながら目標に粘り強く取り組むことができる。	授業態度	50%
キャリアデザイン力	長崎県や佐世保市のニーズを把握し、就職・進学の見点を持つことができる。	授業態度	5%
合計			100%

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題40%、授業参加態度60%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題についての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする 相浦小学校との交流授業① 日本語での手紙の書き方を学ぶ またお礼文化も同時に学習する	対面授業	予習: Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
2回目	東翔高校との交流授業準備① 交流授業の意義を再確認する 留学生の地域に果たす役割と、高校生への影響を考える 異文化理解が必要な理由をSDGsの概念を用いて理解する	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
3回目	東翔高校との交流授業準備② 交流授業のチーム構成、役割を決める タイムスケジュールに沿って授業を構成する 必要な物品等を準備する	対面授業	予習: チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習: どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)
4回目	東翔高校との交流授業準備③ 交流授業のスク립ト提出、練習を行う	対面授業	予習: 全体の体裁等を確認しておく(2時間) 復習: 提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(2時間)
5回目	相浦小学校交流会A-1のフィードバック 最初のクラスを実施して感じたことをチーム内でシェアし、その後クラス全体で共有する 改善策を考え、実施できるレベルまで考える 必要な物品等があれば、早急に準備する	対面授業	予習: これまでの活動を見直し、すぐに修正が開始できるようにしておく(2時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
6回目	相浦小学校交流会A-1フィードバック 全体のまとめをチームで行い、クラス全体のまとめを実施 活動のデータ、動画、写真の収集を行う	対面授業	予習: これまでの準備を見直し、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
7回目	相浦小学校交流会B-1のフィードバック 最初のクラスを実施して感じたことをチーム内でシェアし、その後クラス全体で共有する 改善策を考え、実施できるレベルまで考える 必要な物品等があれば、早急に準備する	対面授業	予習: これまでの活動を見直し、すぐに修正が開始できるようにしておく(2時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
8回目	相浦小学校交流会B-1フィードバック 全体のまとめをチームで行い、クラス全体のまとめを実施 活動のデータ、動画、写真の収集を行う	対面授業	予習: これまでの準備を見直し、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
9回目	東翔高校との交流授業準備④ 交流授業の発音チェック、練習を行う	対面授業	予習: チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習: どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会

			の準備(2時間)
10回目	東翔高校との交流授業試演① 2年生から意見・フィードバックをもらう	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
11回目	東翔高校との交流授業試演②訂正 2年生から意見・フィードバックをもらったものを修正する	対面授業	予習:これまでの準備を見直して、全体の完成を目指す(2時間) 復習:構成を見直し、次までに各部分に必要なものを見直す(2時間)
12回目	東翔高校交流授業発表 準備したものを本番当日と同じようにしてみる	対面授業	予習:全体の体裁等を確認しておく(2時間) 復習:提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(2時間)
13回目	佐世保の観光業について知る①計画 【ハウステンボスの外国人招致の工夫や対策を学ぶ】 ・看板・案内表示 ・料金 ・交通案内(そこまでのアプローチ) ・宿泊 ・食事 ・お土産 チームごとにテーマに分けて取材、データ、画像、従業員へのインタビューなどを行う、役割決め ※コロナの状況に応じて変更有	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(2時間)
14回目	佐世保の観光業について知る②計画 【ハウステンボスの外国人招致の工夫や対策を学ぶ】 ・看板・案内表示 ・料金 ・交通案内(そこまでのアプローチ) ・宿泊 ・食事 ・お土産 チームごとにテーマに分けて取材、データ、画像、従業員へのインタビュー計画を行う ※コロナの状況に応じて変更有	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(2時間)
15回目	佐世保の観光業について知る③実施 【ハウステンボスの外国人招致の工夫や対策を学ぶ】 チームごとにテーマに分けて取材、データ、画像、従業員へのインタビューなどを行う ※コロナの状況に応じて変更有	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(2時間)
			授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
-----------	----

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	なし 随時配布プリントあり
履修条件	2Q学外学修事前指導、地域と人々を履修すること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。
オフィスアワー	月曜日4コマ目(15:00~16:00)研究室
備考・メッセージ	遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分にみえない場合も同様に欠席とみなす。

講義科目名称:学外学修事後指導(日)	授業コード:
英文科目名称:Follow-up Seminar for Gap Term	ナンバリング:GY402

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>ギャップタームで体験したことを詳細に言語化し、次の学びや、キャリアへ繋がります。</p> <p>① 自分が体験したことを客観的に捉え、正しく文章で表現できる。自分で設定した5つの目標に対する自己評価を行う(日誌に追加)。 https://docs.google.com/document/d/1Zkls4fzREtIf9a-Mvh8nFuO5itQnNU-0KTQOYaU40Tg/edit</p> <p>② プレゼンテーション用のgoogleスライド(google フォト、googleドライブ)を使い、効果的なプレゼンテーションを作成できる。</p> <p>③ スライドを使い、口頭で的確にプレゼンテーションをすることができる。 * ルーブリック評価表あり。</p> <p>(ギャップタームの振り返り)</p> <p>① ポジティブな思い・経験(箇条書き)</p> <p>② ネガティブな思い・経験(箇条書き)</p> <p>③ 5W1H(仕事の日のスケジュール、休日の過ごし方なども含む)</p> <p>④ 学んだ事</p> <p>⑤ 残された短大生活をどうするか(目標など)</p> <p>⑥ 次年度参加する後輩へ伝えたいこと/アドバイス</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	・振り返りを第三者にも分かりやすくスライドを作成し、プレゼンテーションができる。 ・Google Slideを使うことができる。	・プレゼンテーション	50%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	・ギャップタームの経験を詳細に分析し、振り返り(体験の言語化)が正しく文章化できる。	・文書作成 ・授業や活動への参/態度	50%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・本授業では、文書作成・授業や活動への参加態度(50%)、プレゼンテーション(50%)の割合で、総合評価します。			

・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。
 ・プレゼンテーションに関しては、ルーブリック評価表を使用する。
<https://drive.google.com/file/d/1YOUijafajqaZ3thTOBrbU8S7ImhUncr-/view?usp=sharing>
 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<p>オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の目的と内容説明 ・各個人にGOOGLE SLIDEを割当、教員と共有 ・GOOGLESIDEの作り方に関する動画を視聴し、スライド作成開始(タイトルと学籍番号を記入) <p>https://www.youtube.com/playlist?list=PLHv_165v6sJSYfCKRtxq1F6aE0RhBA8aZ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディプロマサプリの説明 →第13回目に行く履歴書更新とのリンクを説明 ・Google documentの使い方を動画で確認 	対面授業	<p>予習:ギャップ中に書いた日誌を読み返し、体験の言語化の準備。(2時間)</p> <p>復習:授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。(2時間)</p>
2回目	<p>ギャップタームの振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギャップタームジャーナルの確認し、未完成部分の記入 <p>https://drive.google.com/drive/folders/16BgBCOJDzU7e0fLUXsaQk9TKjDgsZ-M3?usp=share_link</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの開始/終了をgoogleformに登録。 <p>https://forms.gle/7x5qpimSbHSRt2HE7</p> <p>(時間があれば)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度slideの提示。 ・昨年度プレゼンの動画の提示。 	対面授業	<p>予習:第1回目のキャリアステップの結果の振り返り(2時間)</p> <p>復習:授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。(2時間)</p>
3回目	<ul style="list-style-type: none"> ・マインドマップの作り方を教えて、A3用紙を配布し、マインドマップで振り返りを書き出させる。 <p>ギャップタームの振り返り (グループ単位で1人ずつ発表し、体験を語る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループを提示 * 何度も人前で話すことにより、しっかりとした自分の意見をまとめ、プレゼン用スライド作成の準備をおこなう。 * ネガティブな経験も、将来の自分にとってポジティブなものにするように。 <p>(授業の流れ) 1)グループに別れる</p>	対面授業	<p>予習:ギャップ中に書いた日誌を読み返し、体験の言語化の準備。(2時間)</p> <p>復習:授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。(2時間)</p>

	<p>2)各自、以下の内容について箇条書きに「紙」に(マインドマップで)書き出す。 3)書き終えたら、グループで、順繰りに発表。 4)一通り、グループ発表が終わったら、各グループから一人選んでマイクで全員に体験の発表。(時間がある限り繰り返す)」</p> <p>(グループ内で順繰りに発表)</p> <p>1) IS/SLの基本情報 ・インターンシップ先/サービ斯拉ーニング/留学先の情報 ・期間 ・場所 ・仕事内容</p> <p>2)大変だったこと/失敗したこと/自分の考えが甘かったこと 3)参加してよかったこと/学んだこと/気づいたこと/ストレスの対処法 4)経験をこれからどう活かすか 5)後輩がよりより経験をするためのアドバイス</p> <p>→ Q&A(雑談タイム) ・休みどう過ごした? ・おいしいものあった? ・観光できた? ・ホームシックにならなかった? ・一人暮らし大変だった? ・持って行ったほうがよかったものは? ・外国人来た?話せた? 何が有名?。。。</p>		
4回目	<p>1)プレゼンの設計図を書く。 ・紙を配布し、プレゼンをどのような構成にするかを考える。 ・一人5分程度のプレゼンを作成 ・スライド5-10程度 ・1年生が感動するようなプレゼンを目標</p>	対面授業	<p>予習:ギャップ中に書いた日誌を読み返し、体験の言語化の準備。(2時間) 復習:授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。(2時間)</p>
5回目	<p>(第2回目)「キャリアステップ」社会人基礎力テスト ギャップタームの振り返り (Google スライド(+動画)で作成)</p> <p>* 事後指導プレゼンテーション・ルーブリック評価表を参照 ①ポジティブな思い・経験 ②ネガティブな思い・経験</p>	対面授業	<p>予習:スライド作成準備。(2時間) 復習:授業中に行なったスライド作成に関して、再度、確認をしておくこと。(2時間)</p>

	<p>③5W1H(仕事の日のスケジュール、休日の過ごし方なども含む)</p> <p>④学んだ事</p> <p>⑤残された短大生活をどうするか(目標など)</p> <p>⑥次年度参加する後輩へ伝えたいこと/アドバイス</p>		
6回目	<p>ギャップタームの振り返り (Google スライド(+動画)で作成)</p> <p>* 事後指導プレゼンテーション・ルーブリック評価表を参照</p>	対面授業	<p>予習:スライド作成準備。(2時間)</p> <p>復習:授業中に行なったスライド作成に関して、再度、確認をしておくこと。(2時間)</p>
7回目	<p>ギャップタームの振り返り (Google スライド(+動画)で作成)</p> <p>* 事後指導プレゼンテーション・ルーブリック評価表を参照</p>	対面授業	<p>予習:スライド作成準備。(2時間)</p> <p>復習:授業中に行なったスライド作成に関して、再度、確認をしておくこと。(2時間)</p>
8回目	<p>クラス内プレゼンテーション①</p> <p>・ピアチェックを行い、加筆修正を加える。</p> <p>* 事後指導プレゼンテーション・ルーブリック評価表を参照</p>	対面授業	<p>予習:作成したスライドでのプレゼン練習 (2時間)</p> <p>復習:プレゼンの修正と練習(2時間)</p>
9回目	<p>クラス内プレゼンテーション②</p> <p>・ピアチェックを行い、加筆修正を加える。</p> <p>* 事後指導プレゼンテーション・ルーブリック評価表を参照</p>	対面授業	<p>予習:作成したスライドでのプレゼン練習 (2時間)</p> <p>復習:プレゼンの修正と練習(2時間)</p>
10回目	<p>クラス内プレゼンテーション③</p> <p>・ピアチェックを行い、加筆修正を加える。</p> <p>* 事後指導プレゼンテーション・ルーブリック評価表を参照</p> <p>履歴書修正・追加 (1年次作成google documetへ) https://drive.google.com/drive/folders/1jV6y_sc_d3P53X4bSMp-iB-iEE67IVnK2?usp=sharing</p> <p>・ギャップターム日誌のリンクを追加</p> <p>・短大時代に頑張ったこと</p> <p>・自己PR</p> <p>* 就職を念頭に準備</p>	対面授業	<p>予習:作成したスライドでのプレゼン練習 (2時間)</p> <p>復習:プレゼンの修正と練習(2時間)</p>
11回目	<p>Aグループ: プレゼン準備</p> <p>Bグループ: 授業なし</p>	対面授業。	<p>予習:英語テストの準備をしておく。(4時間)</p>

			復習:特になし時間)
12回目	<u>Aグループ</u> 新1年生へプレゼンテーション	対面授業	予習:日本語テストの準備 をしておく。(4時間) 復習:特になし
13回目	Aグループ:授業なし Bグループ:プレゼン準備	対面授業	予習:1年時に作成した履 歴書を見直しておく(2時 間) 復習:引き続き、就職を意 識し、履歴書の内容を考 えておく(2時間)
14回目	<u>Bグループ</u> 新1年生へプレゼンテーション	対面授業	予習:第1回目のキャリア ステップの結果の振り返り (2時間) 復習:最終発分析の整理(2時間)
15回目	<u>英語アチーブメントテスト(2回目)</u>	対面授業	予習:第1回キャリアステッ プ社会人基礎力テストで 分析した結果を見直して おく。(2時間) 復習:まとめとして、ジャー ナルと履歴書を完成させ る。(2時間)
16回目	<u>日本語アチーブメントテスト(2回目)</u> 最終授業 「キャリアステップ」社会人基礎力テスト結果の分 析 ①インターンシップジャーナルへデータを記入 ②「社会人基礎力トレーニングブック」に書き込み *しっかりとブックに記入させる。 →提出(教員確認)→(最終回)学生へ戻す。 (確認) <u>インターンシップジャーナル数字等を記入</u> (確認)1年生からのプレゼンのコメントは真摯に 受け止め、自分の成長につなげてください。なぜ こんなコメントと思う人がいるかもしれませんが、 うまく伝えることができなかつた部分を反省し、次 につなげてください。 自分の今回の経験のみで、OOはXXですとネガ ティブな意見を伝えるのは気をつけてください。 人によって経験の受け方はかなり異なります。 ①グループ内(プレゼン)2分スピーチ→ローテーション		授業外学修(60時間)

	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の強み/弱み(キャリアステップより)を組み込んだ、自己PR ・現時点での進路 <ul style="list-style-type: none"> * 何系の就職、OOへの留学/編入とその目標 <p>各メンバーの良いところを言い合う。一人1分 →褒めることを学ぶ</p> <p>②「社会人基礎カトレーニングブック」→学生へ戻す。</p>		
--	--	--	--

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	ギャップタームでの経験は、これからの職業や進路選択な重要な時期になるので、振り返り(体験の言語化)をしっかりと、自分のキャリアにつなげて欲しい。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	体験したことを可能な限り言語化できるように、日頃から気づいたことを記録しておくこと。

講義科目名称: 留① 学外学習事後指導	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: GY402

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
チャウ・栞丸				

授業概要	「実践Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で1年次の3Q,4Qに設定されている短大での学びを、地域をフィールドとして実践する教科である。留学生を対象とした本授業では、3Qで実施した小学校や高校での授業実習や、その他の地域での学びを総まとめするものである。1年生は来年度の学びに繋がるようなプレゼンテーションの知識をしっかりと学び、チーム全体を率いるようなリーダーシップ力を育成する
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動することができる	授業態度	5%
専門的知識や技能	日本語で直接関連のある事柄の内容について主要な点を聞いたり読んだりして理解できる。 また、動画や画像を使用し、相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料をつくることことができる	課題	40%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながらチーム全体で目標に粘り強く取り組むことができる	授業態度 課題・作成物	30% 20%
キャリアデザイン力	活動を通して自己のパーソナリティと活動内容の得手不得手がわかる	授業態度	5%
合計			100%

補足事項

- ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・本講義では課題60%、授業参加態度40%の割合で評価する
- ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする 東翔高校との交流授業①振り返り チーム内で担当決め ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿	対面授業	予習: Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)

	チーム役割分担		
2回目	東翔高校との交流授業②振り返り ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿 チーム役割分担	対面授業	チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)
3回目	東翔高校との交流授業③振り返り ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿 チーム役割分担	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)
4回目	東翔高校との交流授業④振り返り ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿 チーム役割分担	対面授業	予習:全体の体裁等を確認しておく。発表準備をしておく(2時間) 復習:提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(2時間)
5回目	東翔高校との交流授業⑤振り返り ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿 チーム役割分担	対面授業	予習:これまでの準備を振り返り、チーム活動に必要な事柄を、Google classroomに提出する(2時間) 復習:構成を見直し、次回までに必要な事柄をまとめておく(2時間)
6回目	東翔高校との交流授業⑥振り返り ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿 チーム役割分担 式会場の設置を計画し、飾りを作成する	対面授業	予習:これまでの準備を振り返り、チーム活動に必要な事柄を、Google classroomに提出する(2時間) 復習:構成を見直し、次回までに必要な事柄をまとめておく(2時間)
7回目	東翔高校との交流授業 まとめ動画発表 ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿 広報の役割について学ぶ	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)
8回目	学校のプロジェクト① ・九十九島(パールシー)チーム 来年度の新1年生の後輩のために歓迎会を計画する ・卒業式飾りチーム お世話になった2年生の先輩のために卒業式会場の設置を計画し、飾りを作成する	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)
9回目	学校のプロジェクト② ・九十九島(パールシー)チーム 来年度の新1年生の後輩のために歓迎会を計画する ・卒業式飾りチーム お世話になった2年生の先輩のために卒業式会場の設置を計画し、飾りを作成する	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)
10回目	学校のプロジェクト③ ・九十九島(パールシー)チーム	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間)

	来年度の新1年生の後輩のために歓迎会を計画する ・卒業式飾りチーム お世話になった2年生の先輩のために卒業式会場の設置を計画し、飾りを作成する		復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)
11回目	学校のプロジェクト④ ・九十九島(パールシー)チーム 来年度の新1年生の後輩のために歓迎会を計画する ・卒業式飾りチーム お世話になった2年生の先輩のために卒業式会場の設置を計画し、飾りを作成する	対面授業	予習:これまでの準備を見直して、全体の完成を目指す(2時間) 復習:構成を見直し、次までに各部分に修正が必要な部分に関して修正をする(2時間)
12回目	学校のプロジェクト⑤ ・九十九島(パールシー)チーム 来年度の新1年生の後輩のために歓迎会を計画する ・卒業式飾りチーム お世話になった2年生の先輩のために卒業式会場の設置を計画し、飾りを作成する	対面授業	予習:全体の体裁等を確認しておく(2時間) 復習:提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(2時間)
13回目	学校のプロジェクト⑥ ・九十九島(パールシー)チーム 来年度の新1年生の後輩のために歓迎会を計画する ・卒業式飾りチーム お世話になった2年生の先輩のために卒業式会場の設置を計画し、飾りを作成する	対面授業	予習:配布プリントを読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習:本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
14回目	学校のプロジェクト⑦ ・九十九島(パールシー)チーム 来年度の新1年生の後輩のために歓迎会を計画する ・卒業式飾りチーム お世話になった2年生の先輩のために卒業式会場の設置を計画し、飾りを作成する	対面授業	予習:もらった評価を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。表彰式の準備(2時間)
15回目	学校のプロジェクト⑧ ・九十九島(パールシー)チーム 来年度の新1年生の後輩のために歓迎会を計画する ・卒業式飾りチーム お世話になった2年生の先輩のために卒業式会場の設置を計画し、飾りを作成する	対面授業	予習:事前配布のアンケートフォームに回答しておくこと(2時間) 復習:これまでの学習を学習ノートにまとめ、1年間の学習の振り返りをおこなう(2時間)

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	なし 随時配布プリントあり
履修条件	3Q実践Awesome Sasebo! IIを履修すること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。

オフィスアワー	火曜日1コマ目(9:30~10:30)研究室
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはクラスルームへ連絡すること

講義科目名称: 卒業研究(日)	授業コード:
英文科目名称: Graduation Report	ナンバリング: BS304

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7 th &8 th Q	2年	2単位	コース必修	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>この科目は、国際コミュニケーションコースのキャップストーン科目(最終学修科目:2年間の学びの集大成)となるものです。2年間を通して学んだこと(学修成果)を以下の①②の課題を通して、表現してもらいます。</p> <p><u>①研究レポートの作成</u></p> <p>どの地域でも少子高齢化が進み、また、人と人とのつながり疎遠になり、地元の元気が徐々になくなりつつあります。そこで、皆さんの地元の現状を調べ、また他の市町村で成功している事例も調査し、地元を元気にする提案のレポートを作成してもらいます。また、最後の「まとめ」は、学習している言語へも翻訳してください。</p> <p><u>②研究レポートをもとに、スライドを作成し、口頭発表。</u></p> <p>*まとめの部分は、学習している言語で発表</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	「心豊かな人間力」の観点で、2年間の学びと自らの取組を深く分析し、正確に記述することができる。	学科ディプロマポリシーのルーブリック評価基準に準じる。	20%
確かな専門的知識や技能	「専門的知識や技能」の観点で、2年間の学びと自らの取組を深く分析し、正確に記述することができる。		20%
異文化知識・対応能力	「異文化知識・対応能力」の観点で、2年間の学びと自らの取組を深く分析し、正確に記述することができる。		20%
課題解決能力	「課題解決能力」の観点で、2年間の学びと自らの取組を深く分析し、正確に記述することができる。		20%
キャリアデザイン力	「キャリアデザイン力」の観点で、2年間の学びと自らの取組を深く分析し、正確に記述することができる。		20%
合計			100%
補足事項			

(研究レポート/発表用プレゼン作成)

テーマ:「自分の生まれ育った街(地元)を元気にする提案」

作成物:

- ・研究レポート(Google documentで10枚程度)
- ・発表用プレゼン(Slide5枚程度)

{研究レポート/スライドの構成}

はじめに

- ・地元の情報(場所、人口、産業、観光資源など)
- ・オリジナル動画も作成し、プレゼンに追加

1. 私の地元が抱えている課題

- ・少子高齢化、過疎化、空き家問題など

2. 私の地元が具体的に取り組んでいる対策

- ・移住推進、ふれあいの場の提供、子育て支援など

3. 他の市町村で取り組んでいる、自分の地元の参考となる事例

- ・地域の触れ合い事例、「えんがお <https://www.engawa-smile.org/>」
- ・移住成功事例

まとめ

- ・上の調査(1,2,3)した情報を元に、「自分の地元を元気にできる」ものとして、自分の地元にも導入できるものや、自分の提案や意見をまとめる。
- ・最後に、自分の地元のいいところをもう一度PRして、皆さんが移住、又は 遊びに来てくれることを伝える。

(フォント)

- 日本語:MS明朝
- 英数字:Times New Roman

(文字サイズ)

10.5ポイント(or 11ポイント)

- 章:18ポイント
- 節:14ポイント
- 項:12ポイント

(レポート提出と発表に関して)

- ・プレゼンテーション時まで、「研究レポート」を提出。
- ・「スライド」を使い、口頭で教員の前でプレゼン。同時に、録画します。
- ・各プレゼンで話すシナリオは、スライド下のスピーカーノートに書き込む。
- ・まとめのスライドのみ、学んでいる言語に翻訳し、スピーカーノートに、日本語シナリオとその翻訳を書き入れる。まとめのスライドのみ、日本語と翻訳した言語で口頭発表する。

(情報収集に関して)

- ・参考文献、ホームページは、文中に数字を入れ、最後に順番にリストする。
- ・著作権等があるので、写真/動画は自分で撮影したものを使用する。
- ・国、各都道府県、市町村が発行している観光、人口、などのデータも使用

(プレゼンテーション作成方法)

- ・Google Document 10枚程度 * 教員が割り当てるものを使用

- ・Google Slide(PPT)で5枚程度 * 教員が割り当てるものを使用
- ・動画もレポート(QRコード)、プレゼンに付加
- ・自分で撮影した写真・動画を使用
- ・プレゼンの文字コメントは、日本語を使用

(プレゼンテーション発表)

- ・口頭での発表時間は1人7分
- ・まとめは、自分が学んでいる外国語でおこなう。
- ・発表者は、指定した日時に短大にてプレゼンを行う。発表者以外の学生は、直接聞きに来てよい。後日、googleclassroomで限定視聴できるようにする。
- ・全員のプレゼンを教員が録画する。

(主な評価項目)

- ①国際コミュニケーションコースのディプロマポリシーのルーブリック(達成度)
- ②プレゼンテーションスライド(論理性、文章構成力、表現力)
- ③外国語での口頭発表

(評価観点)

- * 短大で学んだことを表現できているか。
- ・研究レポートの構成と内容
- ・スライドを使った口頭プレゼンの構成と内容
- ・口頭でのプレゼン(外国語発表を含む)能力
- ・総合的な社会人基礎力(特に、発信力、創造力、計画力、主体性、実行力)

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・効果的なプレゼン作成方法の説明 ・授業目標など授業の全体説明 ・データ収集 ・Slide作成 ・動画作成 ・外国でのシナリオ準備 ・外国語でプレゼン準備 ・「前年度の研究レポートとプレゼン動画」を全員で読み上げ、また視聴する。	対面授業	予習: google classroomに提示する授業概要を読み、全体構成を考えておく(2時間) 復習: ルーブリック評価、作成方法などを再度確認し、疑問点などを考える。(2時間)
2回目	<u>プレゼン作成作業1</u> ・プレゼンの構成作成 ・情報収集 ・プレゼン作成 ・動画編集作成 ・日本語プレゼンシナリオ作成 ・外国語へのシナリオ翻訳 ・最後に「進捗表」への記入	対面授業	予習: ①に関して準準備を行う。(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
3回目	<u>プレゼン作成作業2</u> ・プレゼンの構成作成 ・情報収集 ・プレゼン作成	対面授業	予習: ①に関して準準備を行う。(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)

	<ul style="list-style-type: none"> ・動画編集作成 ・日本語プレゼンシナリオ作成 ・外国語へのシナリオ翻訳 ・最後に「進捗表」への記入 		時間)
4回目	<u>プレゼン作成作業3</u> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンの構成作成 ・情報収集 ・プレゼン作成 ・動画編集作成 ・日本語プレゼンシナリオ作成 ・外国語へのシナリオ翻訳 ・最後に「進捗表」への記入 	対面授業	予習:①に関して準準備を行う。(2時間) 復習:作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
5回目	<u>プレゼン作成作業4</u> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンの構成作成 ・情報収集 ・プレゼン作成 ・動画編集作成 ・日本語プレゼンシナリオ作成 ・外国語へのシナリオ翻訳 ・最後に「進捗表」への記入 	対面授業	予習:①に関して準準備を行う。(2時間) 復習:作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
6回目	<u>プレゼン作成作業5</u> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンの構成作成 ・情報収集 ・プレゼン作成 ・動画編集作成 ・日本語プレゼンシナリオ作成 ・外国語へのシナリオ翻訳 ・最後に「進捗表」への記入 	対面授業	予習:①に関して準準備を行う。(2時間) 復習:作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
7回目	<u>プレゼン作成作業6</u> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンの構成作成 ・情報収集 ・プレゼン作成 ・動画編集作成 ・日本語プレゼンシナリオ作成 ・外国語へのシナリオ翻訳 ・最後に「進捗表」への記入 	対面授業	予習:①に関して準準備を行う。(2時間) 復習:作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
8回目	<u>プレゼン作成作業7</u> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンの構成作成 ・情報収集 ・プレゼン作成 ・動画編集作成 ・日本語プレゼンシナリオ作成 ・外国語へのシナリオ翻訳 ・最後に「進捗表」への記入 	対面授業	予習:①に関して準準備を行う。(2時間) 復習:作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
9回目	<u>プレゼン作成作業8</u> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンの構成作成 ・情報収集 ・プレゼン作成 ・動画編集作成 ・日本語プレゼンシナリオ作成 ・外国語へのシナリオ翻訳 	対面授業	予習:①に関して準準備を行う。(2時間) 復習:作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)

	・最後に「進捗表」への記入		
10回目	<u>プレゼンを完成し、教員へ提出</u> ・最後に「進捗表」への記入	対面授業	予習:過去の問題を振り返り試験準備をおこなう。(2時間) 復習:自己採点をし、間違ったところを確認する。(2時間)
11回目	<u>各自翻訳したシナリオを教員へ提出(翻訳チェック依頼)1</u> ・最後に「進捗表」への記入	対面授業	予習:過去の問題を振り返り試験準備をおこなう。(2時間) 復習:自己採点をし、間違ったところを確認する。(2時間)
12回目	<u>各自翻訳したシナリオを教員へ提出(翻訳チェック依頼)2</u> ・最後に「進捗表」への記入	対面授業	予習:②に関して準準備を行う。(2時間) 復習:作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
13回目	<u>各自翻訳したシナリオを教員へ提出(翻訳チェック依頼)3</u> ・プレゼン全体、写真・動画がうまく作動するかの確認も含む ・最後に「進捗表」への記入	対面授業	予習:②に関して準準備を行う。(2時間) 復習:作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
14回目	<u>プレゼン口頭練習1</u> ・言語担当教員指導による外国語の発音練習 ・最後に「進捗表」への記入	対面授業	予習:②に関して準準備を行う。(2時間) 復習:作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
15回目	<u>プレゼン口頭練習2</u> ・言語担当教員指導による外国語の発音練習 ・最後に「進捗表」への記入	対面授業	予習:最終確認(2時間) 復習:プレゼンの練習をおこなう。(2時間)
16回目	個別プレゼンテーション ・録画し、後日評価		授業外学修(60時間)

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	2年間の総まとめとなります。学びを分析、卒業後につなげることができるように全力で取り組んでください。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	2年間の学びの集大成となる大切な科目です。 積極的に、教員にコンタクトを取り助言を求めること。

講義科目名称: 卒業研究(留)	授業コード:
英文科目名称: Graduation Report	ナンバリング: BS404

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8Q	2年	2単位	コース必修	講義
担当教員				
牟田美信、近藤直美、チャウユンテン、柝丸				

授業概要	<p>この科目は、国際コミュニケーションコースのキャップストーン科目(最終学修科目:2年間の学びの集大成)となるものです。2年間を通して学んだこと(学修成果)を以下の課題を通して、表現してもらいます。</p> <p><u>自分の出身地(地元)を日本語で紹介する研究ノート作成</u></p> <p>皆さんの地元の情報(地図、衣食住、言葉の説明、独特な慣習や文化など)を調べ、日本人が旅行したり、住んだりするときに使える「研究ノート(ルーズリーフ)」を作成してください。</p> <p>①「研究ノート(ルーズリーフノート)」:自分のペースで作成。 ②「日本人の感想コメント」:最後に、研究ノートを日本人(クラスメート、知人)に見せ、感想(良い点、改善点)を聞き(録音)、ノートへの記入。 ③「最後のあいさつ」:作成に関しての自分の感想の記入。</p> <p>1. もくじ:項目を書き出す 2. はじめに:このノートの特徴 3. 私の国情報:地図、人口、言葉、基本的な会話、気候、お祭り・イベント、その他 4. 私の地元情報: 5. 私の国の衣食住: *できるだけ、オリジナルの写真を利用する。 6. 私の国の代表的なお祭りやイベント 7. 日本人があなたのノートを読んだ感想:感想(良い点、改善点)を聞き(録音)、ノートへの記入 8. まとめ:この研究ノートを作成した自分の感想と日本人読者へ向けて一言</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	学んできた日本語能力を生かし、正しく情報を収集し、まとめ、文書化することができる。	・情報収集力 ・文書作成能力	50%
異文化知識・対応能力	身につけた異文化理解力を生かし、自国の風習や文化を正しく整理し、正しく日本語で表現できる。	・自国文化の論理的整理 ・自国文化の正しい日本語化	50%
課題解決能力			

キャリアデザインカ			
			合計 100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・ノートは教員側で準備し配布(ルーズリーフノート)。 ・ノートは毎回回収し、教員が確認(コメント)後に、次回の授業で戻す。 ・写真等は理解しやすいように自由に貼り付ける。 ・絵や文字は、直接ノートに書き入れるか、別紙(折り紙など)に記入したものを貼り付ける。 <p>(評価観点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、「情報収集・文書作成」(50%)、「自国文化の論理的整理 ・自国文化の正しい日本語化」(50%)の割合で、総合評価します。 ・短大で学んだことを生かし、正しく研究ノート(構成、内容等)を作成することができるかで、評価します。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・研究ノートの作成の趣旨と作成方法について説明 1. もくじの確認 * A4ルーズリーフノートの配布	対面授業	予習: google classroomに提示する授業概要を読み、全体構成を考慮しておく(2時間) 復習: 評価、作成方法などを再度確認し、疑問点などを考える(2時間)
2回目	「研究ノート作成」 2. はじめに: ノートの特徴(目的や目標)について書き出す。	対面授業	予習: 情報を収集する(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
3回目	「研究ノート作成」 3. 自分の国情報: 地図、人口、言葉、基本的な会話、気候、お祭り・イベント、その他	対面授業	予習: 情報を収集する(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
4回目	「研究ノート作成」 3. 自分の国情報: 地図、人口、言葉、基本的な会話、気候、お祭り・イベント、その他	対面授業	予習: 情報を収集する(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
5回目	「研究ノート作成」 4. 自分の地元情報: 出身地の情報を書き込む。	対面授業	予習: 情報を収集する(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
6回目	「研究ノート作成」 4. 自分の地元情報: 出身地の情報を書き込む。	対面授業	予習: 情報を収集する(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
7回目	「研究ノート作成」	対面授業	予習: 情報を収集する(2時間)

	5. 自分の国の衣食住: *できるだけ、地元から写真を送ってもらう。		復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
8回目	「研究ノート作成」 5. 自分の国の衣食住: *できるだけ、地元から写真を送ってもらう。	対面授業	予習: 情報を収集する(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
9回目	「研究ノート作成」 6. 私の国の代表的なお祭りやイベント	対面授業	予習: 情報を収集する(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
10回目	「研究ノート作成」 6. 私の国の代表的なお祭りやイベント	対面授業	予習: 情報を収集する(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
11回目	「研究ノート作成」 7. 日本人があなたのノートを読んだ感想: 感想(良い点、改善点)を聞き(録音)、ノートへの記入	対面授業	予習: 情報を収集する(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
12回目	「研究ノート作成」 7. 日本人があなたのノートを読んだ感想: 感想(良い点、改善点)を聞き(録音)、ノートへの記入	対面授業	予習: 情報を収集する(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
13回目	「研究ノート作成」 8. まとめ: この研究ノートを作成した自分の感想と日本人読者へ向けて一言	対面授業	予習: 情報を収集する(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
14回目	「研究ノート作成」 8. まとめ: この研究ノートを作成した自分の感想と日本人読者へ向けて一言	対面授業	予習: 情報を収集する(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
15回目	最後のまとめと最終確認 「研究ノートの提出」	対面授業	予習: 提出前の校正と最終確認(4時間)
16回目			授業外学修(60時間)

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	

履修上の注意	2年間の総まとめとなります。学びを分析、卒業後につなげることができるように全力で取り組んでください。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	2年間の学びの集大成となる大切な科目です。 積極的に、教員にコンタクトを取り助言を求めること。